

博士論文

西日本諸方言におけるアスペクト形式の文法化  
—2つの動機に基づく待遇化プロセス—

同志社大学大学院 文化情報学研究科 文化情報学専攻  
言語データ科学コース 博士課程（後期課程）

嶋井 修平

指導教員

沈 力 教授

# 目次

第1章 研究背景 .....	1
1.1. 中国語におけるアスペクト形式の文法化 .....	1
1.2. 日本語におけるアスペクト形式の文法化 .....	4
1.2.1. 西日本諸方言におけるアスペクト形式の文法化 .....	6
1.2.2. 近畿中央方言におけるアスペクト形式の文法化 .....	7
第2章 研究課題 .....	10
2.1. 問題提起 .....	10
2.2. ランキング仮説 .....	13
第3章 研究方法 .....	17
3.1. データ分析の枠組み .....	17
3.2. データ収集の枠組み .....	20
第4章 西日本諸方言のアスペクト体系 .....	23
4.1. 近畿地方の諸方言データ .....	25
4.1.1. 大阪方言のアスペクト体系 .....	25
4.1.2. 京都方言のアスペクト体系 .....	29
4.1.3. 滋賀方言のアスペクト体系 .....	42
4.1.4. 奈良方言のアスペクト体系 .....	46
4.1.5. 兵庫方言のアスペクト体系 .....	56
4.1.6. 三重方言のアスペクト体系 .....	70
4.2. 中国地方の諸方言データ .....	79
4.2.1. 岡山方言のアスペクト体系 .....	79
4.2.2. 島根方言のアスペクト体系 .....	84
4.2.3. 鳥取方言のアスペクト体系 .....	95
4.2.4. 広島方言のアスペクト体系 .....	103
4.2.5. 山口方言のアスペクト体系 .....	106
4.3. 四国地方の諸方言データ .....	110
4.3.1. 高知方言のアスペクト体系 .....	111
4.3.2. 徳島方言のアスペクト体系 .....	116
4.4. 中部地方の諸方言データ .....	119
4.4.1. 愛知方言のアスペクト体系 .....	120
4.4.2. 岐阜方言のアスペクト体系 .....	125
4.4.3. 長野方言のアスペクト体系 .....	135
4.4.4. 福井方言のアスペクト体系 .....	146

4.5. アスペクト形式の機能重複における類型 .....	158
第5章 アスペクト形式の待遇解釈 .....	161
5.1. 機能重複と待遇解釈の関係 .....	161
5.2. YORU・TORU・TERUの待遇解釈 .....	163
5.3. YORUとTORUの待遇解釈 .....	165
5.3.1. 近畿以西方言のデータ .....	165
5.3.2. 鳥取県_東部方言のデータ .....	166
5.4. TORUとTERUの待遇解釈 .....	168
5.4.1. 近畿以東方言のデータ .....	168
5.4.2. 近畿中央方言のデータ .....	169
第6章 結論と考察 .....	172
6.1. 結論ーアスペクト形式のランキングと待遇解釈の関係ー .....	172
6.2. 考察ー文法化におけるムードと待遇ー .....	173
略号 .....	176
参考文献 .....	177
謝辞 .....	180
付録 .....	i
4.1.1. 大阪方言のアスペクト体系 .....	i
4.1.2. 京都方言のアスペクト体系 .....	vii
4.1.3. 滋賀方言のアスペクト体系 .....	xxv
4.1.4. 奈良方言のアスペクト体系 .....	xxxii
4.1.5. 兵庫方言のアスペクト体系 .....	xliii
4.1.6. 三重方言のアスペクト体系 .....	lxvii
4.2.1. 岡山方言のアスペクト体系 .....	lxxix
4.2.2. 島根方言のアスペクト体系 .....	lxxxv
4.2.3. 鳥取方言のアスペクト体系 .....	xcvii
4.2.4. 広島方言のアスペクト体系 .....	cix
4.2.5. 山口方言のアスペクト体系 .....	cxv
4.3.1. 高知方言のアスペクト体系 .....	cxxi
4.3.2. 徳島方言のアスペクト体系 .....	cxxvii
4.4.1. 愛知方言のアスペクト体系 .....	cxviii
4.4.2. 岐阜方言のアスペクト体系 .....	cxvix
4.4.3. 長野方言のアスペクト体系 .....	cli
4.4.4. 福井方言のアスペクト体系 .....	clxiii

## 第1章 研究背景

第1章では、アスペクト形式の文法化について、従来の研究成果を示す。

自然言語の文法研究において、事態の時間的局面を標示するアスペクトの研究は、ロシア語やポーランド語などのスラヴ諸語を出発点として、スラヴ諸語やゲルマン諸語に見られるような、完結相 (perfective) と非完結相 (imperfective) の二項対立を中心テーマに進められてきた。アスペクトの研究は、基準時と事態の時間的関係を標示するテンスの研究と共に発展し、諸言語における文法記述を通して蓄積されてきた。また、諸言語における文法記述の蓄積は、文法化 (grammaticalization) のような通時的変化に関する研究を活発化させた。

文法化において、アスペクトを標示する形式 (アスペクト形式) は、ムードを標示する形式 (ムード形式) に向かって変化していくという一方向性 (unidirectionality) がある。この一方向性は、図1に示すような TAM (Tense, Aspect, Mood) の階層構造に基づいている。

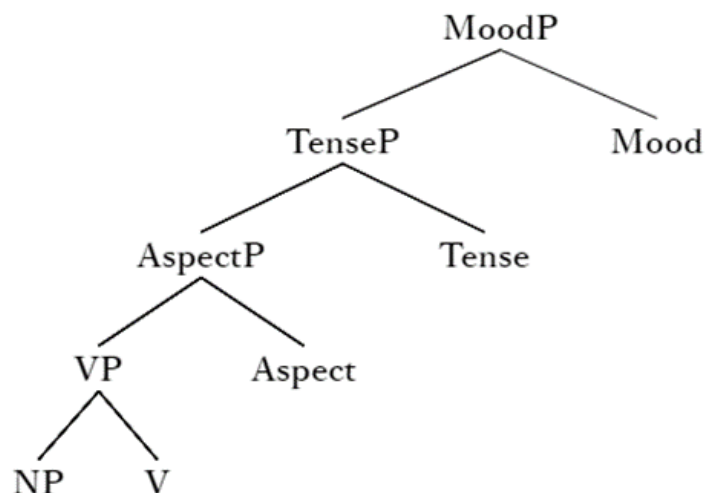


図1 TAM の階層構造

図1より、ムードは、テンス・アスペクトよりも高い階層にあることが分かる。文法化の研究では、より低い階層にある語彙的要素 (lexical item) は、より高い階層にある文法的要素 (grammatical item) に変化するということが解明されている。一方、文法化はなぜ生じるのかという問題については研究が少ないが、文法化の動機を解明することは、言語研究における重要課題のひとつである。(cf. Hopper & Traugott 1993, Bybee et al. 1994)

### 1.1. 中国語におけるアスペクト形式の文法化

中国語におけるアスペクト形式の文法化について、沈 (2008) は、文法化の動機が、言語経済の原理 (linguistic economy principle) にあることを提案している。

中国語のアスペクト形式「着 (ZHE)」には、結果相 (resultative) を標示する ZHE1 と進行相

(progressive)を標示する ZHE2 の 2 形式が存在する<sup>1</sup>。(1)は、中国語北方方言に所属する晋語平遥方言の話者による発話例である。

- (1) a. uΛʔ<sup>23</sup>-teia<sup>13</sup>=tiΛʔ<sup>54</sup> xux<sup>13</sup>-tsΛʔ<sup>23</sup> tsuΛʔ<sup>54</sup>-tiΛʔ<sup>54</sup> tɿŋ<sup>13</sup>=liΛʔ<sup>23</sup>. / \*tsuΛʔ<sup>54</sup> tɿŋ<sup>13</sup>=tiΛʔ<sup>54</sup>=liΛʔ<sup>23</sup>.  
 3SG=GEN house tern-on-ZHE1 light=SFP / tern-on light=ZHE2=SFP  
 「彼の家には電気が点いている。」
- b. uΛʔ<sup>23</sup>-teia<sup>13</sup> tɕ<sup>h</sup>Λʔ<sup>32</sup> xuan<sup>35</sup>=tiΛʔ<sup>54</sup>=liΛʔ<sup>23</sup>. / \*tɕ<sup>h</sup>Λʔ<sup>32</sup>-tiΛʔ<sup>54</sup> xuan<sup>35</sup>=liΛʔ<sup>23</sup>.  
 3SG eat food=ZHE2=SFP / eat-ZHE1 food=SFP  
 「彼はご飯を食べている。」

(1a)と(1b)は、動詞の後に生起する ZHE1 と動詞句の後に生起する ZHE2 は、結果相と進行相を区別するというを示している。(沈 2008: 224-226) ZHE1 と ZHE2 のアスペクト機能における相違のように、一方の形式にある機能が、他方の形式にない場合、両形式は機能的に対立していると言える。本研究では、これを「機能対立」と呼ぶ。

中原官話蒲県方言の ZHE にも ZHE1 と ZHE2 の 2 形式が存在するが、両形式のアスペクト機能には曖昧性がある。(2)は、蒲県方言の話者による発話例である。

- (2) a. t<sup>h</sup>a<sup>51</sup> xa<sup>33</sup> k<sup>h</sup>ai<sup>51</sup>-tɕə me<sup>13</sup>=li. / #k<sup>h</sup>ai<sup>51</sup> me<sup>13</sup>=tɕə=li.  
 3SG house open-ZHE1 door=SFP / open door=ZHE2=SFP  
 「彼の家はドアが開いている。」
- b. t<sup>h</sup>a<sup>51</sup> tɕəŋ<sup>33</sup> tɕ<sup>h</sup>ʔ<sup>51</sup>-tɕə fã<sup>33</sup>=li. / #tɕ<sup>h</sup>ʔ<sup>51</sup> fã<sup>33</sup>=tɕə=li.  
 3SG just eat-ZHE1 food=SFP / eat food=ZHE2=SFP  
 「彼はご飯を食べている。」

(2a)と(2b)は、ZHE1 と ZHE2 は、結果相と進行相を標示するというを示している。ZHE1 と ZHE2 のアスペクト機能における曖昧性のように、一方の形式にある機能が、他方の形式にもある場合、両形式は機能的に重複していると言える。本研究では、これを「機能重複」と呼ぶ。ただし、ZHE2 は、聞き手に対する注意喚起も同時に標示するため、語用論的には ZHE1 と対立している。(沈 2008: 226-228)

ZHE1 と ZHE2 の機能対立は、平遥方言よりも蒲県方言の方が曖昧であるが、それと並行的に蒲県方言の ZHE2 には新たに事実確認 (confirmative)のムード機能が生じている。(3a)は、蒲県方言の話者、(3b)は、平遥方言の話者による発話例である。

<sup>1</sup> 沈 (2008)では、「状態持続」、「動作持続」という用語が使用されている。本研究では、議論の便宜上、結果状態の持続性に関わるアスペクトには「結果相」、動作過程や変化過程の持続性に関わるアスペクトには「進行相」という用語を統一的に使用する。

(3) a. tʂə<sup>51</sup> ua<sup>13</sup> tʰiɛ<sup>11</sup> ʂuə<sup>ʔ51</sup>=tʂə=li.  
 this child listen denotation=ZHE2=SFP  
 「この子は言うことをよく聞いてくれるんだ。」

b. \*tʂaŋ<sup>13</sup>-saŋ<sup>13</sup> tʰiŋ<sup>13</sup> su<sup>ʌʔ23</sup>=ti<sup>ʌʔ54</sup>=li<sup>ʌʔ23</sup>.  
 Zhan-san listen denotation=ZHE2=SFP  
 「張三は言うことをよく聞いてくれるんだ。」

(3a)と(3b)は、蒲県方言の ZHE2 は、事実確認を標示するというを示している。このような蒲県方言における ZHE2 のムード機能は、ZHE1 と ZHE2 の機能対立が明確である平遥方言の ZHE2 からは観察されないため、ZHE2 の文法化の動機は、ZHE1 との機能重複であると考えられる。(沈 2008: 228-229)

機能重複によるアスペクト形式の文法化は、北京語の ZHE によっても支持されている。北京語の ZHE にも ZHE1 と ZHE2 の 2 形式が存在するが、ZHE1 が結果相と進行相を標示するのに対して、ZHE2 はいずれのアスペクトも標示しない。(4)は、北京語の話者による発話例である。

(4) a. tʰa<sup>55</sup> teia<sup>55</sup> tian<sup>214</sup>-tʂɤ tɤŋ<sup>55</sup>=nɤ. / \*tian<sup>214</sup> tɤŋ<sup>55</sup>=tʂɤ-nɤ.  
 3SG home tern-on-ZHE1 light=SFP / tern-on light=ZHE2-SFP  
 「彼の家には電気が点いている。」

b. tʰa<sup>55</sup> tʂɤŋ<sup>51</sup> te<sup>h</sup>i<sup>55</sup>-tʂɤ fan<sup>51</sup>=nɤ. / \*te<sup>h</sup>i<sup>55</sup> fan<sup>51</sup>=tʂɤ-nɤ.  
 3SG just eat-ZHE1 food=SFP / eat food=ZHE2-SFP  
 「彼はご飯を食べている。」

(4a)と(4b)は、ZHE1 は、進行相と結果相を標示するというを示している。一方、アスペクト機能のない ZHE2 は、文末助詞「呢 (-nɤ)」と複合し、事実確認を標示する。(5)は、北京語の話者による発話例である。

(5) tʂɤ<sup>51</sup> xai<sup>35</sup>-tʂɤ tʰiŋ<sup>55</sup> ʂuo<sup>55</sup>=tʂɤ-nɤ.  
 this child listen denotation=ZHE2-SFP  
 「この子は言うことをよく聞いてくれるんだ。」

(5)は、ZHE2 は、事実確認を標示するためのムード形式であるというを示している。(沈 2008: 229-230)

沈 (2008)は、中国語におけるアスペクト形式の文法化を次のように整理している。まず、平遥方言の現象が示すように、ZHE1 と ZHE2 は、機能対立を成すアスペクト形式であった。次に、蒲県方言の現象が示すように、ZHE1 と ZHE2 の間で機能重複が生じ、ZHE2 の方が事実確認のムード機能を獲得した。そして、北京語の現象が示すように、ムード機能を獲得し

た ZHE2 はアスペクト機能を失い、ムード形式として定着した。つまり、ZHE2 は、2つのアスペクト形式が1つのアスペクトを標示するという余剰性の解消を動機に文法化したということである<sup>2</sup>。

## 1.2. 日本語におけるアスペクト形式の文法化

日本語のアスペクト研究は、スラヴ諸語やゲルマン諸語と同様、完結相と非完結相の二項対立を成す標準語を中心に進められてきた。標準語には、完結相を標示する動詞ル形と非完結相を標示する「テイル (-te=(i)-)」によるテンス・アスペクト体系が存在する。一方、完結相、進行相、結果相の三項対立を成す西日本諸方言は、標準語における二項対立との相違から、特に注目を浴びてきた。西日本諸方言には、完結相を標示する動詞ル形、進行相を標示する「ヨル (-jor-)」, 結果相を標示する「トル (-tor-)」によるテンス・アスペクト体系が存在する。表1は、従来の研究成果に基づく日本語のアスペクト体系である。

表1 日本語のアスペクト体系

標準語における二項対立			
	完結相	非完結相	
現在	ル	テイル	
過去	タ	テイタ	
西日本諸方言における三項対立			
	完結相	進行相	結果相
現在	ル	ヨル	トル
過去	タ	ヨッタ	トッタ

(cf. Comrie 1976, 寺村 1984, 工藤 1995)

日本語諸方言全体を見れば、東日本側(図2:分割線右側)には TERU の1形式、西日本側(図2:分割線左側)には YORU, TORU, TERU の3形式が分布している<sup>3</sup>。本研究では、前者を「東日本諸方言」、後者を「西日本諸方言」、現代日本語における全国共通語を「標準語」と呼ぶ。

<sup>2</sup> 言語経済の原理より、人間には、自分の持つ情報を最大限に表現したいという欲求と、その表現コストを最小限に抑制したいという欲求がある。また、自然言語には、これら2つの欲求を満たすための経済性がある。形式と意味の対応関係において、1形式に複数の意味が対応するのは経済的であるが、1意味に複数の形式が対応するのは余剰的であると言える。(cf. Martinet 1962)

<sup>3</sup> -jor-u には、[-jooru], [-joo], [-juu]など、-tor-u には、[-tooru], [-too], [-teuu]などの音形バリエーションがある。本研究では、議論の便宜上、-jor-u の音形を YORU, -tor-u の音形を TORU, 音形バリエーションのない-te=(i)-ru を TERU として統一的に表記する。なお、発話例を提示する際には、各方言の音形に基づいた音韻表記を行う。



図2 アスペクトの表現方法における東西境界<sup>4</sup>  
(国立国語研究所 1999『方言文法全国地図 第198図』)

東日本諸方言は、TERU が進行相と結果相を標示するという点で標準語との類似点を持つ。(6)は、東日本諸方言に所属する東京方言の話者による発話例である<sup>5</sup>。

- (6) a. neko=ga sakana tabe=teru.  
猫=NOM 魚 食べる=PROG.NPST  
「猫が魚を食べている。」
- b. neko=ga sakana tabe=teru.  
猫=NOM 魚 食べる=RES.NPST  
「猫が魚を食べ終わっている。」

(6a)と(6b)は、TERU は、進行相と結果相を標示するということを示している<sup>6</sup>。西日本諸方言は、YORU が進行相、TORU が結果相を標示するという点で標準語との相違点を持つ。(7)は、西日本諸方言に所属する高知方言の話者による発話例である<sup>7</sup>。

<sup>4</sup> 分割線は、西日本諸方言のアスペクト形式である YORU と TORU の分布域を指標として筆者が加筆したものである。実際、分割線の位置には、飛騨山脈、木曾山脈、赤石山脈（日本アルプス）が聳えており、地理的にも東日本諸方言と西日本諸方言の境界が窺える。

<sup>5</sup> 東京都出身の高年層話者 3 名を対象に行ったインタビュー調査の結果に基づく。

<sup>6</sup> 提示する発話例に関して、1 段目は形態素解析を行わない簡易の音韻表記、2 段目はグロス、3 段目は標準語訳である。本研究では、YORU、TORU、TERU をそれぞれ接語 (clitic) として扱い、動詞との境界を=で示した上で、各形式に対して連続的にグロスを付す。

<sup>7</sup> 高知県出身の高年層話者 3 名を対象に行ったインタビュー調査の結果に基づく。



- (7) a. neko=ga sakana tabe=juu.  
 猫=NOM 魚 食べる=PROG.NPST  
 「猫が魚を食べている。」
- b. neko=ga sakana tabe=teuu.  
 猫=NOM 魚 食べる=RES.NPST  
 「猫が魚を食べ終えている。」

(7a)と(7b)は、YORU と TORU は、進行相と結果相を区別するということを示している。

工藤 (1995)以来、このような特徴を持つ西日本諸方言のアスペクト形式に関する研究は活発化したため、YORU と TORU の機能に関しては、事態の持続性を標示するアスペクト機能や、話し手の主観性 (subjectivity)を標示するムード機能など、言語学、日本語学、方言学の分野を通して豊富な研究蓄積がある。(cf. 工藤 2014)

### 1.2.1. 西日本諸方言におけるアスペクト形式の文法化

西日本諸方言におけるアスペクト形式の文法化について、工藤 (2014)は、YORU のムード化と TORU への一本化という方向性があることを提案している<sup>8</sup>。

前述の通り、西日本諸方言のアスペクト形式には、進行相を標示する YORU と結果相を標示する TORU の 2 形式が存在する。(8)は、愛媛県宇和島市方言の話者による発話例である。

- (8) a. 猫が障子，破りよる。おっばらいさい。  
 「猫が障子（を）（今）破っている。追っ払いなさい。」
- b. 猫が障子，破っとる。張り替えないけん。  
 「猫が障子（を）（既に）破っている。張り替えないといけない。」

(8a)と(8b)は、YORU と TORU は、進行相と結果相を区別するということを示している。(工藤 1995: 262) YORU と TORU のアスペクト機能における相違のように、両形式の間には機能対立がある<sup>9</sup>。

九州諸方言のアスペクト形式にも YORU と TORU の 2 形式が存在するが、両形式のアスペクト機能には曖昧性がある。(9)は、福岡県北九州市方言の話者による発話例である。

<sup>8</sup> 元来、進行相を標示する YORU が、ムード機能を獲得し、ムード形式へと変化していく現象を「YORU のムード化」という。また、元来、結果相を標示する TORU が、進行相のアスペクト機能を獲得し、進行相と結果相を標示するアスペクト形式へと変化していく現象を「TORU への一本化」という。(cf. 工藤 1998, 工藤 1999)

<sup>9</sup> 工藤 (1995)では、「アスペクト対立」という用語が使用されている。本研究では、議論の便宜上、「機能対立」という用語を統一的に使用する。

(9) (どこからか鳥の鳴き声が聞こえて。)

ドッカデ トリガ ナキヨルヨ。 / ナイトルヨ。

「どこかで鳥が鳴いているよ。」

(9)は、YORU と TORU は、進行相を標示するということを示している。YORU と TORU のアスペクト機能における曖昧性のように、両形式の間には機能重複がある<sup>10</sup>。また、YORU と TORU の機能重複と並行的に、福岡県北九州市方言の YORU には、証拠性 (evidentiality) のムード機能が生じている。(10)は、福岡県北九州市方言の話者による発話例である。

(10) (目の前で太郎 (赤ちゃん) が泣いているのを見て。)

タローチャンガ ナキヨルヨ。 / ?ナイトルヨ。

「太郎ちゃんが泣いているよ。」

(10)は、進行相における YORU は、証拠性を標示するということを示している。(木部 2019: 43)

工藤 (2014)は、西日本諸方言における YORU のムード化と TORU への一本化を次のように整理している。まず、愛媛県宇和島市方言の現象が示すように、YORU と TORU は、機能対立を成すアスペクト形式であった。次に、TORU が進行相のアスペクト機能を獲得し、YORU と TORU の間で機能重複が生じる。そして、福岡県北九州市方言の現象が示すように、YORU の方が証拠性のムード機能を獲得した。つまり、YORU のムード化は、TORU への一本化を動機に生じたということである。なお、西日本諸方言における YORU のムード機能として、証拠性の他には、推量 (工藤 2004)、劇的現在用法 (工藤 2006)、目の前性 (二階堂 2006)、意外性 (平塚 2008) などが観察されている。いずれもムードに関わっているという点で、アスペクト形式の文法化とムードの密接な関係が窺える<sup>11</sup>。

## 1.2.2. 近畿中央方言におけるアスペクト形式の文法化

西日本諸方言におけるアスペクト形式の文法化は、近畿中央方言によっても支持されているが、近畿中央方言におけるアスペクト形式の文法化は、中国語や西日本諸方言と大きく異

<sup>10</sup> 工藤 (2014)では、「中和」という用語が使用されている。本研究では、議論の便宜上、「機能重複」という用語を統一的に使用する。

<sup>11</sup> YORU のアスペクト機能とムード機能を個別の文法カテゴリーとして分断せず、統一的に説明しようとする立場では、YORU は、事態を主観的に捉える形式であると指摘されている。前述のような YORU のアスペクト機能やムード機能は、YORU の主観性によるものであるということである。(cf. 丹羽 1977, 丹羽 2005, 津田 2013) なお、諸言語におけるムードと主観性の対応関係に関しては、豊富な研究蓄積がある。(e.g. Halliday 1970, Lyons 1977, Perkins 1983, 益岡 1991, 澤田 2006)

なる<sup>12</sup>。近畿中央方言におけるアスペクト形式の文法化について、井上 (1998)は、YORU の文法化の背景には、アスペクト形式の機能重複があったということを考察している<sup>13</sup>。

近畿中央方言には、YORU, TORU, TERU の3形式が存在するが、TORU と TERU が進行相と結果相を標示するのに対して、YORU は、いずれのアスペクトも標示しない。(11)は、大阪方言の話者による発話例である。

(11) a. 犬, 鳴いてる。 /#鳴いとる。 / \*鳴きよる。

「犬 (が) 鳴いている。」

b. 車, 止めてる。 /#止めとる。 / \*止めよる。

「車 (を) 止めている。」

(11a)と(11b)は、TORU と TERU は、進行相と結果相を標示するというを示している。TORU と TERU のアスペクト機能における曖昧性のように、両形式の間には機能重複がある。ただし、TORU は、聞き手に対するぞんざい性 (rudeness)も標示するため、語用論的には TERU と対立している<sup>14</sup>。(井上 1998: 154) 一方、アスペクト機能のない YORU は、卑罵性 (pejorativeness)を標示する。(12)は、大阪方言の話者による発話例である。

(12) 仕事もしないくせに、飯ばかり、食いよる。

「仕事もしないくせに、飯ばかり、食ってやがる。」

(12)は、YORU は、卑罵性を標示するための待遇形式であるということを示している。(井上 1998: 153)

井上 (1998)は、近畿中央方言における YORU の文法化を次のように整理している。まず、歴史的資料によれば、近畿中央方言では、存在動詞「オル (or-)」を本動詞とする YORU と TORU, 存在動詞「イル (i-)」を本動詞とする TERU の3形式が併用されていた<sup>15</sup>。次に、存在動詞「アル (ar-)」を本動詞とする形式が、上位者への待遇機能を獲得したのに対して、存

---

<sup>12</sup> 京阪式アクセントを指標として、大阪市、京都市およびその周辺部で使用されている方言のことを「近畿中央方言」という。他の西日本諸方言と異なり、近畿中央方言のアスペクト形式は待遇的な意味を標示するため、日本語のアスペクト研究の中でも個別に発展してきた。また、近畿中央方言は、江戸時代後期までの中央語であったことから、他の諸方言よりも歴史的資料が豊富にあり、通時的研究も活発に行われてきた。(cf. 中井 2002, 金水 2006, 青木 2010)

<sup>13</sup> 井上 (1998)では、「統合」、「併用」、「併存」という用語が使用されている。本研究では、議論の便宜上、「機能重複」という用語を統一的に使用する。

<sup>14</sup> 井上 (1998)では、「軽卑」という用語が使用されている。本研究では、議論の便宜上、「ぞんざい性」という用語を統一的に使用する。

<sup>15</sup> 室町時代中期の『史記抄』(1477年)によれば、既に、存在動詞のオルとイルが併用されている。(井上 1998: 155) 当時の存在動詞オルは、待遇的に中立的な意味で使用されている場合が多いが、卑罵的な意味で使用されている場合もあるため、用法は安定していなかったと考えられる。(金水 2006: 253)

在動詞オルを本動詞とする YORU と TORU は、下位者への待遇機能を獲得した。そして、大阪方言の現象が示すように、形態素「テ (-te-)」を介する TORU と TERU がアスペクト形式として定着し、アスペクト機能を失った YORU は、待遇形式として定着した。つまり、YORU の文法化は、アスペクト形式の機能重複を動機に生じたということである。なお、近畿中央方言における YORU の卑罵性は、他にも、存在動詞、アスペクト形式、待遇形式などを扱った多くの先行研究が指摘している。(e.g. 中井 2002, 金水 2006, 青木 2010, 中井 2012, 西尾 2015)

YORU の卑罵性は、一方では、存在動詞オルの卑罵性に由来すると考えられているが、他方では、YORU が、アスペクト体系から逸脱したことを動機に生じたと考えられている。しかし、ムードと異なり、アスペクト形式の文法化と待遇の関係は、依然として不明瞭である。

## 第2章 研究課題

第2章では、近畿中央方言における YORU の文法化について、問題提起と仮説を示す。

TAM の階層構造より、中国語や西日本諸方言のように、アスペクト形式からムード形式への文法化は順当であるが、近畿中央方言のように、アスペクト形式から待遇形式への文法化は不可解である。なお、タルミ語やマラヤーラム語などのドラヴィダ諸語にも、日本語と同様の待遇形式は存在するが、待遇研究が活発に行われている日本語でさえ、卑罵性に関する理論的研究は、全く行われていない。(cf. Abbi & Gopalakrishnan 1991, 影山 2021)

### 2.1. 問題提起

近畿中央方言における YORU の文法化は、本研究の調査結果によっても支持される。次に示すように、近畿中央方言に隣接する奈良県十津川村方言の YORU は進行相、京都府福知山市方言の YORU は将然相 (prospective) のアスペクトを標示する<sup>16</sup>。(13)は、奈良県十津川村方言の話者による発話例である<sup>17</sup>。

(13) a. taroo niku jak=jooru.

太郎 肉 焼く=PROG.NPST

「太郎 (が) 肉 (を) 焼いている。」

b. taroo niku jak=jootta.

太郎 肉 焼く=PROG.PST

「太郎 (が) 肉 (を) 焼いていた。」

(13a)と(13b)は、YORU は、進行相を標示するというを示している。また、(14)は、京都府福知山市方言の話者による発話例である<sup>18</sup>。

---

<sup>16</sup> 将然相とは、直後開始し得る局面に関連している現在の局面のことである。(Comrie 1976: 64-65) 例えば、「太郎が魚を食べようとしている」や「太郎が椅子に座ろうとしている」のような局面が、将然相に該当する。西日本諸方言の YORU には、進行相に限らず、将然相を標示するアスペクト機能もある。(工藤 1995: 273) しかし、「太郎が椅子に座りよる」のような表現を将然相として分析するのか、進行相として分析するのかは、研究者によって異なる場合が多い。(cf. 金水 1995, 黒木 2018)

<sup>17</sup> 奈良県十津川村出身の高年層話者 3 名を対象に行ったインタビュー調査の結果に基づく。

<sup>18</sup> 京都府福知山市出身の高年層話者 3 名を対象に行ったインタビュー調査の結果に基づく。

(14) a. taroo niku jaki=joru.

太郎 肉 焼く=PROSP.NPST

「太郎（が）肉（を）焼こうとしている。」

b. taroo niku jaki=jotta.

太郎 肉 焼く=PROSP.PST

「太郎（が）肉（を）焼こうとしていた。」

(14a)と(14b)は、YORU は、将然相を標示するというを示している。また、YORU のタ形 (=jotta)は、ル形 (=joru)と同様、進行相と将然相のような非完結相を標示することからも、奈良県十津川村方言の YORU と京都府福知山市方言の YORU は、アスペクト形式であるということが分かる。

一方、近畿中央方言に所属する奈良県奈良市方言と京都府京都市方言の YORU は、卑罵性を標示する。(15)は、奈良県奈良市方言の話者による発話例である<sup>19</sup>。

(15) a. taroo niku jaki=joru.

太郎 肉 焼く=PJR.NPST

「太郎（が）肉（を）焼きやがる。」

b. taroo niku jaki=jotta.

太郎 肉 焼く=PJR.PRF

「太郎（が）肉（を）焼きやがった。」

(15a)と(15b)は、YORU は、卑罵性を標示するための待遇形式であるということを示している。また、(16)は、京都府京都市方言の話者による発話例である<sup>20</sup>。

(16) a. taroo niku jaki=joru.

太郎 肉 焼く=PJR.NPST

「太郎（が）肉（を）焼きやがる。」

b. taroo niku jaki=jotta.

太郎 肉 焼く=PJR.PRF

「太郎（が）肉（を）焼きやがった。」

(16a)と(16b)は、(15)と同様、YORU は、卑罵性を標示するための待遇形式であるということを示している。また、YORU のタ形は、非完結相ではなく完了相 (perfect)を標示することからも、奈良県奈良市方言と京都府京都市方言の YORU は、奈良県十津川村方言と京都府福知

---

<sup>19</sup> 奈良県奈良市出身の高年層話者 3 名を対象に行ったインタビュー調査の結果に基づく。

<sup>20</sup> 京都府京都市出身の高年層話者 3 名を対象に行ったインタビュー調査の結果に基づく。

山市方言の YORU と異なり、非アスペクト形式であるということが分かる。

さらに、次に示すように、近畿中央方言の YORU には、1 人称主語、2 人称主語の文脈に生起できないという制限がある。(17)は、大阪府大阪市方言の話者による発話例である<sup>21</sup>。

(17) a. \*ore niku jaki=joru.

1SG 肉 焼く=PJR.NPST

「俺 (が) 肉 (を) 焼きやがる。」

b. \*omae niku jaki=joru ?

2SG 肉 焼く=PJR.NPST

「お前 (が) 肉 (を) 焼きやがるのか？」

c. aitsu niku jaki=joru.

3SG 肉 焼く=PJR.NPST

「あいつ (が) 肉 (を) 焼きやがる。」

(17a), (17b), (17c)は、YORU は、3 人称主語の文脈に限り、卑罵性を標示するということを示している。一方、近畿中央方言の TORU と TERU は、1 人称主語、2 人称主語の文脈にも生起する。(18)と(19)は、大阪府大阪市方言の話者による発話例である<sup>22</sup>。

(18) a. ore niku jai=toru.

1SG 肉 焼く=PROG.NPST

「俺 (が) 肉 (を) 焼いている。」

b. omae niku jai=toru ?

2SG 肉 焼く=PROG.NPST

「お前 (が) 肉 (を) 焼いているのか？」

c. aitsu niku jai=toru.

3SG 肉 焼く=PROG.NPST

「あいつ (が) 肉 (を) 焼いている。」

---

<sup>21</sup> 大阪府大阪市出身の高年層話者 3 名を対象に行ったインタビュー調査の結果に基づく。

<sup>22</sup> 大阪府大阪市出身の高年層話者 3 名を対象に行ったインタビュー調査の結果に基づく。

(19) a. ore niku jai=teru.

1SG 肉 焼く=PROG.NPST

「俺（が）肉（を）焼いている。」

b. omae niku jai=teru ?

2SG 肉 焼く=PROG.NPST

「お前（が）肉（を）焼いているのか？」

c. aitsu niku jai=teru.

3SG 肉 焼く=PROG.NPST

「あいつ（が）肉（を）焼いている。」

(18)と(19)は、TORU と TERU は、主語の人称に関わらず生起するというを示している。YORU が 3 人称の制限を受けていることから、近畿中央方言の YORU は、非アスペクト形式であるということが分かる。

前述の特徴に基づけば、近畿中央方言における YORU は、アスペクト形式から待遇形式へと文法化していると言える。本研究では、これを「待遇化」と呼ぶ。本研究では、近畿中央方言における YORU の文法化は、なぜ、アスペクトと関係のある事実確認や証拠性ではなく、アスペクトと関係のない卑罵性に向かって待遇化したのだろうかという問題を提起する。

## 2.2. ランキング仮説

本研究では、近畿中央方言における YORU の待遇化の動機について、次の仮説に基づいた説明を試みる。

(20) ランキング仮説

アスペクト形式の待遇化は、形式の機能重複と形式への評価を動機に生じる。

(20)は、アスペクト形式の待遇化は、前章の中国語と日本語のように、一方のアスペクト形式にある機能が、他方のアスペクト形式にもあることを動機に生じるという仮説である。また、アスペクト形式の待遇化は、話者の発話スタイルに基づいたアスペクト形式への評価を動機に生じるという仮説である。本研究では、これを「待遇価」と呼ぶ。

まず、表 2 に示すように、ある言語体系内において、機能重複のある形式が x, y, z のように複数存在する場合、各形式は、High-Low のような待遇価に基づいてランキングされていると仮定する。



表2 待遇価に基づく形式のランキング

待遇価	形式
High	x
	y
Low	z

表2より、形式 x, y, z が同じ意味を標示する場合、待遇的に、最もフォーマルな発話場面で使用される形式 x は High, 最もカジュアルな発話場面で使用される形式 z は Low, 中間で使用される形式 y は High と Low の間にランキングされる。次に、(21)に示すように、従来の研究成果に基づいて、形式 x には TERU, 形式 y には TORU, 形式 z には YORU を導入する。

- (21) a. TERU は標準語テイルの縮約形である。真田 (2007: 5)によれば、標準語形は、フォーマルな発話場面で使用される。この2点に基づいて、TERU を High の形式 x に導入する。
- b. TORU は非標準語である。井上 (1998: 154)と中井 (2012: 58)によれば、TORU にはぞんざい性 (軽卑) の意味がある。この2点に基づいて、TORU を TERU よりも Low, YORU よりも High の形式 y に導入する。
- c. YORU は非標準語である。井上 (1998: 153)と西尾 (2015: 85)によれば、YORU には卑罵の意味がある。この2点に基づいて、YORU を Low の形式 z に導入する。

また、複数のアスペクト形式の間に機能重複がある場合、待遇性を帯びないアスペクト形式と待遇性を帯びるアスペクト形式の間で、語用論的な対立が生じ得ると仮定する。本研究では、前者を「基本形式」、後者を「非基本形式」、話し手と聞き手の間で語用論的に解釈される待遇のことを「待遇解釈」と呼ぶ<sup>23</sup>。当該方言において、基本形式の数は必ず1形式であるとすれば、YORU, TORU, TERU のランキングと待遇解釈の関係は、表3のような階層を成す。

表3 アスペクト形式のランキングと待遇解釈の関係

待遇価	形式	方言 I	方言 II	方言 III
High	TERU	D	P	P
	TORU	R	D	P
Low	YORU	R	R	D

表3より、基本形式は D (default), 非基本形式のうち、ぞんざい性の待遇解釈がある形式は R

<sup>23</sup> 待遇解釈は、アスペクト形式の機能重複を前提に生じるため、あくまで二次的なものである。また、話し手と聞き手の間で解釈され得るという点で語用論的である。アスペクト形式自体に待遇機能はないという意味で、卑罵性などを標示する待遇形式の待遇機能とは性質が異なる。

(rude), 配慮性の待遇解釈がある形式は P (polite)である。本研究では, ポライトネス理論 (politeness theory)を参考に, カジュアルな発話場面における待遇解釈の内容を「ぞんざい性」, フォーマルな発話場面における待遇解釈の内容を「配慮性」と呼ぶ<sup>24</sup>。また, 前者の素性として[±rude], 後者の素性として[±polite]を立て, 分析を行う。なお, YORU, TORU, TERUのうち, いずれか1形式は, 各方言におけるDであるため, 西日本諸方言は, 論理的に, 方言I, 方言II, 方言IIIの3タイプに分類することができる。

本仮説は, 複数のアスペクト形式の間に機能重複がある場合, アスペクト形式のランキングに基づけば, Dと対立する非基本形式に生じる待遇解釈の内容を把握できるというものである。つまり, 当該方言におけるD[-rude, -polite]を基準として, Dよりも待遇価がLowの非基本形式にはR[+rude, -polite]の待遇解釈, Dよりも待遇価がHighの非基本形式にはP[-rude, +polite]の待遇解釈があるということである。本研究では, アスペクト形式の待遇化プロセスには, 前述のようなアスペクト形式のランキングに基づく待遇解釈が存在しているということをも提案する。なお, 本仮説は, 言語経済の原理 (Martinet 1962), アスペクト形式の文法化の動機 (井上 1998, 沈 2008, 工藤 2014), 方言話者の発話スタイル理論 (真田 2007)より着想を得ている<sup>25</sup>。

本仮説が妥当であれば, 待遇価がLowのアスペクト形式は, Rの待遇解釈を獲得した後, 卑罵性に向かって待遇化するということを提案できる。ここで, 近畿中央方言におけるYORUの文法化は, なぜ, アスペクトと関係のある事実確認や証拠性ではなく, アスペクトと関係のない卑罵性に向かって待遇化したのだろうかという問題に解答することができる。つまり, YORUは, アスペクト形式の段階で, 最も待遇価の低いLowにランキングされているため, 卑罵性への待遇化が生じるということである。本仮説は, 従来の研究において説明不十分であったアスペクト形式の文法化と待遇の関係を理論的に説明するものである。本研究は, 従来のYORUの待遇化プロセスに対して再考を求めるという意味で, 新たな視点を以て貢献する。

さらに, 本仮説が妥当であれば, アスペクト形式の待遇化は, TAMの階層構造とは異なる階層構造に基づいているという可能性を示すことができる。

---

<sup>24</sup> 話し手と聞き手が, 互いに良好な関係を保つために行う言語的配慮のことをポライトネスという。ポライトネスは, 特定の形式によって標示される敬意などの意味を指す場合もあれば, 話し手と聞き手の間で生じる配慮などの心的概念を指す場合もある。(cf. Brown & Levinson 1987)

<sup>25</sup> 方言話者は, 発話場面に応じて, 言語体系の切り替え (code switching)を行う。例えば, 方言話者は, カジュアルな場面 (Low)では方言を使用するが, フォーマルな場面 (High)では標準語を使用するというような発話スタイルを形成している。また, 方言と標準語の接触によって, 方言の影響を受けた標準語 (新方言)や標準語の影響を受けた方言 (ネオ方言)が生じ, 新たな発話スタイルが形成されることもある。(真田 2007: 1-4)

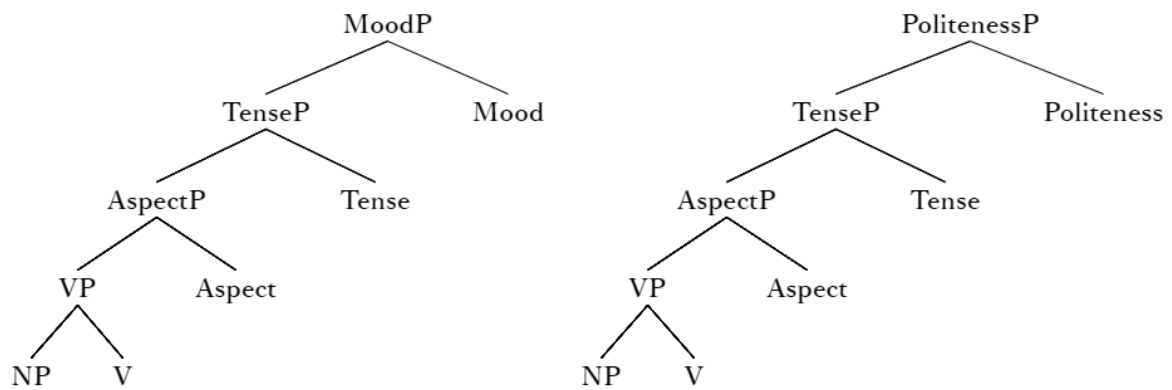


図3 TAMの階層構造とTAPの階層構造

図3より，一方のアスペクト形式の文法化は，中国語における事実確認や西日本諸方言における証拠性のように，TAMの階層構造に基づいてムード化するが，他方のアスペクト形式の文法化は，近畿中央方言における卑罵性のように，TAP (Tense, Aspect, Politeness)の階層構造に基づいて待遇化するということである<sup>26</sup>。

<sup>26</sup> 日本語には，敬語 (honorifics) という文法カテゴリーに基づいて，特定の形式が尊敬形式へと変化する敬語化が存在する。一方，卑罵性という文法カテゴリーは設けられていないが，本研究では，待遇性 (politeness) という文法カテゴリーを設けることで，敬語と同様，卑罵性を1つの文法カテゴリーとして扱う。(cf. Harada 1976)

### 第3章 研究方法

第3章では、本研究の目的を達成するための方法論を示す。

本研究の目的は、西日本諸方言における YORU, TORU, TERU のアスペクト機能と待遇解釈を分析し、アスペクト形式と待遇の関係を解明することである。本目的を達成するためには、西日本諸方言における YORU, TORU, TERU の用法を網羅的に記述するための方法論と本仮説の妥当性を検証するための方法論が必要である。

#### 3.1. データ分析の枠組み

本研究では、YORU, TORU, TERU のアスペクト機能を分析するための方法論として、2種類の事態を設定する。時間構造に基づいて動詞分類を行った金田一 (1950) と Vendler (1967) を参考にすれば、事態の時間構造は、継続的なものと瞬間的なものに大別することができる<sup>27</sup>。

まず、1種類目の事態として、図4に示すような4つの参照点と3つのアスペクトから構成した事態を設定する。本研究では、これを「事態 $\alpha$ 」と呼ぶ。

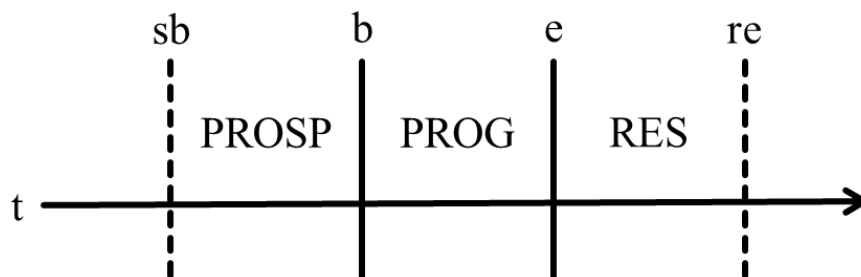


図4 事態 $\alpha$ の時間構造

図4より、時間は  $t$  (time), 事態の開始兆候点は  $sb$  (signal of beginning), 事態の開始点は  $b$  (beginning), 事態の終了点は  $e$  (ending), 事態の結果終了点は  $re$  (result ending) である。事態 $\alpha$ は、時間の経過に伴い、開始兆候点から開始点までの将然相、開始点から終了点までの進行相、終了点から結果終了点までの結果相を順行し、変化していく。例えば、「魚を食べる」という事態は、「食卓に着く >> 魚を口へ運び、咀嚼する >> 魚を食べ終え、骨が残る」というように変化していく。事態 $\alpha$ には、進行相があるため、動作や変化の過程が継続的であるという特徴がある。

次に、2種類目の事態として、図5に示すような3つの参照点と2つのアスペクトから構

<sup>27</sup> 金田一 (1950) の分類によれば、動詞は、次の4種類に分類されている。「ある」、「いる」などの状態動詞、「走る」、「食べる」などの継続動詞、「死ぬ」、「消える」などの瞬間動詞、「そびえる」、「似る」などの時間構造のない動詞である。Vendler (1967) の分類によれば、動詞は、次の4種類に分類されている。make, build などの達成動詞 (accomplishments), rain, read などの活動動詞 (activities), come, arrive などの到達動詞 (achievements), be, know などの状態動詞 (states) である。

成した事態を設定する。本研究では、これを「事態β」と呼ぶ。

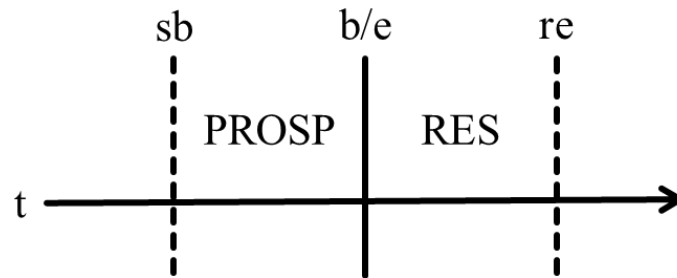


図5 事態βの時間構造

図5より、時間はt(time)、事態の開始兆候点はsb(signal of beginning)、事態の開始/終了点はb/e(beginning/ending)、事態の結果終了点はre(result ending)である。事態βは、時間の経過に伴い、開始兆候点から開始/終了点までの将然相、開始/終了点から結果終了点までの結果相を順行し、変化していく。例えば、「椅子に座る」という事態は、「椅子の前に立ち、膝を曲げる>>椅子にお尻が付き、姿勢が安定する」というように変化していく。事態βには、進行相がないため、動作や変化の過程が瞬間的であるという特徴がある。本研究では、このような2種類の事態をデータ分析の枠組みとして設定し、統一の基準に基づいて、西日本諸方言におけるYORU, TORU, TERUのアスペクト機能を分析する。

また、本研究では、時間副詞「もうすぐ」との共起関係に基づいて、将然相を未然的将然相(irrealis prospective)と既然的将然相(realistic prospective)の2つに下位分類しておく。前者は、「もうすぐ」が生起する将然相であり、完結相の意味に近い。後者は、「もうすぐ」が生起しない将然相であり、進行相の意味に近い。例えば、次に示すように、大阪府大阪市方言のYORUと岡山県岡山市方言のYORUは、いずれも将然相の文脈に生起するが、「もうすぐ」との共起関係に基づく相違がある。(22)は、大阪府大阪市方言の話者による発話例である<sup>28</sup>。

(22) a. taroo moosugu hasiri=joru.

太郎 もうすぐ 走る=I-PROSP.PJR.NPST

「太郎(は)もうすぐ、走りやがる。」

b. taroo hasiri=joru.

太郎 走る=R-PROSP.PJR.NPST

「太郎(は)走りやがる。」

(22a)と(22b)は、大阪府大阪市方言のYORUは、将然相の性質に関わらず生起するということを示している。つまり、大阪府大阪市方言には、未然的将然相と既然的将然相の区別がない

<sup>28</sup> 大阪府大阪市出身の高年層話者3名を対象に行ったインタビュー調査の結果に基づく。

ということである。一方、(23)は、岡山県岡山市の話者による発話例である<sup>29</sup>。

(23) a. \*taroo moosugu hasir=jooru.

太郎 もうすぐ 走る=R-PROSP.NPST

「太郎 (は) もうすぐ, 走る。」

b. taroo hasir=jooru.

太郎 走る=R-PROSP.NPST

「太郎 (は) 走ろうとしている。」

(23a)と(23b)は、岡山県岡山市方言の YORU は、既然的将然相に生起するということを示している。つまり、岡山県岡山市方言には、未然的将然相と既然的将然相の区別があるということである。

さらに、本研究では、次の前提に基づいて、アスペクト形式の機能重複の類型を想定しておく。

(24) アスペクトには、将然相 >> 進行相 >> 結果相という連続性がある。

- a. 将然相あるいは進行相あるいは結果相のような 1 つのアスペクト上における機能重複があり得る。
- b. 将然相と進行相あるいは進行相と結果相あるいは将然相と進行相と結果相のような連続的なアスペクト上における機能重複があり得る。
- c. 将然相と結果相のような非連続的なアスペクト上における機能重複はあり得ない。

(24a), (24b), (24c)では、YORU, TORU, TERU のような特定の形式や機能重複のある形式の数を考慮せず、機能重複なしを 0, 機能重複ありを 1 としてデータ分析の枠組みを設定する。表 4 に示すように、(24)の前提に基づけば、事態  $\alpha$  におけるアスペクト形式の機能重複の類型を想定しておくことができる。

表4 事態  $\alpha$  における機能重複の類型

A			B			C		
PROSP	PROG	RES	PROSP	PROG	RES	PROSP	PROG	RES
1	0	0	0	1	0	0	0	1

D			E			F		
PROSP	PROG	RES	PROSP	PROG	RES	PROSP	PROG	RES
1	1	0	0	1	1	1	1	1

<sup>29</sup> 岡山県岡山市出身の高年層話者 3 名を対象に行ったインタビュー調査の結果に基づく。

表 4 より、事態  $\alpha$  において、A, B, C は、複数のアスペクト形式に、将然相 (PROSP)あるいは進行相 (PROG)あるいは結果相 (RES)のような、いずれか 1 つのアスペクトを標示する機能がある場合に機能重複が生じるタイプを示している。D と E は、複数のアスペクト形式に、将然相と進行相あるいは進行相と結果相のような、連続する 2 つのアスペクトを標示する機能がある場合に機能重複が生じるタイプを示している。F は、複数のアスペクト形式に、将然相と進行相と結果相のような、連続する全てのアスペクトを標示する機能がある場合に機能重複が生じるタイプを示している。つまり、事態  $\alpha$  では、論理的に、6 タイプの機能重複が想定される。

同様に、表 5 に示すように、(24)の前提に基づけば、事態  $\beta$  におけるアスペクト形式の機能重複の類型を想定しておくことができる。

表5 事態  $\beta$  における機能重複の類型

A		B	
PROSP	RES	PROSP	RES
1	0	0	1

表 5 より、事態  $\beta$  において、A と B は、複数のアスペクト形式に、将然相 (PROSP)あるいは結果相 (RES)のような、いずれか 1 つのアスペクトを標示する機能がある場合に機能重複が生じるタイプを示している。つまり、事態  $\beta$  では、論理的に、2 タイプの機能重複が想定される。

本研究では、このようなアスペクト形式の機能重複の類型をデータ分析の枠組みとして設定し、統一の基準に基づいて、西日本諸方言のアスペクト体系における機能重複を分析する。

### 3.2. データ収集の枠組み

言語研究における伝統的なデータ収集の方法論として、現地調査 (field work)と情報提供者 (informant)へのインタビュー調査がある。文法に関する調査では、文脈において、文法的・非文法的を問う文法性判断テストが基本的であるため、データの質は重視されるが、データの量は重視されない傾向にある。また、使用に関する調査では、発話場面において、自然・不自然を問う容認性判断テストが基本的であるため、性格や生活環境のような個人差による影響を最小限に留める必要がある。本研究のインタビュー調査では、アスペクト形式の生起に関する文法性判断テストとアスペクト形式の使用に関する容認性判断テストを並行的に行った。

また、本研究では、標本調査の方法論に基づいて、方言 (母集団) を構成するインフォーマント (標本) を対象に、一定数以上のデータを収集することで、質的かつ量的に客観性の高い言語事実を提示する。図 6 に示すように、方言 X の全体像は、方言 X を母語とする各地域、各年齢層のインフォーマントによって特徴付けられる。

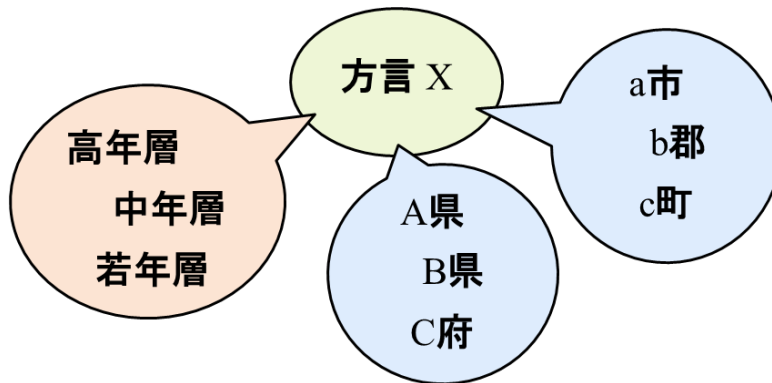


図6 方言 X の構成イメージ

図 6 より，例えば，大阪方言の全体像は，大阪市，八尾市，堺市などの各市を出身地とする高年層，中年層，若年層のインフォーマントによって特徴付けられる。当然，西日本諸方言の全体像は，大阪府，岡山県，高知県などの各府県を出身地とする高年層，中年層，若年層のインフォーマントによって特徴付けられる。この方法論を採用すれば，各地域という地理的バリエーションと各年齢層という時間的バリエーションによる方言差を網羅することができる。本研究では，このような標本調査の方法論をデータ収集の枠組みとして設定し，統一の基準に基づいて，西日本諸方言における方言データを収集する。なお，図 7 に示すように，本研究における調査は，18 府県の方言を対象に実施している。



図7 18 の調査実施府県

本研究におけるインフォーマントは，(25)の基準を満たす高年層（70 歳-），中年層（40-69 歳），若年層（18-39 歳-）の話者である。



- (25) a. 1-18 歳までを調査対象の地域内で生活した。  
b. 外住歴が合計 5 年未満である。

(25a)は言語形成期，(25b)は他言語からの影響を考慮した基準となっている。また，インタビュー調査では，各アスペクトと対応する事態を 40 例程度提示し，各事態における使用形式を複数回答させた。質問項目の一部を(26)に示す。

(26) a. 質問内容

教室に入ると，既に椅子に座っている A がいた。A が椅子に座っていることを表現する場合，どのような表現の仕方が可能か。

b. 選択肢

A が，座りよる / 座っとる / 座ってる / その他

(26)は，「A が座っている」という結果相を標示する場合，いずれの形式が使用可能あるいは使用不可能であるのかを，文法性に基づいて回答させるための質問項目である。また，インタビュー調査では，各発話場面における使用形式の容認性についても回答させた。質問項目の一部を(27)に示す。

(27) a. 質問内容

教室に入ると，既に椅子に座っている A がいた。一緒に教室に入った B に，A が椅子に座っていることを伝える場合，どのような表現の仕方が自然か。

b. 選択肢

A が，座りよる / 座っとる / 座ってる / その他

(27)は，(26)の文法性を前提に，聞き手 B を想定した場合，いずれの形式の使用が自然あるいは不自然であるのかを，容認性に基づいて回答させるための質問項目である。主語 A や聞き手 B には，インタビュー調査の状況に応じて様々なイメージを導入する<sup>30</sup>。本研究では，このような質問項目によるインタビュー調査をデータ収集の枠組みとして設定し，統一の基準に基づいて，西日本諸方言における方言データを収集する。調査の所要時間は，1 件につき約 2-3 時間，調査の実施期間は，2015-2022 年である。(cf. 鴨井 2020, 鴨井 2021, 鴨井 2022)

---

<sup>30</sup> イメージには，有生性 (animacy)に基づいて「友人」，「猫」，「銅像」，「雨」などを導入する場合もあれば，待遇に基づいて「先生」，「上司」，「後輩」，「客」などを導入する場合もある。

## 第4章 西日本諸方言のアスペクト体系

第4章では、前章の枠組みに基づいて収集した諸方言データより、西日本諸方言におけるアスペクト体系を分析する<sup>31</sup>。

本研究の分析は、YORU, TORU, TERU が、いずれのアスペクトを標示する場合に機能重複が生じるのかを明らかにすることを目的としている。次節より、目的達成に必要な方言データを中心に分析するが、本研究において収集した方言データは、研究課題である YORU, TORU, TERU のアスペクト機能と待遇解釈に限らず、諸アスペクト形式の形態的特徴やテンス、動詞類、人称、待遇形式などとの関係を網羅している。

本研究では、まず、先行研究の方言区画を参考に、第一段階のデータ収集を行い、方言区画による方言差を観察した<sup>32</sup>。次に、第一段階のデータ収集の結果に基づいて、方言差が観察されない方言区画を統合し、第二段階のデータ収集を行った。本研究では、第二段階のデータ収集の結果に基づいて、西日本諸方言のデータを提示する。各方言のインフォーマント数を表6に示す。

---

<sup>31</sup> 西日本諸方言は、YORU, TORU, TERU を中心としたアスペクト体系となっているが、和歌山方言は、=*jaru*, =*taaru*, =*teaaruru* などのアスペクト形式を中心としたアスペクト体系となっているため、特異的である。本研究では、議論の便宜上、これらのアスペクト形式を中心に使用する和歌山方言をデータ分析の対象外とする。しかし、和歌山方言のような個別方言特有のアスペクト形式を含めた総合的研究は、今後の課題である。

<sup>32</sup> 本研究では、方言区画によるアスペクト体系の相違を方言差として扱う。

表6 各方言のインフォーマント数

府県	方言	高年層	中年層	若年層	合計
大阪府	大阪方言	24	19	39	82
京都府	山城方言	5	13	17	35
	丹波方言	5	5	5	15
	丹後方言	7	5	5	17
滋賀県	滋賀方言	17	15	46	78
奈良県	北部方言	15	12	24	51
	南部方言	6	7	6	19
兵庫県	摂津播磨方言	11	12	16	39
	淡路方言	6	5	5	16
	但馬方言	6	4	7	17
	丹波方言	4	3	5	12
三重県	北部方言	17	13	18	48
	南部方言	10	10	9	29
岡山県	岡山方言	20	20	20	60
島根県	出雲隠岐方言	15	12	15	42
	石見方言	6	6	8	20
鳥取県	東部方言	12	10	15	37
	西伯耆方言	5	5	5	15
広島県	広島方言	17	24	14	55
山口県	山口方言	21	20	24	65
高知県	高知方言	16	14	20	50
徳島県	徳島方言	31	36	37	104
愛知県	愛知方言	16	27	47	90
岐阜県	飛騨方言	6	6	6	18
	美濃方言	8	10	11	29
長野県	北部方言	20	17	24	61
	南部方言	5	5	5	15
福井県	嶺南方言	8	8	11	27
	嶺北西部方言	7	9	17	33
	嶺北東部方言	7	8	8	23
合計		353	360	489	1202

## 4.1. 近畿地方の諸方言データ

4.1 節では、近畿地方の方言に所属する大阪方言、京都方言、滋賀方言、奈良方言、兵庫方言、三重方言のAspect体系を分析する。

### 4.1.1. 大阪方言のAspect体系

大阪方言は、摂津方言、河内方言、和泉方言の3つに区画されている。さらに、大阪方言は、各区画の下位分類を含めれば、摂津方言、三島方言、能勢方言、北・中河内方言、南河内方言、泉北方言、泉南方言の7つに区画されている。

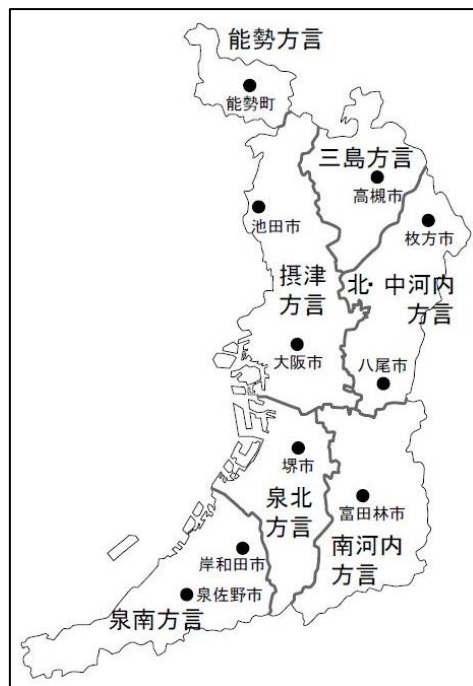


図8 大阪方言の区画 (野間 2014: 102)

大阪方言では、各方言区画による方言差は観察されなかったため、全ての方言区画を統合したデータを提示する。また、本節では、中年層と若年層におけるデータを割愛するが、大阪方言の各年齢層のデータに関しては、付録 1-21 に添付する。

大阪方言には、YORU, TORU, TERU の3形式が存在する。YORU が、将然相を標示するのに対して、TORU と TERU は、進行相と結果相を標示する。(28)と(29)は、事態  $\alpha$  における大阪方言の高年齢層話者による発話例である<sup>33</sup>。

<sup>33</sup> 提示する発話例に関して、1 段目は各Aspectと対応する事態内容、2 段目は形態素解析を行わない簡易の音韻表記、3 段目はグロス、4 段目は標準語訳である。

(28) (運動場に行くと、スタートラインに立ち、手首足首を回している太郎がいた。)

- a. taroo moosugu #hasiri=joru. / \*hasit=toru. / \*hasit=teru.  
 太郎 もうすぐ 走る=I-PROSP.PJR.NPST / 走る=PROG.NPST / 走る=PROG.NPST  
 「太郎 (は) もうすぐ、走る。」
- b. taroo #hasiri=joru. / \*hasit=toru. / \*hasit=teru.  
 太郎 走る=R-PROSP.PJR.NPST / 走る=PROG.NPST / 走る=PROG.NPST  
 「太郎 (は), 走ろうとしている。」

(28a)と(28b)は、YORU は、未然的将然相と既然的将然相を標示するというを示している。ただし、YORU は、卑罵性も同時に標示するため、純粋に将然相を標示することはできない。大阪方言の高年層話者が、純粋に将然相を標示する場合は、標準語と同様、動詞ル形を使用する。

(29) a. (運動場に行くと、走っている最中の太郎がいた。)

- taroo ima \*hasiri=joru. / hasit=toru. / hasit=teru.  
 太郎 今 走る=PROSP.PJR.NPST / 走る=PROG.NPST / 走る=PROG.NPST  
 「太郎 (は) 今、走っている。」
- b. (運動場に行くと、100m 走を走り終えて、休憩している太郎がいた。)
- taroo moo \*hasiri=joru. / hasit=toru. / hasit=teru.  
 太郎 もう 走る=PROSP.PJR.NPST / 走る=RES.NPST / 走る=RES.NPST  
 「太郎 (は) もう、走り終えている。」

(29a)と(29b)は、TORU と TERU は、進行相と結果相を標示するというを示している。また、YORU は、将然相に限り、卑罵性を標示するということが分かる。各事態におけるデータを、表 7、表 8、表 9、表 10 に示す<sup>34</sup>。

表7 事態  $\alpha$  の未然的将然相におけるデーター大阪方言・高年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、ユニフォームに着替え、走者レーンに向かっているAがいた。(Aはもうすぐ走る)	19			5	24
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、冷蔵庫から肉を取り出し、フライパンを温めているAがいた。(Aはもうすぐ肉を焼く)	15			9	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、空が曇り始めていて薄暗かった。(もうすぐ雨が降る)	16			8	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、机の上に資料を広げているAがいた。(Aはもうすぐ作戦を考える)	13			11	

<sup>34</sup> Verb 列は事態を構成する動詞、Property 列は事態の性質、Situation 列は各アスペクトと対応する事態内容を示している。また、info 列はインフォーマントの人数、YORU 列、TORU 列、TERU 列、n/a (その他) 列は、n 名のインフォーマントが、複数回答した結果の合計を示している。なお、事態の性質に関しては、工藤 (1995: 277-279)の動詞分類を参考にしている。

表8 事態  $\alpha$  の既然的将然相におけるデーター大阪方言・高年層ー

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くとき、スタートラインに立ち、手首足首を回しているAがいた。(Aは走る直前)	19			5	24
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くとき、フライパンに油をひき、トレーから肉を取り出しているAがいた。(Aは肉を焼く直前)	15			9	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、空がどんより曇っていて、ジメジメしていた。(雨が降る直前)	16		1	8	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、机の上の資料に目を通し始めているAがいた。(Aは作戦を考える直前)	13		3	11	

表9 事態  $\alpha$  の進行相におけるデーター大阪方言・高年層ー

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Progressive	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くとき、走っている最中のAがいた。(Aは走っている最中)	2	22	24		24
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くとき、肉を焼いている最中のAがいた。(Aは肉を焼いている最中)	1	21	24		
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、雨が降っている最中だった。(雨が降っている最中)	1	22	24		
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、作戦を考えている最中のAがいた。(Aは作戦を考えている最中)	1	21	24		

表10 事態  $\alpha$  の結果相におけるデーター大阪方言・高年層ー

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くとき、100m走を終えて休憩しているAがいた。(Aは既に走った後)		15	15	8	24
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くとき、焼き終えた肉を皿へ移しているAがいた。(Aは既に肉を焼いた後)		13	16	8	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、地面が濡れ、水たまりができていた。(雨は既に降った後)		13	14	10	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、作戦会議を終えて資料を片付けているAがいた。(Aは既に作戦を考えた後)	1	14	15	8	

表7, 表8, 表9, 表10より, アスペクト形式の機能重複は, TORUとTERUが, 進行相と結果相を標示する場合に生じているということが分かる。

また, (30)と(31)は, 事態  $\beta$  における大阪方言の高年層話者による発話例である。

(30) (教室に入ると, 荷物を置いて, 椅子を引き出している太郎がいた。)

a. taroo moosugu #suwari=joru. / \*suwat=toru. / \*suwat=teru.

太郎 もうすぐ 座る=I-PROSP.PJR.NPST / 座る=RES.NPST / 座る=RES.NPST

「太郎 (は) もうすぐ, 座る。」

b. taroo #suwari=joru. / \*suwat=toru. / \*suwat=teru.

太郎 座る=R-PROSP.PJR.NPST / 座る=RES.NPST / 座る=RES.NPST

「太郎 (は) 座ろうとしている。」

(30a)と(30b)は, YORUは, 未然的将然相と既然的将然相を標示するというを示している。

ただし、YORU は、卑罵性も同時に標示するため、純粋に将然相を標示することはできない。大阪方言の高年層話者が、純粋に将然相を標示する場合は、標準語と同様、動詞ル形を使用する。

(31) (教室に入ると、既に席に着いている太郎がいた。)

taroo moo \*suwari=joru. / suwat=toru. / suwat=teru.

太郎 もう 座る=PROSP.PJR.NPST / 座る=RES.NPST / 座る=RES.NPST

「太郎 (は) もう、座っている。」

(31)は、TORU と TERU は、結果相を標示するというを示している。また、YORU は、将然相に限り、卑罵性を標示ということが分かる。各事態におけるデータを、表 11、表 12、表 13 に示す。

表11 事態βの未然的将然相におけるデーター大阪方言・高年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 席に向かっているAがいた。(Aはもうすぐ座る)	15			14	24
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, 軽く痙攣しているネズミがいた。(ネズミはもうすぐ死ぬ)	15			14	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの燃料が少なくなっていた。(もうすぐ火が消える)	13			11	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, 火を消すためストーブに近付いているAがいた。(Aはもうすぐ火を消す)	16			8	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていた。(もうすぐ晴れる)	14			10	

表12 事態βの既然的将然相におけるデーター大阪方言・高年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 荷物を置いて, 椅子を引き出ししているAがいた。(Aは座る直前)	15			14	24
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ひどく痙攣しているネズミがいた。(ネズミは死ぬ直前)	15			14	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの火がとても弱くなっていて, 消えていっている様子だった。(火が消える直前)	13			11	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープのスイッチに手を伸ばしているAがいた。(Aは火を消す直前)	16	1	1	8	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていて雨雲の隙間から太陽が見え始めていた。(晴れる直前)	14			10	

表13 事態βの結果相におけるデーター大阪方言・高年層一

Verb	Property	[β] Situation: Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 既に席に着いてるAがいた。(Aは既に座った後)	2	21	23	1	24
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ネズミが1匹死んでいた。(ネズミは既に死んだ後)	2	21	24		
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, 点いているはずのストーブの火が消えていた。(火は消えた後)	1	19	24		
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストーブの火を消し終えて換気をしているAがいた。(Aは既に火を消した後)	2	19	21	3	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雲ひとつない青空になっていた。(既に晴れた後)		21	24		

表 11, 表 12, 表 13 より, アスペクト形式の機能重複は, TORU と TERU が, 結果相を標示する場合に生じているということが分かる。

大阪方言では, 各年齢層による方言差は観察されなかったため, 中年層と若年層における発話例を割愛する。

#### 4.1.2. 京都方言のアスペクト体系

京都方言は, 山城方言, 丹波方言, 丹後方言の3つに区画されている。



図9 京都方言の区画 (松丸 2014: 90)

京都方言では, 各方言区画による方言差が観察されたため, 山城方言, 丹波方言, 丹後方言の3区画に従ってデータを提示する。また, 本節では, 中年層と若年層におけるデータを割愛するが, 京都方言の各年齢層のデータに関しては, 付録 22-84 に添付する。



第一に、山城方言には、YORU, TORU, TERU の3形式が存在する。YORU が、将然相を標示するのに対して、TORU と TERU は、進行相と結果相を標示する。(32)と(33)は、事態  $\alpha$  における山城方言の高年層話者による発話例である。

(32) (運動場に行くと、スタートラインに立ち、手首足首を回している太郎がいた。)

- a. taroo moosugu #hasiri=joru. / \*hasit=toru. / \*hasit=teru.  
 太郎 もうすぐ 走る=I-PROSP.PJR.NPST / 走る=PROG.NPST / 走る=PROG.NPST  
 「太郎 (は) もうすぐ、走る。」
- b. taroo #hasiri=joru. / \*hasit=toru. / \*hasit=teru.  
 太郎 走る=R-PROSP.PJR.NPST / 走る=PROG.NPST / 走る=PROG.NPST  
 「太郎 (は)、走ろうとしている。」

(32a)と(32b)は、YORU は、未然的将然相と既然的将然相を標示するということを示している。ただし、YORU は、卑罵性も同時に標示するため、純粋に将然相を標示することはできない。山城方言の高年層話者が、純粋に将然相を標示する場合は、標準語と同様、動詞ル形を使用する。

(33) a. (運動場に行くと、走っている最中の太郎がいた。)

- taroo ima \*hasiri=joru. / hasit=toru. / hasit=teru.  
 太郎 今 走る=PROSP.PJR.NPST / 走る=PROG.NPST / 走る=PROG.NPST  
 「太郎 (は) 今、走っている。」
- b. (運動場に行くと、100m 走を走り終えて、休憩している太郎がいた。)
- taroo moo \*hasiri=joru. / ?hasit=toru. / hasit=teru.  
 太郎 もう 走る=PROSP.PJR.NPST / 走る=RES.NPST / 走る=RES.NPST  
 「太郎 (は) もう、走り終えている。」

(33a)と(33b)は、TORU は進行相、TERU は、進行相と結果相を標示するということを示している。また、YORU は、将然相に限り、卑罵性を標示するということが分かる。各事態におけるデータを、表 14、表 15、表 16、表 17 に示す。

表14 事態  $\alpha$  の未然的将然相におけるデーター山城方言・高年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、ユニフォームに着替え、走者レーンに向かっているAがいた。(Aはもうすぐ走る)	2			3	5
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、冷蔵庫から肉を取り出し、フライパンを温めているAがいた。(Aはもうすぐ肉を焼く)	2			3	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、空が曇り始めていて薄暗かった。(もうすぐ雨が降る)				5	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、机の上に資料を広げているAがいた。(Aはもうすぐ作戦を考える)	2			3	

表15 事態  $\alpha$  の既然的将然相におけるデーター山城方言・高年層ー

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くとき、スタートラインに立ち、手首足首を回しているAがいた。(Aは走る直前)	2			3	5
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くとき、フライパンに油をひき、トレーから肉を取り出しているAがいた。(Aは肉を焼く直前)	2			3	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、空がどんより曇っていて、ジメジメしていた。(雨が降る直前)				5	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、机の上の資料に目を通し始めているAがいた。(Aは作戦を考える直前)	2			3	

表16 事態  $\alpha$  の進行相におけるデーター山城方言・高年層ー

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Progressive	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くとき、走っている最中のAがいた。(Aは走っている最中)		2	5		5
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くとき、肉を焼いている最中のAがいた。(Aは肉を焼いている最中)		2	5		
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、雨が降っている最中だった。(雨が降っている最中)		2	5		
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、作戦を考えている最中のAがいた。(Aは作戦を考えている最中)		2	5		

表17 事態  $\alpha$  の結果相におけるデーター山城方言・高年層ー

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くとき、100m走を終えて休憩しているAがいた。(Aは既に走った後)			2	3	5
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くとき、焼き終えた肉を皿へ移しているAがいた。(Aは既に肉を焼いた後)				5	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、地面が濡れ、水たまりができていた。(雨は既に降った後)				5	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、作戦会議を終えて資料を片付けているAがいた。(Aは既に作戦を考えた後)			2	3	

表14, 表15, 表16, 表17より, アスペクト形式の機能重複は, TORUとTERUが, 進行相を標示する場合に生じているということが分かる。

また, (34)と(35)は, 事態  $\beta$  における山城方言の高年層話者による発話例である。

(34) (教室に入ると, 荷物を置いて, 椅子を引き出している太郎がいた。)

a. taroo moosugu #suwari=joru. / \*suwat=toru. / \*suwat=teru.

太郎 もうすぐ 座る=I-PROSP.PJR.NPST / 座る=RES.NPST / 座る=RES.NPST

「太郎 (は) もうすぐ, 座る。」

b. taroo #suwari=joru. / \*suwat=toru. / \*suwat=teru.

太郎 座る=R-PROSP.PJR.NPST / 座る=RES.NPST / 座る=RES.NPST

「太郎 (は) 座ろうとしている。」

(34a)と(34b)は, YORUは, 未然的将然相と既然的将然相を標示するということを示している。

ただし、YORU は、卑罵性も同時に標示するため、純粋に将然相を標示することはできない。山城方言の高年層話者が、純粋に将然相を標示する場合は、標準語と同様、動詞ル形を使用する。

(35) (教室に入ると、既に席に着いている太郎がいた。)

taroo moo \*suwari=joru. / suwat=toru. / suwat=teru.

太郎 もう 座る=PROSP.PJR.NPST / 座る=RES.NPST / 座る=RES.NPST

「太郎 (は) もう、座っている。」

(35)は、TORU と TERU は、結果相を標示するというを示している。また、YORU は、将然相に限り、卑罵性を標示ということが分かる。各事態におけるデータを、表 18, 表 19, 表 20 に示す。

表18 事態βの未然的将然相におけるデーター山城方言・高年層一

Verb	Property	[β] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 席に向かっているAがいた。(Aはもうすぐ座る)	3			2	5
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, 軽く痙攣しているネズミがいた。(ネズミはもうすぐ死ぬ)	2			3	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの燃料が少なくなっていた。(もうすぐ火が消える)	2			3	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, 火を消すためストーブに近付いているAがいた。(Aはもうすぐ火を消す)	2			3	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていた。(もうすぐ晴れる)				5	

表19 事態βの既然的将然相におけるデーター山城方言・高年層一

Verb	Property	[β] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 荷物を置いて, 椅子を引き出ししているAがいた。(Aは座る直前)	3			2	5
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ひどく痙攣しているネズミがいた。(ネズミは死ぬ直前)	2			3	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの火がとても弱くなっていて, 消えていっている様子だった。(火が消える直前)	2			3	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープのスイッチに手を伸ばしているAがいた。(Aは火を消す直前)	2			3	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていて雨雲の隙間から太陽が見え始めていた。(晴れる直前)				5	

表20 事態βの結果相におけるデーター山城方言・高年層ー

Verb	Property	[β] Situation · Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 既に席に着いてるAがいた。(Aは既に座った後)		2	5		5
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ネズミが1匹死んでいた。(ネズミは既に死んだ後)			5		
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, 点いているはずのストーブの火が消えていた。(火は消えた後)		2	5		
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストーブの火を消し終えて換気をしているAがいた。(Aは既に火を消した後)		2	5		
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雲ひとつない青空になっていた。(既に晴れた後)			5		

表 18, 表 19, 表 20 より, アスペクト形式の機能重複は, TORU と TERU が, 結果相を標示する場合に生じているということが分かる。

次に, (36)と(37)は, 事態αにおける山城方言の中年層話者による発話例である。

(36) (運動場に行くと, スタートラインに立ち, 手首足首を回している太郎がいた。)

a. taroo moosugu #hasiri=joru. / \*hasit=toru. / \*hasit=teru.

太郎 もうすぐ 走る=I-PROSP.PJR.NPST / 走る=PROG.NPST / 走る=PROG.NPST

「太郎 (は) もうすぐ, 走る。」

b. taroo #hasiri=joru. / \*hasit=toru. / \*hasit=teru.

太郎 走る=R-PROSP.PJR.NPST / 走る=PROG.NPST / 走る=PROG.NPST

「太郎 (は), 走ろうとしている。」

(36a)と(36b)は, YORU は, 未然的将然相と既然的将然相を標示するというを示している。ただし, YORU は, 卑罵性も同時に標示するため, 純粋に将然相を標示することはできない。山城方言の中年層話者が, 純粋に将然相を標示する場合は, 標準語と同様, 動詞ル形を使用する。

(37) a. (運動場に行くと, 走っている最中の太郎がいた。)

taroo ima \*hasiri=joru. / hasit=toru. / hasit=teru.

太郎 今 走る=PROSP.PJR.NPST / 走る=PROG.NPST / 走る=PROG.NPST

「太郎 (は) 今, 走っている。」

b. (運動場に行くと, 100m 走を走り終えて, 休憩している太郎がいた。)

taroo moo \*hasiri=joru. / hasit=toru. / hasit=teru.

太郎 もう 走る=PROSP.PJR.NPST / 走る=RES.NPST / 走る=RES.NPST

「太郎 (は) もう, 走り終えている。」

(37a)と(37b)は, TORU と TERU は, 進行相と結果相を標示するというを示している。また, YORU は, 将然相に限り, 卑罵性を標示するということが分かる。(36)と(37)より, アス

ペクト形式の機能重複は、TORU と TERU が、進行相と結果相を標示する場合に生じているということが分かる。

また、(38)と(39)は、事態  $\beta$  における山城方言の中年層話者による発話例である。

(38) (教室に入ると、荷物を置いて、椅子を引き出している太郎がいた。)

a. taroo moosugu #suwari=joru. / \*suwat=toru. / \*suwat=teru.

太郎 もうすぐ 座る=I-PROSP.PJR.NPST / 座る=RES.NPST / 座る=RES.NPST

「太郎 (は) もうすぐ、座る。」

b. taroo #suwari=joru. / \*suwat=toru. / \*suwat=teru.

太郎 座る=R-PROSP.PJR.NPST / 座る=RES.NPST / 座る=RES.NPST

「太郎 (は) 座ろうとしている。」

(38a)と(38b)は、YORU は、未然的将然相と既然的将然相を標示するということを示している。ただし、YORU は、卑罵性も同時に標示するため、純粋に将然相を標示することはできない。山城方言の中年層話者が、純粋に将然相を標示する場合は、標準語と同様、動詞ル形を使用する。

(39) (教室に入ると、既に席に着いている太郎がいた。)

taroo moo \*suwari=joru. / suwat=toru. / suwat=teru.

太郎 もう 座る=PROSP.PJR.NPST / 座る=RES.NPST / 座る=RES.NPST

「太郎 (は) もう、座っている。」

(39)は、TORU と TERU は、結果相を標示するということを示している。また、YORU は、将然相に限り、卑罵性を標示するということが分かる。(38)と(39)より、アスペクト形式の機能重複は、TORU と TERU が、結果相を標示する場合に生じているということが分かる。

山城方言では、中年層と若年層の間に方言差は観察されなかったため、若年層における発話例を割愛する。

第二に、丹波方言には、YORU と TORU の 2 形式が存在する。YORU が、将然相を標示するのに対して、TORU は、進行相と結果相を標示する。(40)と(41)は、事態  $\alpha$  における丹波方言の高年層話者による発話例である。

(40) (運動場に行くと、スタートラインに立ち、手首足首を回している太郎がいた。)

- a. taroo moosugu \*hasiri=joru. / \*hasit=toru.  
 太郎 もうすぐ 走る=R-PROSP.NPST / 走る=PROG.NPST  
 「太郎 (は) もうすぐ、走る。」
- b. taroo hasiri=joru. / \*hasit=toru.  
 太郎 走る=R-PROSP.NPST / 走る=PROG.NPST  
 「太郎 (は)、走ろうとしている。」

(40a)と(40b)は、YORU は、既然的将然相を標示するということを示している。

(41) a. (運動場に行くと、走っている最中の太郎がいた。)

- taroo ima \*hasiri=joru. / hasit=toru.  
 太郎 今 走る=PROSP.NPST / 走る=PROG.NPST  
 「太郎 (は) 今、走っている。」
- b. (運動場に行くと、100m 走を走り終えて、休憩している太郎がいた。)
- taroo moo \*hasiri=joru. / \*hasit=toru.  
 太郎 もう 走る=PROSP.NPST / 走る=PROG.NPST  
 「太郎 (は) もう、走り終えている。」

(41a)と(41b)は、TORU は、進行相を標示するということを示している。各事態におけるデータを、表 21, 表 22, 表 23, 表 24 に示す。

表21 事態  $\alpha$  の未然的将然相におけるデーター丹波方言・高年層ー

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、ユニフォームに着替え、走者レーンに向かっているAがいた。(Aはもうすぐ走る)				5	5
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、冷蔵庫から肉を取り出し、フライパンを温めているAがいた。(Aはもうすぐ肉を焼く)				5	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、空が曇り始めていて薄暗かった。(もうすぐ雨が降る)				5	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、机の上に資料を広げているAがいた。(Aはもうすぐ作戦を考える)				5	

表22 事態  $\alpha$  の既然的将然相におけるデーター丹波方言・高年層ー

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、スタートラインに立ち、手首足首を回しているAがいた。(Aは走る直前)	5				5
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、フライパンに油をひき、トレーから肉を取り出しているAがいた。(Aは肉を焼く直前)	5				
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、空がどんより曇っていて、ジメジメしていた。(雨が降る直前)	5				
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、机の上の資料に目を通し始めているAがいた。(Aは作戦を考える直前)	5				

表23 事態  $\alpha$  の進行相におけるデーター丹波方言・高年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Progressive	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、走っている最中のAがいた。(Aは走っている最中)		5			5
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、肉を焼いている最中のAがいた。(Aは肉を焼いている最中)		5			
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、雨が降っている最中だった。(雨が降っている最中)		5			
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、作戦を考えている最中のAがいた。(Aは作戦を考えている最中)		5			

表24 事態  $\alpha$  の結果相におけるデーター丹波方言・高年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、100m走を終えて休憩しているAがいた。(Aは既に走った後)				5	5
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、焼き終えた肉を皿へ移しているAがいた。(Aは既に肉を焼いた後)				5	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、地面が濡れ、水たまりができていた。(雨は既に降った後)				5	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、作戦会議を終えて資料を片付けているAがいた。(Aは既に作戦を考えた後)		5			

表 21, 表 22, 表 23, 表 24 より, アスペクト形式の機能重複は, 生じていないということが分かる。

また, (42)と(43)は, 事態  $\beta$  における丹波方言の高年層話者による発話例である。

(42) (教室に入ると, 荷物を置いて, 椅子を引き出している太郎がいた。)

a. taroo moosugu \*suwari=joru. / \*suwat=toru.

太郎 もうすぐ 座る=R-PROSP.NPST / 座る=RES.NPST

「太郎 (は) もうすぐ, 座る。」

b. taroo suwari=joru. / \*suwat=toru.

太郎 座る=R-PROSP.NPST / 座る=RES.NPST

「太郎 (は) 座ろうとしている。」

(42a)と(42b)は, YORU は, 既然的将然相を標示するということを示している。

(43) (教室に入ると, 既に席に着いている太郎がいた。)

taroo moo \*suwari=joru. / suwat=toru.

太郎 もう 座る=PROSP.NPST / 座る=RES.NPST

「太郎 (は) もう, 座っている。」

(43)は, TORU は, 結果相を標示するということを示している。各事態におけるデータを, 表 25, 表 26, 表 27 に示す。



表25 事態βの未然的将然相におけるデーター丹波方言・高年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 席に向かっているAがいた。(Aはもうすぐ座る)				5	5
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, 軽く痙攣しているネズミがいた。(ネズミはもうすぐ死ぬ)				5	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの燃料が少なくなっていた。(もうすぐ火が消える)				5	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, 火を消すためストーブに近付いているAがいた。(Aはもうすぐ火を消す)				5	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていた。(もうすぐ晴れる)				5	

表26 事態βの既然的将然相におけるデーター丹波方言・高年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 荷物を置いて, 椅子を引き出ししているAがいた。(Aは座る直前)	5				5
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ひどく痙攣しているネズミがいた。(ネズミは死ぬ直前)	5				
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの火がとても弱くなっていて, 消えていっている様子だった。(火が消える直前)	5				
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープのスイッチに手を伸ばしているAがいた。(Aは火を消す直前)	5				
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていて雨雲の隙間から太陽が見え始めていた。(晴れる直前)	5				

表27 事態βの結果相におけるデーター丹波方言・高年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 既に席に着いているAがいた。(Aは既に座った後)		5			5
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ネズミが1匹死んでいた。(ネズミは既に死んだ後)		5			
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, 点いているはずのストーブの火が消えていた。(火は消えた後)		5			
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープの火を消し終えて換気をしているAがいた。(Aは既に火を消した後)		5			
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雲ひとつない青空になっていた。(既に晴れた後)		5			

表 25, 表 26, 表 27 より, アスペクト形式の機能重複は, 生じていないということが分かる。

丹波方言では, 高年層と中年層の間の方言差は観察されなかったため, 中年層における発話例を割愛する。

次に, (44)と(45)は, 事態αにおける丹波方言の若年層話者による発話例である。



(44) (運動場に行くと、スタートラインに立ち、手首足首を回している太郎がいた。)

- a. taroo moosugu \*hasiri=joru. / \*hasit=toru.  
太郎 もうすぐ 走る=R-PROSP.NPST / 走る=PROG.NPST  
「太郎 (は) もうすぐ, 走る。」
- b. taroo hasiri=joru. / \*hasit=toru.  
太郎 走る=R-PROSP.NPST / 走る=PROG.NPST  
「太郎 (は), 走ろうとしている。」

(44a)と(44b)は、YORUは、既然的将然相を標示するということを示している。

(45) a. (運動場に行くと、走っている最中の太郎がいた。)

- taroo ima \*hasiri=joru. / hasit=toru.  
太郎 今 走る=PROSP.NPST / 走る=PROG.NPST  
「太郎 (は) 今, 走っている。」
- b. (運動場に行くと、100m 走を走り終えて、休憩している太郎がいた。)
- taroo moo \*hasiri=joru. / hasit=toru.  
太郎 もう 走る=PROSP.NPST / 走る=RES.NPST  
「太郎 (は) もう, 走り終えている。」

(45a)と(45b)は、TORUは、進行相と結果相を標示するということを示している。(44)と(45)より、アスペクト形式の機能重複は、生じていないということが分かる。

また、(46)と(47)は、事態βにおける丹波方言の若年層話者による発話例である。

(46) (教室に入ると、荷物を置いて、椅子を引き出している太郎がいた。)

- a. taroo moosugu \*suwari=joru. / \*suwat=toru.  
太郎 もうすぐ 座る=R-PROSP.NPST / 座る=RES.NPST  
「太郎 (は) もうすぐ, 座る。」
- b. taroo suwari=joru. / \*suwat=toru.  
太郎 座る=R-PROSP.NPST / 座る=RES.NPST  
「太郎 (は) 座ろうとしている。」

(46a)と(46b)は、YORUは、既然的将然相を標示するということを示している。

(47) (教室に入ると、既に席に着いている太郎がいた。)

- taroo moo \*suwari=joru. / suwat=toru.  
太郎 もう 座る=PROSP.NPST / 座る=RES.NPST  
「太郎 (は) もう, 座っている。」

(47)は、TORU は、結果相を標示するというを示している。(46)と(47)より、アスペクト形式の機能重複は、生じていないということが分かる。

第三に、丹後方言には、TORU の 1 形式が存在する。TORU は、進行相と結果相を標示する。(48)と(49)は、事態  $\alpha$  における丹後方言の高年層話者による発話例である。

(48) (運動場に行くと、スタートラインに立ち、手首足首を回している太郎がいた。)

a. taroo moosugu \*hasit=toru.

太郎 もうすぐ 走る=PROG.NPST

「太郎 (は) もうすぐ、走る。」

b. taroo \*hasit=toru.

太郎 走る=PROG.NPST

「太郎 (は)、走ろうとしている。」

(48a)と(48b)は、TORU は、将然相を標示しないということを示している。

(49) a. (運動場に行くと、走っている最中の太郎がいた。)

taroo ima hasit=toru.

太郎 今 走る=PROG.NPST

「太郎 (は) 今、走っている。」

b. (運動場に行くと、100m 走を走り終えて、休憩している太郎がいた。)

taroo moo hasit=toru.

太郎 もう 走る=RES.NPST

「太郎 (は) もう、走り終えている。」

(49a)と(49b)は、TORU は、進行相と結果相を標示するというを示している。各事態におけるデータを、表 28, 表 29, 表 30, 表 31 に示す。

表28 事態  $\alpha$  の未然的将然相におけるデーター丹後方言・高年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、ユニフォームに着替え、走者レーンに向かっているAがいた。(Aはもうすぐ走る)				7	7
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、冷蔵庫から肉を取り出し、フライパンを温めているAがいた。(Aはもうすぐ肉を焼く)				7	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、空が曇り始めていて薄暗かった。(もうすぐ雨が降る)				7	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、机の上に資料を広げているAがいた。(Aはもうすぐ作戦を考える)				7	

表29 事態  $\alpha$  の既然的將然相におけるデーター丹後方言・高年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くとき、スタートラインに立ち、手首足首を回しているAがいた。(Aは走る直前)				7	7
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くとき、フライパンに油をひき、トレーから肉を取り出しているAがいた。(Aは肉を焼く直前)				7	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、空がどんより曇っていて、ジメジメしていた。(雨が降る直前)				7	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、机の上の資料に目を通し始めているAがいた。(Aは作戦を考える直前)				7	

表30 事態  $\alpha$  の進行相におけるデーター丹後方言・高年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Progressive	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くとき、走っている最中のAがいた。(Aは走っている最中)		7			7
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くとき、肉を焼いている最中のAがいた。(Aは肉を焼いている最中)		7			
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、雨が降っている最中だった。(雨が降っている最中)		7			
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、作戦を考えている最中のAがいた。(Aは作戦を考えている最中)		7			

表31 事態  $\alpha$  の結果相におけるデーター丹後方言・高年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くとき、100m走を終えて休憩しているAがいた。(Aは既に走った後)		7			7
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くとき、焼き終えた肉を皿へ移しているAがいた。(Aは既に肉を焼いた後)		7			
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、地面が濡れ、水たまりができていた。(雨は既に降った後)		7			
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、作戦会議を終えて資料を片付けているAがいた。(Aは既に作戦を考えた後)		7			

表 28, 表 29, 表 30, 表 31 より, アスペクト形式の機能重複は, 生じていないということが分かる。

また, (50)と(51)は, 事態  $\beta$  における丹後方言の高年層話者による発話例である。

(50) (教室に入ると, 荷物を置いて, 椅子を引き出している太郎がいた。)

a. taroo moosugu \*suwat=toru.

太郎 もうすぐ 座る=RES.NPST

「太郎 (は) もうすぐ, 座る。」

b. taroo \*suwat=toru.

太郎 座る=RES.NPST

「太郎 (は) 座ろうとしている。」

(50a)と(50b)は, TORU は, 將然相を標示しないということを示している。

(51) (教室に入ると、既に席に着いている太郎がいた。)

taroo moo suwat=toru.

太郎 もう 座る=RES.NPST

「太郎 (は) もう、座っている。」

(51)は、TORU は、結果相を標示するというを示している。各事態におけるデータを、表 32, 表 33, 表 34 に示す。

表32 事態 β の未然的将然相におけるデーター丹波方言・高年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 席に向かっているAがいた。(Aはもうすぐ座る)				7	7
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, 軽く痙攣しているネズミがいた。(ネズミはもうすぐ死ぬ)				7	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの燃料が少なくなっていた。(もうすぐ火が消える)				7	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, 火を消すためストーブに近付いているAがいた。(Aはもうすぐ火を消す)				7	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていた。(もうすぐ晴れる)				7	

表33 事態 β の既然的将然相におけるデーター丹波方言・高年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 荷物を置いて, 椅子を引き出しているAがいた。(Aは座る直前)				7	7
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ひどく痙攣しているネズミがいた。(ネズミは死ぬ直前)				7	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの火がとても弱くなっていて, 消えていっている様子だった。(火が消える直前)				7	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープのスイッチに手を伸ばしているAがいた。(Aは火を消す直前)				7	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていて雨雲の隙間から太陽が見え始めていた。(晴れる直前)				7	

表34 事態 β の結果相におけるデーター丹波方言・高年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 既に席に着いているAがいた。(Aは既に座った後)		7			7
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ネズミが1匹死んでいた。(ネズミは既に死んだ後)		7			
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, 点いているはずのストーブの火が消えていた。(火は消えた後)		7			
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープの火を消し終えて換気をしているAがいた。(Aは既に火を消した後)		7			
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雲ひとつない青空になっていた。(既に晴れた後)		7			

表 32, 表 33, 表 34 より, アスペクト形式の機能重複は, 生じていないということが分かる。

丹後方言では, 各年齢層による方言差は観察されなかったため, 中年層と若年層における

発話例を割愛する。

### 4.1.3. 滋賀方言のアスペクト体系

滋賀方言は、湖南方言、湖西方言、湖北方言、湖東方言、甲賀方言の5つに区画されている。

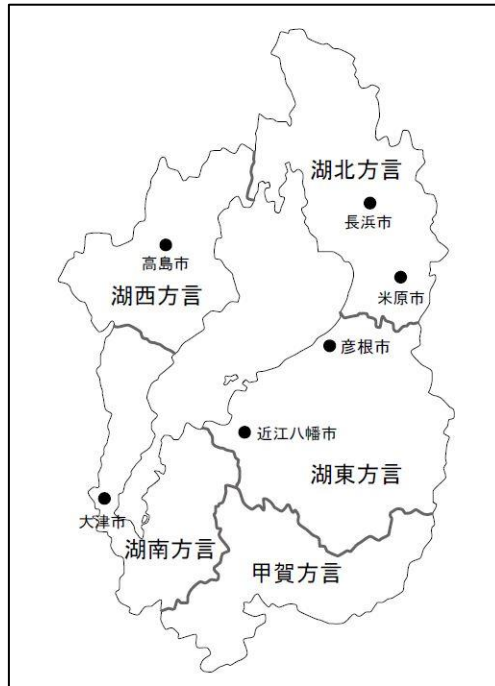


図10 滋賀方言の区画 (酒井 2014: 82)

滋賀方言では、各方言区画による方言差は観察されなかったため、全ての方言区画を統合したデータを提示する。また、本節では、中年層と若年層におけるデータを割愛するが、滋賀方言の各年齢層のデータに関しては、付録 85-105 に添付する。

滋賀方言には、YORU, TORU, TERU の3形式が存在する。YORU が、将然相を標示するのに対して、TORU と TERU は、進行相と結果相を標示する。(52)と(53)は、事態  $\alpha$  における滋賀方言の高年層話者による発話例である。

(52) (運動場に行くと、スタートラインに立ち、手首足首を回している太郎がいた。)

a. taroo moosugu #hasiri=joru. / \*hasit=toru. / \*hasit=teru.

太郎 もうすぐ 走る=I-PROSP.PJR.NPST / 走る=PROG.NPST / 走る=PROG.NPST

「太郎 (は) もうすぐ、走る。」

b. taroo #hasiri=joru. / \*hasit=toru. / \*hasit=teru.

太郎 走る=R-PROSP.PJR.NPST / 走る=PROG.NPST / 走る=PROG.NPST

「太郎 (は)、走ろうとしている。」

(52a)と(52b)は、YORU は、未然的将然相と既然的将然相を標示するというを示している。ただし、YORU は、卑罵性も同時に標示するため、純粹に将然相を標示することはできない。滋賀方言の高年層話者が、純粹に将然相を標示する場合は、標準語と同様、動詞ル形を使用する。

(53) a. (運動場に行くと、走っている最中の太郎がいた。)

taroo ima \*hasiri=joru. / hasit=toru. / hasit=teru.

太郎 今 走る=PROSP.PJR.NPST / 走る=PROG.NPST / 走る=PROG.NPST

「太郎 (は) 今、走っている。」

b. (運動場に行くと、100m 走を走り終えて、休憩している太郎がいた。)

taroo moo \*hasiri=joru. / hasit=toru. / hasit=teru.

太郎 もう 走る=PROSP.PJR.NPST / 走る=RES.NPST / 走る=RES.NPST

「太郎 (は) もう、走り終えている。」

(53a)と(53b)は、TORU と TERU は、進行相と結果相を標示するというを示している。また、YORU は、将然相に限り、卑罵性を標示するということが分かる。各事態におけるデータを、表 35、表 36、表 37、表 38 に示す。

表35 事態  $\alpha$  の未然的将然相におけるデーター滋賀方言・高年層ー

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、ユニフォームに着替え、走者レーンに向かっているAがいた。(Aはもうすぐ走る)	11			6	17
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、冷蔵庫から肉を取り出し、フライパンを温めているAがいた。(Aはもうすぐ肉を焼く)	11			6	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、空が曇り始めていて薄暗かった。(もうすぐ雨が降る)	11			6	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、机の上に資料を広げているAがいた。(Aはもうすぐ作戦を考える)	11			6	

表36 事態  $\alpha$  の既然的将然相におけるデーター滋賀方言・高年層ー

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、スタートラインに立ち、手首足首を回しているAがいた。(Aは走る直前)	11			6	17
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、フライパンに油をひき、トレーから肉を取り出しているAがいた。(Aは肉を焼く直前)	11			6	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、空がどんより曇っていて、ジメジメしていた。(雨が降る直前)	11			6	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、机の上の資料に目を通し始めているAがいた。(Aは作戦を考える直前)	11			6	

表37 事態  $\alpha$  の進行相におけるデーター滋賀方言・高年層ー

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Progressive	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、走っている最中のAがいた。(Aは走っている最中)		15	17		17
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、肉を焼いている最中のAがいた。(Aは肉を焼いている最中)		15	17		
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、雨が降っている最中だった。(雨が降っている最中)		15	17		
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、作戦を考えている最中のAがいた。(Aは作戦を考えている最中)		15	17		

表38 事態  $\alpha$  の結果相におけるデーター滋賀方言・高年層ー

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、100m走を終えて休憩しているAがいた。(Aは既に走った後)		13	15	2	17
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、焼き終えた肉を皿へ移しているAがいた。(Aは既に肉を焼いた後)		6	6	11	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、地面が濡れ、水たまりができていた。(雨は既に降った後)		6	6	11	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、作戦会議を終えて資料を片付けているAがいた。(Aは既に作戦を考えした後)		14	15	2	

表 35, 表 36, 表 37, 表 38 より, アスペクト形式の機能重複は, TORU と TERU が, 進行相と結果相を標示する場合に生じているということが分かる。

また, (54)と(55)は, 事態  $\beta$  における滋賀方言の高年層話者による発話例である。

(54) (教室に入ると, 荷物を置いて, 椅子を引き出している太郎がいた。)

a. taroo moosugu #suwari=joru. / \*suwat=toru. / \*suwat=teru.

太郎 もうすぐ 座る=I-PROSP.PJR.NPST / 座る=RES.NPST / 座る=RES.NPST

「太郎 (は) もうすぐ, 座る。」

b. taroo #suwari=joru. / \*suwat=toru. / \*suwat=teru.

太郎 座る=R-PROSP.PJR.NPST / 座る=RES.NPST / 座る=RES.NPST

「太郎 (は) 座ろうとしている。」

(54a)と(54b)は, YORU は, 未然的将然相と既然的将然相を標示するということを示している。ただし, YORU は, 卑罵性も同時に標示するため, 純粋に将然相を標示することはできない。滋賀方言の高年層話者が, 純粋に将然相を標示する場合は, 標準語と同様, 動詞ル形を使用する。

(55) (教室に入ると, 既に席に着いている太郎がいた。)

taroo moo \*suwari=joru. / suwat=toru. / suwat=teru.

太郎 もう 座る=PROSP.PJR.NPST / 座る=RES.NPST / 座る=RES.NPST

「太郎 (は) もう, 座っている。」



(55)は、TORU と TERU は、結果相を標示するというを示している。また、YORU は、将来相に限り、卑罵性を標示するということが分かる。各事態におけるデータを、表 39, 表 40, 表 41 に示す。

表39 事態βの未然的将来相におけるデーター滋賀方言・高年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 席に向かっているAがいた。(Aはもうすぐ座る)	11			6	17
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, 軽く痙攣しているネズミがいた。(ネズミはもうすぐ死ぬ)	11			6	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの燃料が少なくなっていた。(もうすぐ火が消える)	11			6	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, 火を消すためストーブに近付いているAがいた。(Aはもうすぐ火を消す)	11			6	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていた。(もうすぐ晴れる)	11			6	

表40 事態βの既然的将来相におけるデーター滋賀方言・高年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 荷物を置いて, 椅子を引き出しているAがいた。(Aは座る直前)	11			6	17
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ひどく痙攣しているネズミがいた。(ネズミは死ぬ直前)	11			6	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの火がとても弱くなっていて, 消えていっている様子だった。(火が消える直前)	11			6	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープのスイッチに手を伸ばしているAがいた。(Aは火を消す直前)	11			6	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていて雨雲の隙間から太陽が見え始めていた。(晴れる直前)	11			6	

表41 事態βの結果相におけるデーター滋賀方言・高年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 既に席に着いてるAがいた。(Aは既に座った後)		15	17		17
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ネズミが1匹死んでいた。(ネズミは既に死んだ後)		17	17		
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, 点いているはずのストーブの火が消えていた。(火は消えた後)		15	17		
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープの火を消し終えて換気をしているAがいた。(Aは既に火を消した後)		11	13	4	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雲ひとつない青空になっていた。(既に晴れた後)		15	17		

表 39, 表 40, 表 41 より, アスペクト形式の機能重複は, TORU と TERU が, 結果相を標示する場合に生じているということが分かる。

滋賀方言では, 各年齢層による方言差は観察されなかったため, 中年層と若年層における発話例を割愛する。



#### 4.1.4. 奈良方言のアスペクト体系

奈良方言は、北部方言と南部方言の2つに区画されている。さらに、奈良方言は、各区画の下位分類を含めれば、北中和方言、南和方言、十津川方言、北山方言、大塔・天川方言の5つに区画されている。

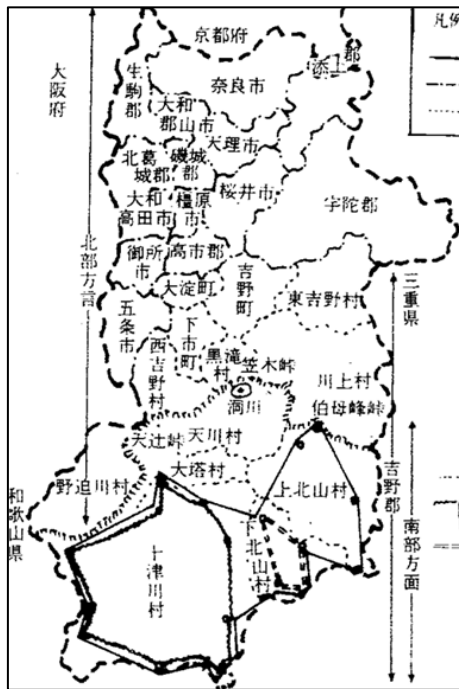


図11 奈良方言の区画 (西宮 1982: 117-124)

奈良方言では、北中和方言と南和方言の間、十津川方言、北山方言、大塔・天川方言の間に方言差は観察されなかったため、方言差が観察された北部方言（北中和方言、南和方言）と南部方言（十津川方言、北山方言、大塔・天川方言）の2区画に従ってデータを提示する。また、本節では、中年層と若年層におけるデータを割愛するが、奈良方言の各年齢層のデータに関しては、付録 127-147 に添付する。

第一に、北部方言には、YORU, TORU, TERU の3形式が存在する。YORU が、将然相を標示するのに対して、TORU と TERU は、進行相と結果相を標示する。(56)と(57)は、事態  $\alpha$  における北部方言の高年層話者による発話例である。

(56) (運動場に行くと、スタートラインに立ち、手首足首を回している太郎がいた。)

- a. taroo moosugu #hasiri=joru. / \*hasit=toru. / \*hasit=teru.  
 太郎 もうすぐ 走る=I-PROSP.PJR.NPST / 走る=PROG.NPST / 走る=PROG.NPST  
 「太郎 (は) もうすぐ, 走る。」
- b. taroo #hasiri=joru. / \*hasit=toru. / \*hasit=teru.  
 太郎 走る=R-PROSP.PJR.NPST / 走る=PROG.NPST / 走る=PROG.NPST  
 「太郎 (は), 走ろうとしている。」

(56a)と(56b)は、YORU は、未然的将然相と既然的将然相を標示するというを示している。ただし、YORU は、卑罵性も同時に標示するため、純粋に将然相を標示することはできない。北部方言の高年層話者が、純粋に将然相を標示する場合は、標準語と同様、動詞ル形を使用する。

(57) a. (運動場に行くと、走っている最中の太郎がいた。)

- taroo ima \*hasiri=joru. / hasit=toru. / hasit=teru.  
 太郎 今 走る=PROSP.PJR.NPST / 走る=PROG.NPST / 走る=PROG.NPST  
 「太郎 (は) 今, 走っている。」
- b. (運動場に行くと、100m 走を走り終えて、休憩している太郎がいた。)
- taroo moo \*hasiri=joru. / ?hasit=toru. / hasit=teru.  
 太郎 もう 走る=PROSP.PJR.NPST / 走る=RES.NPST / 走る=RES.NPST  
 「太郎 (は) もう, 走り終えている。」

(57a)と(57b)は、TORU は進行相、TERU は、進行相と結果相を標示するというを示している。また、YORU は、将然相に限り、卑罵性を標示するということが分かる。各事態におけるデータを、表 42, 表 43, 表 44, 表 45 に示す。

表42 事態 α の未然的将然相におけるデーター北部方言・高年層一

Verb	Property	[α] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、ユニフォームに着替え、走者レーンに向かっているAがいた。(Aはもうすぐ走る)	13			2	15
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、冷蔵庫から肉を取り出し、フライパンを温めているAがいた。(Aはもうすぐ肉を焼く)	3			12	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、空が曇り始めていて薄暗かった。(もうすぐ雨が降る)	7			8	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、机の上に資料を広げているAがいた。(Aはもうすぐ作戦を考える)	5			10	

表43 事態  $\alpha$  の既然的将然相におけるデーター北部方言・高年層ー

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くとき、スタートラインに立ち、手首足首を回しているAがいた。(Aは走る直前)	13			2	15
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くとき、フライパンに油をひき、トレーから肉を取り出しているAがいた。(Aは肉を焼く直前)	3			12	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、空がどんより曇っていて、ジメジメしていた。(雨が降る直前)	7			8	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、机の上の資料に目を通し始めているAがいた。(Aは作戦を考える直前)	5			10	

表44 事態  $\alpha$  の進行相におけるデーター北部方言・高年層ー

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Progressive	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くとき、走っている最中のAがいた。(Aは走っている最中)		13	15		15
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くとき、肉を焼いている最中のAがいた。(Aは肉を焼いている最中)		13	15		
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、雨が降っている最中だった。(雨が降っている最中)		7	15		
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、作戦を考えている最中のAがいた。(Aは作戦を考えている最中)		8	15		

表45 事態  $\alpha$  の結果相におけるデーター北部方言・高年層ー

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くとき、100m走を終えて休憩しているAがいた。(Aは既に走った後)		2	2	13	15
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くとき、焼き終えた肉を皿へ移しているAがいた。(Aは既に肉を焼いた後)		2	2	13	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、地面が濡れ、水たまりができていた。(雨は既に降った後)		2		13	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、作戦会議を終えて資料を片付けているAがいた。(Aは既に作戦を考えた後)		2	4	11	

表 42, 表 43, 表 44, 表 45 より, アスペクト形式の機能重複は, TORU と TERU が, 進行相を標示する場合に生じているということが分かる。

また, (58)と(59)は, 事態  $\beta$  における北部方言の高年層話者による発話例である。

(58) (教室に入ると, 荷物を置いて, 椅子を引き出している太郎がいた。)

a. taroo moosugu #suwari=joru. / \*suwat=toru. / \*suwat=teru.

太郎 もうすぐ 座る=I-PROSP.PJR.NPST / 座る=RES.NPST / 座る=RES.NPST

「太郎 (は) もうすぐ, 座る。」

b. taroo #suwari=joru. / \*suwat=toru. / \*suwat=teru.

太郎 座る=R-PROSP.PJR.NPST / 座る=RES.NPST / 座る=RES.NPST

「太郎 (は) 座ろうとしている。」

(58a)と(58b)は, YORU は, 未然的将然相と既然的将然相を標示するということを示している。

ただし、YORU は、卑罵性も同時に標示するため、純粋に将然相を標示することはできない。北部方言の高年層話者が、純粋に将然相を標示する場合は、標準語と同様、動詞ル形を使用する。

(59) (教室に入ると、既に席に着いている太郎がいた。)

taroo moo \*suwari=joru. / suwat=toru. / suwat=teru.

太郎 もう 座る=PROSP.PJR.NPST / 座る=RES.NPST / 座る=RES.NPST

「太郎 (は) もう、座っている。」

(59)は、TORU と TERU は、結果相を標示するというを示している。また、YORU は、将然相に限り、卑罵性を標示ということが分かる。各事態におけるデータを、表 46、表 47、表 48 に示す。

表46 事態βの未然的将然相におけるデーター北部方言・高年層一

Verb	Property	[β] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 席に向かっているAがいた。(Aはもうすぐ座る)	14			1	15
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, 軽く痙攣しているネズミがいた。(ネズミはもうすぐ死ぬ)	14			1	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの燃料が少なくなっていた。(もうすぐ火が消える)	8			7	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, 火を消すためストーブに近付いているAがいた。(Aはもうすぐ火を消す)	8			7	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていた。(もうすぐ晴れる)	8			7	

表47 事態βの既然的将然相におけるデーター北部方言・高年層一

Verb	Property	[β] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 荷物を置いて, 椅子を引き出ししているAがいた。(Aは座る直前)	14			1	15
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ひどく痙攣しているネズミがいた。(ネズミは死ぬ直前)	14			1	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの火がとても弱くなっていて, 消えていっている様子だった。(火が消える直前)	8			7	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープのスイッチに手を伸ばしているAがいた。(Aは火を消す直前)	8			7	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていて雨雲の隙間から太陽が見え始めていた。(晴れる直前)	8			7	

表48 事態βの結果相におけるデーター北部方言・高年層ー

Verb	Property	[β] Situation · Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 既に席に着いてるAがいた。(Aは既に座った後)		14	15		15
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ネズミが1匹死んでいた。(ネズミは既に死んだ後)		13	14	1	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, 点いているはずのストーブの火が消えていた。(火は消えた後)		8	15		
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストーブの火を消し終えて換気をしているAがいた。(Aは既に火を消した後)		9	9	6	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雲ひとつない青空になっていた。(既に晴れた後)		8	15		

表 46, 表 47, 表 48 より, アスペクト形式の機能重複は, TORU と TERU が, 結果相を標示する場合に生じているということが分かる。

次に, (60)と(61)は, 事態αにおける北部方言の中年層話者による発話例である。

(60) (運動場に行くと, スタートラインに立ち, 手首足首を回している太郎がいた。)

a. taroo moosugu #hasiri=joru. / \*hasit=toru. / \*hasit=teru.

太郎 もうすぐ 走る=I-PROSP.PJR.NPST / 走る=PROG.NPST / 走る=PROG.NPST

「太郎 (は) もうすぐ, 走る。」

b. taroo #hasiri=joru. / \*hasit=toru. / \*hasit=teru.

太郎 走る=R-PROSP.PJR.NPST / 走る=PROG.NPST / 走る=PROG.NPST

「太郎 (は), 走ろうとしている。」

(60a)と(60b)は, YORU は, 未然的将然相と既然的将然相を標示するというを示している。ただし, YORU は, 卑罵性も同時に標示するため, 純粋に将然相を標示することはできない。北部方言の中年層話者が, 純粋に将然相を標示する場合は, 標準語と同様, 動詞ル形を使用する。

(61) a. (運動場に行くと, 走っている最中の太郎がいた。)

taroo ima \*hasiri=joru. / hasit=toru. / hasit=teru.

太郎 今 走る=PROSP.PJR.NPST / 走る=PROG.NPST / 走る=PROG.NPST

「太郎 (は) 今, 走っている。」

b. (運動場に行くと, 100m 走を走り終えて, 休憩している太郎がいた。)

taroo moo \*hasiri=joru. / hasit=toru. / hasit=teru.

太郎 もう 走る=PROSP.PJR.NPST / 走る=RES.NPST / 走る=RES.NPST

「太郎 (は) もう, 走り終えている。」

(61a)と(61b)は, TORU と TERU は, 進行相と結果相を標示するというを示している。また, YORU は, 将然相に限り, 卑罵性を標示するということが分かる。(60)と(61)より, アス

ペクト形式の機能重複は、TORU と TERU が、進行相と結果相を標示する場合に生じているということが分かる。

また、(62)と(63)は、事態  $\beta$  における北部方言の中年層話者による発話例である。

(62) (教室に入ると、荷物を置いて、椅子を引き出している太郎がいた。)

a. taroo moosugu #suwari=joru. / \*suwat=toru. / \*suwat=teru.

太郎 もうすぐ 座る=I-PROSP.PJR.NPST / 座る=RES.NPST / 座る=RES.NPST

「太郎 (は) もうすぐ、座る。」

b. taroo #suwari=joru. / \*suwat=toru. / \*suwat=teru.

太郎 座る=R-PROSP.PJR.NPST / 座る=RES.NPST / 座る=RES.NPST

「太郎 (は) 座ろうとしている。」

(62a)と(62b)は、YORU は、未然的将然相と既然的将然相を標示するということを示している。ただし、YORU は、卑罵性も同時に標示するため、純粋に将然相を標示することはできない。北部方言の中年層話者が、純粋に将然相を標示する場合は、標準語と同様、動詞ル形を使用する。

(63) (教室に入ると、既に席に着いている太郎がいた。)

taroo moo \*suwari=joru. / suwat=toru. / suwat=teru.

太郎 もう 座る=PROSP.PJR.NPST / 座る=RES.NPST / 座る=RES.NPST

「太郎 (は) もう、座っている。」

(63)は、TORU と TERU は、結果相を標示するということを示している。また、YORU は、将然相に限り、卑罵性を標示するということが分かる。(62)と(63)より、アスペクト形式の機能重複は、TORU と TERU が、結果相を標示する場合に生じているということが分かる。

北部方言では、中年層と若年層の間に方言差は観察されなかったため、若年層における発話例を割愛する。

第二に、南部方言には、YORU と TORU の 2 形式が存在する。YORU が、将然相と進行相を標示するのに対して、TORU は、進行相と結果相を標示する。(64)と(65)は、事態  $\alpha$  における南部方言の高年層話者による発話例である。

(64) (運動場に行くと、スタートラインに立ち、手首足首を回している太郎がいた。)

- a. taroo moosugu \*hasir=jooru. / \*hasit=toru.  
 太郎 もうすぐ 走る=PROG.NPST / 走る=PROG.NPST  
 「太郎 (は) もうすぐ、走る。」
- b. taroo \*hasir=jooru. / \*hasit=toru.  
 太郎 走る=PROG.NPST / 走る=PROG.NPST  
 「太郎 (は)、走ろうとしている。」

(64a)と(64b)は、YORU と TORU は、将然相を標示しないということを示している。

(65) a. (運動場に行くと、走っている最中の太郎がいた。)

- taroo ima hasir=jooru. / hasit=toru.  
 太郎 今 走る=PROG.NPST / 走る=PROG.NPST  
 「太郎 (は) 今、走っている。」
- b. (運動場に行くと、100m 走を走り終えて、休憩している太郎がいた。)
- taroo moo \*hasir=jooru. / ?hasit=toru.  
 太郎 もう 走る=PROG.NPST / 走る=RES.NPST  
 「太郎 (は) もう、走り終えている。」

(65a)と(65b)は、YORU と TORU は、進行相を標示するということを示している。各事態におけるデータを、表 49、表 50、表 51、表 52 に示す。

表49 事態  $\alpha$  の未然的将然相におけるデーター南部方言・高年層ー

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、ユニフォームに着替え、走者レーンに向かっているAがいた。(Aはもうすぐ走る)				6	6
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、冷蔵庫から肉を取り出し、フライパンを温めているAがいた。(Aはもうすぐ肉を焼く)				6	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、空が曇り始めていて薄暗かった。(もうすぐ雨が降る)				6	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、机の上に資料を広げているAがいた。(Aはもうすぐ作戦を考える)				6	

表50 事態  $\alpha$  の既然的将然相におけるデーター南部方言・高年層ー

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、スタートラインに立ち、手首足首を回しているAがいた。(Aは走る直前)				6	6
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、フライパンに油をひき、トレーから肉を取り出しているAがいた。(Aは肉を焼く直前)				6	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、空がどんより曇っていて、ジメジメしていた。(雨が降る直前)				6	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、机の上の資料に目を通し始めているAがいた。(Aは作戦を考える直前)				6	

表51 事態  $\alpha$  の進行相におけるデーター南部方言・高年層ー

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Progressive	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、走っている最中のAがいた。(Aは走っている最中)	6	4			6
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、肉を焼いている最中のAがいた。(Aは肉を焼いている最中)	6	4			
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、雨が降っている最中だった。(雨が降っている最中)	6	4			
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、作戦を考えている最中のAがいた。(Aは作戦を考えている最中)	6	4			

表52 事態  $\alpha$  の結果相におけるデーター南部方言・高年層ー

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、100m走を終えて休憩しているAがいた。(Aは既に走った後)		1		5	6
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、焼き終えた肉を皿へ移しているAがいた。(Aは既に肉を焼いた後)				6	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、地面が濡れ、水たまりができていた。(雨は既に降った後)		2		4	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、作戦会議を終えて資料を片付けているAがいた。(Aは既に作戦考えた後)		3		3	

表 49, 表 50, 表 51, 表 52 より, アスペクト形式の機能重複は, YORU と TORU が, 進行相を標示する場合に生じているということが分かる。

また, (66)と(67)は, 事態  $\beta$  における南部方言の高年層話者による発話例である。

(66) (教室に入ると, 荷物を置いて, 椅子を引き出している太郎がいた。)

a. taroo moosugu \*suwar=jooru. / \*suwat=toru.

太郎 もうすぐ 座る=R-PROSP.NPST / 座る=RES.NPST

「太郎 (は) もうすぐ, 座る。」

b. taroo suwar=jooru. / \*suwat=toru.

太郎 座る=R-PROSP.NPST / 座る=RES.NPST

「太郎 (は) 座ろうとしている。」

(66a)と(66b)は, YORU は, 既然的将然相を標示するということを示している。

(67) (教室に入ると, 既に席に着いている太郎がいた。)

taroo moo \*suwar=jooru. / suwat=toru.

太郎 もう 座る=R-PROSP.NPST / 座る=RES.NPST

「太郎 (は) もう, 座っている。」

(67)は, TORU は, 結果相を標示するということを示している。各事態におけるデータを, 表 53, 表 54, 表 55 に示す。



表53 事態βの未然的将然相におけるデーター南部方言・高年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 席に向かっているAがいた。(Aはもうすぐ座る)				6	6
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, 軽く痙攣しているネズミがいた。(ネズミはもうすぐ死ぬ)				6	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの燃料が少なくなっていた。(もうすぐ火が消える)				6	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, 火を消すためストーブに近付いているAがいた。(Aはもうすぐ火を消す)				6	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていた。(もうすぐ晴れる)				6	

表54 事態βの既然的将然相におけるデーター南部方言・高年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 荷物を置いて, 椅子を引き出ししているAがいた。(Aは座る直前)	6				6
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ひどく痙攣しているネズミがいた。(ネズミは死ぬ直前)	4			2	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの火がとても弱くなっていて, 消えていっている様子だった。(火が消える直前)	6				
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープのスイッチに手を伸ばしているAがいた。(Aは火を消す直前)	6				
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていて雨雲の隙間から太陽が見え始めていた。(晴れる直前)	6				

表55 事態βの結果相におけるデーター南部方言・高年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 既に席に着いているAがいた。(Aは既に座った後)	3	6			6
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ネズミが1匹死んでいた。(ネズミは既に死んだ後)		6			
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, 点いているはずのストーブの火が消えていた。(火は消えた後)		6			
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープの火を消し終えて換気をしているAがいた。(Aは既に火を消した後)		4		2	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雲ひとつない青空になっていた。(既に晴れた後)		6			

表 53, 表 54, 表 55 より, アスペクト形式の機能重複は, 生じていないということが分かる。

次に, (68)と(69)は, 事態αにおける南部方言の中年層話者による発話例である。

(68) (運動場に行くと, スタートラインに立ち, 手首足首を回している太郎がいた。)

a. taroo moosugu \*hasir=jooru. / \*hasit=toru.

太郎 もうすぐ 走る=PROG.NPST / 走る=PROG.NPST

「太郎 (は) もうすぐ, 走る。」

b. taroo \*hasir=jooru. / \*hasit=toru.

太郎 走る=PROG.NPST / 走る=PROG.NPST

「太郎 (は), 走ろうとしている。」

(68a)と(68b)は、YORU と TORU は、将然相を標示しないということを示している。

(69) a. (運動場に行くと、走っている最中の太郎がいた。)

taroo ima hasir=jooru. / hasit=toru.

太郎 今 走る=PROG.NPST / 走る=PROG.NPST

「太郎 (は) 今、走っている。」

b. (運動場に行くと、100m 走を走り終えて、休憩している太郎がいた。)

taroo moo \*hasir=jooru. / hasit=toru.

太郎 もう 走る=PROG.NPST / 走る=PROG.NPST

「太郎 (は) もう、走り終えている。」

(69a)と(69b)は、YORU は進行相、TORU は、進行相と結果相を標示するというを示している。(68)と(69)より、アスペクト形式の機能重複は、YORU と TORU が、進行相を標示する場合に生じているということが分かる。

また、(70)と(71)は、事態  $\beta$  における南部方言の中年層話者による発話例である。

(70) (教室に入ると、荷物を置いて、椅子を引き出している太郎がいた。)

a. taroo moosugu \*suwar=jooru. / \*suwat=toru.

太郎 もうすぐ 座る=R-PROSP.NPST / 座る=RES.NPST

「太郎 (は) もうすぐ、座る。」

b. taroo suwar=jooru. / \*suwat=toru.

太郎 座る=R-PROSP.NPST / 座る=RES.NPST

「太郎 (は) 座ろうとしている。」

(70a)と(70b)は、YORU は、既然的将然相を標示するというを示している。

(71) (教室に入ると、既に席に着いている太郎がいた。)

taroo moo \*suwar=jooru. / suwat=toru.

太郎 もう 座る=R-PROSP.NPST / 座る=RES.NPST

「太郎 (は) もう、座っている。」

(71)は、TORU は、結果相を標示するというを示している。(70)と(71)より、アスペクト形式の機能重複は、生じていないということが分かる。

南部方言では、中年層と若年層の間の方言差は観察されなかったため、若年層における発話例を割愛する。

#### 4.1.5. 兵庫方言のアスペクト体系

兵庫方言は、摂津方言、播磨方言、淡路方言、但馬方言、丹波方言の5つに区画されている。



図12 兵庫方言の区画 (酒井 2017: 97)

兵庫方言では、摂津方言と播磨方言の間に方言差は観察されなかったため、方言差が観察された摂津播磨方言、淡路方言、但馬方言、丹波方言の4区画に従ってデータを提示する。また、本節では、中年層と若年層におけるデータを割愛するが、兵庫方言の各年齢層のデータに関しては、付録148-231に添付する。

第一に、摂津播磨方言には、YORUとTORUの2形式が存在する。YORUが、将然相と進行相を標示するのに対して、TORUは、進行相と結果相を標示する。また、YORUには、=jooと=joruの2音形が存在するが、=joruは、卑罵性を標示する場合がある<sup>35</sup>。(72)と(73)は、事態 $\alpha$ における摂津播磨方言の高年齢層話者による発話例である。

<sup>35</sup> TORUにも、=tooと=toruの2音形が存在するが、機能による相違は観察されないため、発話例の表記を=tooに統合する。

(72) (運動場に行くと、スタートラインに立ち、手首足首を回している太郎がいた。)

- a. taroo moosugu \*hasiri=joo. / #hasiri=joru. / \*hasit=too.  
 太郎 もうすぐ 走る=R-PROSP.NPST / 走る=I-PROSP.PJR.NPST / 走る=PROG.NPST  
 「太郎 (は) もうすぐ、走る。」
- b. taroo hasiri=joo. / #hasiri=joru. / \*hasit=too.  
 太郎 走る=R-PROSP.NPST / 走る=R-PROSP.PJR.NPST / 走る=PROG.NPST  
 「太郎 (は)、走ろうとしている。」

(72a)と(72b)は、=joo は既然的将然相、=joru は将然相を標示するというを示している。ただし、=joru は、卑罵性も同時に標示する場合があるため、純粋に将然相を標示することはできない。摂津播磨方言の高年層話者が、純粋に将然相を標示する場合は、=joo もしくは、標準語と同様、動詞ル形を使用する<sup>36</sup>。

(73) a. (運動場に行くと、走っている最中の太郎がいた。)

- taroo ima hasiri=joo. / \*hasiri=joru. / hasit=too.  
 太郎 今 走る=PROG.NPST / 走る=PROSP.PJR.NPST / 走る=PROG.NPST  
 「太郎 (は) 今、走っている。」
- b. (運動場に行くと、100m 走を走り終えて、休憩している太郎がいた。)
- taroo moo \*hasiri=joo. / \*hasiri=joru. / hasit=too.  
 太郎 もう 走る=PROG.NPST / 走る=PROSP.PJR.NPST / 走る=RES.NPST  
 「太郎 (は) もう、走り終えている。」

(73a)と(73b)は、YORU は進行相、TORU は、進行相と結果相を標示するというを示している。各事態におけるデータを、表 56、表 57、表 58、表 59 に示す。

表56 事態 α の未然的将然相におけるデーター摂津播磨方言・高年層一

Verb	Property	[α] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、ユニフォームに着替え、走者レーンに向かっているAがいた。(Aはもうすぐ走る)	6			5	11
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、冷蔵庫から肉を取り出し、フライパンを温めているAがいた。(Aはもうすぐ肉を焼く)	6			5	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、空が曇り始めていて薄暗かった。(もうすぐ雨が降る)	6			5	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、机の上に資料を広げているAがいた。(Aはもうすぐ作戦を考える)	6			5	

<sup>36</sup> =joru による卑罵性の標示は、アクセント対立によって区別される場合が多い。例えば、hasiri|joru の場合は卑罵性を標示するが、hasiri|joru の場合は卑罵性を標示しない傾向がある。前者は、隣接している大阪方言の YORU の形態・機能と同様であり、後者は、摂津播磨方言の=joo の機能と同様である。摂津播磨方言のような体系は、近畿地方諸方言と中国地方諸方言の言語接触によって生じたと推測できるが、これについては、今後の課題である。

表57 事態αの既然的将然相におけるデーター摂津播磨方言・高年層ー

Verb	Property	[α] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くとき、スタートラインに立ち、手首足首を回しているAがいた。(Aは走る直前)	11				11
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くとき、フライパンに油をひき、トレーから肉を取り出しているAがいた。(Aは肉を焼く直前)	11				
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、空がどんより曇っていて、ジメジメしていた。(雨が降る直前)	1			10	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、机の上の資料に目を通し始めているAがいた。(Aは作戦を考える直前)	11				

表58 事態αの進行相におけるデーター摂津播磨方言・高年層ー

Verb	Property	[α] Situation : Progressive	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くとき、走っている最中のAがいた。(Aは走っている最中)	11	11			11
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くとき、肉を焼いている最中のAがいた。(Aは肉を焼いている最中)	11	11			
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、雨が降っている最中だった。(雨が降っている最中)	10	11			
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、作戦を考えている最中のAがいた。(Aは作戦を考えている最中)	11	11			

表59 事態αの結果相におけるデーター摂津播磨方言・高年層ー

Verb	Property	[α] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くとき、100m走を終えて休憩しているAがいた。(Aは既に走った後)		11			11
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くとき、焼き終えた肉を皿へ移しているAがいた。(Aは既に肉を焼いた後)		11			
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、地面が濡れ、水たまりができていた。(雨は既に降った後)		6		5	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、作戦会議を終えて資料を片付けているAがいた。(Aは既に作戦を考えた後)		11			

表 56, 表 57, 表 58, 表 59 より, アスペクト形式の機能重複は, YORU と TORU が, 進行相を標示する場合に生じているということが分かる。

また, (74)と(75)は, 事態βにおける摂津播磨方言の高年層話者による発話例である。

(74) (教室に入ると, 荷物を置いて, 椅子を引き出している太郎がいた。)

a. taroo moosugu \*suwari=joo. / #suwari=joru. / \*suwat=too.

太郎 もうすぐ 座る=R-PROSP.NPST / 座る=I-PROSP.PJR.NPST / 座る=RES.NPST

「太郎 (は) もうすぐ, 座る。」

b. taroo suwari=joo. / #suwari=joru. / \*suwat=too.

太郎 座る=R-PROSP.NPST / 座る=R-PROSP.PJR.NPST / 座る=RES.NPST

「太郎 (は) 座ろうとしている。」

(74a)と(74b)は, =joo は既然的将然相, =joru は将然相を標示するということを示している。た

だし、=joru は、卑罵性も同時に標示する場合があるため、純粹に將然相を標示することはできない。撰津播磨方言の高年層話者が、純粹に將然相を標示する場合は、=joo もしくは、標準語と同様、動詞ル形を使用する。

(75) (教室に入ると、既に席に着いている太郎がいた。)

taroo moo \*suwari=joo. / \*suwari=joru. / suwat=too.

太郎 もう 座る=R-PROSP.NPST / 座る=PROSP.PJR.NPST / 座る=RES.NPST

「太郎 (は) もう、座っている。」

(75)は、TORU は、結果相を標示するというを示している。各事態におけるデータを、表 60, 表 61, 表 62 に示す。

表60 事態βの未然的將然相におけるデータ－撰津播磨方言・高年層－

Verb	Property	[β] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 席に向かっているAがいた。(Aはもうすぐ座る)	6			5	11
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, 軽く痙攣しているネズミがいた。(ネズミはもうすぐ死ぬ)	6			5	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの燃料が少なくなっていた。(もうすぐ火が消える)	6			5	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, 火を消すためストーブに近付いているAがいた。(Aはもうすぐ火を消す)	6			5	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていた。(もうすぐ晴れる)	6			5	

表61 事態βの既然的將然相におけるデータ－撰津播磨方言・高年層－

Verb	Property	[β] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 荷物を置いて, 椅子を引き出しているAがいた。(Aは座る直前)	11				11
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ひどく痙攣しているネズミがいた。(ネズミは死ぬ直前)	11				
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの火がとても弱くなっていて, 消えていっている様子だった。(火が消える直前)	11				
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープのスイッチに手を伸ばしているAがいた。(Aは火を消す直前)	11				
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていて雨雲の隙間から太陽が見え始めていた。(晴れる直前)	11				

表62 事態βの結果相におけるデーター摂津播磨方言・高年層一

Verb	Property	[β] Situation: Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 既に席に着いてるAがいた。(Aは既に座った後)		11			11
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ネズミが1匹死んでいた。(ネズミは既に死んだ後)		11			
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, 点いているはずのストーブの火が消えていた。(火は消えた後)		11			
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストーブの火を消し終えて換気をしているAがいた。(Aは既に火を消した後)		11			
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雲ひとつない青空になっていた。(既に晴れた後)		11			

表 60, 表 61, 表 62 より, アスペクト形式の機能重複は, 生じていないということが分かる。

摂津播磨方言では, 各年齢層による方言差は観察されなかったため, 中年層と若年層における発話例を割愛する。

第二に, 淡路方言には, YORU と TORU の 2 形式が存在する。YORU が, 将然相と進行相を標示するのに対して, TORU は, 進行相と結果相を標示する<sup>37</sup>。(76)と(77)は, 事態αにおける淡路方言の高年層話者による発話例である。

(76) (運動場に行くと, スタートラインに立ち, 手首足首を回している太郎がいた。)

- a. taroo moosugu \*hasiri=joo. / \*hasit=too.  
 太郎 もうすぐ 走る=R-PROSP.NPST / 走る=PROG.NPST  
 「太郎 (は) もうすぐ, 走る。」
- b. taroo hasiri=joo. / \*hasit=too.  
 太郎 走る=R-PROSP.NPST / 走る=PROG.NPST  
 「太郎 (は), 走ろうとしている。」

(76a)と(76b)は, YORU は, 既然的将然相を標示するということを示している。

(77) a. (運動場に行くと, 走っている最中の太郎がいた。)

- taroo ima hasiri=joo. / hasit=too.  
 太郎 今 走る=PROG.NPST / 走る=PROG.NPST  
 「太郎 (は) 今, 走っている。」
- b. (運動場に行くと, 100m 走を走り終えて, 休憩している太郎がいた。)
- taroo moo \*hasiri=joo. / hasit=too.  
 太郎 もう 走る=PROG.NPST / 走る=RES.NPST  
 「太郎 (は) もう, 走り終えている。」

<sup>37</sup> YORU には, =joo と=joru の 2 音形が存在するが, 機能による相違は観察されないため, 発話例の表記を=joo に統合する。また, TORU には, =too と=toru の 2 音形が存在するが, 機能による相違は観察されないため, 発話例の表記を=too に統合する。



(77a)と(77b)は、YORU は進行相，TORU は，進行相と結果相を標示するというを示している。各事態におけるデータを，表 63，表 64，表 65，表 66 に示す。

表63 事態  $\alpha$  の未然的将来相におけるデーター淡路方言・高年層ー

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後，運動場に行くと，ユニフォームに着替え，走者レーンに向かっているAがいた。(Aはもうすぐ走る)				6	6
焼く	主体動作 客体変化	夕食前，台所に行くと，冷蔵庫から肉を取り出し，フライパンを温めているAがいた。(Aはもうすぐ肉を焼く)				6	
降る	自然現象	朝，部屋のカーテンを開けると，空が曇り始めていて薄暗かった。(もうすぐ雨が降る)				6	
考える	心理	昼食後，会議室に入ると，机の上に資料を広げているAがいた。(Aはもうすぐ作戦を考える)				6	

表64 事態  $\alpha$  の既然的将来相におけるデーター淡路方言・高年層ー

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後，運動場に行くと，スタートラインに立ち，手首足首を回しているAがいた。(Aは走る直前)	3			3	6
焼く	主体動作 客体変化	夕食前，台所に行くと，フライパンに油をひき，トレーから肉を取り出しているAがいた。(Aは肉を焼く直前)	3			3	
降る	自然現象	朝，部屋のカーテンを開けると，空がどんより曇っていて，ジメジメしていた。(雨が降る直前)	3			3	
考える	心理	昼食後，会議室に入ると，机の上の資料に目を通し始めているAがいた。(Aは作戦を考える直前)	3			3	

表65 事態  $\alpha$  の進行相におけるデーター淡路方言・高年層ー

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Progressive	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後，運動場に行くと，走っている最中のAがいた。(Aは走っている最中)	3	6			6
焼く	主体動作 客体変化	夕食前，台所に行くと，肉を焼いている最中のAがいた。(Aは肉を焼いている最中)	3	6			
降る	自然現象	朝，部屋のカーテンを開けると，雨が降っている最中だった。(雨が降っている最中)	3	6			
考える	心理	昼食後，会議室に入ると，作戦を考えている最中のAがいた。(Aは作戦を考えている最中)	3	6			

表66 事態  $\alpha$  の結果相におけるデーター淡路方言・高年層ー

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後，運動場に行くと，100m走を終えて休憩しているAがいた。(Aは既に走った後)		6			6
焼く	主体動作 客体変化	夕食前，台所に行くと，焼き終えた肉を皿へ移しているAがいた。(Aは既に肉を焼いた後)		5		1	
降る	自然現象	朝，部屋のカーテンを開けると，地面が濡れ，水たまりができていた。(雨は既に降った後)		4		2	
考える	心理	昼食後，会議室に入ると，作戦会議を終えて資料を片付けているAがいた。(Aは既に作戦考えた後)		6			

表 63，表 64，表 65，表 66 より，アスペクト形式の機能重複は，YORU と TORU が，進行相を標示する場合に生じているということが分かる。



また、(78)と(79)は、事態βにおける淡路方言の高年層話者による発話例である。

(78) (教室に入ると、荷物を置いて、椅子を引き出している太郎がいた。)

- a. taroo moosugu \*suwari=joo. / \*suwat=too.  
 太郎 もうすぐ 座る=R-PROSP.NPST / 座る=RES.NPST  
 「太郎 (は) もうすぐ、座る。」
- b. taroo suwari=joo. / \*suwat=too.  
 太郎 座る=R-PROSP.NPST / 座る=RES.NPST  
 「太郎 (は) 座ろうとしている。」

(78a)と(78b)は、YORUは、既然的将然相を標示するということを示している。

(79) (教室に入ると、既に席に着いている太郎がいた。)

- taroo moo \*suwari=joo. / suwat=too.  
 太郎 もう 座る=R-PROSP.NPST / 座る=RES.NPST  
 「太郎 (は) もう、座っている。」

(79)は、TORUは、結果相を標示するということを示している。各事態におけるデータを、表67、表68、表69に示す。

表67 事態βの未然的将然相におけるデーター淡路方言・高年層一

Verb	Property	[β] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前、教室に入ると、席に向かっているAがいた。(Aはもうすぐ座る)				6	6
死ぬ	主体変化 非意志的	朝、玄関を出ると、軽く痙攣しているネズミがいた。(ネズミはもうすぐ死ぬ)				6	
消える	主体変化 無生物	放課後、教室に入ると、ストーブの燃料が少なくなっていた。(もうすぐ火が消える)				6	
消す	主体動作 客体変化	放課後、教室に入ると、火を消すためストーブに近付いているAがいた。(Aはもうすぐ火を消す)				6	
晴れる	自然現象	午後、部屋のカーテンを開けると、雨が上がっていた。(もうすぐ晴れる)				6	

表68 事態βの既然的将然相におけるデーター淡路方言・高年層一

Verb	Property	[β] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前、教室に入ると、荷物を置いて、椅子を引き出しているAがいた。(Aは座る直前)	5			1	6
死ぬ	主体変化 非意志的	朝、玄関を出ると、ひどく痙攣しているネズミがいた。(ネズミは死ぬ直前)	4			2	
消える	主体変化 無生物	放課後、教室に入ると、ストーブの火がとても弱くなっていて、消えていっている様子だった。(火が消える直前)	4			2	
消す	主体動作 客体変化	放課後、教室に入ると、ストーブのスイッチに手を伸ばしているAがいた。(Aは火を消す直前)	4			2	
晴れる	自然現象	午後、部屋のカーテンを開けると、雨が上がっていて雨雲の隙間から太陽が見え始めていた。(晴れる直前)	5			1	

表69 事態βの結果相におけるデーター淡路方言・高年層ー

Verb	Property	[β] Situation: Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 既に席に着いてるAがいた。(Aは既に座った後)		6			6
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ネズミが1匹死んでいた。(ネズミは既に死んだ後)		6			
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, 点いているはずのストーブの火が消えていた。(火は消えた後)		6			
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストーブの火を消し終えて換気をしているAがいた。(Aは既に火を消した後)		6			
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雲ひとつない青空になっていた。(既に晴れた後)		6			

表 67, 表 68, 表 69 より, アスペクト形式の機能重複は, 生じていないということが分かる。

次に, (80)と(81)は, 事態αにおける淡路方言の中年層話者による発話例である。

(80) (運動場に行くと, スタートラインに立ち, 手首足首を回している太郎がいた。)

- a. taroo moosugu \*hasiri=joo. / \*hasit=too.  
 太郎 もうすぐ 走る=R-PROSP.NPST / 走る=PROG.NPST  
 「太郎 (は) もうすぐ, 走る。」
- b. taroo ?hasiri=joo. / \*hasit=too.  
 太郎 走る=R-PROSP.NPST / 走る=PROG.NPST  
 「太郎 (は), 走ろうとしている。」

(80a)と(80b)は, YORU と TORU は, 将然相を標示しないということを示している。

(81) a. (運動場に行くと, 走っている最中の太郎がいた。)

- taroo ima ?hasiri=joo. / hasit=too.  
 太郎 今 走る=PROG.NPST / 走る=PROG.NPST  
 「太郎 (は) 今, 走っている。」
- b. (運動場に行くと, 100m 走を走り終えて, 休憩している太郎がいた。)
- taroo moo \*hasiri=joo. / hasit=too.  
 太郎 もう 走る=PROG.NPST / 走る=RES.NPST  
 「太郎 (は) もう, 走り終えている。」

(81a)と(81b)は, TORU は, 進行相と結果相を標示するということを示している。(80)と(81)より, アスペクト形式の機能重複は, 生じていないということが分かる。

また, (82)と(83)は, 事態βにおける淡路方言の中年層話者による発話例である。

(82) (教室に入ると、荷物を置いて、椅子を引き出している太郎がいた。)

a. taroo moosugu \*suwari=joo. / \*suwat=too.

太郎 もうすぐ 座る=R-PROSP.NPST / 座る=RES.NPST

「太郎 (は) もうすぐ, 座る。」

b. taroo ?suwari=joo. / \*suwat=too.

太郎 座る=R-PROSP.NPST / 座る=RES.NPST

「太郎 (は) 座ろうとしている。」

(82a)と(82b)は、YORU と TORU は、将然相を標示しないということを示している。

(83) (教室に入ると、既に席に着いている太郎がいた。)

taroo moo \*suwari=joo. / suwat=too.

太郎 もう 座る=R-PROSP.NPST / 座る=RES.NPST

「太郎 (は) もう, 座っている。」

(83)は、TORU は、結果相を標示するということを示している。(82)と(83)より、アスペクト形式の機能重複は、生じていないということが分かる。

淡路方言では、中年層と若年層の間の方言差は観察されなかったため、若年層における発話例を割愛する。

第三に、但馬方言には、YORU と TORU の 2 形式が存在する。YORU が、将然相と進行相を標示するのに対して、TORU は、進行相と結果相を標示する。(84)と(85)は、事態  $\alpha$  における但馬方言の高年層話者による発話例である。

(84) (運動場に行くと、スタートラインに立ち、手首足首を回している太郎がいた。)

a. taroo moosugu \*hasiri=joru. / \*hasit=toru.

太郎 もうすぐ 走る=R-PROSP.NPST / 走る=PROG.NPST

「太郎 (は) もうすぐ, 走る。」

b. taroo ?hasiri=joru. / \*hasit=toru.

太郎 走る=R-PROSP.NPST / 走る=PROG.NPST

「太郎 (は), 走ろうとしている。」

(84a)と(84b)は、YORU と TORU は、将然相を標示しないということを示している。

(85) a. (運動場に行くと、走っている最中の太郎がいた。)

taroo ima hasiri=joru. / hasit=toru.

太郎 今 走る=PROG.NPST / 走る=PROG.NPST

「太郎 (は) 今、走っている。」

b. (運動場に行くと、100m 走を走り終えて、休憩している太郎がいた。)

taroo moo \*hasiri=joru. / hasit=toru.

太郎 もう 走る=PROG.NPST / 走る=RES.NPST

「太郎 (は) もう、走り終えている。」

(85a)と(85b)は、YORU は進行相，TORU は、進行相と結果相を標示するというを示している。各事態におけるデータを，表 70，表 71，表 72，表 73 に示す。

表70 事態  $\alpha$  の未然的将然相におけるデーター但馬方言・高年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後，運動場に行くと，ユニフォームに着替え，走者レーンに向かっているAがいた。(Aはもうすぐ走る)				6	6
焼く	主体動作 客体変化	夕食前，台所に行くと，冷蔵庫から肉を取り出し，フライパンを温めているAがいた。(Aはもうすぐ肉を焼く)				6	
降る	自然現象	朝，部屋のカーテンを開けると，空が曇り始めていて薄暗かった。(もうすぐ雨が降る)				6	
考える	心理	昼食後，会議室に入ると，机の上に資料を広げているAがいた。(Aはもうすぐ作戦を考える)				6	

表71 事態  $\alpha$  の既然的将然相におけるデーター但馬方言・高年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後，運動場に行くと，スタートラインに立ち，手首足首を回しているAがいた。(Aは走る直前)	2			4	6
焼く	主体動作 客体変化	夕食前，台所に行くと，フライパンに油をひき，トレーから肉を取り出しているAがいた。(Aは肉を焼く直前)	2			4	
降る	自然現象	朝，部屋のカーテンを開けると，空がどんより曇っていて，ジメジメしていた。(雨が降る直前)	2			4	
考える	心理	昼食後，会議室に入ると，机の上の資料に目を通し始めているAがいた。(Aは作戦を考える直前)	2			4	

表72 事態  $\alpha$  の進行相におけるデーター但馬方言・高年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Progressive	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後，運動場に行くと，走っている最中のAがいた。(Aは走っている最中)	6	6			6
焼く	主体動作 客体変化	夕食前，台所に行くと，肉を焼いている最中のAがいた。(Aは肉を焼いている最中)	6	3			
降る	自然現象	朝，部屋のカーテンを開けると，雨が降っている最中だった。(雨が降っている最中)	6	6			
考える	心理	昼食後，会議室に入ると，作戦を考えている最中のAがいた。(Aは作戦を考えている最中)	6	6			

表73 事態  $\alpha$  の結果相におけるデーター但馬方言・高年層ー

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後, 運動場に行く, 100m走を終えて休憩しているAがいた。(Aは既に走った後)		6			6
焼く	主体動作 客体変化	夕食前, 台所に行く, 焼き終えた肉を皿へ移しているAがいた。(Aは既に肉を焼いた後)		6			
降る	自然現象	朝, 部屋のカーテンを開けると, 地面が濡れ, 水たまりができていた。(雨は既に降った後)		3		3	
考える	心理	昼食後, 会議室に入ると, 作戦会議を終えて資料を片付けているAがいた。(Aは既に作戦を考えた後)		6			

表 70, 表 71, 表 72, 表 73 より, アスペクト形式の機能重複は, YORU と TORU が, 進行相を標示する場合に生じているということが分かる。

また, (86)と(87)は, 事態  $\beta$  における但馬方言の高年層話者による発話例である。

(86) (教室に入ると, 荷物を置いて, 椅子を引き出している太郎がいた。)

a. taroo moosugu \*suwari=joru. / \*suwat=toru.

太郎 もうすぐ 座る=R-PROSP.NPST / 座る=RES.NPST

「太郎 (は) もうすぐ, 座る。」

b. taroo suwari=joru. / \*suwat=toru.

太郎 座る=R-PROSP.NPST / 座る=RES.NPST

「太郎 (は) 座ろうとしている。」

(86a)と(86b)は, YORU は, 既然的将然相を標示するということを示している。

(87) (教室に入ると, 既に席に着いている太郎がいた。)

taroo moo \*suwari=joru. / suwat=toru.

太郎 もう 座る=R-PROSP.NPST / 座る=RES.NPST

「太郎 (は) もう, 座っている。」

(87)は, TORU は, 結果相を標示するということを示している。各事態におけるデータを, 表 74, 表 75, 表 76 に示す。

表74 事態βの未然的将然相におけるデーター但馬方言・高年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 席に向かっているAがいた。(Aはもうすぐ座る)				6	6
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, 軽く痙攣しているネズミがいた。(ネズミはもうすぐ死ぬ)				6	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの燃料が少なくなっていた。(もうすぐ火が消える)				6	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, 火を消すためストーブに近付いているAがいた。(Aはもうすぐ火を消す)				6	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていた。(もうすぐ晴れる)				6	

表75 事態βの既然的将然相におけるデーター但馬方言・高年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 荷物を置いて, 椅子を引き出しているAがいた。(Aは座る直前)	6				6
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ひどく痙攣しているネズミがいた。(ネズミは死ぬ直前)	6				
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの火がとても弱くなっていて, 消えていっている様子だった。(火が消える直前)	6				
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープのスイッチに手を伸ばしているAがいた。(Aは火を消す直前)	6				
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていて雨雲の隙間から太陽が見え始めていた。(晴れる直前)	6				

表76 事態βの結果相におけるデーター但馬方言・高年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 既に席に着いているAがいた。(Aは既に座った後)		6			6
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ネズミが1匹死んでいた。(ネズミは既に死んだ後)		6			
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, 点いているはずのストーブの火が消えていた。(火は消えた後)		6			
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープの火を消し終えて換気をしているAがいた。(Aは既に火を消した後)		6			
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雲ひとつない青空になっていた。(既に晴れた後)		6			

表 74, 表 75, 表 76 より, アスペクト形式の機能重複は, 生じていないということが分かる。

但馬方言では, 各年齢層による方言差は観察されなかったため, 中年層と若年層における発話例を割愛する。

第四に, 丹波方言には, YORU と TORU の 2 形式が存在する。YORU が, 将然相と進行相を標示するのに対して, TORU は, 進行相と結果相を標示する。(88)と(89)は, 事態αにおける丹波方言の高年層話者による発話例である。

(88) (運動場に行くと、スタートラインに立ち、手首足首を回している太郎がいた。)

- a. taroo moosugu \*hasiri=joru. / \*hasit=toru.  
 太郎 もうすぐ 走る=R-PROSP.NPST / 走る=PROG.NPST  
 「太郎 (は) もうすぐ, 走る。」
- b. taroo hasiri=joru. / \*hasit=toru.  
 太郎 走る=R-PROSP.NPST / 走る=PROG.NPST  
 「太郎 (は), 走ろうとしている。」

(88a)と(88b)は、YORU は、既然的将然相を標示するということを示している。

(89) a. (運動場に行くと、走っている最中の太郎がいた。)

- taroo ima hasiri=joru. / hasit=toru.  
 太郎 今 走る=PROG.NPST / 走る=PROG.NPST  
 「太郎 (は) 今, 走っている。」
- b. (運動場に行くと、100m 走を走り終えて、休憩している太郎がいた。)
- taroo moo \*hasiri=joru. / ?hasit=toru.  
 太郎 もう 走る=PROG.NPST / 走る=RES.NPST  
 「太郎 (は) もう, 走り終えている。」

(89a)と(89b)は、YORU と TORU は、進行相を標示するということを示している。各事態におけるデータを、表 77, 表 78, 表 79, 表 80 に示す。

表77 事態 α の未然的将然相におけるデーター丹波方言・高年層ー

Verb	Property	[α] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後, 運動場に行くと, ユニフォームに着替え, 走者レーンに向かっているAがいた。(Aはもうすぐ走る)				4	4
焼く	主体動作 客体変化	夕食前, 台所に行くと, 冷蔵庫から肉を取り出し, フライパンを温めているAがいた。(Aはもうすぐ肉を焼く)				4	
降る	自然現象	朝, 部屋のカーテンを開けると, 空が曇り始めていて薄暗かった。(もうすぐ雨が降る)				4	
考える	心理	昼食後, 会議室に入ると, 机の上に資料を広げているAがいた。(Aはもうすぐ作戦を考える)				4	

表78 事態 α の既然的将然相におけるデーター丹波方言・高年層ー

Verb	Property	[α] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後, 運動場に行くと, スタートラインに立ち, 手首足首を回しているAがいた。(Aは走る直前)	4				4
焼く	主体動作 客体変化	夕食前, 台所に行くと, フライパンに油をひき, トレーから肉を取り出しているAがいた。(Aは肉を焼く直前)	4				
降る	自然現象	朝, 部屋のカーテンを開けると, 空がどんより曇っていて, ジメジメしていた。(雨が降る直前)	1			3	
考える	心理	昼食後, 会議室に入ると, 机の上の資料に目を通し始めているAがいた。(Aは作戦を考える直前)	4				

表79 事態  $\alpha$  の進行相におけるデーター丹波方言・高年層ー

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Progressive	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、走っている最中のAがいた。(Aは走っている最中)	4	4			4
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、肉を焼いている最中のAがいた。(Aは肉を焼いている最中)	4	4			
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、雨が降っている最中だった。(雨が降っている最中)	3	4			
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、作戦を考えている最中のAがいた。(Aは作戦を考えている最中)	4	4			

表80 事態  $\alpha$  の結果相におけるデーター丹波方言・高年層ー

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、100m走を終えて休憩しているAがいた。(Aは既に走った後)				4	4
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、焼き終えた肉を皿へ移しているAがいた。(Aは既に肉を焼いた後)				4	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、地面が濡れ、水たまりができていた。(雨は既に降った後)				4	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、作戦会議を終えて資料を片付けているAがいた。(Aは既に作戦を考えた後)				4	

表 77, 表 78, 表 79, 表 80 より, アスペクト形式の機能重複は, YORU と TORU が, 進行相を標示する場合に生じているということが分かる。

また, (90)と(91)は, 事態  $\beta$  における丹波方言の高年層話者による発話例である。

(90) (教室に入ると, 荷物を置いて, 椅子を引き出している太郎がいた。)

a. taroo moosugu \*suwari=joru. / \*suwat=toru.

太郎 もうすぐ 座る=R-PROSP.NPST / 座る=RES.NPST

「太郎 (は) もうすぐ, 座る。」

b. taroo suwari=joru. / \*suwat=toru.

太郎 座る=R-PROSP.NPST / 座る=RES.NPST

「太郎 (は) 座ろうとしている。」

(90a)と(90b)は, YORU は, 既然的将然相を標示するということを示している。

(91) (教室に入ると, 既に席に着いている太郎がいた。)

taroo moo \*suwari=joru. / suwat=toru.

太郎 もう 座る=R-PROSP.NPST / 座る=RES.NPST

「太郎 (は) もう, 座っている。」

(91)は, TORU は, 結果相を標示するということを示している。各事態におけるデータを, 表 81, 表 82, 表 83 に示す。



表81 事態βの未然的将然相におけるデーター丹波方言・高年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 席に向かっているAがいた。(Aはもうすぐ座る)				4	4
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, 軽く痙攣しているネズミがいた。(ネズミはもうすぐ死ぬ)				4	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの燃料が少なくなっていた。(もうすぐ火が消える)				4	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, 火を消すためストーブに近付いているAがいた。(Aはもうすぐ火を消す)				4	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていた。(もうすぐ晴れる)				4	

表82 事態βの既然的将然相におけるデーター丹波方言・高年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 荷物を置いて, 椅子を引き出ししているAがいた。(Aは座る直前)	4				4
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ひどく痙攣しているネズミがいた。(ネズミは死ぬ直前)	4				
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの火がとても弱くなっていて, 消えていっている様子だった。(火が消える直前)	4				
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープのスイッチに手を伸ばしているAがいた。(Aは火を消す直前)	4				
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていて雨雲の隙間から太陽が見え始めていた。(晴れる直前)	4				

表83 事態βの結果相におけるデーター丹波方言・高年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 既に席に着いているAがいた。(Aは既に座った後)		4			4
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ネズミが1匹死んでいた。(ネズミは既に死んだ後)		4			
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, 点いているはずのストーブの火が消えていた。(火は消えた後)		4			
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープの火を消し終えて換気をしているAがいた。(Aは既に火を消した後)		4			
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雲ひとつない青空になっていた。(既に晴れた後)		4			

表 81, 表 82, 表 83 より, アスペクト形式の機能重複は, 生じていないということが分かる。

丹波方言では, 各年齢層による方言差は観察されなかったため, 中年層と若年層における発話例を割愛する。

#### 4.1.6. 三重方言のアスペクト体系

三重方言は, 北三重方言と南三重方言の 2 つに区画されている。さらに, 三重方言は, 各区画の下位分類を含めれば, 伊賀方言, 北・中伊勢方言, 志摩・南伊勢方言, 北牟婁方言, 南牟婁方言の 5 つに区画されている。



図13 三重方言の区画 (平山 2000: 2-4)

三重方言では、伊賀方言、北・中伊勢方言、志摩・南伊勢方言の間、北牟婁方言と南牟婁方言の間に方言差は観察されなかったため、方言差が観察された北部方言（伊賀方言、北・中伊勢方言、志摩・南伊勢方言）と南部方言（北牟婁方言、南牟婁方言）の2区画に従ってデータを提示する<sup>38</sup>。また、本節では、中年層と若年層におけるデータを割愛するが、三重方言の各年齢層のデータに関しては、付録 232-273 に添付する。

第一に、北部方言には、TORU と TERU の2形式が存在する。TORU と TERU は、進行相と結果相を標示する。(92)と(93)は、事態  $\alpha$  における北部方言の高年層話者による発話例である。

(92) (運動場に行くと、スタートラインに立ち、手首足首を回している太郎がいた。)

a. taroo moosugu \*hasit=toru. / \*hasit=teru.

太郎 もうすぐ 走る=PROG.NPST / 走る=PROG.NPST

「太郎 (は) もうすぐ、走る。」

b. taroo \*hasit=toru. / \*hasit=teru.

太郎 走る=PROG.NPST / 走る=PROG.NPST

「太郎 (は)、走ろうとしている。」

<sup>38</sup> 北部方言には、TORU と TERU の2形式が存在するが、伊賀方言における主な使用形式は TERU、北・中伊勢方言と志摩・南伊勢方言における主な使用形式は TORU である。ただし、伊賀方言では TORU の使用、北・中伊勢方言と志摩・南伊勢方言では TERU の使用も観察されるため、これらを北部方言に統合する。

(92a)と(92b)は、TORU と TERU は、将然相を標示しないということを示している。

(93) a. (運動場に行くと、走っている最中の太郎がいた。)

taroo ima hasit=toru. / hasit=teru.

太郎 今 走る=PROG.NPST / 走る=PROG.NPST

「太郎 (は) 今、走っている。」

b. (運動場に行くと、100m 走を走り終えて、休憩している太郎がいた。)

taroo moo hasit=toru. / hasit=teru.

太郎 もう 走る=RES.NPST / 走る=RES.NPST

「太郎 (は) もう、走り終えている。」

(93a)と(93b)は、TORU と TERU は、進行相と結果相を標示するというを示している。各事態におけるデータを、表 84, 表 85, 表 86, 表 87 に示す。

表84 事態 α の未然的将然相におけるデーター北部方言・高年層ー

Verb	Property	[α] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、ユニフォームに着替え、走者レーンに向かっているAがいた。(Aはもうすぐ走る)				17	17
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、冷蔵庫から肉を取り出し、フライパンを温めているAがいた。(Aはもうすぐ肉を焼く)				17	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、空が曇り始めていて薄暗かった。(もうすぐ雨が降る)				17	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、机の上に資料を広げているAがいた。(Aはもうすぐ作戦を考える)				17	

表85 事態 α の既然的将然相におけるデーター北部方言・高年層ー

Verb	Property	[α] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、スタートラインに立ち、手首足首を回しているAがいた。(Aは走る直前)				17	17
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、フライパンに油をひき、トレーから肉を取り出しているAがいた。(Aは肉を焼く直前)				17	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、空がどんより曇っていて、ジメジメしていた。(雨が降る直前)				17	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、机の上の資料に目を通し始めているAがいた。(Aは作戦を考える直前)				17	

表86 事態 α の進行相におけるデーター北部方言・高年層ー

Verb	Property	[α] Situation : Progressive	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、走っている最中のAがいた。(Aは走っている最中)		12	7		17
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、肉を焼いている最中のAがいた。(Aは肉を焼いている最中)		12	7		
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、雨が降っている最中だった。(雨が降っている最中)		12	7		
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、作戦を考えている最中のAがいた。(Aは作戦を考えている最中)		12	7		

表87 事態  $\alpha$  の結果相におけるデーター北部方言・高年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後, 運動場に行く, 100m走を終えて休憩しているAがいた。(Aは既に走った後)		10	7	2	17
焼く	主体動作 客体変化	夕食前, 台所に行く, 焼き終えた肉を皿へ移しているAがいた。(Aは既に肉を焼いた後)		10	7	2	
降る	自然現象	朝, 部屋のカーテンを開けると, 地面が濡れ, 水たまりができていた。(雨は既に降った後)		10	7	2	
考える	心理	昼食後, 会議室に入ると, 作戦会議を終えて資料を片付けているAがいた。(Aは既に作戦を考えた後)		10	7	2	

表 84, 表 85, 表 86, 表 87 より, アスペクト形式の機能重複は, TORU と TERU が, 進行相と結果相を標示する場合に生じているということが分かる。

また, (94)と(95)は, 事態  $\beta$  における北部方言の高年層話者による発話例である。

(94) (教室に入ると, 荷物を置いて, 椅子を引き出している太郎がいた。)

a. taroo moosugu \*suwat=toru. / \*suwat=teru.

太郎 もうすぐ 座る=RES.NPST / 座る=RES.NPST

「太郎 (は) もうすぐ, 座る。」

b. taroo \*suwat=toru. / \*suwat=teru.

太郎 座る=RES.NPST / 座る=RES.NPST

「太郎 (は) 座ろうとしている。」

(94a)と(94b)は, TORU と TERU は, 将然相を標示しないということを示している。

(95) (教室に入ると, 既に席に着いている太郎がいた。)

taroo moo suwat=toru. / suwat=teru.

太郎 もう 座る=RES.NPST / 座る=RES.NPST

「太郎 (は) もう, 座っている。」

(95)は, TORU と TERU は, 結果相を標示するということを示している。各事態におけるデータを, 表 88, 表 89, 表 90 に示す。

表88 事態βの未然的将然相におけるデーター北部方言・高年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 席に向かっているAがいた。(Aはもうすぐ座る)				17	17
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, 軽く痙攣しているネズミがいた。(ネズミはもうすぐ死ぬ)				17	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの燃料が少なくなっていた。(もうすぐ火が消える)				17	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, 火を消すためストーブに近付いているAがいた。(Aはもうすぐ火を消す)				17	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていた。(もうすぐ晴れる)				17	

表89 事態βの既然的将然相におけるデーター北部方言・高年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 荷物を置いて, 椅子を引き出しているAがいた。(Aは座る直前)				17	17
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ひどく痙攣しているネズミがいた。(ネズミは死ぬ直前)				17	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの火がとても弱くなっていて, 消えていっている様子だった。(火が消える直前)				17	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープのスイッチに手を伸ばしているAがいた。(Aは火を消す直前)				17	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていて雨雲の隙間から太陽が見え始めていた。(晴れる直前)				17	

表90 事態βの結果相におけるデーター北部方言・高年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 既に席に着いているAがいた。(Aは既に座った後)		12	7		17
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ネズミが1匹死んでいた。(ネズミは既に死んだ後)		13	7		
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, 点いているはずのストーブの火が消えていた。(火は消えた後)		12	7		
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープの火を消し終えて換気をしているAがいた。(Aは既に火を消した後)		12	7		
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雲ひとつない青空になっていた。(既に晴れた後)		12	7		

表 88, 表 89, 表 90 より, アスペクト形式の機能重複は, TORU と TERU が, 結果相を標示する場合に生じているということが分かる。

北部方言では, 各年齢層による方言差は観察されなかったため, 中年層と若年層における発話例を割愛する。

第二に, 南部方言には, YORU, TORU, TERU の 3 形式が存在する。YORU が, 将然相を標示するのに対して, TORU と TERU は, 進行相と結果相を標示する。(96)と(97)は, 事態αにおける南部方言の高年層話者による発話例である。

(96) (運動場に行くと、スタートラインに立ち、手首足首を回している太郎がいた。)

- a. taroo moosugu \*hasiri=joru. / \*hasit=toru. / \*hasit=teru.  
 太郎 もうすぐ 走る=R-PROSP.NPST / 走る=PROG.NPST / 走る=PROG.NPST  
 「太郎 (は) もうすぐ、走る。」
- b. taroo hasiri=joru. / \*hasit=toru. / \*hasit=teru.  
 太郎 走る=R-PROSP.NPST / 走る=PROG.NPST / 走る=PROG.NPST  
 「太郎 (は)、走ろうとしている。」

(96a)と(96b)は、YORUは、既然的将然相を標示するということを示している。

(97) a. (運動場に行くと、走っている最中の太郎がいた。)

- taroo ima \*hasiri=joru. / hasit=toru. / \*hasit=teru.  
 太郎 今 走る=R-PROSP.NPST / 走る=PROG.NPST / 走る=PROG.NPST  
 「太郎 (は) 今、走っている。」
- b. (運動場に行くと、100m走を走り終えて、休憩している太郎がいた。)
- taroo moo \*hasiri=joru. / hasit=toru. / \*hasit=teru.  
 太郎 もう 走る=R-PROSP.NPST / 走る=RES.NPST / 走る=RES.NPST  
 「太郎 (は) もう、走り終えている。」

(97a)と(97b)は、TORUは、進行相と結果相を標示するということを示している。各事態におけるデータを、表 91、表 92、表 93、表 94 に示す。

表91 事態αの未然的将然相におけるデーター南部方言・高年層ー

Verb	Property	[α] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、ユニフォームに着替え、走者レーンに向かっているAがいた。(Aはもうすぐ走る)				10	10
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、冷蔵庫から肉を取り出し、フライパンを温めているAがいた。(Aはもうすぐ肉を焼く)				10	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、空が曇り始めていて薄暗かった。(もうすぐ雨が降る)				10	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、机の上に資料を広げているAがいた。(Aはもうすぐ作戦を考える)				10	

表92 事態αの既然的将然相におけるデーター南部方言・高年層ー

Verb	Property	[α] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、スタートラインに立ち、手首足首を回しているAがいた。(Aは走る直前)	9			1	10
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、フライパンに油をひき、トレーから肉を取り出しているAがいた。(Aは肉を焼く直前)	9			1	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、空がどんより曇っていて、ジメジメしていた。(雨が降る直前)	1			9	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、机の上の資料に目を通し始めているAがいた。(Aは作戦を考える直前)	9			1	

表93 事態  $\alpha$  の進行相におけるデーター南部方言・高年層ー

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Progressive	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、走っている最中のAがいた。(Aは走っている最中)		10			10
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、肉を焼いている最中のAがいた。(Aは肉を焼いている最中)		10			
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、雨が降っている最中だった。(雨が降っている最中)		10			
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、作戦を考えている最中のAがいた。(Aは作戦を考えている最中)		10			

表94 事態  $\alpha$  の結果相におけるデーター南部方言・高年層ー

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、100m走を終えて休憩しているAがいた。(Aは既に走った後)		7		3	10
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、焼き終えた肉を皿へ移しているAがいた。(Aは既に肉を焼いた後)		7		3	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、地面が濡れ、水たまりができていた。(雨は既に降った後)		7		3	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、作戦会議を終えて資料を片付けているAがいた。(Aは既に作戦を考えた後)		7		3	

表 91, 表 92, 表 93, 表 94 より, アスペクト形式の機能重複は, 生じていないということが分かる。

また, (98)と(99)は, 事態  $\beta$  における南部方言の高年層話者による発話例である。

(98) (教室に入ると, 荷物を置いて, 椅子を引き出している太郎がいた。)

a. taroo moosugu \*suwari=joru. / \*suwat=toru. / \*suwat=teru.

太郎 もうすぐ 座る=R-PROSP.NPST / 座る=RES.NPST / 座る=RES.NPST

「太郎 (は) もうすぐ, 座る。」

b. taroo suwari=joru. / \*suwat=toru. / \*suwat=teru.

太郎 座る=R-PROSP.NPST / 座る=RES.NPST / 座る=RES.NPST

「太郎 (は) 座ろうとしている。」

(98a)と(98b)は, YORU は, 既然的将然相を標示するということを示している。

(99) (教室に入ると, 既に席に着いている太郎がいた。)

taroo moo \*suwari=joru. / suwat=toru. / \*suwat=teru.

太郎 もう 座る=R-PROSP.NPST / 座る=RES.NPST / 座る=RES.NPST

「太郎 (は) もう, 座っている。」

(99)は, TORU は, 結果相を標示するということを示している。各事態におけるデータを, 表 95, 表 96, 表 97 に示す。



表95 事態βの未然的将然相におけるデーター南部方言・高年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 席に向かっているAがいた。(Aはもうすぐ座る)				10	10
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, 軽く痙攣しているネズミがいた。(ネズミはもうすぐ死ぬ)				10	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの燃料が少なくなっていた。(もうすぐ火が消える)				10	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, 火を消すためストーブに近付いているAがいた。(Aはもうすぐ火を消す)				10	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていた。(もうすぐ晴れる)				10	

表96 事態βの既然的将然相におけるデーター南部方言・高年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 荷物を置いて, 椅子を引き出ししているAがいた。(Aは座る直前)	9			1	10
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ひどく痙攣しているネズミがいた。(ネズミは死ぬ直前)	9			1	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの火がとても弱くなっていて, 消えていっている様子だった。(火が消える直前)	9			1	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープのスイッチに手を伸ばしているAがいた。(Aは火を消す直前)	9			1	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていて雨雲の隙間から太陽が見え始めていた。(晴れる直前)	9			1	

表97 事態βの結果相におけるデーター南部方言・高年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 既に席に着いているAがいた。(Aは既に座った後)		10			10
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ネズミが1匹死んでいた。(ネズミは既に死んだ後)		10			
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, 点いているはずのストーブの火が消えていた。(火は消えた後)		10			
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープの火を消し終えて換気をしているAがいた。(Aは既に火を消した後)		10			
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雲ひとつない青空になっていた。(既に晴れた後)		10			

表 95, 表 96, 表 97 より, アスペクト形式の機能重複は, 生じていないということが分かる。

次に, (100)と(101)は, 事態αにおける南部方言の中年層話者による発話例である。

(100) (運動場に行くと, スタートラインに立ち, 手首足首を回している太郎がいた。)

a. taroo moosugu \*hasiri=joru. / \*hasit=toru. / \*hasit=teru.

太郎 もうすぐ 走る=R-PROSP.NPST / 走る=PROG.NPST / 走る=PROG.NPST

「太郎 (は) もうすぐ, 走る。」

b. taroo hasiri=joru. / \*hasit=toru. / \*hasit=teru.

太郎 走る=R-PROSP.NPST / 走る=PROG.NPST / 走る=PROG.NPST

「太郎 (は), 走ろうとしている。」



(100a)と(100b)は、YORU は、既然的将然相を標示するということを示している。

(101) a. (運動場に行くと、走っている最中の太郎がいた。)

taroo ima \*hasiri=joru. / hasit=toru. / hasit=teru.

太郎 今 走る=R-PROSP.NPST / 走る=PROG.NPST / 走る=PROG.NPST

「太郎 (は) 今、走っている。」

b. (運動場に行くと、100m 走を走り終えて、休憩している太郎がいた。)

taroo moo \*hasiri=joru. / hasit=toru. / hasit=teru.

太郎 もう 走る=R-PROSP.NPST / 走る=RES.NPST / 走る=RES.NPST

「太郎 (は) もう、走り終えている。」

(101a)と(101b)は、TORU と TERU は、進行相と結果相を標示するということを示している。

(100)と(101)より、アスペクト形式の機能重複は、TORU と TERU が、進行相と結果相を標示する場合に生じているということが分かる。

また、(102)と(103)は、事態  $\beta$  における南部方言の中年層話者による発話例である。

(102) (教室に入ると、荷物を置いて、椅子を引き出している太郎がいた。)

a. taroo moosugu \*suwari=joru. / \*suwat=toru. / \*suwat=teru.

太郎 もうすぐ 座る=R-PROSP.NPST / 座る=RES.NPST / 座る=RES.NPST

「太郎 (は) もうすぐ、座る。」

b. taroo suwari=joru. / \*suwat=toru. / \*suwat=teru.

太郎 座る=R-PROSP.NPST / 座る=RES.NPST / 座る=RES.NPST

「太郎 (は) 座ろうとしている。」

(102a)と(102b)は、YORU は、既然的将然相を標示するということを示している。

(103) (教室に入ると、既に席に着いている太郎がいた。)

taroo moo \*suwari=joru. / suwat=toru. / suwat=teru.

太郎 もう 座る=R-PROSP.NPST / 座る=RES.NPST / 座る=RES.NPST

「太郎 (は) もう、座っている。」

(103)は、TORU と TERU は、結果相を標示するということを示している。(102)と(103)より、アスペクト形式の機能重複は、TORU と TERU が、結果相を標示する場合に生じているということが分かる。

南部方言では、中年層と若年層の間の方言差は観察されなかったため、若年層における発話例を割愛する。

## 4.2. 中国地方の諸方言データ

4.2 節では、中国地方の方言に所属する岡山方言、島根方言、鳥取方言、広島方言、山口方言のアスペクト体系を分析する。

### 4.2.1. 岡山方言のアスペクト体系

岡山方言は、美作方言、備前方言、備中北部方言、備中南部方言の4つに区画されている。



図14 岡山方言の区画 (小島 2017: 105)

岡山方言では、各方言区画による方言差は観察されなかったため、全ての方言区画を統合したデータを提示する。また、本節では、中年層と若年層におけるデータを割愛するが、岡山方言の各年齢層のデータに関しては、付録 274-294 に添付する。

岡山方言には、YORU と TORU の2形式が存在する。YORU が、将然相と進行相を標示するのに対して、TORU は、将然相、進行相、結果相を標示する。(104)と(105)は、事態  $\alpha$  における岡山方言の高年齢層話者による発話例である。

(104) (運動場に行くと、スタートラインに立ち、手首足首を回している太郎がいた。)

- a. taroo moosugu \*hasir=jooru. / \*hasit=toru.  
 太郎 もうすぐ 走る=R-PROSP.NPST / 走る=RES.NPST  
 「太郎 (は) もうすぐ, 走る。」
- b. taroo hasir=jooru. / \*hasit=toru.  
 太郎 走る=R-PROSP.NPST / 走る=RES.NPST  
 「太郎 (は), 走ろうとしている。」

(104a)と(104b)は、YORU は、既然的将然相を標示するということを示している。

(105) a. (運動場に行くと、走っている最中の太郎がいた。)

- taroo ima hasir=jooru. / ?hasit=toru.  
 太郎 今 走る=PROG.NPST / 走る=PROG.NPST  
 「太郎 (は) 今, 走っている。」
- b. (運動場に行くと、100m 走を走り終えて、休憩している太郎がいた。)
- taroo moo \*hasir=jooru. / hasit=toru.  
 太郎 もう 走る=PROG.NPST / 走る=RES.NPST  
 「太郎 (は) もう, 走り終えている。」

(105a)と(105b)は、YORU は進行相、TORU は結果相を標示するということを示している。各事態におけるデータを、表 98, 表 99, 表 100, 表 101 に示す。

表98 事態 α の未然的将然相におけるデーター岡山方言・高年層ー

Verb	Property	[α] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後, 運動場に行くと, ユニフォームに着替え, 走者レーンに向かっているAがいた。(Aはもうすぐ走る)				20	20
焼く	主体動作 客体変化	夕食前, 台所に行くと, 冷蔵庫から肉を取り出し, フライパンを温めているAがいた。(Aはもうすぐ肉を焼く)				20	
降る	自然現象	朝, 部屋のカーテンを開けると, 空が曇り始めていて薄暗かった。(もうすぐ雨が降る)				20	
考える	心理	昼食後, 会議室に入ると, 机の上に資料を広げているAがいた。(Aはもうすぐ作戦を考える)				20	

表99 事態 α の既然的将然相におけるデーター岡山方言・高年層ー

Verb	Property	[α] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後, 運動場に行くと, スタートラインに立ち, 手首足首を回しているAがいた。(Aは走る直前)	16			4	20
焼く	主体動作 客体変化	夕食前, 台所に行くと, フライパンに油をひき, トレーから肉を取り出しているAがいた。(Aは肉を焼く直前)	20				
降る	自然現象	朝, 部屋のカーテンを開けると, 空がどんより曇っていて, ジメジメしていた。(雨が降る直前)				20	
考える	心理	昼食後, 会議室に入ると, 机の上の資料に目を通し始めているAがいた。(Aは作戦を考える直前)	16			4	

表100 事態  $\alpha$  の進行相におけるデーター岡山方言・高年層ー

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Progressive	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後, 運動場に行くと, 走っている最中のAがいた。(Aは走っている最中)	20	4			20
焼く	主体動作 客体変化	夕食前, 台所に行くと, 肉を焼いている最中のAがいた。(Aは肉を焼いている最中)	20	2			
降る	自然現象	朝, 部屋のカーテンを開けると, 雨が降ってる最中だった。(雨が降っている最中)	20	4			
考える	心理	昼食後, 会議室に入ると, 作戦を考えている最中のAがいた。(Aは作戦を考えている最中)	20	2			

表101 事態  $\alpha$  の結果相におけるデーター岡山方言・高年層ー

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後, 運動場に行くと, 100m走を終えて休憩しているAがいた。(Aは既に走った後)		20			20
焼く	主体動作 客体変化	夕食前, 台所に行くと, 焼き終えた肉を皿へ移しているAがいた。(Aは既に肉を焼いた後)		20			
降る	自然現象	朝, 部屋のカーテンを開けると, 地面が濡れ, 水たまりができていた。(雨は既に降った後)		20			
考える	心理	昼食後, 会議室に入ると, 作戦会議を終えて資料を片付けているAがいた。(Aは既に作戦を考えた後)		20			

表 98, 表 99, 表 100, 表 101 より, アスペクト形式の機能重複は, ほぼ生じていないということが分かる。

また, (106)と(107)は, 事態  $\beta$  における岡山方言の高年層話者による発話例である。

(106) (教室に入ると, 荷物を置いて, 椅子を引き出している太郎がいた。)

a. taroo moosugu \*suwar=jooru. / \*suwat=toru.

太郎 もうすぐ 座る=R-PROSP.NPST / 座る=RES.NPST

「太郎 (は) もうすぐ, 座る。」

b. taroo suwar=jooru. / \*suwat=toru.

太郎 座る=R-PROSP.NPST / 座る=RES.NPST

「太郎 (は) 座ろうとしている。」

(106a)と(106b)は, YORU は, 既然的将然相を標示するということを示している。

(107) (教室に入ると, 既に席に着いている太郎がいた。)

taroo moo \*suwar=jooru. / suwat=toru.

太郎 もう 座る=R-PROSP.NPST / 座る=RES.NPST

「太郎 (は) もう, 座っている。」

(107)は, TORU は, 結果相を標示するということを示している。各事態におけるデータを, 表 102, 表 103, 表 104 に示す。

表102 事態βの未然的将然相におけるデーター岡山方言・高年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 席に向かっているAがいた。(Aはもうすぐ座る)				20	20
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, 軽く痙攣しているネズミがいた。(ネズミはもうすぐ死ぬ)				20	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの燃料が少なくなっていた。(もうすぐ火が消える)				20	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, 火を消すためストーブに近付いているAがいた。(Aはもうすぐ火を消す)				20	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていた。(もうすぐ晴れる)				20	

表103 事態βの已然将然相におけるデーター岡山方言・高年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 荷物を置いて, 椅子を引き出しているAがいた。(Aは座る直前)	20				20
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ひどく痙攣しているネズミがいた。(ネズミは死ぬ直前)	20				
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの火がとても弱くなっていて, 消えていっている様子だった。(火が消える直前)	20				
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープのスイッチに手を伸ばしているAがいた。(Aは火を消す直前)	20				
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていて雨雲の隙間から太陽が見え始めていた。(晴れる直前)	20				

表104 事態βの結果相におけるデーター岡山方言・高年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 既に席に着いているAがいた。(Aは既に座った後)		20			20
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ネズミが1匹死んでいた。(ネズミは既に死んだ後)		20			
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, 点いているはずのストーブの火が消えていた。(火は消えた後)		20			
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープの火を消し終えて換気をしているAがいた。(Aは既に火を消した後)		20			
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雲ひとつない青空になっていた。(既に晴れた後)		20			

表 102, 表 103, 表 104 より, アスペクト形式の機能重複は, 生じていないということが分かる。

次に, (108)と(109)は, 事態αにおける岡山方言の中年層話者による発話例である。

(108) (運動場に行くと、スタートラインに立ち、手首足首を回している太郎がいた。)

a. taroo moosugu \*hasir=jooru. / \*hasit=toru.

太郎 もうすぐ 走る=R-PROSP.NPST / 走る=R-PROSP.NPST

「太郎 (は) もうすぐ, 走る。」

b. taroo hasir=jooru. / hasit=toru.

太郎 走る=R-PROSP.NPST / 走る=R-PROSP.NPST

「太郎 (は), 走ろうとしている。」

(108a)と(108b)は、YORU と TORU は、既然的将然相を標示するということを示している。

(109) a. (運動場に行くと、走っている最中の太郎がいた。)

taroo ima hasir=jooru. / hasit=toru.

太郎 今 走る=PROG.NPST / 走る=PROG.NPST

「太郎 (は) 今, 走っている。」

b. (運動場に行くと、100m 走を走り終えて、休憩している太郎がいた。)

taroo moo \*hasir=jooru. / hasit=toru.

太郎 もう 走る=PROG.NPST / 走る=RES.NPST

「太郎 (は) もう, 走り終えている。」

(109a)と(109b)は、YORU は進行相、TORU は、進行相と結果相を標示するということを示している。(108)と(109)より、アスペクト形式の機能重複は、YORU と TORU が、既然的将然相と進行相を標示する場合に生じているということが分かる。

また、(110)と(111)は、事態βにおける岡山方言の中年層話者による発話例である。

(110) (教室に入ると、荷物を置いて、椅子を引き出している太郎がいた。)

a. taroo moosugu \*suwar=jooru. / \*suwat=toru.

太郎 もうすぐ 座る=R-PROSP.NPST / 座る=RES.NPST

「太郎 (は) もうすぐ, 座る。」

b. taroo suwar=jooru. / \*suwat=toru.

太郎 座る=R-PROSP.NPST / 座る=RES.NPST

「太郎 (は) 座ろうとしている。」

(110a)と(110b)は、YORU は、既然的将然相を標示するということを示している。

(111) (教室に入ると、既に席に着いている太郎がいた。)

taroo moo \*suwar=jooru. / suwat=toru.

太郎 もう 座る=R-PROSP.NPST / 座る=RES.NPST

「太郎 (は) もう、座っている。」

(111)は、TORU は、結果相を標示するというを示している。(110)と(111)より、アスペクト形式の機能重複は、生じていないということが分かる。

岡山方言では、中年層と若年層の間の方言差は観察されなかったため、若年層における発話例を割愛する。

#### 4.2.2. 島根方言のアスペクト体系

島根方言は、出雲方言、隠岐方言、石見方言の3つに区画されている。



図15 島根方言の区画 (平子・友定 2018: 77)

島根方言では、出雲方言と隠岐方言の間に方言差は観察されなかったため、方言差が観察された出雲隠岐方言と石見方言の2区画に従ってデータを提示する。また、本節では、中年層と若年層におけるデータを割愛するが、島根方言の各年齢層のデータに関しては、付録 295-336 に添付する。

第一に、出雲隠岐方言には、TORU と TERU の2形式が存在する。TORU と TERU は、進

行相と結果相を標示する<sup>39</sup>。(112)と(113)は、事態  $\alpha$  における出雲隠岐方言の高年層話者による発話例である。

(112) (運動場に行くと、スタートラインに立ち、手首足首を回している太郎がいた。)

- a. taroo moosugu \*hasit=teoru. / \*hasit=teru.  
 太郎 もうすぐ 走る=PROG.NPST / 走る=PROG.NPST  
 「太郎 (は) もうすぐ、走る。」
- b. taroo \*hasit=teoru. / \*hasit=teru.  
 太郎 走る=PROG.NPST / 走る=PROG.NPST  
 「太郎 (は)、走ろうとしている。」

(112a)と(112b)は、TORU と TERU は、将然相を標示しないということを示している。

(113) a. (運動場に行くと、走っている最中の太郎がいた。)

- taroo ima hasit=teoru. / hasit=teru.  
 太郎 今 走る=PROG.NPST / 走る=PROG.NPST  
 「太郎 (は) 今、走っている。」

b. (運動場に行くと、100m 走を走り終えて、休憩している太郎がいた。)

- taroo moo ?hasit=teoru. / ?hasit=teru.  
 太郎 もう 走る=RES.NPST / 走る=RES.NPST  
 「太郎 (は) もう、走り終えている。」

(113a)と(113b)は、TORU と TERU は、進行相を標示するということを示している。各事態におけるデータを、表 105, 表 106, 表 107, 表 108 に示す。

表105 事態  $\alpha$  の未然的将然相におけるデーター出雲隠岐方言・高年層ー

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、ユニフォームに着替え、走者レーンに向かっているAがいた。(Aはもうすぐ走る)				15	15
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、冷蔵庫から肉を取り出し、フライパンを温めているAがいた。(Aはもうすぐ肉を焼く)				15	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、空が曇り始めていて薄暗かった。(もうすぐ雨が降る)				15	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、机の上に資料を広げているAがいた。(Aはもうすぐ作戦を考える)				15	

<sup>39</sup> TORU には、=teoru, =teoo, =toru, =too の4音形が存在するが、機能による相違は観察されないため、発話例の表記を=teoru に統合する。



表106 事態  $\alpha$  の既然的将然相におけるデーター出雲隠岐方言・高年層ー

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、スタートラインに立ち、手首足首を回しているAがいた。(Aは走る直前)				15	15
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、フライパンに油をひき、トレーから肉を取り出しているAがいた。(Aは肉を焼く直前)		3	1	12	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、空がどんより曇っていて、ジメジメしていた。(雨が降る直前)				15	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、机の上の資料に目を通し始めているAがいた。(Aは作戦を考える直前)				15	

表107 事態  $\alpha$  の進行相におけるデーター出雲隠岐方言・高年層ー

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Progressive	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、走っている最中のAがいた。(Aは走っている最中)		15	7		15
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、肉を焼いている最中のAがいた。(Aは肉を焼いている最中)		15	7		
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、雨が降っている最中だった。(雨が降っている最中)		15	5		
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、作戦を考えている最中のAがいた。(Aは作戦を考えている最中)		15	2		

表108 事態  $\alpha$  の結果相におけるデーター出雲隠岐方言・高年層ー

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、100m走を終えて休憩しているAがいた。(Aは既に走った後)		3	1	12	15
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、焼き終えた肉を皿へ移しているAがいた。(Aは既に肉を焼いた後)		2		13	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、地面が濡れ、水たまりができていた。(雨は既に降った後)		2		13	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、作戦会議を終えて資料を片付けているAがいた。(Aは既に作戦を考えた後)		6		9	

表 105, 表 106, 表 107, 表 108 より, アスペクト形式の機能重複は, TORU と TERU が, 進行相を標示する場合に生じているということが分かる。

また, (114)と(115)は, 事態  $\beta$  における出雲隠岐方言の高年層話者による発話例である。

(114) (教室に入ると, 荷物を置いて, 椅子を引き出している太郎がいた。)

a. taroo moosugu \*suwat=teoru. / \*suwat=teru.

太郎 もうすぐ 座る=RES.NPST / 座る=RES.NPST

「太郎 (は) もうすぐ, 座る。」

b. taroo \*suwat=teoru. / \*suwat=teru.

太郎 座る=RES.NPST / 座る=RES.NPST

「太郎 (は) 座ろうとしている。」

(114a)と(114b)は, TORU と TERU は, 将然相を標示しないということを示している。

(115) (教室に入ると、既に席に着いている太郎がいた。)

taroo moo suwat=teoru. / suwat=teru.

太郎 もう 座る=RES.NPST / 座る=RES.NPST

「太郎 (は) もう、座っている。」

(115)は、TORU と TERU は、結果相を標示するというを示している。各事態におけるデータを、表 109, 表 110, 表 111 に示す。

表109 事態βの未然的将然相におけるデーター出雲隠岐方言・高年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 席に向かっているAがいた。(Aはもうすぐ座る)				15	15
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, 軽く痙攣しているネズミがいた。(ネズミはもうすぐ死ぬ)				15	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの燃料が少なくなっていた。(もうすぐ火が消える)				15	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, 火を消すためストーブに近付いているAがいた。(Aはもうすぐ火を消す)				15	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていた。(もうすぐ晴れる)				15	

表110 事態βの既然的将然相におけるデーター出雲隠岐方言・高年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 荷物を置いて, 椅子を引き出しているAがいた。(Aは座る直前)				15	15
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ひどく痙攣しているネズミがいた。(ネズミは死ぬ直前)				15	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの火がとても弱くなっていて, 消えていっている様子だった。(火が消える直前)				15	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープのスイッチに手を伸ばしているAがいた。(Aは火を消す直前)		2	2	13	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていて雨雲の隙間から太陽が見え始めていた。(晴れる直前)				15	

表111 事態βの結果相におけるデーター出雲隠岐方言・高年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 既に席に着いているAがいた。(Aは既に座った後)		15	7		15
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ネズミが1匹死んでいた。(ネズミは既に死んだ後)		15	6		
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, 点いているはずのストーブの火が消えていた。(火は消えた後)		15	7		
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープの火を消し終えて換気をしているAがいた。(Aは既に火を消した後)		15	2		
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雲ひとつない青空になっていた。(既に晴れた後)		15	6		

表 109, 表 110, 表 111 より、アスペクト形式の機能重複は、TORU と TERU が、結果相を標示する場合に生じているということが分かる。

次に、(116)と(117)は、事態  $\alpha$  における出雲隠岐方言の中年層話者による発話例である。

(116) (運動場に行くと、スタートラインに立ち、手首足首を回している太郎がいた。)

a. taroo moosugu \*hasit=teoru. / \*hasit=teru.

太郎 もうすぐ 走る=PROG.NPST / 走る=PROG.NPST

「太郎 (は) もうすぐ、走る。」

b. taroo \*hasit=teoru. / \*hasit=teru.

太郎 走る=PROG.NPST / 走る=PROG.NPST

「太郎 (は)、走ろうとしている。」

(116a)と(116b)は、TORU と TERU は、将然相を標示しないということを示している。

(117) a. (運動場に行くと、走っている最中の太郎がいた。)

taroo ima hasit=teoru. / hasit=teru.

太郎 今 走る=PROG.NPST / 走る=PROG.NPST

「太郎 (は) 今、走っている。」

b. (運動場に行くと、100m 走を走り終えて、休憩している太郎がいた。)

taroo moo hasit=teoru. / ?hasit=teru.

太郎 もう 走る=RES.NPST / 走る=RES.NPST

「太郎 (は) もう、走り終えている。」

(117a)と(117b)は、TORU は、進行相と結果相、TERU は、進行相を標示するということを示している。(116)と(117)より、アスペクト形式の機能重複は、TORU と TERU が、進行相を標示する場合に生じているということが分かる。

また、(118)と(119)は、事態  $\beta$  における出雲隠岐方言の中年層話者による発話例である。

(118) (教室に入ると、荷物を置いて、椅子を引き出している太郎がいた。)

a. taroo moosugu \*suwat=teoru. / \*suwat=teru.

太郎 もうすぐ 座る=RES.NPST / 座る=RES.NPST

「太郎 (は) もうすぐ、座る。」

b. taroo \*suwat=teoru. / \*suwat=teru.

太郎 座る=RES.NPST / 座る=RES.NPST

「太郎 (は) 座ろうとしている。」

(118a)と(118b)は、TORU と TERU は、将然相を標示しないということを示している。

(119) (教室に入ると、既に席に着いている太郎がいた。)

taroo moo suwat=teoru. / suwat=teru.

太郎 もう 座る=RES.NPST / 座る=RES.NPST

「太郎 (は) もう、座っている。」

(119)は、TORU と TERU は、結果相を標示するというを示している。(118)と(119)より、アスペクト形式の機能重複は、TORU と TERU が、結果相を標示する場合に生じているということが分かる。

次に、(120)と(121)は、事態  $\alpha$  における出雲隠岐方言の若年層話者による発話例である。

(120) (運動場に行くと、スタートラインに立ち、手首足首を回している太郎がいた。)

a. taroo moosugu \*hasit=teoru. / \*hasit=teru.

太郎 もうすぐ 走る=PROG.NPST / 走る=PROG.NPST

「太郎 (は) もうすぐ、走る。」

b. taroo \*hasit=teoru. / \*hasit=teru.

太郎 走る=PROG.NPST / 走る=PROG.NPST

「太郎 (は)、走ろうとしている。」

(120a)と(120b)は、TORU と TERU は、将然相を標示しないということを示している。

(121) a. (運動場に行くと、走っている最中の太郎がいた。)

taroo ima hasit=teoru. / hasit=teru.

太郎 今 走る=PROG.NPST / 走る=PROG.NPST

「太郎 (は) 今、走っている。」

b. (運動場に行くと、100m 走を走り終えて、休憩している太郎がいた。)

taroo moo hasit=teoru. / hasit=teru.

太郎 もう 走る=RES.NPST / 走る=RES.NPST

「太郎 (は) もう、走り終えている。」

(121a)と(121b)は、TORU と TERU は、進行相と結果相を標示するというを示している。(120)と(121)より、アスペクト形式の機能重複は、TORU と TERU が、進行相と結果相を標示する場合に生じているということが分かる。

また、(122)と(123)は、事態  $\beta$  における出雲隠岐方言の若年層話者による発話例である。

(122) (教室に入ると、荷物を置いて、椅子を引き出している太郎がいた。)

a. taroo moosugu \*suwat=teoru. / \*suwat=teru.

太郎 もうすぐ 座る=RES.NPST / 座る=RES.NPST

「太郎 (は) もうすぐ, 座る。」

b. taroo \*suwat=teoru. / \*suwat=teru.

太郎 座る=RES.NPST / 座る=RES.NPST

「太郎 (は) 座ろうとしている。」

(122a)と(122b)は、TORU と TERU は、将然相を標示しないということを示している。

(123) (教室に入ると、既に席に着いている太郎がいた。)

taroo moo suwat=teoru. / suwat=teru.

太郎 もう 座る=RES.NPST / 座る=RES.NPST

「太郎 (は) もう, 座っている。」

(123)は、TORU と TERU は、結果相を標示するということを示している。(122)と(123)より、アスペクト形式の機能重複は、TORU と TERU が、結果相を標示する場合に生じているということが分かる。

第二に、石見方言には、YORU, TORU, TERU の3形式が存在する。YORU が、将然相と進行相を標示するのに対して、TORU と TERU は、進行相と結果相を標示する。(124)と(125)は、事態  $\alpha$  における石見方言の高年層話者による発話例である。

(124) (運動場に行くと、スタートラインに立ち、手首足首を回している太郎がいた。)

a. taroo moosugu \*hasiri=joru. / \*hasit=toru. / \*hasit=teru.

太郎 もうすぐ 走る=PROG.NPST / 走る=PROG.NPST / 走る=PROG.NPST

「太郎 (は) もうすぐ, 走る。」

b. taroo \*hasiri=joru. / \*hasit=toru. / \*hasit=teru.

太郎 走る=PROG.NPST / 走る=PROG.NPST / 走る=PROG.NPST

「太郎 (は), 走ろうとしている。」

(124a)と(124b)は、YORU, TORU, TERU は、将然相を標示しないということを示している。

(125) a. (運動場に行くと、走っている最中の太郎がいた。)

taroo ima ?hasiri=joru. / hasit=toru. / ?hasit=teru.

太郎 今 走る=PROG.NPST / 走る=PROG.NPST / 走る=PROG.NPST

「太郎 (は) 今、走っている。」

b. (運動場に行くと、100m 走を走り終えて、休憩している太郎がいた。)

taroo moo \*hasiri=joru. / \*hasit=toru. / \*hasit=teru.

太郎 もう 走る=PROG.NPST / 走る=PROG.NPST / 走る=PROG.NPST

「太郎 (は) もう、走り終えている。」

(125a)と(125b)は、TORU は、進行相を標示するというを示している。各事態におけるデータを、表 112, 表 113, 表 114, 表 115 に示す。

表112 事態  $\alpha$  の未然的将然相におけるデーター石見方言・高年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、ユニフォームに着替え、走者レーンに向かっているAがいた。(Aはもうすぐ走る)				6	6
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、冷蔵庫から肉を取り出し、フライパンを温めているAがいた。(Aはもうすぐ肉を焼く)				6	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、空が曇り始めていて薄暗かった。(もうすぐ雨が降る)				6	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、机の上に資料を広げているAがいた。(Aはもうすぐ作戦を考える)				6	

表113 事態  $\alpha$  の既然的将然相におけるデーター石見方言・高年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、スタートラインに立ち、手首足首を回しているAがいた。(Aは走る直前)				6	6
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、フライパンに油をひき、トレーから肉を取り出しているAがいた。(Aは肉を焼く直前)	1			5	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、空がどんより曇っていて、ジメジメしていた。(雨が降る直前)				6	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、机の上の資料に目を通し始めているAがいた。(Aは作戦を考える直前)				6	

表114 事態  $\alpha$  の進行相におけるデーター石見方言・高年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Progressive	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、走っている最中のAがいた。(Aは走っている最中)	2	6	2		6
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、肉を焼いている最中のAがいた。(Aは肉を焼いている最中)	2	6	2		
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、雨が降っている最中だった。(雨が降っている最中)	2	6	2		
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、作戦を考えている最中のAがいた。(Aは作戦を考えている最中)	2	6	2		

表115 事態  $\alpha$  の結果相におけるデーター石見方言・高年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後, 運動場に行くとき, 100m走を終えて休憩しているAがいた。(Aは既に走った後)		1		5	6
焼く	主体動作 客体変化	夕食前, 台所に行くとき, 焼き終えた肉を皿へ移しているAがいた。(Aは既に肉を焼いた後)		1		5	
降る	自然現象	朝, 部屋のカーテンを開けると, 地面が濡れ, 水たまりができていた。(雨は既に降った後)		1		5	
考える	心理	昼食後, 会議室に入ると, 作戦会議を終えて資料を片付けているAがいた。(Aは既に作戦を考えた後)		1		5	

表 112, 表 113, 表 114, 表 115 より, アスペクト形式の機能重複は, ほとんど生じていないということが分かる。

また, (126)と(127)は, 事態  $\beta$  における石見方言の高年層話者による発話例である。

(126) (教室に入ると, 荷物を置いて, 椅子を引き出している太郎がいた。)

a. taroo moosugu \*suwari=joru. / \*suwat=toru. / \*suwat=teru.

太郎 もうすぐ 座る=R-PROSP.NPST / 座る=RES.NPST / 座る=RES.NPST

「太郎 (は) もうすぐ, 座る。」

b. taroo suwari=joru. / \*suwat=toru. / \*suwat=teru.

太郎 座る=R-PROSP.NPST / 座る=RES.NPST / 座る=RES.NPST

「太郎 (は) 座ろうとしている。」

(126a)と(126b)は, YORU は, 既然的将然相を標示するということを示している。

(127) (教室に入ると, 既に席に着いている太郎がいた。)

taroo moo \*suwari=joru. / suwat=toru. / ?suwat=teru.

太郎 もう 座る=R-PROSP.NPST / 座る=RES.NPST / 座る=RES.NPST

「太郎 (は) もう, 座っている。」

(127)は, TORU は, 結果相を標示するということを示している。各事態におけるデータを, 表 116, 表 117, 表 118 に示す。

表116 事態βの未然的将来相におけるデーター石見方言・高年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 席に向かっているAがいた。(Aはもうすぐ座る)				6	6
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, 軽く痙攣しているネズミがいた。(ネズミはもうすぐ死ぬ)				6	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの燃料が少なくなっていた。(もうすぐ火が消える)				6	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, 火を消すためストーブに近付いているAがいた。(Aはもうすぐ火を消す)				6	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていた。(もうすぐ晴れる)				6	

表117 事態βの既然的将来相におけるデーター石見方言・高年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 荷物を置いて, 椅子を引き出しているAがいた。(Aは座る直前)	4			2	6
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ひどく痙攣しているネズミがいた。(ネズミは死ぬ直前)	4			2	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの火がとても弱くなっていて, 消えていっている様子だった。(火が消える直前)	4			2	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープのスイッチに手を伸ばしているAがいた。(Aは火を消す直前)	4			2	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていて雨雲の隙間から太陽が見え始めていた。(晴れる直前)	4			2	

表118 事態βの結果相におけるデーター石見方言・高年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 既に席に着いているAがいた。(Aは既に座った後)	1	6	3		6
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ネズミが1匹死んでいた。(ネズミは既に死んだ後)	1	6	2		
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, 点いているはずのストーブの火が消えていた。(火は消えた後)	1	6	2		
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープの火を消し終えて換気をしているAがいた。(Aは既に火を消した後)		6			
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雲ひとつない青空になっていた。(既に晴れた後)		6			

表 116, 表 117, 表 118 より, アスペクト形式の機能重複は, ほとんど生じていないということが分かる。

石見方言では, 高年層と中年層の間の方言差は観察されなかったため, 中年層における発話例を割愛する。

次に, (128)と(129)は, 事態αにおける石見方言の若年層話者による発話例である。



(128) (運動場に行くと、スタートラインに立ち、手首足首を回している太郎がいた。)

a. taroo moosugu \*hasiri=joru. / \*hasit=toru. / \*hasit=teru.

太郎 もうすぐ 走る=R-PROSP.NPST / 走る=PROG.NPST / 走る=PROG.NPST

「太郎 (は) もうすぐ, 走る。」

b. taroo ?hasiri=joru. / \*hasit=toru. / \*hasit=teru.

太郎 走る=R-PROSP.NPST / 走る=PROG.NPST / 走る=PROG.NPST

「太郎 (は), 走ろうとしている。」

(128a)と(128b)は、YORU, TORU, TERU は、将然相を標示しないということを示している。

(129) a. (運動場に行くと、走っている最中の太郎がいた。)

taroo ima hasiri=joru. / hasit=toru. / hasit=teru.

太郎 今 走る=PROG.NPST / 走る=PROG.NPST / 走る=PROG.NPST

「太郎 (は) 今, 走っている。」

b. (運動場に行くと、100m 走を走り終えて、休憩している太郎がいた。)

taroo moo \*hasiri=joru. / hasit=toru. / hasit=teru.

太郎 もう 走る=PROG.NPST / 走る=RES.NPST / 走る=RES.NPST

「太郎 (は) もう, 走り終えている。」

(129a)と(129b)は、YORU は進行相、TORU と TERU は、進行相と結果相を標示するということを示している。(128)と(129)より、アスペクト形式の機能重複は、YORU, TORU, TERU が進行相を標示する場合と、TORU と TERU が、結果相を標示する場合に生じているということが分かる。

また、(130)と(131)は、事態  $\beta$  における石見方言の若年層話者による発話例である。

(130) (教室に入ると、荷物を置いて、椅子を引き出している太郎がいた。)

a. taroo moosugu \*suwari=joru. / \*suwat=toru. / \*suwat=teru.

太郎 もうすぐ 座る=R-PROSP.NPST / 座る=RES.NPST / 座る=RES.NPST

「太郎 (は) もうすぐ, 座る。」

b. taroo suwari=joru. / \*suwat=toru. / \*suwat=teru.

太郎 座る=R-PROSP.NPST / 座る=RES.NPST / 座る=RES.NPST

「太郎 (は) 座ろうとしている。」

(130a)と(130b)は、YORU は、既然的将然相を標示するということを示している。

(131) (教室に入ると、既に席に着いている太郎がいた。)

taroo moo ?suwari=joru. / suwat=toru. / suwat=teru.

太郎 もう 座る=RES.NPST / 座る=RES.NPST / 座る=RES.NPST

「太郎 (は) もう、座っている。」

(131)は、TORU と TERU は、結果相を標示するというを示している。(130)と(131)より、アスペクト形式の機能重複は、TORU と TERU が結果相を標示する場合に生じているということが分かる。

### 4.2.3. 鳥取方言のアスペクト体系

鳥取方言は、因幡方言、東伯耆方言、西伯耆方言の3つに区画されている。



図16 鳥取方言の区画 (野間 2018: 63)

鳥取方言では、因幡方言と東伯耆方言の間に方言差は観察されなかったため、方言差が観察された東部方言 (因幡方言、東伯耆方言) と西伯耆方言の2区画に従ってデータを提示する。また、本節では、中年層と若年層におけるデータを割愛するが、鳥取方言の各年齢層のデータに関しては、付録 337-378 に添付する。

第一に、東部方言には、YORU と TORU の2形式が存在する。YORU が、将然相と進行相を標示するのに対して、TORU は、進行相と結果相を標示する。(132)と(133)は、事態  $\alpha$  における東部方言の高年齢層話者による発話例である。

(132) (運動場に行くと、スタートラインに立ち、手首足首を回している太郎がいた。)

a. taroo moosugu \*hasir=jooru. / \*hasit=toru.

太郎 もうすぐ 走る=PROG.NPST / 走る=RES.NPST

「太郎 (は) もうすぐ、走る。」

b. taroo \*hasir=jooru. / \*hasit=toru.

太郎 走る=PROG.NPST / 走る=RES.NPST

「太郎 (は), 走ろうとしている。」

(132a)と(132b)は、YORU と TORU は、将然相を標示しないということを示している。

(133) a. (運動場に行くと、走っている最中の太郎がいた。)

taroo ima hasir=jooru. / hasit=toru.

太郎 今 走る=PROG.NPST / 走る=PROG.NPST

「太郎 (は) 今、走っている。」

b. (運動場に行くと、100m 走を走り終えて、休憩している太郎がいた。)

taroo moo \*hasir=jooru. / hasit=toru.

太郎 もう 走る=PROG.NPST / 走る=RES.NPST

「太郎 (は) もう、走り終えている。」

(133a)と(133b)は、YORU は進行相、TORU は、進行相と結果相を標示するということを示している。各事態におけるデータを、表 119, 表 120, 表 121, 表 122 に示す。

表119 事態  $\alpha$  の未然的将然相におけるデーター東部方言・高年層ー

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、ユニフォームに着替え、走者レーンに向かっているAがいた。(Aはもうすぐ走る)				12	12
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、冷蔵庫から肉を取り出し、フライパンを温めているAがいた。(Aはもうすぐ肉を焼く)				12	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、空が曇り始めていて薄暗かった。(もうすぐ雨が降る)				12	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、机の上に資料を広げているAがいた。(Aはもうすぐ作戦を考える)				12	

表120 事態  $\alpha$  の既然的将然相におけるデーター東部方言・高年層ー

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、スタートラインに立ち、手首足首を回しているAがいた。(Aは走る直前)				12	12
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、フライパンに油をひき、トレーから肉を取り出し出しているAがいた。(Aは肉を焼く直前)				12	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、空がどんより曇っていて、ジメジメしていた。(雨が降る直前)				12	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、机の上の資料に目を通し始めているAがいた。(Aは作戦を考える直前)				12	

表121 事態  $\alpha$  の進行相におけるデーター東部方言・高年層ー

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Progressive	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、走っている最中のAがいた。(Aは走っている最中)	12	9			12
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、肉を焼いている最中のAがいた。(Aは肉を焼いている最中)	12	9			
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、雨が降ってる最中だった。(雨が降っている最中)	12	9			
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、作戦を考えている最中のAがいた。(Aは作戦を考えている最中)	9	9			

表122 事態  $\alpha$  の結果相におけるデーター東部方言・高年層ー

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、100m走を終えて休憩しているAがいた。(Aは既に走った後)		7		5	12
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、焼き終えた肉を皿へ移しているAがいた。(Aは既に肉を焼いた後)		7		5	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、地面が濡れ、水たまりができていた。(雨は既に降った後)		5		7	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、作戦会議を終えて資料を片付けているAがいた。(Aは既に作戦を考えた後)		7		5	

表 119, 表 120, 表 121, 表 122 より, アスペクト形式の機能重複は, YORU と TORU が, 進行相を標示する場合に生じているということが分かる。

また, (134)と(135)は, 事態  $\beta$  における東部方言の高年層話者による発話例である。

(134) (教室に入ると, 荷物を置いて, 椅子を引き出している太郎がいた。)

a. taroo moosugu \*suwar=jooru. / \*suwat=toru.

太郎 もうすぐ 座る=R-PROSP.NPST / 座る=RES.NPST

「太郎 (は) もうすぐ, 座る。」

b. taroo suwar=jooru. / \*suwat=toru.

太郎 座る=R-PROSP.NPST / 座る=RES.NPST

「太郎 (は) 座ろうとしている。」

(134a)と(134b)は, YORU は, 既然的将然相を標示するということを示している。

(135) (教室に入ると, 既に席に着いている太郎がいた。)

taroo moo \*suwar=jooru. / suwat=toru.

太郎 もう 座る=R-PROSP.NPST / 座る=RES.NPST

「太郎 (は) もう, 座っている。」

(135)は, TORU は, 結果相を標示するということを示している。各事態におけるデータを, 表 123, 表 124, 表 125 に示す。

表123 事態βの未然的將然相におけるデーター東部方言・高年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 席に向かっているAがいた。(Aはもうすぐ座る)				12	12
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, 軽く痙攣しているネズミがいた。(ネズミはもうすぐ死ぬ)				12	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの燃料が少なくなっていた。(もうすぐ火が消える)				12	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, 火を消すためストーブに近付いているAがいた。(Aはもうすぐ火を消す)				12	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていた。(もうすぐ晴れる)				12	

表124 事態βの既然的將然相におけるデーター東部方言・高年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 荷物を置いて, 椅子を引き出ししているAがいた。(Aは座る直前)	10			2	12
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ひどく痙攣しているネズミがいた。(ネズミは死ぬ直前)	7			5	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの火がとても弱くなっていて, 消えていっている様子だった。(火が消える直前)	10			2	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープのスイッチに手を伸ばしているAがいた。(Aは火を消す直前)	10			2	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていて雨雲の隙間から太陽が見え始めていた。(晴れる直前)	10			2	

表125 事態βの結果相におけるデーター東部方言・高年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 既に席に着いているAがいた。(Aは既に座った後)		12			12
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ネズミが1匹死んでいた。(ネズミは既に死んだ後)		12			
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, 点いているはずのストーブの火が消えていた。(火は消えた後)		12			
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープの火を消し終えて換気をしているAがいた。(Aは既に火を消した後)		12			
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雲ひとつない青空になっていた。(既に晴れた後)		12			

表 123, 表 124, 表 125 より, アスペクト形式の機能重複は, 生じていないということが分かる。

東部方言では, 各年齢層による方言差は観察されなかったため, 中年層と若年層における発話例を割愛する。

第二に, 西伯者方言には, TORU の 1 形式が存在する。TORU は, 進行相と結果相を標示する<sup>40</sup>。(136)と(137)は, 事態αにおける西伯者方言の高年層話者による発話例である。

<sup>40</sup> TORU には, =teoo と=toru の 2 音形が存在するが, 機能による相違は観察されないため, 発話例の表記を=teoo に統合する。

(136) (運動場に行くと、スタートラインに立ち、手首足首を回している太郎がいた。)

a. taroo moosugu \*hasit=teoo.

太郎 もうすぐ 走る=PROG.NPST

「太郎 (は) もうすぐ、走る。」

b. taroo \*hasit=teoo.

太郎 走る=PROG.NPST

「太郎 (は), 走ろうとしている。」

(136a)と(136b)は、TORU は、将然相を標示しないということを示している。

(137) a. (運動場に行くと、走っている最中の太郎がいた。)

taroo ima hasit=teoo.

太郎 今 走る=PROG.NPST

「太郎 (は) 今、走っている。」

b. (運動場に行くと、100m 走を走り終えて、休憩している太郎がいた。)

taroo moo ?hasit=teoo.

太郎 もう 走る=RES.NPST

「太郎 (は) もう、走り終えている。」

(137a)と(137b)は、TORU は、進行相を標示するということを示している。各事態におけるデータを、表 126, 表 127, 表 128, 表 129 に示す。

表126 事態  $\alpha$  の未然的将然相におけるデーター西伯耆方言・高年層ー

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、ユニフォームに着替え、走者レーンに向かっているAがいた。(Aはもうすぐ走る)				5	5
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、冷蔵庫から肉を取り出し、フライパンを温めているAがいた。(Aはもうすぐ肉を焼く)				5	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、空が曇り始めていて薄暗かった。(もうすぐ雨が降る)				5	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、机の上に資料を広げているAがいた。(Aはもうすぐ作戦を考える)				5	

表127 事態  $\alpha$  の既然的将然相におけるデーター西伯耆方言・高年層ー

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、スタートラインに立ち、手首足首を回しているAがいた。(Aは走る直前)				5	5
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、フライパンに油をひき、トレーから肉を取り出しているAがいた。(Aは肉を焼く直前)				5	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、空がどんより曇っていて、ジメジメしていた。(雨が降る直前)				5	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、机の上の資料に目を通し始めているAがいた。(Aは作戦を考える直前)				5	

表128 事態  $\alpha$  の進行相におけるデーター西伯耆方言・高年層ー

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Progressive	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後, 運動場に行くと, 走っている最中のAがいた。(Aは走っている最中)		5			5
焼く	主体動作 客体変化	夕食前, 台所に行くと, 肉を焼いている最中のAがいた。(Aは肉を焼いている最中)		5			
降る	自然現象	朝, 部屋のカーテンを開けると, 雨が降っている最中だった。(雨が降っている最中)		5			
考える	心理	昼食後, 会議室に入ると, 作戦を考えている最中のAがいた。(Aは作戦を考えている最中)		5			

表129 事態  $\alpha$  の結果相におけるデーター西伯耆方言・高年層ー

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後, 運動場に行くと, 100m走を終えて休憩しているAがいた。(Aは既に走った後)		1		4	5
焼く	主体動作 客体変化	夕食前, 台所に行くと, 焼き終えた肉を皿へ移しているAがいた。(Aは既に肉を焼いた後)				5	
降る	自然現象	朝, 部屋のカーテンを開けると, 地面が濡れ, 水たまりができていた。(雨は既に降った後)		3		2	
考える	心理	昼食後, 会議室に入ると, 作戦会議を終えて資料を片付けているAがいた。(Aは既に作戦を考えた後)		2		3	

表 126, 表 127, 表 128, 表 129 より, アスペクト形式の機能重複は, 生じていないということが分かる。

また, (138)と(139)は, 事態  $\beta$  における西伯耆方言の高年層話者による発話例である。

(138) (教室に入ると, 荷物を置いて, 椅子を引き出している太郎がいた。)

a. taroo moosugu \*suwat=teoo.

太郎 もうすぐ 座る=RES.NPST

「太郎 (は) もうすぐ, 座る。」

b. taroo \*suwat=teoo.

太郎 座る=RES.NPST

「太郎 (は) 座ろうとしている。」

(138a)と(138b)は, TORU は, 将然相を標示しないということを示している。

(139) (教室に入ると, 既に席に着いている太郎がいた。)

taroo moo suwat=teoo.

太郎 もう 座る=RES.NPST

「太郎 (は) もう, 座っている。」

(139)は, TORU は, 結果相を標示するというを示している。各事態におけるデータを, 表 130, 表 131, 表 132 に示す。

表130 事態βの未然的将然相におけるデーター西伯耆方言・高年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 席に向かっているAがいた。(Aはもうすぐ座る)				5	5
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, 軽く痙攣しているネズミがいた。(ネズミはもうすぐ死ぬ)				5	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの燃料が少なくなっていた。(もうすぐ火が消える)				5	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, 火を消すためストーブに近付いているAがいた。(Aはもうすぐ火を消す)				5	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていた。(もうすぐ晴れる)				5	

表131 事態βの既然的将然相におけるデーター西伯耆方言・高年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 荷物を置いて, 椅子を引き出しているAがいた。(Aは座る直前)				5	5
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ひどく痙攣しているネズミがいた。(ネズミは死ぬ直前)				5	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの火がとても弱くなっていて, 消えていっている様子だった。(火が消える直前)				5	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープのスイッチに手を伸ばしているAがいた。(Aは火を消す直前)		5			
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていて雨雲の隙間から太陽が見え始めていた。(晴れる直前)				5	

表132 事態βの結果相におけるデーター西伯耆方言・高年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 既に席に着いているAがいた。(Aは既に座った後)		5			5
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ネズミが1匹死んでいた。(ネズミは既に死んだ後)		5			
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, 点いているはずのストーブの火が消えていた。(火は消えた後)		5			
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープの火を消し終えて換気をしているAがいた。(Aは既に火を消した後)		5			
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雲ひとつない青空になっていた。(既に晴れた後)		5			

表130, 表131, 表132より, アスペクト形式の機能重複は, 生じていないということが分かる。

次に, (140)と(141)は, 事態αにおける西伯耆方言の中年層話者による発話例である。



(140) (運動場に行くと、スタートラインに立ち、手首足首を回している太郎がいた。)

a. taroo moosugu \*hasit=teoo.

太郎 もうすぐ 走る=PROG.NPST

「太郎 (は) もうすぐ, 走る。」

b. taroo \*hasit=teoo.

太郎 走る=PROG.NPST

「太郎 (は), 走ろうとしている。」

(140a)と(140b)は、TORU は、将然相を標示しないということを示している。

(141) a. (運動場に行くと、走っている最中の太郎がいた。)

taroo ima hasit=teoo.

太郎 今 走る=PROG.NPST

「太郎 (は) 今, 走っている。」

b. (運動場に行くと、100m 走を走り終えて、休憩している太郎がいた。)

taroo moo hasit=teoo.

太郎 もう 走る=RES.NPST

「太郎 (は) もう, 走り終えている。」

(141a)と(141b)は、TORU は、進行相と結果相を標示するということを示している。(140)と(141)より、アスペクト形式の機能重複は、生じていないということが分かる。

また、(142)と(143)は、事態  $\beta$  における西伯耆方言の中年層話者による発話例である。

(142) (教室に入ると、荷物を置いて、椅子を引き出している太郎がいた。)

a. taroo moosugu \*suwat=teoo.

太郎 もうすぐ 座る=RES.NPST

「太郎 (は) もうすぐ, 座る。」

b. taroo \*suwat=teoo.

太郎 座る=RES.NPST

「太郎 (は) 座ろうとしている。」

(142a)と(142b)は、TORU は、将然相を標示しないということを示している。

(143) (教室に入ると、既に席に着いている太郎がいた。)

taroo moo suwat=teoo.

太郎 もう 座る=RES.NPST

「太郎 (は) もう, 座っている。」

(143)は、TORUは、結果相を標示するということを示している。(143)と(144)より、アスペクト形式の機能重複は、生じていないということが分かる。

西伯耆方言では、中年層と若年層の間に方言差は観察されなかったため、若年層における発話例を割愛する。

#### 4.2.4. 広島方言のアスペクト体系

広島方言は、安芸方言と備後方言の2つに区画されている。



図17 広島方言の区画 (小西 2017: 115)

広島方言では、各方言区画による方言差は観察されなかったため、全ての方言区画を統合したデータを提示する。また、本節では、中年層と若年層におけるデータを割愛するが、広島方言の各年齢層のデータに関しては、付録 379-399 に添付する。

広島方言には、YORU と TORU の2形式が存在する。YORU が、将然相と進行相を標示するのに対して、TORU は、進行相と結果相を標示する。(144)と(145)は、事態  $\alpha$  における広島方言の高年齢層話者による発話例である。

(144) (運動場に行くと、スタートラインに立ち、手首足首を回している太郎がいた。)

a. taroo moosugu \*hasir=jooru. / \*hasit=toru.

太郎 もうすぐ 走る=PROG.NPST / 走る=RES.NPST

「太郎 (は) もうすぐ、走る。」

b. taroo \*hasir=jooru. / \*hasit=toru.

太郎 走る=PROG.NPST / 走る=RES.NPST

「太郎 (は), 走ろうとしている。」

(144a)と(144b)は、YORU と TORU は、将然相を標示しないということを示している。

(145) a. (運動場に行くと、走っている最中の太郎がいた。)

taroo ima hasir=jooru. / hasit=toru.

太郎 今 走る=PROG.NPST / 走る=PROG.NPST

「太郎 (は) 今、走っている。」

b. (運動場に行くと、100m 走を走り終えて、休憩している太郎がいた。)

taroo moo \*hasir=jooru. / hasit=toru.

太郎 もう 走る=PROG.NPST / 走る=RES.NPST

「太郎 (は) もう、走り終えている。」

(145a)と(145b)は、YORU は進行相、TORU は、進行相と結果相を標示するということを示している。各事態におけるデータを、表 133, 表 134, 表 135, 表 136 に示す。

表133 事態  $\alpha$  の未然的将然相におけるデーター広島方言・高年層ー

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、ユニフォームに着替え、走者レーンに向かっているAがいた。(Aはもうすぐ走る)				17	17
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、冷蔵庫から肉を取り出し、フライパンを温めているAがいた。(Aはもうすぐ肉を焼く)				17	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、空が曇り始めていて薄暗かった。(もうすぐ雨が降る)				17	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、机の上に資料を広げているAがいた。(Aはもうすぐ作戦を考える)				17	

表134 事態  $\alpha$  の既然的将然相におけるデーター広島方言・高年層ー

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、スタートラインに立ち、手首足首を回しているAがいた。(Aは走る直前)				17	17
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、フライパンに油をひき、トレーから肉を取り出し出しているAがいた。(Aは肉を焼く直前)				17	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、空がどんより曇っていて、ジメジメしていた。(雨が降る直前)				17	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、机の上の資料に目を通し始めているAがいた。(Aは作戦を考える直前)	1			16	

表135 事態  $\alpha$  の進行相におけるデーター広島方言・高年層ー

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Progressive	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後, 運動場に行くと, 走っている最中のAがいた。(Aは走っている最中)	17	17			17
焼く	主体動作 客体変化	夕食前, 台所に行くと, 肉を焼いている最中のAがいた。(Aは肉を焼いている最中)	17	17			
降る	自然現象	朝, 部屋のカーテンを開けると, 雨が降ってる最中だった。(雨が降っている最中)	17	17	1		
考える	心理	昼食後, 会議室に入ると, 作戦を考えている最中のAがいた。(Aは作戦を考えている最中)	17	17			

表136 事態  $\alpha$  の結果相におけるデーター広島方言・高年層ー

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後, 運動場に行くと, 100m走を終えて休憩しているAがいた。(Aは既に走った後)		17			17
焼く	主体動作 客体変化	夕食前, 台所に行くと, 焼き終えた肉を皿へ移しているAがいた。(Aは既に肉を焼いた後)		11		6	
降る	自然現象	朝, 部屋のカーテンを開けると, 地面が濡れ, 水たまりができていた。(雨は既に降った後)		16		1	
考える	心理	昼食後, 会議室に入ると, 作戦会議を終えて資料を片付けているAがいた。(Aは既に作戦を考えた後)		11		6	

表 133, 表 134, 表 135, 表 136 より, アスペクト形式の機能重複は, YORU と TORU が, 進行相を標示する場合に生じているということが分かる。

また, (146)と(147)は, 事態  $\beta$  における広島方言の高年層話者による発話例である。

(146) (教室に入ると, 荷物を置いて, 椅子を引き出している太郎がいた。)

a. taroo moosugu \*suwar=jooru. / \*suwat=toru.

太郎 もうすぐ 座る=R-PROSP.NPST / 座る=RES.NPST

「太郎 (は) もうすぐ, 座る。」

b. taroo suwar=jooru. / \*suwat=toru.

太郎 座る=R-PROSP.NPST / 座る=RES.NPST

「太郎 (は) 座ろうとしている。」

(146a)と(146b)は, YORU は, 既然的将然相を標示するということを示している。

(147) (教室に入ると, 既に席に着いている太郎がいた。)

taroo moo \*suwar=jooru. / suwat=toru.

太郎 もう 座る=R-PROSP.NPST / 座る=RES.NPST

「太郎 (は) もう, 座っている。」

(147)は, TORU は, 結果相を標示するということを示している。各事態におけるデータを, 表 137, 表 138, 表 139 に示す。

表137 事態βの未然的将来相におけるデーター広島方言・高年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 席に向かっているAがいた。(Aはもうすぐ座る)				17	17
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, 軽く痙攣しているネズミがいた。(ネズミはもうすぐ死ぬ)				17	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの燃料が少なくなっていた。(もうすぐ火が消える)				17	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, 火を消すためストーブに近付いているAがいた。(Aはもうすぐ火を消す)				17	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていた。(もうすぐ晴れる)				17	

表138 事態βの既然的将来相におけるデーター広島方言・高年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 荷物を置いて, 椅子を引き出ししているAがいた。(Aは座る直前)	17				17
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ひどく痙攣しているネズミがいた。(ネズミは死ぬ直前)	17				
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの火がとても弱くなっていて, 消えていっている様子だった。(火が消える直前)	17				
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープのスイッチに手を伸ばしているAがいた。(Aは火を消す直前)	17				
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていて雨雲の隙間から太陽が見え始めていた。(晴れる直前)	17				

表139 事態βの結果相におけるデーター広島方言・高年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 既に席に着いているAがいた。(Aは既に座った後)		17			17
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ネズミが1匹死んでいた。(ネズミは既に死んだ後)		17			
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, 点いているはずのストーブの火が消えていた。(火は消えた後)		17			
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープの火を消し終えて換気をしているAがいた。(Aは既に火を消した後)		17			
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雲ひとつない青空になっていた。(既に晴れた後)		17			

表 137, 表 138, 表 139 より, アスペクト形式の機能重複は, 生じていないということが分かる。

広島方言では, 各年齢層による方言差は観察されなかったため, 中年層と若年層における発話例を割愛する。

#### 4.2.5. 山口方言のアスペクト体系

山口方言は, 周防方言と長門方言の 2 つに区画されている。さらに, 山口方言は, 各区画の下位分類を含めれば, 大島方言, 東周防方言, 西周防方言, 北長門方言, 南長門方言, 豊関方言の 6 つに区画されている。



図18 山口方言の区画 (船木 2014: 112)

山口方言では、各方言区画による方言差は観察されなかったため、全ての方言区画を統合したデータを提示する。また、本節では、中年層と若年層におけるデータを割愛するが、山口方言の各年齢層のデータに関しては、付録 400-420 に添付する。

山口方言には、YORU と TORU の 2 形式が存在する。YORU が、将然相と進行相を標示するのに対して、TORU は、進行相と結果相を標示する<sup>41</sup>。(148)と(149)は、事態  $\alpha$  における山口方言の高年齢層話者による発話例である。

(148) (運動場に行くと、スタートラインに立ち、手首足首を回している太郎がいた。)

a. taroo moosugu \*hasiri=joru. / \*hasit=teoru.

太郎 もうすぐ 走る=PROG.NPST / 走る=RES.NPST

「太郎 (は) もうすぐ、走る。」

b. taroo ?hasiri=joru. / \*hasit=teoru.

太郎 走る=R-PROSP.NPST / 走る=RES.NPST

「太郎 (は)、走ろうとしている。」

(148a)と(148b)は、YORU と TORU は、将然相を標示しないということを示している。

<sup>41</sup> TORU には、=teoru と=toru の 2 音形が存在するが、機能による相違は観察されないため、発話例の表記を=teoru に統合する。

(149) a. (運動場に行くと、走っている最中の太郎がいた。)

taroo ima hasiri=joru. / hasit=teoru.

太郎 今 走る=PROG.NPST / 走る=PROG.NPST

「太郎 (は) 今、走っている。」

b. (運動場に行くと、100m 走を走り終えて、休憩している太郎がいた。)

taroo moo \*hasiri=joru. / hasit=teoru.

太郎 もう 走る=PROG.NPST / 走る=RES.NPST

「太郎 (は) もう、走り終えている。」

(149a)と(149b)は、YORU は進行相，TORU は、進行相と結果相を標示するというを示している。各事態におけるデータを、表 140，表 141，表 142，表 143 に示す。

表140 事態  $\alpha$  の未然的将然相におけるデーター山口方言・高年層ー

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後，運動場に行くと，ユニフォームに着替え，走者レーンに向かっているAがいた。(Aはもうすぐ走る)				21	21
焼く	主体動作 客体変化	夕食前，台所に行くと，冷蔵庫から肉を取り出し，フライパンを温めているAがいた。(Aはもうすぐ肉を焼く)				21	
降る	自然現象	朝，部屋のカーテンを開けると，空が曇り始めていて薄暗かった。(もうすぐ雨が降る)				21	
考える	心理	昼食後，会議室に入ると，机の上に資料を広げているAがいた。(Aはもうすぐ作戦を考える)				21	

表141 事態  $\alpha$  の既然的将然相におけるデーター山口方言・高年層ー

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後，運動場に行くと，スタートラインに立ち，手首足首を回しているAがいた。(Aは走る直前)	5			16	21
焼く	主体動作 客体変化	夕食前，台所に行くと，フライパンに油をひき，トレーから肉を取り出しているAがいた。(Aは肉を焼く直前)	11	2		10	
降る	自然現象	朝，部屋のカーテンを開けると，空がどんより曇っていて，ジメジメしていた。(雨が降る直前)				21	
考える	心理	昼食後，会議室に入ると，机の上の資料に目を通し始めているAがいた。(Aは作戦を考える直前)	16	4		5	

表142 事態  $\alpha$  の進行相におけるデーター山口方言・高年層ー

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Progressive	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後，運動場に行くと，走っている最中のAがいた。(Aは走っている最中)	19	20			21
焼く	主体動作 客体変化	夕食前，台所に行くと，肉を焼いている最中のAがいた。(Aは肉を焼いている最中)	20	13			
降る	自然現象	朝，部屋のカーテンを開けると，雨が降っている最中だった。(雨が降っている最中)	20	20			
考える	心理	昼食後，会議室に入ると，作戦を考えている最中のAがいた。(Aは作戦を考えている最中)	19	16			

表143 事態  $\alpha$  の結果相におけるデーター山口方言・高年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後, 運動場に行くとき, 100m走を終えて休憩しているAがいた。(Aは既に走った後)		15		6	21
焼く	主体動作 客体変化	夕食前, 台所に行くとき, 焼き終えた肉を皿へ移しているAがいた。(Aは既に肉を焼いた後)		19		2	
降る	自然現象	朝, 部屋のカーテンを開けると, 地面が濡れ, 水たまりができていた。(雨は既に降った後)		12		9	
考える	心理	昼食後, 会議室に入ると, 作戦会議を終えて資料を片付けているAがいた。(Aは既に作戦を考えた後)		16		5	

表 140, 表 141, 表 142, 表 143 より, アスペクト形式の機能重複は, YORU と TORU が, 進行相を標示する場合に生じているということが分かる。

また, (150)と(151)は, 事態  $\beta$  における山口方言の高年層話者による発話例である。

(150) (教室に入ると, 荷物を置いて, 椅子を引き出している太郎がいた。)

a. taroo moosugu \*suwari=joru. / \*suwat=teoru.

太郎 もうすぐ 座る=R-PROSP.NPST / 座る=RES.NPST

「太郎 (は) もうすぐ, 座る。」

b. taroo suwari=joru. / \*suwat=teoru.

太郎 座る=R-PROSP.NPST / 座る=RES.NPST

「太郎 (は) 座ろうとしている。」

(150a)と(150b)は, YORU は, 既然的将然相を標示するということを示している。

(151) (教室に入ると, 既に席に着いている太郎がいた。)

taroo moo \*suwari=joru. / suwat=teoru.

太郎 もう 座る=R-PROSP.NPST / 座る=RES.NPST

「太郎 (は) もう, 座っている。」

(151)は, TORU は, 結果相を標示するということを示している。各事態におけるデータを, 表 144, 表 145, 表 146 に示す。



表144 事態βの未然的将来相におけるデーター山口方言・高年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 席に向かっているAがいた。(Aはもうすぐ座る)				21	21
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, 軽く痙攣しているネズミがいた。(ネズミはもうすぐ死ぬ)				21	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの燃料が少なくなっていた。(もうすぐ火が消える)				21	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, 火を消すためストーブに近付いているAがいた。(Aはもうすぐ火を消す)				21	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていた。(もうすぐ晴れる)				21	

表145 事態βの既然的将来相におけるデーター山口方言・高年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 荷物を置いて, 椅子を引き出ししているAがいた。(Aは座る直前)	21				21
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ひどく痙攣しているネズミがいた。(ネズミは死ぬ直前)	19			2	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの火がとても弱くなっていて, 消えていっている様子だった。(火が消える直前)	21				
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープのスイッチに手を伸ばしているAがいた。(Aは火を消す直前)	21				
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていて雨雲の隙間から太陽が見え始めていた。(晴れる直前)	21				

表146 事態βの結果相におけるデーター山口方言・高年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 既に席に着いているAがいた。(Aは既に座った後)		21			21
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ネズミが1匹死んでいた。(ネズミは既に死んだ後)		21			
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, 点いているはずのストーブの火が消えていた。(火は消えた後)		21			
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープの火を消し終えて換気をしているAがいた。(Aは既に火を消した後)		21			
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雲ひとつない青空になっていた。(既に晴れた後)		20		1	

表 144, 表 145, 表 146 より, アスペクト形式の機能重複は, 生じていないということが分かる。

山口方言では, 各年齢層による方言差は観察されなかったため, 中年層と若年層における発話例を割愛する。

### 4.3. 四国地方の諸方言データ

4.3 節では, 四国地方の方言に所属する高知方言と徳島方言のアスペクト体系を分析する。

### 4.3.1. 高知方言のアスペクト体系

高知方言は、土佐方言と幡多方言の2つに区画されている。

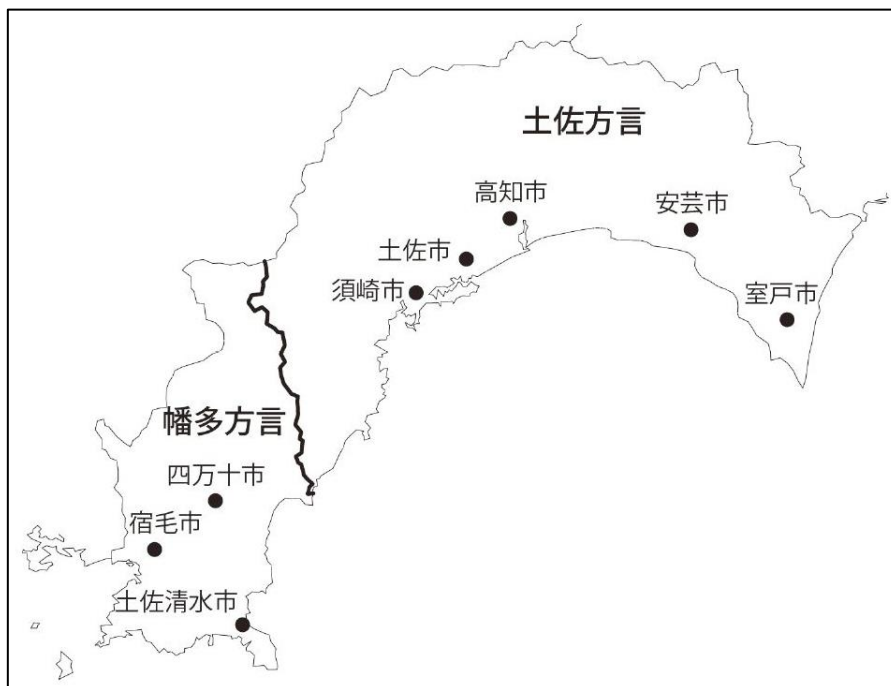


図19 高知方言の区画 (松丸 2017: 127)

高知方言では、各方言区画による方言差は観察されなかったため、全ての方言区画を統合したデータを提示する。また、本節では、中年層と若年層におけるデータを割愛するが、高知方言の各年齢層のデータに関しては、付録 421-441 に添付する。

高知方言には、YORU と TORU の2形式が存在する。YORU が、将然相と進行相を標示するのに対して、TORU は、結果相を標示する<sup>42</sup>。(152)と(153)は、事態  $\alpha$  における高知方言の高年層話者による発話例である。

(152) (運動場に行くと、スタートラインに立ち、手首足首を回している太郎がいた。)

a. taroo moosugu \*hasiri=juu. / \*hasit=teuu.

太郎 もうすぐ 走る=PROG.NPST / 走る=RES.NPST

「太郎 (は) もうすぐ、走る。」

b. taroo ?hasiri=juu. / \*hasit=teuu.

太郎 走る=R-PROSP.NPST / 走る=RES.NPST

「太郎 (は)、走ろうとしている。」

<sup>42</sup> YORU には、=juu と=joru の2音形が存在するが、機能による相違は観察されないため、発話例の表記を=jju に統合する。また、TORU には、=teuu と=toru の2音形が存在するが、機能による相違は観察されないため、発話例の表記を=teuu に統合する。

(152a)と(152b)は、YORU と TORU は、将然相を標示しないということを示している。

(153) a. (運動場に行くと、走っている最中の太郎がいた。)

taroo ima hasiri=juu. / \*hasit=teuu.

太郎 今 走る=PROG.NPST / 走る=RES.NPST

「太郎 (は) 今、走っている。」

b. (運動場に行くと、100m 走を走り終えて、休憩している太郎がいた。)

taroo moo \*hasiri=juu. / hasit=teuu.

太郎 もう 走る=PROG.NPST / 走る=RES.NPST

「太郎 (は) もう、走り終えている。」

(153a)と(153b)は、YORU は進行相、TORU は結果相を標示するということを示している。各事態におけるデータを、表 147, 表 148, 表 149, 表 150 に示す。

表147 事態 α の未然的将然相におけるデーター高知方言・高年層ー

Verb	Property	[α] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、ユニフォームに着替え、走者レーンに向かっているAがいた。(Aはもうすぐ走る)				16	16
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、冷蔵庫から肉を取り出し、フライパンを温めているAがいた。(Aはもうすぐ肉を焼く)				16	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、空が曇り始めていて薄暗かった。(もうすぐ雨が降る)				16	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、机の上に資料を広げているAがいた。(Aはもうすぐ作戦を考える)				16	

表148 事態 α の既然的将然相におけるデーター高知方言・高年層ー

Verb	Property	[α] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、スタートラインに立ち、手首足首を回しているAがいた。(Aは走る直前)	4			12	16
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、フライパンに油をひき、トレーから肉を取り出しているAがいた。(Aは肉を焼く直前)	6			10	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、空がどんより曇っていて、ジメジメしていた。(雨が降る直前)				16	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、机の上の資料に目を通し始めているAがいた。(Aは作戦を考える直前)	6			10	

表149 事態 α の進行相におけるデーター高知方言・高年層ー

Verb	Property	[α] Situation : Progressive	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、走っている最中のAがいた。(Aは走っている最中)	16				16
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、肉を焼いている最中のAがいた。(Aは肉を焼いている最中)	16				
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、雨が降っている最中だった。(雨が降っている最中)	16				
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、作戦を考えている最中のAがいた。(Aは作戦を考えている最中)	16				

表150 事態  $\alpha$  の結果相におけるデーター高知方言・高年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後, 運動場に行くとき, 100m走を終えて休憩しているAがいた。(Aは既に走った後)		16			16
焼く	主体動作 客体変化	夕食前, 台所に行くとき, 焼き終えた肉を皿へ移しているAがいた。(Aは既に肉を焼いた後)		16			
降る	自然現象	朝, 部屋のカーテンを開けると, 地面が濡れ, 水たまりができていた。(雨は既に降った後)		16			
考える	心理	昼食後, 会議室に入ると, 作戦会議を終えて資料を片付けているAがいた。(Aは既に作戦を考えた後)		16			

表 147, 表 148, 表 149, 表 150 より, アスペクト形式の機能重複は, 生じていないということが分かる。

また, (154)と(155)は, 事態  $\beta$  における高知方言の高年層話者による発話例である。

(154) (教室に入ると, 荷物を置いて, 椅子を引き出している太郎がいた。)

a. taroo moosugu \*suwari=juu. / \*suwat=teuu.

太郎 もうすぐ 座る=R-PROSP.NPST / 座る=RES.NPST

「太郎 (は) もうすぐ, 座る。」

b. taroo suwari=juu. / \*suwat=teuu.

太郎 座る=R-PROSP.NPST / 座る=RES.NPST

「太郎 (は) 座ろうとしている。」

(154a)と(154b)は, YORU は, 既然的将然相を標示するというを示している。

(155) (教室に入ると, 既に席に着いている太郎がいた。)

taroo moo \*suwari=juu. / suwat=teuu.

太郎 もう 座る=R-PROSP.NPST / 座る=RES.NPST

「太郎 (は) もう, 座っている。」

(155)は, TORU は, 結果相を標示するというを示している。各事態におけるデータを, 表 151, 表 152, 表 153 に示す。

表151 事態βの未然的将然相におけるデーター高知方言・高年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 席に向かっているAがいた。(Aはもうすぐ座る)				16	16
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, 軽く痙攣しているネズミがいた。(ネズミはもうすぐ死ぬ)				16	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの燃料が少なくなっていた。(もうすぐ火が消える)				16	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, 火を消すためストーブに近付いているAがいた。(Aはもうすぐ火を消す)				16	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていた。(もうすぐ晴れる)				16	

表152 事態βの既然的将然相におけるデーター高知方言・高年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 荷物を置いて, 椅子を引き出ししているAがいた。(Aは座る直前)	16				16
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ひどく痙攣しているネズミがいた。(ネズミは死ぬ直前)	16				
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの火がとても弱くなっていて, 消えていっている様子だった。(火が消える直前)	16				
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープのスイッチに手を伸ばしているAがいた。(Aは火を消す直前)	16				
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていて雨雲の隙間から太陽が見え始めていた。(晴れる直前)	16				

表153 事態βの結果相におけるデーター高知方言・高年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 既に席に着いているAがいた。(Aは既に座った後)		16			16
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ネズミが1匹死んでいた。(ネズミは既に死んだ後)		16			
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, 点いているはずのストーブの火が消えていた。(火は消えた後)		16			
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープの火を消し終えて換気をしているAがいた。(Aは既に火を消した後)		16			
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雲ひとつない青空になっていた。(既に晴れた後)		16			

表 151, 表 152, 表 153 より, アスペクト形式の機能重複は, 生じていないということが分かる。

次に, (156)と(157)は, 事態αにおける高知方言の中年層話者による発話例である。

(156) (運動場に行くと、スタートラインに立ち、手首足首を回している太郎がいた。)

a. taroo moosugu \*hasiri=juu. / \*hasit=teuu.

太郎 もうすぐ 走る=PROG.NPST / 走る=RES.NPST

「太郎 (は) もうすぐ, 走る。」

b. taroo hasiri=juu. / \*hasit=teuu.

太郎 走る=R-PROSP.NPST / 走る=RES.NPST

「太郎 (は), 走ろうとしている。」

(156a)と(156b)は、YORU は、既然的将然相を標示するということを示している。

(157) a. (運動場に行くと、走っている最中の太郎がいた。)

taroo ima hasiri=juu. / \*hasit=teuu.

太郎 今 走る=PROG.NPST / 走る=RES.NPST

「太郎 (は) 今, 走っている。」

b. (運動場に行くと、100m 走を走り終えて、休憩している太郎がいた。)

taroo moo \*hasiri=juu. / hasit=teuu.

太郎 もう 走る=PROG.NPST / 走る=RES.NPST

「太郎 (は) もう, 走り終えている。」

(157a)と(157b)は、YORU は進行相, TORU は結果相を標示するということを示している。(156)と(157)より、アスペクト形式の機能重複は、生じていないということが分かる。

また、(158)と(159)は、事態  $\beta$  における高知方言の中年層話者による発話例である。

(158) (教室に入ると、荷物を置いて、椅子を引き出している太郎がいた。)

a. taroo moosugu \*suwari=juu. / \*suwat=teuu.

太郎 もうすぐ 座る=R-PROSP.NPST / 座る=RES.NPST

「太郎 (は) もうすぐ, 座る。」

b. taroo suwari=juu. / \*suwat=teuu.

太郎 座る=R-PROSP.NPST / 座る=RES.NPST

「太郎 (は) 座ろうとしている。」

(158a)と(158b)は、YORU は、既然的将然相を標示するということを示している。

(159) (教室に入ると、既に席に着いている太郎がいた。)

taroo moo \*suwari=juu. / suwat=teuu.

太郎 もう 座る=R-PROSP.NPST / 座る=RES.NPST

「太郎 (は) もう, 座っている。」

(159)は、TORUは、結果相を標示するというを示している。(158)と(159)より、アスペクト形式の機能重複は、生じていないということが分かる。

高知方言では、中年層と若年層の間に方言差は観察されなかったため、若年層における発話例を割愛する。

### 4.3.2. 徳島方言のアスペクト体系

徳島方言は、上郡方言、下郡方言、山分方言、うわて方言、海部方言（灘方言）の5つに区画されている。



図20 徳島方言の区画（平山 1997: 2）

徳島方言では、各方言区画による方言差は観察されなかったため、全ての方言区画を統合したデータを提示する。また、本節では、中年層と若年層におけるデータを割愛するが、徳島方言の各年齢層のデータに関しては、付録 442-462 に添付する。

徳島方言には、YORU と TORU の2形式が存在する。YORU が、将然相と進行相を標示するのに対して、TORU は、進行相と結果相を標示する<sup>43</sup>。(160)と(161)は、事態  $\alpha$  における徳島方言の高年齢層話者による発話例である。

<sup>43</sup> YORU には、=joo と=joru の2音形が存在するが、機能による相違は観察されないため、発話例の表記を=joo に統合する。また、TORU には、=too と=toru の2音形が存在するが、機能による相違は観察されないため、発話例の表記を=too に統合する。

(160) (運動場に行くと、スタートラインに立ち、手首足首を回している太郎がいた。)

a. taroo moosugu \*hasinr=joo. / \*hasit=too.

太郎 もうすぐ 走る=PROG.NPST / 走る=RES.NPST

「太郎 (は) もうすぐ、走る。」

b. taroo \*hasinr=joo. / \*hasit=too.

太郎 走る=PROG.NPST / 走る=RES.NPST

「太郎 (は), 走ろうとしている。」

(160a)と(160b)は、YORU と TORU は、将然相を標示しないということを示している。

(161) a. (運動場に行くと、走っている最中の太郎がいた。)

taroo ima hasinr=joo. / hasit=too.

太郎 今 走る=PROG.NPST / 走る=PROG.NPST

「太郎 (は) 今、走っている。」

b. (運動場に行くと、100m 走を走り終えて、休憩している太郎がいた。)

taroo moo \*hasinr=joo. / hasit=too.

太郎 もう 走る=PROG.NPST / 走る=RES.NPST

「太郎 (は) もう、走り終えている。」

(161a)と(161b)は、YORU は進行相、TORU は、進行相と結果相を標示するというを示している。各事態におけるデータを、表 154, 表 155, 表 156, 表 157 に示す。

表154 事態  $\alpha$  の未然的将然相におけるデーター徳島方言・高年層ー

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、ユニフォームに着替え、走者レーンに向かっているAがいた。(Aはもうすぐ走る)				31	31
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、冷蔵庫から肉を取り出し、フライパンを温めているAがいた。(Aはもうすぐ肉を焼く)				31	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、空が曇り始めていて薄暗かった。(もうすぐ雨が降る)				31	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、机の上に資料を広げているAがいた。(Aはもうすぐ作戦を考える)				31	

表155 事態  $\alpha$  の既然的将然相におけるデーター徳島方言・高年層ー

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、スタートラインに立ち、手首足首を回しているAがいた。(Aは走る直前)				31	31
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、フライパンに油をひき、トレーから肉を取り出し出しているAがいた。(Aは肉を焼く直前)	5			26	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、空がどんより曇っていて、ジメジメしていた。(雨が降る直前)				31	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、机の上の資料に目を通し始めているAがいた。(Aは作戦を考える直前)	2			29	



表156 事態  $\alpha$  の進行相におけるデーター徳島方言・高年層ー

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Progressive	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後, 運動場に行くと, 走っている最中のAがいた。(Aは走っている最中)	31	20			31
焼く	主体動作 客体変化	夕食前, 台所に行くと, 肉を焼いている最中のAがいた。(Aは肉を焼いている最中)	31	19			
降る	自然現象	朝, 部屋のカーテンを開けると, 雨が降ってる最中だった。(雨が降っている最中)	31	24			
考える	心理	昼食後, 会議室に入ると, 作戦を考えている最中のAがいた。(Aは作戦を考えている最中)	31	20			

表157 事態  $\alpha$  の結果相におけるデーター徳島方言・高年層ー

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後, 運動場に行くと, 100m走を終えて休憩しているAがいた。(Aは既に走った後)		19		12	31
焼く	主体動作 客体変化	夕食前, 台所に行くと, 焼き終えた肉を皿へ移しているAがいた。(Aは既に肉を焼いた後)		27		4	
降る	自然現象	朝, 部屋のカーテンを開けると, 地面が濡れ, 水たまりができていた。(雨は既に降った後)		22		9	
考える	心理	昼食後, 会議室に入ると, 作戦会議を終えて資料を片付けているAがいた。(Aは既に作戦を考えた後)		23		8	

表 154, 表 155, 表 156, 表 157 より, アスペクト形式の機能重複は, YORU と TORU が, 進行相を標示する場合に生じているということが分かる。

また, (162)と(163)は, 事態  $\beta$  における徳島方言の高年層話者による発話例である。

(162) (教室に入ると, 荷物を置いて, 椅子を引き出している太郎がいた。)

a. taroo moosugu \*suwanr=joo. / \*suwat=too.

太郎 もうすぐ 座る=R-PROSP.NPST / 座る=RES.NPST

「太郎 (は) もうすぐ, 座る。」

b. taroo suwanr=joo. / \*suwat=too.

太郎 座る=R-PROSP.NPST / 座る=RES.NPST

「太郎 (は) 座ろうとしている。」

(162a)と(162b)は, YORU は, 既然的将然相を標示するということを示している。

(163) (教室に入ると, 既に席に着いている太郎がいた。)

taroo moo \*suwanr=joo. / suwat=too.

太郎 もう 座る=R-PROSP.NPST / 座る=RES.NPST

「太郎 (は) もう, 座っている。」

(163)は, TORU は, 結果相を標示するということを示している。各事態におけるデータを, 表 158, 表 159, 表 160 に示す。

表158 事態βの未然的将来相におけるデーター徳島方言・高年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 席に向かっているAがいた。(Aはもうすぐ座る)				31	31
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, 軽く痙攣しているネズミがいた。(ネズミはもうすぐ死ぬ)				31	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの燃料が少なくなっていた。(もうすぐ火が消える)				31	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, 火を消すためストーブに近付いているAがいた。(Aはもうすぐ火を消す)				31	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていた。(もうすぐ晴れる)				31	

表159 事態βの既然的将来相におけるデーター徳島方言・高年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 荷物を置いて, 椅子を引き出ししているAがいた。(Aは座る直前)	29			2	31
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ひどく痙攣しているネズミがいた。(ネズミは死ぬ直前)	29			2	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの火がとても弱くなっていて, 消えていっている様子だった。(火が消える直前)	31				
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープのスイッチに手を伸ばしているAがいた。(Aは火を消す直前)	31	1			
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていて雨雲の隙間から太陽が見え始めていた。(晴れる直前)	22			9	

表160 事態βの結果相におけるデーター徳島方言・高年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 既に席に着いているAがいた。(Aは既に座った後)	12	31			31
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ネズミが1匹死んでいた。(ネズミは既に死んだ後)		31			
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, 点いているはずのストーブの火が消えていた。(火は消えた後)		31			
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープの火を消し終えて換気をしているAがいた。(Aは既に火を消した後)		31			
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雲ひとつない青空になっていた。(既に晴れた後)		28		3	

表 158, 表 159, 表 160 より, アスペクト形式の機能重複は, 生じていないということが分かる。

徳島方言では, 各年齢層による方言差は観察されなかったため, 中年層と若年層における発話例を割愛する。

#### 4.4. 中部地方の諸方言データ

4.4 節では, 中部地方の方言に所属する愛知方言, 岐阜方言, 長野方言, 福井方言のアスペクト体系を分析する。

#### 4.4.1. 愛知方言のアスペクト体系

愛知方言は、尾張方言、西三河方言、東三河方言の3つに区画されている。



図21 愛知方言の区画 (山田 2017: 89)

愛知方言では、各方言区画による方言差は観察されなかったため、全ての方言区画を統合したデータを提示する。また、本節では、中年層と若年層におけるデータを割愛するが、愛知方言の各年齢層のデータに関しては、付録 463-483 に添付する。

愛知方言には、TORU と TERU の 2 形式が存在する。TORU と TERU は、進行相と結果相を標示する。(164)と(165)は、事態  $\alpha$  における愛知方言の高年層話者による発話例である。

(164) (運動場に行くと、スタートラインに立ち、手首足首を回している太郎がいた。)

a. taroo moosugu \*hasit=toru. / \*hasit=teru.

太郎 もうすぐ 走る=PROG.NPST / 走る=PROG.NPST

「太郎 (は) もうすぐ、走る。」

b. taroo \*hasit=toru. / \*hasit=teru.

太郎 走る=PROG.NPST / 走る=PROG.NPST

「太郎 (は)、走ろうとしている。」

(164a)と(164b)は、TORU と TERU は、将然相を標示しないということを示している。

(165) a. (運動場に行くと、走っている最中の太郎がいた。)

taroo ima hasit=toru. / hasit=teru.

太郎 今 走る=PROG.NPST / 走る=PROG.NPST

「太郎 (は) 今、走っている。」

b. (運動場に行くと、100m 走を走り終えて、休憩している太郎がいた。)

taroo moo ?hasit=toru. / ?hasit=teru.

太郎 もう 走る=RES.NPST / 走る=RES.NPST

「太郎 (は) もう、走り終えている。」

(165a)と(165b)は、TORU と TERU は、進行相を標示するということを示している。各事態におけるデータを、表 161, 表 162, 表 163, 表 164 に示す。

表161 事態  $\alpha$  の未然的将来相におけるデーター愛知方言・高年層ー

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、ユニフォームに着替え、走者レーンに向かっているAがいた。(Aはもうすぐ走る)				16	16
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、冷蔵庫から肉を取り出し、フライパンを温めているAがいた。(Aはもうすぐ肉を焼く)				16	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、空が曇り始めていて薄暗かった。(もうすぐ雨が降る)				16	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、机の上に資料を広げているAがいた。(Aはもうすぐ作戦を考える)				16	

表162 事態  $\alpha$  の既然的将来相におけるデーター愛知方言・高年層ー

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、スタートラインに立ち、手首足首を回しているAがいた。(Aは走る直前)		1		15	16
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、フライパンに油をひき、トレーから肉を取り出しているAがいた。(Aは肉を焼く直前)		2	2	14	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、空がどんより曇っていて、ジメジメしていた。(雨が降る直前)				16	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、机の上の資料に目を通し始めているAがいた。(Aは作戦を考える直前)		1	1	15	

表163 事態  $\alpha$  の進行相におけるデーター愛知方言・高年層ー

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Progressive	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、走っている最中のAがいた。(Aは走っている最中)		16	7		16
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、肉を焼いている最中のAがいた。(Aは肉を焼いている最中)		16	6		
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、雨が降っている最中だった。(雨が降っている最中)		16	7		
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、作戦を考えている最中のAがいた。(Aは作戦を考えている最中)		16	7		

表164 事態  $\alpha$  の結果相におけるデーター愛知方言・高年層ー

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後, 運動場に行く, 100m走を終えて休憩しているAがいた。(Aは既に走った後)		2	1	14	16
焼く	主体動作 客体変化	夕食前, 台所に行く, 焼き終えた肉を皿へ移しているAがいた。(Aは既に肉を焼いた後)		1		15	
降る	自然現象	朝, 部屋のカーテンを開けると, 地面が濡れ, 水たまりができていた。(雨は既に降った後)		2	1	14	
考える	心理	昼食後, 会議室に入ると, 作戦会議を終えて資料を片付けているAがいた。(Aは既に作戦を考えた後)		1		15	

表 161, 表 162, 表 163, 表 164 より, アスペクト形式の機能重複は, TORU と TERU が, 進行相を標示する場合に生じているということが分かる。

また, (166)と(167)は, 事態  $\beta$  における愛知方言の高年層話者による発話例である。

(166) (教室に入ると, 荷物を置いて, 椅子を引き出している太郎がいた。)

a. taroo moosugu \*suwat=toru. / \*suwat=teru.

太郎 もうすぐ 座る=RES.NPST / 座る=RES.NPST

「太郎 (は) もうすぐ, 座る。」

b. taroo \*suwat=toru. / \*suwat=teru.

太郎 座る=RES.NPST / 座る=RES.NPST

「太郎 (は) 座ろうとしている。」

(166a)と(166b)は, TORU と TERU は, 将然相を標示しないということを示している。

(167) (教室に入ると, 既に席に着いている太郎がいた。)

taroo moo suwat=toru. / suwat=teru.

太郎 もう 座る=RES.NPST / 座る=RES.NPST

「太郎 (は) もう, 座っている。」

(167)は, TORU と TERU は, 結果相を標示するという示している。各事態におけるデータを, 表 165, 表 166, 表 167 に示す。

表165 事態βの未然的将来相におけるデーター愛知方言・高年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 席に向かっているAがいた。(Aはもうすぐ座る)				16	16
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, 軽く痙攣しているネズミがいた。(ネズミはもうすぐ死ぬ)				16	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの燃料が少なくなっていた。(もうすぐ火が消える)				16	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, 火を消すためストーブに近付いているAがいた。(Aはもうすぐ火を消す)				16	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていた。(もうすぐ晴れる)				16	

表166 事態βの既然的将来相におけるデーター愛知方言・高年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 荷物を置いて, 椅子を引き出しているAがいた。(Aは座る直前)				16	16
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ひどく痙攣しているネズミがいた。(ネズミは死ぬ直前)				16	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの火がとても弱くなっていて, 消えていっている様子だった。(火が消える直前)				16	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープのスイッチに手を伸ばしているAがいた。(Aは火を消す直前)		1	1	15	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていて雨雲の隙間から太陽が見え始めていた。(晴れる直前)				16	

表167 事態βの結果相におけるデーター愛知方言・高年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 既に席に着いているAがいた。(Aは既に座った後)		16	7		6
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ネズミが1匹死んでいた。(ネズミは既に死んだ後)		16	6		
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, 点いているはずのストーブの火が消えていた。(火は消えた後)		16	6		
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープの火を消し終えて換気をしているAがいた。(Aは既に火を消した後)		16	6		
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雲ひとつない青空になっていた。(既に晴れた後)		16	6		

表 165, 表 166, 表 167 より, アスペクト形式の機能重複は, TORU と TERU が, 結果相を標示する場合に生じているということが分かる。

愛知方言では, 高年層と中年層の間の方言差は観察されなかったため, 中年層における発話例を割愛する。

次に, (168)と(169)は, 事態αにおける愛知方言の若年層話者による発話例である。

(168) (運動場に行くと、スタートラインに立ち、手首足首を回している太郎がいた。)

a. taroo moosugu \*hasit=toru. / \*hasit=teru.

太郎 もうすぐ 走る=PROG.NPST / 走る=PROG.NPST

「太郎 (は) もうすぐ、走る。」

b. taroo \*hasit=toru. / \*hasit=teru.

太郎 走る=PROG.NPST / 走る=PROG.NPST

「太郎 (は), 走ろうとしている。」

(168a)と(168b)は、TORU と TERU は、将然相を標示しないということを示している。

(169) a. (運動場に行くと、走っている最中の太郎がいた。)

taroo ima hasit=toru. / hasit=teru.

太郎 今 走る=PROG.NPST / 走る=PROG.NPST

「太郎 (は) 今、走っている。」

b. (運動場に行くと、100m 走を走り終えて、休憩している太郎がいた。)

taroo moo hasit=toru. / hasit=teru.

太郎 もう 走る=RES.NPST / 走る=RES.NPST

「太郎 (は) もう、走り終えている。」

(169a)と(169b)は、TORU と TERU は、進行相と結果相を標示するということを示している。

(168)と(169)より、アスペクト形式の機能重複は、TORU と TERU が、進行相と結果相を標示する場合に生じているということが分かる。

また、(170)と(171)は、事態 $\beta$ における愛知方言の若年層話者による発話例である。

(170) (教室に入ると、荷物を置いて、椅子を引き出している太郎がいた。)

a. taroo moosugu \*suwat=toru. / \*suwat=teru.

太郎 もうすぐ 座る=RES.NPST / 座る=RES.NPST

「太郎 (は) もうすぐ、座る。」

b. taroo \*suwat=toru. / \*suwat=teru.

太郎 座る=RES.NPST / 座る=RES.NPST

「太郎 (は) 座ろうとしている。」

(170a)と(170b)は、TORU と TERU は、将然相を標示しないということを示している。

(171) (教室に入ると、既に席に着いている太郎がいた。)

taroo moo suwat=toru. / suwat=teru.

太郎 もう 座る=RES.NPST / 座る=RES.NPST

「太郎 (は) もう、座っている。」

(171)は、TORU と TERU は、結果相を標示するというを示している。(170)と(171)より、アスペクト形式の機能重複は、TORU と TERU が、結果相を標示する場合に生じているということが分かる。

#### 4.4.2. 岐阜方言のアスペクト体系

岐阜方言は、飛騨方言と美濃方言の2つに区画されている。さらに、岐阜方言は、各区画の下位分類を含めれば、飛騨方言、郡上方言、西濃方言、中濃方言、東濃方言の5つに区画されている。

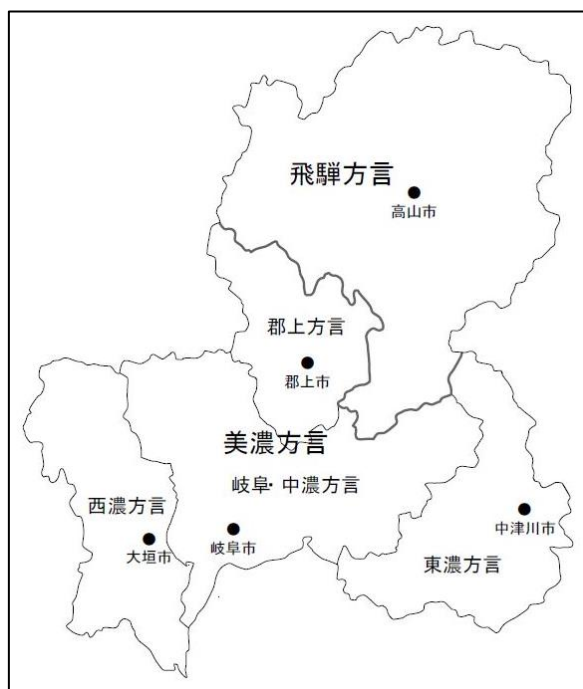


図22 岐阜方言の区画 (山田 2014: 75)

岐阜方言では、郡上方言、西濃方言、中濃方言、東濃方言の間に方言差は観察されなかったため、方言差が観察された飛騨方言と美濃方言(郡上方言、西濃方言、中濃方言、東濃方言)の2区画に従ってデータを提示する。また、本節では、中年層と若年層におけるデータを割愛するが、岐阜方言の各年齢層のデータに関しては、付録484-525に添付する。

第一に、飛騨方言には、YORU と TORU の2形式が存在する。YORU が、将然相と進行相を標示するのに対して、TORU は、進行相と結果相を標示する。(172)と(173)は、事態  $\alpha$  にお



ける飛騨方言の高年層話者による発話例である。

(172) (運動場に行くと、スタートラインに立ち、手首足首を回している太郎がいた。)

- a. taroo moosugu \*hasiri=joru. / \*hasit=toru.  
 太郎 もうすぐ 走る=R-PROSP.NPST / 走る=PROG.NPST  
 「太郎 (は) もうすぐ, 走る。」
- b. taroo hasiri=joru. / \*hasit=toru.  
 太郎 走る=R-PROSP.NPST / 走る=PROG.NPST  
 「太郎 (は), 走ろうとしている。」

(172a)と(172b)は、YORU は、既然的将然相を標示するということを示している。

(173) a. (運動場に行くと、走っている最中の太郎がいた。)

- taroo ima hasiri=joru. / hasit=toru.  
 太郎 今 走る=PROG.NPST / 走る=PROG.NPST  
 「太郎 (は) 今, 走っている。」

b. (運動場に行くと、100m 走を走り終えて、休憩している太郎がいた。)

- taroo moo \*hasiri=joru. / hasit=toru.  
 太郎 もう 走る=PROG.NPST / 走る=RES.NPST  
 「太郎 (は) もう, 走り終えている。」

(173a)と(173b)は、YORU は進行相、TORU は、進行相と結果相を標示するということを示している。各事態におけるデータを、表 168, 表 169, 表 170, 表 171 に示す。

表168 事態  $\alpha$  の未然的将然相におけるデーター飛騨方言・高年層ー

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後, 運動場に行くと, ユニフォームに着替え, 走者レーンに向かっているAがいた。(Aはもうすぐ走る)				6	6
焼く	主体動作 客体変化	夕食前, 台所に行くと, 冷蔵庫から肉を取り出し, フライパンを温めているAがいた。(Aはもうすぐ肉を焼く)				6	
降る	自然現象	朝, 部屋のカーテンを開けると, 空が曇り始めていて薄暗かった。(もうすぐ雨が降る)				6	
考える	心理	昼食後, 会議室に入ると, 机の上に資料を広げているAがいた。(Aはもうすぐ作戦を考える)				6	

表169 事態  $\alpha$  の既然的将然相におけるデーター飛騨方言・高年層ー

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くとき、スタートラインに立ち、手首足首を回しているAがいた。(Aは走る直前)	3			3	6
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くとき、フライパンに油をひき、トレーから肉を取り出しているAがいた。(Aは肉を焼く直前)	3			3	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、空がどんより曇っていて、ジメジメしていた。(雨が降る直前)				6	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、机の上の資料に目を通し始めているAがいた。(Aは作戦を考える直前)	3			3	

表170 事態  $\alpha$  の進行相におけるデーター飛騨方言・高年層ー

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Progressive	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くとき、走っている最中のAがいた。(Aは走っている最中)	6	6			6
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くとき、肉を焼いている最中のAがいた。(Aは肉を焼いている最中)	6	6			
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、雨が降っている最中だった。(雨が降っている最中)	6	6			
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、作戦を考えている最中のAがいた。(Aは作戦を考えている最中)	6	6			

表171 事態  $\alpha$  の結果相におけるデーター飛騨方言・高年層ー

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くとき、100m走を終えて休憩しているAがいた。(Aは既に走った後)		5		1	6
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くとき、焼き終えた肉を皿へ移しているAがいた。(Aは既に肉を焼いた後)		6			
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、地面が濡れ、水たまりができていた。(雨は既に降った後)		5		1	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、作戦会議を終えて資料を片付けているAがいた。(Aは既に作戦を考えた後)		6			

表 168, 表 169, 表 170, 表 171 より, アスペクト形式の機能重複は, YORU と TORU が, 進行相を標示する場合に生じているということが分かる。

また, (174)と(175)は, 事態  $\beta$  における飛騨方言の高年層話者による発話例である。

(174) (教室に入ると, 荷物を置いて, 椅子を引き出している太郎がいた。)

a. taroo moosugu \*suwari=joru. / \*suwat=toru.

太郎 もうすぐ 座る=R-PROSP.NPST / 座る=RES.NPST

「太郎 (は) もうすぐ, 座る。」

b. taroo suwari=joru. / \*suwat=toru.

太郎 座る=R-PROSP.NPST / 座る=RES.NPST

「太郎 (は) 座ろうとしている。」

(174a)と(174b)は, YORU は, 既然的将然相を標示するというを示している。

(175) (教室に入ると、既に席に着いている太郎がいた。)

taroo moo \*suwari=joru. / suwat=toru.

太郎 もう 座る=R-PROSP.NPST / 座る=RES.NPST

「太郎 (は) もう、座っている。」

(175)は、TORU は、結果相を標示するというを示している。各事態におけるデータを、表 172, 表 173, 表 174 に示す。

表172 事態βの未然的将然相におけるデーター飛騨方言・高年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 席に向かっているAがいた。(Aはもうすぐ座る)				6	6
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, 軽く痙攣しているネズミがいた。(ネズミはもうすぐ死ぬ)				6	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの燃料が少なくなっていた。(もうすぐ火が消える)				6	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, 火を消すためストーブに近付いているAがいた。(Aはもうすぐ火を消す)				6	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていた。(もうすぐ晴れる)				6	

表173 事態βの既然的将然相におけるデーター飛騨方言・高年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 荷物を置いて, 椅子を引き出しているAがいた。(Aは座る直前)	6				6
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ひどく痙攣しているネズミがいた。(ネズミは死ぬ直前)	6				
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの火がとても弱くなっていて, 消えていっている様子だった。(火が消える直前)	6				
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープのスイッチに手を伸ばしているAがいた。(Aは火を消す直前)	6				
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていて雨雲の隙間から太陽が見え始めていた。(晴れる直前)	6				

表174 事態βの結果相におけるデーター飛騨方言・高年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 既に席に着いているAがいた。(Aは既に座った後)		6			6
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ネズミが1匹死んでいた。(ネズミは既に死んだ後)		6			
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, 点いているはずのストーブの火が消えていた。(火は消えた後)		6			
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープの火を消し終えて換気をしているAがいた。(Aは既に火を消した後)		6			
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 曇ひとつない青空になっていた。(既に晴れた後)		6			

表 172, 表 173, 表 174 より, アスペクト形式の機能重複は, 生じていないということが分かる。

次に、(176)と(177)は、事態  $\alpha$  における飛騨方言の中年層話者による発話例である。

(176) (運動場に行くと、スタートラインに立ち、手首足首を回している太郎がいた。)

- a. taroo moosugu \*hasiri=joru. / \*hasit=toru.  
太郎 もうすぐ 走る=R-PROSP.NPST / 走る=PROG.NPST  
「太郎 (は) もうすぐ、走る。」
- b. taroo ?hasiri=joru. / \*hasit=toru.  
太郎 走る=R-PROSP.NPST / 走る=PROG.NPST  
「太郎 (は)、走ろうとしている。」

(176a)と(176b)は、YORU と TORU は、将然相を標示しないということを示している。

(177) a. (運動場に行くと、走っている最中の太郎がいた。)

- taroo ima hasiri=joru. / hasit=toru.  
太郎 今 走る=PROG.NPST / 走る=PROG.NPST  
「太郎 (は) 今、走っている。」

b. (運動場に行くと、100m 走を走り終えて、休憩している太郎がいた。)

- taroo moo \*hasiri=joru. / hasit=toru.  
太郎 もう 走る=PROG.NPST / 走る=RES.NPST  
「太郎 (は) もう、走り終えている。」

(177a)と(177b)は、YORU は進行相、TORU は、進行相と結果相を標示するということを示している。(176)と(177)より、アスペクト形式の機能重複は、YORU と TORU が、進行相を標示する場合に生じているということが分かる。

また、(178)と(179)は、事態  $\beta$  における飛騨方言の中年層話者による発話例である。

(178) (教室に入ると、荷物を置いて、椅子を引き出している太郎がいた。)

- a. taroo moosugu \*suwari=joru. / \*suwat=toru.  
太郎 もうすぐ 座る=R-PROSP.NPST / 座る=RES.NPST  
「太郎 (は) もうすぐ、座る。」
- b. taroo suwari=joru. / \*suwat=toru.  
太郎 座る=R-PROSP.NPST / 座る=RES.NPST  
「太郎 (は) 座ろうとしている。」

(178a)と(178b)は、YORU は、既然的将然相を標示するということを示している。

(179) (教室に入ると、既に席に着いている太郎がいた。)

taroo moo \*suwari=joru. / suwat=toru.

太郎 もう 座る=R-PROSP.NPST / 座る=RES.NPST

「太郎 (は) もう、座っている。」

(179)は、TORU は、結果相を標示するということを示している。(178)と(179)より、アスペクト形式の機能重複は、生じていないということが分かる。

飛騨方言では、中年層と若年層の間に方言差は観察されなかったため、若年層における発話例を割愛する。

第二に、美濃方言には、TORU と TERU の 2 形式が存在する。TORU と TERU は、進行相と結果相を標示する。(180)と(181)は、事態  $\alpha$  における美濃方言の高年層話者による発話例である。

(180) (運動場に行くと、スタートラインに立ち、手首足首を回している太郎がいた。)

a. taroo moosugu \*hasit=toru. / \*hasit=teru.

太郎 もうすぐ 走る=PROG.NPST / 走る=PROG.NPST

「太郎 (は) もうすぐ、走る。」

b. taroo \*hasit=toru. / \*hasit=teru.

太郎 走る=PROG.NPST / 走る=PROG.NPST

「太郎 (は)、走ろうとしている。」

(180a)と(180b)は、TORU と TERU は、将然相を標示しないということを示している。

(181) a. (運動場に行くと、走っている最中の太郎がいた。)

taroo ima hasit=toru. / \*hasit=teru.

太郎 今 走る=PROG.NPST / 走る=PROG.NPST

「太郎 (は) 今、走っている。」

b. (運動場に行くと、100m 走を走り終えて、休憩している太郎がいた。)

taroo moo ?hasit=toru. / \*hasit=teru.

太郎 もう 走る=RES.NPST / 走る=RES.NPST

「太郎 (は) もう、走り終えている。」

(181a)と(181b)は、TORU は、進行相を標示するということを示している。各事態におけるデータを、表 175, 表 176, 表 177, 表 178 に示す。

表175 事態  $\alpha$  の未然的将然相におけるデーター美濃方言・高年層ー

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、ユニフォームに着替え、走者レーンに向かっているAがいた。(Aはもうすぐ走る)				8	8
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、冷蔵庫から肉を取り出し、フライパンを温めているAがいた。(Aはもうすぐ肉を焼く)				8	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、空が曇り始めていて薄暗かった。(もうすぐ雨が降る)				8	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、机の上に資料を広げているAがいた。(Aはもうすぐ作戦を考える)				8	

表176 事態  $\alpha$  の既然的将然相におけるデーター美濃方言・高年層ー

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、スタートラインに立ち、手首足首を回しているAがいた。(Aは走る直前)				8	8
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、フライパンに油をひき、トレーから肉を取り出しているAがいた。(Aは肉を焼く直前)				8	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、空がどんより曇っていて、ジメジメしていた。(雨が降る直前)				8	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、机の上の資料に目を通し始めているAがいた。(Aは作戦を考える直前)				8	

表177 事態  $\alpha$  の進行相におけるデーター美濃方言・高年層ー

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Progressive	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、走っている最中のAがいた。(Aは走っている最中)		8			8
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、肉を焼いている最中のAがいた。(Aは肉を焼いている最中)		8			
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、雨が降っている最中だった。(雨が降っている最中)		8			
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、作戦を考えている最中のAがいた。(Aは作戦を考えている最中)		8			

表178 事態  $\alpha$  の結果相におけるデーター美濃方言・高年層ー

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、100m走を終えて休憩しているAがいた。(Aは既に走った後)		2		6	8
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、焼き終えた肉を皿へ移しているAがいた。(Aは既に肉を焼いた後)		2		6	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、地面が濡れ、水たまりができていた。(雨は既に降った後)		4		4	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、作戦会議を終えて資料を片付けているAがいた。(Aは既に作戦を考えたと)		8			

表 175, 表 176, 表 177, 表 178 より, アスペクト形式の機能重複は, 生じていないということが分かる。

また, (182)と(183)は, 事態  $\beta$  における美濃方言の高年層話者による発話例である。

(182) (教室に入ると、荷物を置いて、椅子を引き出している太郎がいた。)

a. taroo moosugu \*suwat=toru. / \*suwat=teru.

太郎 もうすぐ 座る=RES.NPST / 座る=RES.NPST

「太郎 (は) もうすぐ, 座る。」

b. taroo \*suwat=toru. / \*suwat=teru.

太郎 座る=RES.NPST / 座る=RES.NPST

「太郎 (は) 座ろうとしている。」

(182a)と(182b)は, TORU と TERU は, 将然相を標示しないということを示している。

(183) (教室に入ると、既に席に着いている太郎がいた。)

taroo moo suwat=toru. / \*suwat=teru.

太郎 もう 座る=RES.NPST / 座る=RES.NPST

「太郎 (は) もう, 座っている。」

(183)は, TORU は, 結果相を標示するというを示している。各事態におけるデータを, 表 179, 表 180, 表 181 に示す。

表179 事態βの未然的将然相におけるデーター美濃方言・高年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 席に向かってAがいた。(Aはもうすぐ座る)				8	8
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, 軽く痙攣しているネズミがいた。(ネズミはもうすぐ死ぬ)				8	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの燃料が少なくなっていた。(もうすぐ火が消える)				8	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, 火を消すためストーブに近付いているAがいた。(Aはもうすぐ火を消す)				8	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていた。(もうすぐ晴れる)				8	

表180 事態βの既然的将然相におけるデーター美濃方言・高年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 荷物を置いて, 椅子を引き出しているAがいた。(Aは座る直前)				8	8
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ひどく痙攣しているネズミがいた。(ネズミは死ぬ直前)				8	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの火がとても弱くなっていて, 消えていっている様子だった。(火が消える直前)				8	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープのスイッチに手を伸ばしているAがいた。(Aは火を消す直前)				8	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていて雨雲の隙間から太陽が見え始めていた。(晴れる直前)				8	

表181 事態βの結果相におけるデーター美濃方言・高年層ー

Verb	Property	[β] Situation: Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 既に席に着いてるAがいた。(Aは既に座った後)		8			8
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ネズミが1匹死んでいた。(ネズミは既に死んだ後)		8			
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, 点いているはずのストーブの火が消えていた。(火は消えた後)		8			
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストーブの火を消し終えて換気をしているAがいた。(Aは既に火を消した後)		4		4	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雲ひとつない青空になっていた。(既に晴れた後)		8			

表 179, 表 180, 表 181 より, アスペクト形式の機能重複は, 生じていないということが分かる。

次に, (184)と(185)は, 事態αにおける美濃方言の中年層話者による発話例である。

(184) (運動場に行くと, スタートラインに立ち, 手首足首を回している太郎がいた。)

a. taroo moosugu \*hasit=toru. / \*hasit=teru.

太郎 もうすぐ 走る=PROG.NPST / 走る=PROG.NPST

「太郎 (は) もうすぐ, 走る。」

b. taroo \*hasit=toru. / \*hasit=teru.

太郎 走る=PROG.NPST / 走る=PROG.NPST

「太郎 (は), 走ろうとしている。」

(184a)と(184b)は, TORU と TERU は, 将然相を標示しないということを示している。

(185) a. (運動場に行くと, 走っている最中の太郎がいた。)

taroo ima hasit=toru. / ?hasit=teru.

太郎 今 走る=PROG.NPST / 走る=PROG.NPST

「太郎 (は) 今, 走っている。」

b. (運動場に行くと, 100m 走を走り終えて, 休憩している太郎がいた。)

taroo moo ?hasit=toru. / ?hasit=teru.

太郎 もう 走る=RES.NPST / 走る=RES.NPST

「太郎 (は) もう, 走り終えている。」

(185a)と(185b)は, TORU は, 進行相を標示するということを示している。(184)と(185)より, アスペクト形式の機能重複は, 生じていないということが分かる。

また, (186)と(187)は, 事態βにおける美濃方言の中年層話者による発話例である。



(186) (教室に入ると、荷物を置いて、椅子を引き出している太郎がいた。)

a. taroo moosugu \*suwat=toru. / \*suwat=teru.

太郎 もうすぐ 座る=RES.NPST / 座る=RES.NPST

「太郎 (は) もうすぐ, 座る。」

b. taroo \*suwat=toru. / \*suwat=teru.

太郎 座る=RES.NPST / 座る=RES.NPST

「太郎 (は) 座ろうとしている。」

(186a)と(186b)は、TORU と TERU は、将然相を標示しないということを示している。

(187) (教室に入ると、既に席に着いている太郎がいた。)

taroo moo suwat=toru. / suwat=teru.

太郎 もう 座る=RES.NPST / 座る=RES.NPST

「太郎 (は) もう, 座っている。」

(187)は、TORU と TERU は、結果相を標示するということを示している。(186)と(187)より、アスペクト形式の機能重複は、TORU と TERU が、結果相を標示する場合に生じているということが分かる。

次に、(188)と(189)は、事態  $\alpha$  における美濃方言の若年層話者による発話例である。

(188) (運動場に行くと、スタートラインに立ち、手首足首を回している太郎がいた。)

a. taroo moosugu \*hasit=toru. / \*hasit=teru.

太郎 もうすぐ 走る=PROG.NPST / 走る=PROG.NPST

「太郎 (は) もうすぐ, 走る。」

b. taroo \*hasit=toru. / \*hasit=teru.

太郎 走る=PROG.NPST / 走る=PROG.NPST

「太郎 (は), 走ろうとしている。」

(188a)と(188b)は、TORU と TERU は、将然相を標示しないということを示している。

(189) a. (運動場に行くと、走っている最中の太郎がいた。)

taroo ima hasit=toru. / hasit=teru.

太郎 今 走る=PROG.NPST / 走る=PROG.NPST

「太郎 (は) 今、走っている。」

b. (運動場に行くと、100m 走を走り終えて、休憩している太郎がいた。)

taroo moo hasit=toru. / ?hasit=teru.

太郎 もう 走る=RES.NPST / 走る=RES.NPST

「太郎 (は) もう、走り終えている。」

(189a)と(189b)は、TORU は、進行相と結果相、TERU は進行相を標示するということを示している。(188)と(189)より、アスペクト形式の機能重複は、TORU と TERU が、進行相を標示する場合に生じているということが分かる。

また、(190)と(191)は、事態  $\beta$  における美濃方言の若年層話者による発話例である。

(190) (教室に入ると、荷物を置いて、椅子を引き出している太郎がいた。)

a. taroo moosugu \*suwat=toru. / \*suwat=teru.

太郎 もうすぐ 座る=RES.NPST / 座る=RES.NPST

「太郎 (は) もうすぐ、座る。」

b. taroo \*suwat=toru. / \*suwat=teru.

太郎 座る=RES.NPST / 座る=RES.NPST

「太郎 (は) 座ろうとしている。」

(190a)と(190b)は、TORU と TERU は、将然相を標示しないということを示している。

(191) (教室に入ると、既に席に着いている太郎がいた。)

taroo moo suwat=toru. / suwat=teru.

太郎 もう 座る=RES.NPST / 座る=RES.NPST

「太郎 (は) もう、座っている。」

(191)は、TORU と TERU は、結果相を標示するということを示している。(190)と(191)より、アスペクト形式の機能重複は、TORU と TERU が、結果相を標示する場合に生じているということが分かる。

#### 4.4.3. 長野方言のアスペクト体系

長野方言は、東北部方言（奥信濃方言）、北部方言（北信方言）、東部方言（東信方言）、中部方言（中信方言）、南部方言（南信方言）の5つに区画されている。

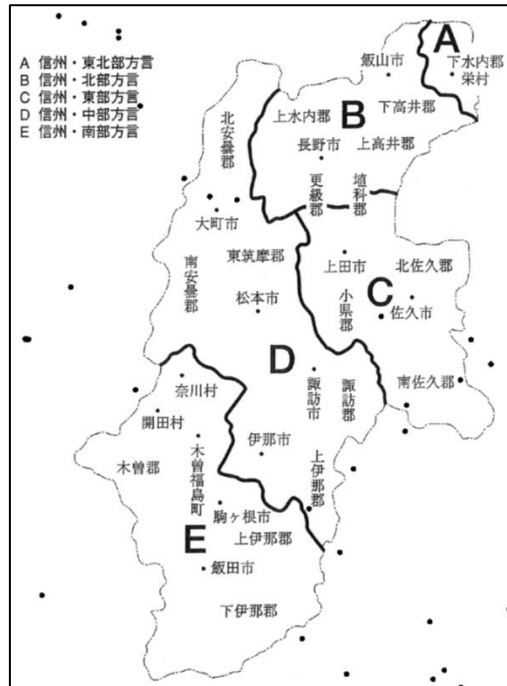


図23 長野方言の区画 (大橋 2019: 61)

長野方言では、東北部方言、北部方言、東部方言、中部方言の間に方言差は観察されなかったため、方言差が観察された北部方言（東北部方言、北部方言、東部方言、中部方言）と南部方言の2区画に従ってデータを提示する。また、本節では、中年層と若年層におけるデータを割愛するが、長野方言の各年齢層のデータに関しては、付録 526-567 に添付する。

第一に、北部方言には、TERU の 1 形式が存在する。TERU は、進行相と結果相を標示する。(192)と(193)は、事態  $\alpha$  における北部方言の高年層話者による発話例である。

(192) (運動場に行くと、スタートラインに立ち、手首足首を回している太郎がいた。)

a. taroo moosugu \*hasit=teru.

太郎 もうすぐ 走る=PROG.NPST

「太郎 (は) もうすぐ、走る。」

b. taroo \*hasit=teru.

太郎 走る=PROG.NPST

「太郎 (は)、走ろうとしている。」

(192a)と(192b)は、TERU は、将然相を標示しないということを示している。

(193) a. (運動場に行くと、走っている最中の太郎がいた。)

taroo ima hasit=teru.

太郎 今 走る=PROG.NPST

「太郎 (は) 今、走っている。」

b. (運動場に行くと、100m 走を走り終えて、休憩している太郎がいた。)

taroo moo ?hasit=teru.

太郎 もう 走る=RES.NPST

「太郎 (は) もう、走り終えている。」

(193a)と(193b)は、TERU は、進行相を標示するというを示している。各事態におけるデータを、表 182, 表 183, 表 184, 表 185 に示す。

表182 事態  $\alpha$  の未然的将然相におけるデーター北部方言・高年層ー

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、ユニフォームに着替え、走者レーンに向かっているAがいた。(Aはもうすぐ走る)				20	20
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、冷蔵庫から肉を取り出し、フライパンを温めているAがいた。(Aはもうすぐ肉を焼く)				20	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、空が曇り始めていて薄暗かった。(もうすぐ雨が降る)				20	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、机の上に資料を広げているAがいた。(Aはもうすぐ作戦を考える)				20	

表183 事態  $\alpha$  の既然的将然相におけるデーター北部方言・高年層ー

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、スタートラインに立ち、手首足首を回しているAがいた。(Aは走る直前)			2	18	20
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、フライパンに油をひき、トレーから肉を取り出しているAがいた。(Aは肉を焼く直前)			4	16	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、空がどんより曇っていて、ジメジメしていた。(雨が降る直前)				20	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、机の上の資料に目を通し始めているAがいた。(Aは作戦を考える直前)			11	9	

表184 事態  $\alpha$  の進行相におけるデーター北部方言・高年層ー

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Progressive	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、走っている最中のAがいた。(Aは走っている最中)			20		20
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、肉を焼いている最中のAがいた。(Aは肉を焼いている最中)			20		
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、雨が降っている最中だった。(雨が降っている最中)			20		
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、作戦を考えている最中のAがいた。(Aは作戦を考えている最中)			20		

表185 事態  $\alpha$  の結果相におけるデーター北部方言・高年層ー

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後, 運動場に行く, 100m走を終えて休憩しているAがいた。(Aは既に走った後)			1	19	20
焼く	主体動作 客体変化	夕食前, 台所に行く, 焼き終えた肉を皿へ移しているAがいた。(Aは既に肉を焼いた後)				20	
降る	自然現象	朝, 部屋のカーテンを開けると, 地面が濡れ, 水たまりができていた。(雨は既に降った後)				20	
考える	心理	昼食後, 会議室に入ると, 作戦会議を終えて資料を片付けているAがいた。(Aは既に作戦を考えた後)			15	5	

表 182, 表 183, 表 184, 表 185 より, アスペクト形式の機能重複は, 生じていないということが分かる。

また, (194)と(195)は, 事態  $\beta$  における北部方言の高年層話者による発話例である。

(194) (教室に入ると, 荷物を置いて, 椅子を引き出している太郎がいた。)

a. taroo moosugu \*suwat=teru.

太郎 もうすぐ 座る=RES.NPST

「太郎 (は) もうすぐ, 座る。」

b. taroo \*suwat=teru.

太郎 座る=RES.NPST

「太郎 (は) 座ろうとしている。」

(194a)と(194b)は, TERU は, 将然相を標示しないということを示している。

(195) (教室に入ると, 既に席に着いている太郎がいた。)

taroo moo suwat=teru.

太郎 もう 座る=RES.NPST

「太郎 (は) もう, 座っている。」

(195)は, TERU は, 結果相を標示するということを示している。各事態におけるデータを, 表 186, 表 187, 表 189 に示す。

表186 事態βの未然的将来相におけるデーター北部方言・高年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 席に向かっているAがいた。(Aはもうすぐ座る)				20	20
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, 軽く痙攣しているネズミがいた。(ネズミはもうすぐ死ぬ)				20	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの燃料が少なくなっていた。(もうすぐ火が消える)				20	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, 火を消すためストーブに近付いているAがいた。(Aはもうすぐ火を消す)				20	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていた。(もうすぐ晴れる)				20	

表187 事態βの既然的将来相におけるデーター北部方言・高年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 荷物を置いて, 椅子を引き出しているAがいた。(Aは座る直前)				20	20
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ひどく痙攣しているネズミがいた。(ネズミは死ぬ直前)				20	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの火がとても弱くなっていて, 消えていっている様子だった。(火が消える直前)				20	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープのスイッチに手を伸ばしているAがいた。(Aは火を消す直前)			20		
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていて雨雲の隙間から太陽が見え始めていた。(晴れる直前)			1	19	

表188 事態βの結果相におけるデーター北部方言・高年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 既に席に着いているAがいた。(Aは既に座った後)			20		20
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ネズミが1匹死んでいた。(ネズミは既に死んだ後)			20		
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, 点いているはずのストーブの火が消えていた。(火は消えた後)			10	10	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープの火を消し終えて換気をしているAがいた。(Aは既に火を消した後)			10	10	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雲ひとつない青空になっていた。(既に晴れた後)			20		

表 186, 表 187, 表 188 より, アスペクト形式の機能重複は, 生じていないということが分かる。

北部方言では, 高年層と中年層の間の方言差は観察されなかったため, 中年層における発話例を割愛する。

次に, (196)と(197)は, 事態αにおける北部方言の若年層話者による発話例である。

(196) (運動場に行くと、スタートラインに立ち、手首足首を回している太郎がいた。)

a. taroo moosugu \*hasit=teru.

太郎 もうすぐ 走る=PROG.NPST

「太郎 (は) もうすぐ, 走る。」

b. taroo ?hasit=teru.

太郎 走る=R-PROSP.NPST

「太郎 (は), 走ろうとしている。」

(196a)と(196b)は, TERU は, 将然相を標示しないということを示している。

(197) a. (運動場に行くと, 走っている最中の太郎がいた。)

taroo ima hasit=teru.

太郎 今 走る=PROG.NPST

「太郎 (は) 今, 走っている。」

b. (運動場に行くと, 100m 走を走り終えて, 休憩している太郎がいた。)

taroo moo hasit=teru.

太郎 もう 走る=RES.NPST

「太郎 (は) もう, 走り終えている。」

(197a)と(197b)は, TERU は, 進行相と結果相を標示するということを示している。(196)と(197)より, アスペクト形式の機能重複は, 生じていないということが分かる。

また, (198)と(199)は, 事態  $\beta$  における北部方言の若年層話者による発話例である。

(198) (教室に入ると, 荷物を置いて, 椅子を引き出している太郎がいた。)

a. taroo moosugu \*suwat=teru.

太郎 もうすぐ 座る=RES.NPST

「太郎 (は) もうすぐ, 座る。」

b. taroo \*suwat=teru.

太郎 座る=RES.NPST

「太郎 (は) 座ろうとしている。」

(198a)と(198b)は, TERU は, 将然相を標示しないということを示している。

(199) (教室に入ると, 既に席に着いている太郎がいた。)

taroo moo suwat=teru.

太郎 もう 座る=RES.NPST

「太郎 (は) もう, 座っている。」

(199)は、TERUは、結果相を標示するということを示している。(198)と(199)より、アスペクト形式の機能重複は、生じていないということが分かる。

第二に、南部方言には、TORUとTERUの2形式が存在する。TORUとTERUは、進行相と結果相を標示する。(200)と(201)は、事態 $\alpha$ における南部方言の高年層話者による発話例である。

(200) (運動場に行くと、スタートラインに立ち、手首足首を回している太郎がいた。)

- a. taroo moosugu \*hasit=toru. / \*hasit=teru.  
 太郎 もうすぐ 走る=PROG.NPST / 走る=PROG.NPST  
 「太郎 (は) もうすぐ, 走る。」
- b. taroo \*hasit=toru. / \*hasit=teru.  
 太郎 走る=PROG.NPST / 走る=PROG.NPST  
 「太郎 (は), 走ろうとしている。」

(200a)と(200b)は、TORUとTERUは、将然相を標示しないということを示している。

(201) a. (運動場に行くと、走っている最中の太郎がいた。)

- taroo ima hasit=toru. / ?hasit=teru.  
 太郎 今 走る=PROG.NPST / 走る=PROG.NPST  
 「太郎 (は) 今, 走っている。」

b. (運動場に行くと、100m 走を走り終えて、休憩している太郎がいた。)

- taroo moo \*hasit=toru. / \*hasit=teru.  
 太郎 もう 走る=RES.NPST / 走る=RES.NPST  
 「太郎 (は) もう, 走り終えている。」

(201a)と(201b)は、TORUは、進行相を標示するということを示している。各事態におけるデータを、表 189, 表 190, 表 191, 表 192 に示す。

表189 事態 $\alpha$ の未然的将然相におけるデーター南部方言・高年層ー

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後, 運動場に行くと, ユニフォームに着替え, 走者レーンに向かっているAがいた。(Aはもうすぐ走る)				5	5
焼く	主体動作 客体変化	夕食前, 台所に行くと, 冷蔵庫から肉を取り出し, フライパンを温めているAがいた。(Aはもうすぐ肉を焼く)				5	
降る	自然現象	朝, 部屋のカーテンを開けると, 空が曇り始めていて薄暗かった。(もうすぐ雨が降る)				5	
考える	心理	昼食後, 会議室に入ると, 机の上に資料を広げているAがいた。(Aはもうすぐ作戦を考える)				5	



表190 事態  $\alpha$  の既然的将然相におけるデーター南部方言・高年層ー

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くとき、スタートラインに立ち、手首足首を回しているAがいた。(Aは走る直前)				5	5
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くとき、フライパンに油をひき、トレーから肉を取り出しているAがいた。(Aは肉を焼く直前)				5	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、空がどんより曇っていて、ジメジメしていた。(雨が降る直前)				5	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、机の上の資料に目を通し始めているAがいた。(Aは作戦を考える直前)				5	

表191 事態  $\alpha$  の進行相におけるデーター南部方言・高年層ー

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Progressive	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くとき、走っている最中のAがいた。(Aは走っている最中)		5	2		5
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くとき、肉を焼いている最中のAがいた。(Aは肉を焼いている最中)		5	1		
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、雨が降っている最中だった。(雨が降っている最中)		5	1		
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、作戦を考えている最中のAがいた。(Aは作戦を考えている最中)		5	1		

表192 事態  $\alpha$  の結果相におけるデーター南部方言・高年層ー

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くとき、100m走を終えて休憩しているAがいた。(Aは既に走った後)				5	5
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くとき、焼き終えた肉を皿へ移しているAがいた。(Aは既に肉を焼いた後)				5	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、地面が濡れ、水たまりができていた。(雨は既に降った後)				5	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、作戦会議を終えて資料を片付けているAがいた。(Aは既に作戦を考えた後)				5	

表 189, 表 190, 表 191, 表 192 より, アスペクト形式の機能重複は, ほとんど生じていないということが分かる。

また, (202)と(203)は, 事態  $\beta$  における南部方言の高年層話者による発話例である。

(202) (教室に入ると, 荷物を置いて, 椅子を引き出している太郎がいた。)

a. taroo moosugu \*suwat=toru. / \*suwat=teru.

太郎 もうすぐ 座る=RES.NPST / 座る=RES.NPST

「太郎 (は) もうすぐ, 座る。」

b. taroo \*suwat=toru. / \*suwat=teru.

太郎 座る=RES.NPST / 座る=RES.NPST

「太郎 (は) 座ろうとしている。」

(202a)と(202b)は, TORU と TERU は, 将然相を標示しないということを示している。

(203) (教室に入ると、既に席に着いている太郎がいた。)

taroo moo suwat=toru. / ?suwat=teru.

太郎 もう 座る=RES.NPST / 座る=RES.NPST

「太郎 (は) もう、座っている。」

(203)は、TORU は、結果相を標示するというを示している。各事態におけるデータを、表 193, 表 194, 表 195 に示す。

表193 事態βの未然的将然相におけるデーター南部方言・高年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 席に向かっているAがいた。(Aはもうすぐ座る)				5	5
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, 軽く痙攣しているネズミがいた。(ネズミはもうすぐ死ぬ)				5	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの燃料が少なくなっていた。(もうすぐ火が消える)				5	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, 火を消すためストーブに近付いているAがいた。(Aはもうすぐ火を消す)				5	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていた。(もうすぐ晴れる)				5	

表194 事態βの既然的将然相におけるデーター南部方言・高年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 荷物を置いて, 椅子を引き出しているAがいた。(Aは座る直前)				5	5
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ひどく痙攣しているネズミがいた。(ネズミは死ぬ直前)				5	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの火がとても弱くなっていて, 消えていっている様子だった。(火が消える直前)				5	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープのスイッチに手を伸ばしているAがいた。(Aは火を消す直前)		4		1	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていて雨雲の隙間から太陽が見え始めていた。(晴れる直前)				5	

表195 事態βの結果相におけるデーター南部方言・高年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 既に席に着いているAがいた。(Aは既に座った後)		4	1		5
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ネズミが1匹死んでいた。(ネズミは既に死んだ後)		4	1		
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, 点いているはずのストーブの火が消えていた。(火は消えた後)		4	1		
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープの火を消し終えて換気をしているAがいた。(Aは既に火を消した後)		1		4	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雲ひとつない青空になっていた。(既に晴れた後)		4		1	

表 193, 表 194, 表 195 より, アスペクト形式の機能重複は, ほとんど生じていないということが分かる。

次に、(204)と(205)は、事態  $\alpha$  における南部方言の中年層話者による発話例である。

(204) (運動場に行くと、スタートラインに立ち、手首足首を回している太郎がいた。)

a. taroo moosugu \*hasit=toru. / \*hasit=teru.

太郎 もうすぐ 走る=PROG.NPST / 走る=PROG.NPST

「太郎 (は) もうすぐ、走る。」

b. taroo \*hasit=toru. / \*hasit=teru.

太郎 走る=PROG.NPST / 走る=PROG.NPST

「太郎 (は)、走ろうとしている。」

(204a)と(204b)は、TORU と TERU は、将然相を標示しないということを示している。

(205) a. (運動場に行くと、走っている最中の太郎がいた。)

taroo ima hasit=toru. / hasit=teru.

太郎 今 走る=PROG.NPST / 走る=PROG.NPST

「太郎 (は) 今、走っている。」

b. (運動場に行くと、100m 走を走り終えて、休憩している太郎がいた。)

taroo moo \*hasit=toru. / \*hasit=teru.

太郎 もう 走る=RES.NPST / 走る=RES.NPST

「太郎 (は) もう、走り終えている。」

(205a)と(205b)は、TORU と TERU は、進行相を標示するということを示している。(204)と(205)より、アスペクト形式の機能重複は、TORU と TERU が、進行相を標示する場合に生じているということが分かる。

また、(206)と(207)は、事態  $\beta$  における南部方言の中年層話者による発話例である。

(206) (教室に入ると、荷物を置いて、椅子を引き出している太郎がいた。)

a. taroo moosugu \*suwat=toru. / \*suwat=teru.

太郎 もうすぐ 座る=RES.NPST / 座る=RES.NPST

「太郎 (は) もうすぐ、座る。」

b. taroo \*suwat=toru. / \*suwat=teru.

太郎 座る=RES.NPST / 座る=RES.NPST

「太郎 (は) 座ろうとしている。」

(206a)と(206b)は、TORU と TERU は、将然相を標示しないということを示している。

(207) (教室に入ると、既に席に着いている太郎がいた。)

taroo moo ?suwat=toru. / suwat=teru.

太郎 もう 座る=RES.NPST / 座る=RES.NPST

「太郎 (は) もう、座っている。」

(207)は、TERU は、結果相を標示するということを示している。(206)と(207)より、アスペクト形式の機能重複は、ほとんど生じていないということが分かる。

次に、(208)と(209)は、事態  $\alpha$  における南部方言の若年層話者による発話例である。

(208) (運動場に行くと、スタートラインに立ち、手首足首を回している太郎がいた。)

a. taroo moosugu \*hasit=toru. / \*hasit=teru.

太郎 もうすぐ 走る=PROG.NPST / 走る=PROG.NPST

「太郎 (は) もうすぐ、走る。」

b. taroo \*hasit=toru. / \*hasit=teru.

太郎 走る=PROG.NPST / 走る=PROG.NPST

「太郎 (は)、走ろうとしている。」

(208a)と(208b)は、TORU と TERU は、将然相を標示しないということを示している。

(209) a. (運動場に行くと、走っている最中の太郎がいた。)

taroo ima hasit=toru. / hasit=teru.

太郎 今 走る=PROG.NPST / 走る=PROG.NPST

「太郎 (は) 今、走っている。」

b. (運動場に行くと、100m 走を走り終えて、休憩している太郎がいた。)

taroo moo hasit=toru. / hasit=teru.

太郎 もう 走る=RES.NPST / 走る=RES.NPST

「太郎 (は) もう、走り終えている。」

(209a)と(209b)は、TORU と TERU は、進行相と結果相を標示するということを示している。

(208)と(209)より、アスペクト形式の機能重複は、TORU と TERU が、進行相と結果相を標示する場合に生じているということが分かる。

また、(210)と(211)は、事態  $\beta$  における南部方言の若年層話者による発話例である。

(210) (教室に入ると、荷物を置いて、椅子を引き出している太郎がいた。)

a. taroo moosugu \*suwat=toru. / \*suwat=teru.

太郎 もうすぐ 座る=RES.NPST / 座る=RES.NPST

「太郎 (は) もうすぐ, 座る。」

b. taroo \*suwat=toru. / \*suwat=teru.

太郎 座る=RES.NPST / 座る=RES.NPST

「太郎 (は) 座ろうとしている。」

(210a)と(210b)は, TORU と TERU は, 将然相を標示しないということを示している。

(211) (教室に入ると、既に席に着いている太郎がいた。)

taroo moo suwat=toru. / suwat=teru.

太郎 もう 座る=RES.NPST / 座る=RES.NPST

「太郎 (は) もう, 座っている。」

(211)は, TORU と TERU は, 結果相を標示するということを示している。(210)と(211)より, アスペクト形式の機能重複は, TORU と TERU が, 結果相を標示する場合に生じているということが分かる。

#### 4.4.4. 福井方言のアスペクト体系

福井方言は, 嶺南方言と嶺北方言の2つに区画されている。さらに, 福井方言は, 各区画の下位分類を含めれば, 嶺南方言, 嶺北西部方言, 嶺北東部方言の3つに区画されている。

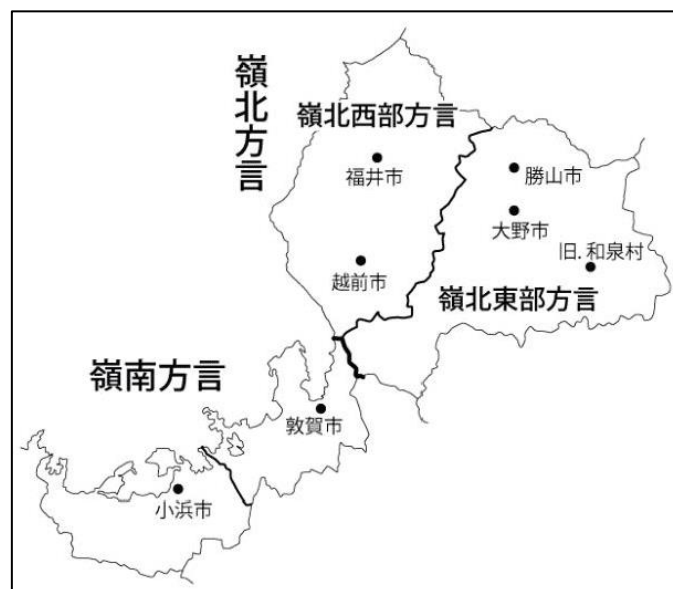


図24 福井方言の区画 (松倉 2018: 51)

福井方言では、各方言区画による方言差が観察されたため、嶺南方言、嶺北西部方言、嶺北東部方言の3区画に従ってデータを提示する。また、本節では、中年層と若年層におけるデータを割愛するが、福井方言の各年齢層のデータに関しては、付録 568-630 に添付する。

第一に、嶺南方言には、TORU と TERU の2形式が存在する。TORU と TERU は、進行相と結果相を標示する。(212)と(213)は、事態  $\alpha$  における嶺南方言の高年層話者による発話例である。

(212) (運動場に行くと、スタートラインに立ち、手首足首を回している太郎がいた。)

- a. taroo moosugu \*hasit=toru. / \*hasit=teru.  
 太郎 もうすぐ 走る=PROG.NPST / 走る=PROG.NPST  
 「太郎 (は) もうすぐ、走る。」
- b. taroo \*hasit=toru. / \*hasit=teru.  
 太郎 走る=PROG.NPST / 走る=PROG.NPST  
 「太郎 (は)、走ろうとしている。」

(212a)と(212b)は、TORU と TERU は、将然相を標示しないということを示している。

(213) a. (運動場に行くと、走っている最中の太郎がいた。)

- taroo ima hasit=toru. / \*hasit=teru.  
 太郎 今 走る=PROG.NPST / 走る=PROG.NPST  
 「太郎 (は) 今、走っている。」

b. (運動場に行くと、100m 走を走り終えて、休憩している太郎がいた。)

- taroo moo hasit=toru. / \*hasit=teru.  
 太郎 もう 走る=RES.NPST / 走る=RES.NPST  
 「太郎 (は) もう、走り終えている。」

(213a)と(213b)は、TORU は、進行相と結果相を標示するというを示している。各事態におけるデータを、表 196、表 197、表 198、表 199 に示す。

表196 事態  $\alpha$  の未然的将然相におけるデーター嶺南方言・高年層ー

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、ユニフォームに着替え、走者レーンに向かっているAがいた。(Aはもうすぐ走る)				8	8
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、冷蔵庫から肉を取り出し、フライパンを温めているAがいた。(Aはもうすぐ肉を焼く)				8	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、空が曇り始めていて薄暗かった。(もうすぐ雨が降る)				8	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、机の上に資料を広げているAがいた。(Aはもうすぐ作戦を考える)				8	

表197 事態  $\alpha$  の既然的将然相におけるデーター嶺南方言・高年層ー

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、スタートラインに立ち、手首足首を回しているAがいた。(Aは走る直前)				8	8
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、フライパンに油をひき、トレーから肉を取り出しているAがいた。(Aは肉を焼く直前)				8	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、空がどんより曇っていて、ジメジメしていた。(雨が降る直前)				8	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、机の上の資料に目を通し始めているAがいた。(Aは作戦を考える直前)				8	

表198 事態  $\alpha$  の進行相におけるデーター嶺南方言・高年層ー

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Progressive	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、走っている最中のAがいた。(Aは走っている最中)		8			8
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、肉を焼いている最中のAがいた。(Aは肉を焼いている最中)		8			
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、雨が降っている最中だった。(雨が降っている最中)		8			
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、作戦を考えている最中のAがいた。(Aは作戦を考えている最中)		8			

表199 事態  $\alpha$  の結果相におけるデーター嶺南方言・高年層ー

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、100m走を終えて休憩しているAがいた。(Aは既に走った後)		4		4	8
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、焼き終えた肉を皿へ移しているAがいた。(Aは既に肉を焼いた後)		2		6	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、地面が濡れ、水たまりができていた。(雨は既に降った後)		4		4	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、作戦会議を終えて資料を片付けているAがいた。(Aは既に作戦を考えた後)		1		7	

表 196, 表 197, 表 198, 表 199 より, アスペクト形式の機能重複は, 生じていないということが分かる。

また, (214)と(215)は, 事態  $\beta$  における嶺南方言の高年層話者による発話例である。

(214) (教室に入ると, 荷物を置いて, 椅子を引き出している太郎がいた。)

a. taroo moosugu \*suwat=toru. / \*suwat=teru.

太郎 もうすぐ 座る=RES.NPST / 座る=RES.NPST

「太郎 (は) もうすぐ, 座る。」

b. taroo \*suwat=toru. / \*suwat=teru.

太郎 座る=RES.NPST / 座る=RES.NPST

「太郎 (は) 座ろうとしている。」

(214a)と(214b)は, TORU と TERU は, 将然相を標示しないということを示している。

(215) (教室に入ると、既に席に着いている太郎がいた。)

taroo moo suwat=toru. / \*suwat=teru.

太郎 もう 座る=RES.NPST / 座る=RES.NPST

「太郎 (は) もう、座っている。」

(215)は、TORU は、結果相を標示するというを示している。各事態におけるデータを、表 200, 表 201, 表 202 に示す。

表200 事態βの未然的将然相におけるデーター嶺南方言・高年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 席に向かっているAがいた。(Aはもうすぐ座る)				8	8
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, 軽く痙攣しているネズミがいた。(ネズミはもうすぐ死ぬ)				8	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの燃料が少なくなっていた。(もうすぐ火が消える)				8	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, 火を消すためストーブに近付いているAがいた。(Aはもうすぐ火を消す)				8	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていた。(もうすぐ晴れる)				8	

表201 事態βの既然的将然相におけるデーター嶺南方言・高年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 荷物を置いて, 椅子を引き出しているAがいた。(Aは座る直前)				8	8
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ひどく痙攣しているネズミがいた。(ネズミは死ぬ直前)				8	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの火がとても弱くなっていて, 消えていっている様子だった。(火が消える直前)				8	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープのスイッチに手を伸ばしているAがいた。(Aは火を消す直前)				8	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていて雨雲の隙間から太陽が見え始めていた。(晴れる直前)				8	

表202 事態βの結果相におけるデーター嶺南方言・高年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 既に席に着いているAがいた。(Aは既に座った後)		7		1	8
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ネズミが1匹死んでいた。(ネズミは既に死んだ後)		8			
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, 点いているはずのストーブの火が消えていた。(火は消えた後)		8			
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープの火を消し終えて換気をしているAがいた。(Aは既に火を消した後)				8	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 曇ひとつない青空になっていた。(既に晴れた後)		7		1	

表 200, 表 201, 表 202 より, アスペクト形式の機能重複は, 生じていないということが分かる。



嶺南方言では、高年層と中年層の間の方言差は観察されなかったため、中年層における発話例を割愛する。

次に、(216)と(217)は、事態  $\alpha$  における嶺南方言の若年層話者による発話例である。

(216) (運動場に行くと、スタートラインに立ち、手首足首を回している太郎がいた。)

a. taroo moosugu \*hasit=toru. / \*hasit=teru.

太郎 もうすぐ 走る=PROG.NPST / 走る=PROG.NPST

「太郎 (は) もうすぐ、走る。」

b. taroo \*hasit=toru. / \*hasit=teru.

太郎 走る=PROG.NPST / 走る=PROG.NPST

「太郎 (は)、走ろうとしている。」

(216a)と(216b)は、TORU と TERU は、将然相を標示しないということを示している。

(217) a. (運動場に行くと、走っている最中の太郎がいた。)

taroo ima hasit=toru. / hasit=teru.

太郎 今 走る=PROG.NPST / 走る=PROG.NPST

「太郎 (は) 今、走っている。」

b. (運動場に行くと、100m 走を走り終えて、休憩している太郎がいた。)

taroo moo hasit=toru. / hasit=teru.

太郎 もう 走る=RES.NPST / 走る=RES.NPST

「太郎 (は) もう、走り終えている。」

(217a)と(217b)は、TORU と TERU は、進行相と結果相を標示するということを示している。

(216)と(217)より、アスペクト形式の機能重複は、TORU と TERU が、進行相と結果相を標示する場合に生じているということが分かる。

また、(218)と(219)は、事態  $\beta$  における嶺南方言の若年層話者による発話例である。

(218) (教室に入ると、荷物を置いて、椅子を引き出している太郎がいた。)

a. taroo moosugu \*suwat=toru. / \*suwat=teru.

太郎 もうすぐ 座る=RES.NPST / 座る=RES.NPST

「太郎 (は) もうすぐ、座る。」

b. taroo \*suwat=toru. / \*suwat=teru.

太郎 座る=RES.NPST / 座る=RES.NPST

「太郎 (は) 座ろうとしている。」

(218a)と(218b)は、TORU と TERU は、将然相を標示しないということを示している。

(219) (教室に入ると、既に席に着いている太郎がいた。)

taroo moo suwat=toru. / suwat=teru.

太郎 もう 座る=RES.NPST / 座る=RES.NPST

「太郎 (は) もう、座っている。」

(219)は、TORU と TERU は、結果相を標示するということを示している。(218)と(219)より、アスペクト形式の機能重複は、TORU と TERU が、結果相を標示する場合に生じているということが分かる。

第二に、嶺北西部方言には、TORU と TERU の2形式が存在する。TORU と TERU は、進行相と結果相を標示する。(220)と(221)は、事態 $\alpha$ における嶺北西部方言の高年層話者による発話例である。

(220) (運動場に行くと、スタートラインに立ち、手首足首を回している太郎がいた。)

a. taroo moosugu \*hasit=toru. / \*hasit=teru.

太郎 もうすぐ 走る=PROG.NPST / 走る=PROG.NPST

「太郎 (は) もうすぐ、走る。」

b. taroo \*hasit=toru. / \*hasit=teru.

太郎 走る=PROG.NPST / 走る=PROG.NPST

「太郎 (は)、走ろうとしている。」

(220a)と(220b)は、TORU と TERU は、将然相を標示しないということを示している。

(221) a. (運動場に行くと、走っている最中の太郎がいた。)

taroo ima \*hasit=toru. / hasit=teru.

太郎 今 走る=PROG.NPST / 走る=PROG.NPST

「太郎 (は) 今、走っている。」

b. (運動場に行くと、100m 走を走り終えて、休憩している太郎がいた。)

taroo moo \*hasit=toru. / ?hasit=teru.

太郎 もう 走る=RES.NPST / 走る=RES.NPST

「太郎 (は) もう、走り終えている。」

(221a)と(221b)は、TERU は、進行相を標示するということを示している。各事態におけるデータを、表 203, 表 204, 表 205, 表 206 に示す。

表203 事態  $\alpha$  の未然的将来相におけるデーター嶺北西部方言・高年層ー

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、ユニフォームに着替え、走者レーンに向かっているAがいた。(Aはもうすぐ走る)				7	7
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、冷蔵庫から肉を取り出し、フライパンを温めているAがいた。(Aはもうすぐ肉を焼く)				7	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、空が曇り始めていて薄暗かった。(もうすぐ雨が降る)				7	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、机の上に資料を広げているAがいた。(Aはもうすぐ作戦を考える)				7	

表204 事態  $\alpha$  の既然的将来相におけるデーター嶺北西部方言・高年層ー

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、スタートラインに立ち、手首足首を回しているAがいた。(Aは走る直前)				7	7
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、フライパンに油をひき、トレーから肉を取り出しているAがいた。(Aは肉を焼く直前)				7	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、空がどんより曇っていて、ジメジメしていた。(雨が降る直前)				7	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、机の上の資料に目を通し始めているAがいた。(Aは作戦を考える直前)				7	

表205 事態  $\alpha$  の進行相におけるデーター嶺北西部方言・高年層ー

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Progressive	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、走っている最中のAがいた。(Aは走っている最中)			7		7
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、肉を焼いている最中のAがいた。(Aは肉を焼いている最中)			7		
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、雨が降っている最中だった。(雨が降っている最中)			7		
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、作戦を考えている最中のAがいた。(Aは作戦を考えている最中)			7		

表206 事態  $\alpha$  の結果相におけるデーター嶺北西部方言・高年層ー

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、100m走を終えて休憩しているAがいた。(Aは既に走った後)			3	4	7
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、焼き終えた肉を皿へ移しているAがいた。(Aは既に肉を焼いた後)			1	6	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、地面が濡れ、水たまりができていた。(雨は既に降った後)			2	5	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、作戦会議を終えて資料を片付けているAがいた。(Aは既に作戦を考えたと)				7	

表 203, 表 204, 表 205, 表 206 より, アスペクト形式の機能重複は, 生じていないということが分かる。

また, (222)と(223)は, 事態  $\beta$  における嶺北西部方言の高年層話者による発話例である。

(222) (教室に入ると、荷物を置いて、椅子を引き出している太郎がいた。)

a. taroo moosugu \*suwat=toru. / \*suwat=teru.

太郎 もうすぐ 座る=RES.NPST / 座る=RES.NPST

「太郎 (は) もうすぐ, 座る。」

b. taroo \*suwat=toru. / \*suwat=teru.

太郎 座る=RES.NPST / 座る=RES.NPST

「太郎 (は) 座ろうとしている。」

(222a)と(222b)は, TORU と TERU は, 将然相を標示しないということを示している。

(223) (教室に入ると、既に席に着いている太郎がいた。)

taroo moo \*suwat=toru. / suwat=teru.

太郎 もう 座る=RES.NPST / 座る=RES.NPST

「太郎 (は) もう, 座っている。」

(223)は, TERU は, 結果相を標示するということを示している。各事態におけるデータを, 表 207, 表 208, 表 209 に示す。

表207 事態βの未然的将然相におけるデーター嶺北西部方言・高年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 席に向かってAがいた。(Aはもうすぐ座る)				7	7
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, 軽く痙攣しているネズミがいた。(ネズミはもうすぐ死ぬ)				7	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの燃料が少なくなっていた。(もうすぐ火が消える)				7	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, 火を消すためストーブに近付いているAがいた。(Aはもうすぐ火を消す)				7	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていた。(もうすぐ晴れる)				7	

表208 事態βの既然的将然相におけるデーター嶺北西部方言・高年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 荷物を置いて, 椅子を引き出しているAがいた。(Aは座る直前)				7	7
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ひどく痙攣しているネズミがいた。(ネズミは死ぬ直前)				7	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの火がとても弱くなっていて, 消えていっている様子だった。(火が消える直前)				7	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープのスイッチに手を伸ばしているAがいた。(Aは火を消す直前)			1	6	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていて雨雲の隙間から太陽が見え始めていた。(晴れる直前)				7	

表209 事態βの結果相におけるデーター嶺北西部方言・高年層ー

Verb	Property	[β] Situation · Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 既に席に着いてるAがいた。(Aは既に座った後)			7		7
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ネズミが1匹死んでいた。(ネズミは既に死んだ後)			7		
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, 点いているはずのストーブの火が消えていた。(火は消えた後)			7		
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストーブの火を消し終えて換気をしているAがいた。(Aは既に火を消した後)			3	4	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雲ひとつない青空になっていた。(既に晴れた後)			7		

表 207, 表 208, 表 209 より, アスペクト形式の機能重複は, 生じていないということが分かる。

嶺北西部方言では, 高年層と中年層の間の方言差は観察されなかったため, 中年層における発話例を割愛する。

次に, (224)と(225)は, 事態αにおける嶺北西部方言の若年層話者による発話例である。

(224) (運動場に行くと, スタートラインに立ち, 手首足首を回している太郎がいた。)

a. taroo moosugu \*hasit=toru. / \*hasit=teru.

太郎 もうすぐ 走る=PROG.NPST / 走る=PROG.NPST

「太郎 (は) もうすぐ, 走る。」

b. taroo \*hasit=toru. / \*hasit=teru.

太郎 走る=PROG.NPST / 走る=PROG.NPST

「太郎 (は), 走ろうとしている。」

(224a)と(224b)は, TORU と TERU は, 将然相を標示しないということを示している。

(225) a. (運動場に行くと, 走っている最中の太郎がいた。)

taroo ima hasit=toru. / hasit=teru.

太郎 今 走る=PROG.NPST / 走る=PROG.NPST

「太郎 (は) 今, 走っている。」

b. (運動場に行くと, 100m 走を走り終えて, 休憩している太郎がいた。)

taroo moo hasit=toru. / hasit=teru.

太郎 もう 走る=RES.NPST / 走る=RES.NPST

「太郎 (は) もう, 走り終えている。」

(225a)と(225b)は, TORU と TERU は, 進行相と結果相を標示するということを示している。

(224)と(225)より, アスペクト形式の機能重複は, TORU と TERU が, 進行相と結果相を標示する場合に生じているということが分かる。

また、(226)と(227)は、事態 $\beta$ における嶺北西部方言の若年層話者による発話例である。

(226) (教室に入ると、荷物を置いて、椅子を引き出している太郎がいた。)

a. taroo moosugu \*suwat=toru. / \*suwat=teru.

太郎 もうすぐ 座る=RES.NPST / 座る=RES.NPST

「太郎 (は) もうすぐ、座る。」

b. taroo \*suwat=toru. / \*suwat=teru.

太郎 座る=RES.NPST / 座る=RES.NPST

「太郎 (は) 座ろうとしている。」

(226a)と(226b)は、TORU と TERU は、将然相を標示しないということを示している。

(227) (教室に入ると、既に席に着いている太郎がいた。)

taroo moo suwat=toru. / suwat=teru.

太郎 もう 座る=RES.NPST / 座る=RES.NPST

「太郎 (は) もう、座っている。」

(227)は、TORU と TERU は、結果相を標示するということを示している。(226)と(227)より、アスペクト形式の機能重複は、TORU と TERU が、結果相を標示する場合に生じているということが分かる。

第三に、嶺北東部方言には、TERU の 1 形式が存在する。TERU は、進行相と結果相を標示する。(228)と(229)は、事態 $\alpha$ における嶺北東部方言の高年層話者による発話例である。

(228) (運動場に行くと、スタートラインに立ち、手首足首を回している太郎がいた。)

a. taroo moosugu \*hasit=teru.

太郎 もうすぐ 走る=PROG.NPST

「太郎 (は) もうすぐ、走る。」

b. taroo \*hasit=teru.

太郎 走る=PROG.NPST

「太郎 (は)、走ろうとしている。」

(228a)と(228b)は、TERU は、将然相を標示しないということを示している。

(229) a. (運動場に行くと、走っている最中の太郎がいた。)

taroo ima hasit=teru.

太郎 今 走る=PROG.NPST

「太郎 (は) 今、走っている。」

b. (運動場に行くと、100m 走を走り終えて、休憩している太郎がいた。)

taroo moo hasit=teru.

太郎 もう 走る=RES.NPST

「太郎 (は) もう、走り終えている。」

(229a)と(229b)は、TERU は、進行相と結果相を標示するということを示している。各事態におけるデータを、表 210、表 211、表 212、表 213 に示す。

表210 事態  $\alpha$  の未然的将来相におけるデーター嶺北東部方言・高年層ー

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、ユニフォームに着替え、走者レーンに向かっているAがいた。(Aはもうすぐ走る)				7	7
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、冷蔵庫から肉を取り出し、フライパンを温めているAがいた。(Aはもうすぐ肉を焼く)				7	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、空が曇り始めていて薄暗かった。(もうすぐ雨が降る)				7	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、机の上に資料を広げているAがいた。(Aはもうすぐ作戦を考える)				7	

表211 事態  $\alpha$  の既然的将来相におけるデーター嶺北東部方言・高年層ー

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、スタートラインに立ち、手首足首を回しているAがいた。(Aは走る直前)				7	7
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、フライパンに油をひき、トレーから肉を取り出しているAがいた。(Aは肉を焼く直前)				7	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、空がどんより曇っていて、ジメジメしていた。(雨が降る直前)				7	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、机の上の資料に目を通し始めているAがいた。(Aは作戦を考える直前)				7	

表212 事態  $\alpha$  の進行相におけるデーター嶺北東部方言・高年層ー

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Progressive	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、走っている最中のAがいた。(Aは走っている最中)			7		7
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、肉を焼いている最中のAがいた。(Aは肉を焼いている最中)			7		
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、雨が降っている最中だった。(雨が降っている最中)			7		
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、作戦を考えている最中のAがいた。(Aは作戦を考えている最中)			7		

表213 事態  $\alpha$  の結果相におけるデーター嶺北東部方言・高年層ー

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後, 運動場に行く, 100m走を終えて休憩しているAがいた。(Aは既に走った後)			5	2	7
焼く	主体動作 客体変化	夕食前, 台所に行く, 焼き終えた肉を皿へ移しているAがいた。(Aは既に肉を焼いた後)				7	
降る	自然現象	朝, 部屋のカーテンを開けると, 地面が濡れ, 水たまりができていた。(雨は既に降った後)			7		
考える	心理	昼食後, 会議室に入ると, 作戦会議を終えて資料を片付けているAがいた。(Aは既に作戦を考えた後)			2	5	

表 210, 表 211, 表 212, 表 213 より, アスペクト形式の機能重複は, 生じていないということが分かる。

また, (230)と(231)は, 事態  $\beta$  における嶺北東部方言の高年層話者による発話例である。

(230) (教室に入ると, 荷物を置いて, 椅子を引き出している太郎がいた。)

a. taroo moosugu \*suwat=teru.

太郎 もうすぐ 座る=RES.NPST

「太郎 (は) もうすぐ, 座る。」

b. taroo \*suwat=teru.

太郎 座る=RES.NPST

「太郎 (は) 座ろうとしている。」

(230a)と(230b)は, TERU は, 将然相を標示しないということを示している。

(231) (教室に入ると, 既に席に着いている太郎がいた。)

taroo moo suwat=teru.

太郎 もう 座る=RES.NPST

「太郎 (は) もう, 座っている。」

(231)は, TERU は, 結果相を標示するということを示している。各事態におけるデータを, 表 214, 表 215, 表 216 に示す。



表214 事態βの未然的将来相におけるデーター嶺北東部方言・高年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 席に向かっているAがいた。(Aはもうすぐ座る)				7	7
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, 軽く痙攣しているネズミがいた。(ネズミはもうすぐ死ぬ)				7	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの燃料が少なくなっていた。(もうすぐ火が消える)				7	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, 火を消すためストーブに近付いているAがいた。(Aはもうすぐ火を消す)				7	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていた。(もうすぐ晴れる)				7	

表215 事態βの既然的将来相におけるデーター嶺北東部方言・高年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 荷物を置いて, 椅子を引き出しているAがいた。(Aは座る直前)				7	7
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ひどく痙攣しているネズミがいた。(ネズミは死ぬ直前)				7	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの火がとても弱くなっていて, 消えていっている様子だった。(火が消える直前)				7	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープのスイッチに手を伸ばしているAがいた。(Aは火を消す直前)				7	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていて雨雲の隙間から太陽が見え始めていた。(晴れる直前)				7	

表216 事態βの結果相におけるデーター嶺北東部方言・高年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 既に席に着いているAがいた。(Aは既に座った後)			7		7
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ネズミが1匹死んでいた。(ネズミは既に死んだ後)			7		
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, 点いているはずのストーブの火が消えていた。(火は消えた後)			7		
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープの火を消し終えて換気をしているAがいた。(Aは既に火を消した後)				7	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雲ひとつない青空になっていた。(既に晴れた後)			7		

表 214, 表 215, 表 216 より, アスペクト形式の機能重複は, 生じていないということが分かる。

嶺北東部方言では, 各年齢層による方言差は観察されなかったため, 中年層と若年層における発話例を割愛する。

#### 4.5. アスペクト形式の機能重複における類型

前述の 30 方言のデータより, 西日本諸方言におけるアスペクト形式の機能重複は, アスペクトの連続性に基づいて, 将来相あるいは進行相あるいは結果相のような 1 つのアスペクト上, または, 将来相と進行相あるいは進行相と結果相あるいは将来相と進行相と結果相のよ

うな連続的なアスペクト上において生じると分析できる。また、30方言のデータに基づけば、事態 $\alpha$ と事態 $\beta$ における機能重複は、表217と表218のように類型化することができる。なお、表217と表218では、YORU, TORU, TERUのような特定の形式や機能重複のある形式の数を考慮せず、機能重複なしを0、機能重複ありを1とする。

表217 事態 $\alpha$ における機能重複の類型

A			B			C		
PROSP	PROG	RES	PROSP	PROG	RES	PROSP	PROG	RES
0	1	0	1	1	0	0	1	1
奈良県_南部方言			岡山県_岡山方言			大阪府_大阪方言		
兵庫県_摂津播磨方言						京都府_山城方言		
兵庫県_淡路方言						滋賀県_滋賀方言		
兵庫県_但馬方言						奈良県_北部方言		
兵庫県_丹波方言						三重県_北部方言		
鳥取県_東部方言						三重県_南部方言		
広島県_広島方言						島根県_出雲隠岐方言		
山口県_山口方言						島根県_石見方言		
徳島県_徳島方言						愛知県_愛知方言		
岐阜県_飛騨方言						岐阜県_美濃方言		
						長野県_南部方言		
						福井県_嶺南方言		
						福井県_嶺北西部方言		

表217より、事態 $\alpha$ において、Aは、複数のアスペクト形式に、進行相を標示する機能がある場合に機能重複が生じるタイプを示している。Bは、複数のアスペクト形式に、将然相と進行相を標示する機能がある場合に機能重複が生じるタイプを示している<sup>44</sup>。Cは、複数のアスペクト形式に、進行相と結果相を標示する機能がある場合に機能重複が生じるタイプを示している。

<sup>44</sup> ほとんどの西日本諸方言がAとCに該当するのに対して、岡山県\_岡山方言は、唯一Bに該当するため、特異的である。岡山県\_岡山方言のTORUは、アスペクトの連続性に基づいて、結果相 >> 進行相 >> 将然相のように意味拡張しているため、将然相と進行相を標示するYORUとの機能重複が生じたと考えられるが、これについては、さらに多くの方言データを収集することで、西日本諸方言における機能重複の実態を把握する必要がある。(cf. 鴨井 2020, 鴨井 2021)

表218 事態βにおける機能重複の種類

PROSP	RES
0	1
大阪府_大阪方言	
京都府_山城方言	
滋賀県_滋賀方言	
奈良県_北部方言	
三重県_北部方言	
三重県_南部方言	
島根県_出雲隠岐方言	
島根県_石見方言	
愛知県_愛知方言	
岐阜県_美濃方言	
長野県_南部方言	
福井県_嶺南方言	
福井県_嶺北西部方言	

表 218 は、事態βにおいて、複数のアスペクト形式に、結果相を標示する機能がある場合に機能重複が生じるタイプを示している。このタイプには、事態αにおけるCと同様の諸方言が該当する。

一方、機能重複は、1つのアスペクト形式が1つのアスペクトを標示する場合には生じない。このタイプには、表 219 の諸方言が該当する。

表219 機能重複が生じない諸方言

京都府_丹波方言
京都府_丹後方言
鳥取県_西伯耆方言
高知県_高知方言
長野県_北部方言
福井県_嶺北東部方言

## 第5章 アスペクト形式の待遇解釈

第5章では、前章の30方言のデータより、本仮説の妥当性を検証する。

前章では、事態内容に基づいて、各形式の使用における文法性を分析したが、本章では、聞き手に基づいて、各形式の使用における容認性を分析する。アスペクト形式の機能重複における類型に基づけば、YORU, TORU, TERU の3形式に機能重複がある方言、YORU と TORU の2形式に機能重複がある方言、TORU と TERU の2形式に機能重複がある方言の3タイプが存在する。本仮説が妥当であれば、一方の形式は基本形式 D [-rude, -polite], 他方の形式は非基本形式である。また、非基本形式には、ランキングに基づく R [+rude, -polite] もしくは P [-rude, +polite] の待遇解釈があり得る。なお、アスペクト形式の機能重複と待遇解釈は、進行相と結果相を中心に、各方言の若年層において顕著に観察されるため、本章では、進行相と結果相における各方言の若年層話者による発話例を中心に提示する。

### 5.1. 機能重複と待遇解釈の関係

本仮説は、複数のアスペクト形式の間に機能重複がある場合、アスペクト形式のランキングに基づけば、D と対立する非基本形式に生じる待遇解釈の内容を把握できるというものである。つまり、アスペクト形式の間に機能重複がない場合は、いずれも D であるため、待遇解釈による対立は生じない。(232)と(233)は、進行相における高知県\_高知方言の若年層話者による聞き手目当ての発話例である<sup>45</sup>。

(232) a. (バーベキューでの調理中、目下に話しかけられて。)

ima niku jaki=juu. / \*jai=teuu.

今 肉 焼く=PROG.NPST / 焼く=RES.NPST

「(私は) 今、肉 (を) 焼いている。」

b. (バーベキューでの調理中、目下以外に話しかけられて。)

ima niku jaki=juu. / \*jai=teuu.

今 肉 焼く=PROG.NPST / 焼く=RES.NPST

「(私は) 今、肉 (を) 焼いている。」

(232a)と(232b)は、YORU は進行相を標示するが、TORU は進行相を標示しないため、聞き手が R の対象となり得る環境であっても、2形式の間では、R の待遇解釈による対立は生じな

<sup>45</sup> 提示する発話例に関して、1段目は各聞き手と対応する発話場面、2段目は形態素解析を行わない簡易の音韻表記、3段目はグロス、4段目は標準語訳である。前章までの発話例と異なり、聞き手目当ての発話例であるため、グロスには、RUD: rude (ぞんざい) と POL: polite (配慮) を追加する。

いということを示している<sup>46</sup>。

(233) a. (バーベキューでの調理中, 疎遠者に話しかけられて。)

ima niku jaki=juu. / \*jai=teuu.  
今 肉 焼く=PROG.NPST / 焼く=RES.NPST  
「(私は) 今, 肉 (を) 焼いている。」

b. (バーベキューでの調理中, 疎遠者以外に話しかけられて。)

ima niku jaki=juu. / \*jai=teuu.  
今 肉 焼く=PROG.NPST / 焼く=RES.NPST  
「(私は) 今, 肉 (を) 焼いている。」

(233a)と(233b)は, YORU は進行相を標示するが, TORU は進行相を標示しないため, 聞き手が P の対象となり得る環境であっても, 2 形式の間では, P の待遇解釈による対立は生じないということを示している<sup>47</sup>。

また, (234)と(235)は, 結果相における高知県\_高知方言の若年層話者による聞き手目当ての発話例である。

(234) a. (待ち合わせでの待機中, 親近者から電話がかかってくる。)

moo seki \*suwari=juu. / suwat=teuu.  
もう 席 座る=R-PROSP.NPST / 座る=RES.NPST  
「(私は) もう, 席 (に) 座っている。」

b. (待ち合わせでの待機中, 親近者以外から電話がかかってくる。)

moo seki \*suwari=juu. / suwat=teuu.  
もう 席 座る=R-PROSP.NPST / 座る=RES.NPST  
「(私は) もう, 席 (に) 座っている。」

(234a)と(234b)は, TORU は結果相を標示するが, YORU は結果相を標示しないため, 聞き手が R の対象となり得る環境であっても, 2 形式の間では, R の待遇解釈による対立は生じないということを示している。

---

<sup>46</sup> R の対象となり得る聞き手には, 話し手にとっての親近者や目下が該当する。(e.g. 母親, 親友, 部下, 弟)

<sup>47</sup> P の対象となり得る聞き手には, 話し手にとっての疎遠者が該当する。(e.g. 初対面, 顔見知り)

(235) a. (待ち合わせでの待機中, 疎遠者から電話がかかってきて。)

moo seki \*suwari=juu. / suwat=teuu.

もう 席 座る=R-PROSP.NPST / 座る=RES.NPST

「(私は) もう, 席 (に) 座っている。」

b. (待ち合わせでの待機中, 疎遠者以外から電話がかかってきて。)

moo seki \*suwari=juu. / suwat=teuu.

もう 席 座る=R-PROSP.NPST / 座る=RES.NPST

「(私は) もう, 席 (に) 座っている。」

(235a)と(235b)は, TORU は結果相を標示するが, YORU は結果相を標示しないため, 聞き手が P の対象となり得る環境であっても, 2 形式の間では, P の待遇解釈による対立は生じないということを示している。

高知県\_高知方言に限らず, 非基本形式による待遇解釈は, アスペクト形式の機能重複が生じない表 220 の諸方言からは観察されない。

表220 機能重複が生じない諸方言

京都府_丹波方言
京都府_丹後方言
鳥取県_西伯耆方言
高知県_高知方言
長野県_北部方言
福井県_嶺北東部方言

表 220 の諸方言に基づく機能重複と待遇解釈の関係は, 本仮説の反証可能性を支持している。

## 5.2. YORU・TORU・TERU の待遇解釈

5.2 節では, YORU, TORU, TERU の機能重複とランキングに基づく待遇解釈を分析する。本仮説が妥当であれば, 当該方言が, TORU を D としている場合, TORU よりも待遇価が High の TERU には P の待遇解釈, TORU よりも待遇価が Low の YORU には R の待遇解釈があり得る。また, 当該方言が, YORU を D としている場合, YORU よりも待遇価が High の TORU と TERU には P の待遇解釈があり得るが, TERU を D としている場合, TERU よりも待遇価が Low の YORU と TORU には R の待遇解釈があり得る。

進行相と結果相におけるアスペクト形式の機能重複がある諸方言のうち, 島根県\_石見方言は, TORU を D としているため, TERU には P, YORU には R の待遇解釈があり得る。(236) は, 進行相における島根県\_石見方言の若年層話者による聞き手目当ての発話例である。

(236) a. (バーベキューでの調理中, 疎遠者に話しかけられて。)

ima niku ?jaki=joru. / ?jai=toru. / jai=teru.

今 肉 焼く=PROG.RUD.NPST / 焼く=PROG.NPST / 焼く=PROG.POL.NPST

「(私は) 今, 肉 (を) 焼いている。」

b. (バーベキューでの調理中, 親近者に話しかけられて。)

ima niku jaki=joru. / ?jai=toru. / ?jai=teru.

今 肉 焼く=PROG.RUD.NPST / 焼く=PROG.NPST / 焼く=PROG.POL.NPST

「(私は) 今, 肉 (を) 焼いている。」

c. (バーベキューでの調理中, 疎遠者・親近者以外に話しかけられて。)

ima niku ?jaki=joru. / jai=toru. / ?jai=teru.

今 肉 焼く=PROG.RUD.NPST / 焼く=PROG.NPST / 焼く=PROG.POL.NPST

「(私は) 今, 肉 (を) 焼いている。」

(236a), (236b), (236c)は, YORU, TORU, TERU は, 進行相を標示するが, 聞き手が P もしくは R の対象となり得る環境であれば, 3 形式の間では, P と R の待遇解釈による対立が生じるということを示している。

また, (237)は, 結果相における島根県\_石見方言の若年層話者による聞き手目当ての発話例である。

(237) a. (待ち合わせでの待機中, 疎遠者から電話がかかってくる。)

moo seki \*suwari=joru. / ?suwat=toru. / suwat=teru.

もう 席 座る=R-PROSP.NPST / 座る=RES.NPST / 座る=RES.POL.NPST

「(私は) もう, 席 (に) 座っている。」

b. (待ち合わせでの待機中, 親近者から電話がかかってくる。)

moo seki \*suwari=joru. / suwat=toru. / ?suwat=teru.

もう 席 座る=R-PROSP.NPST / 座る=RES.NPST / 座る=RES.POL.NPST

「(私は) もう, 席 (に) 座っている。」

c. (待ち合わせでの待機中, 疎遠者・親近者以外から電話がかかってくる。)

moo seki \*suwari=joru. / suwat=toru. / ?suwat=teru.

もう 席 座る=R-PROSP.NPST / 座る=RES.NPST / 座る=RES.POL.NPST

「(私は) もう, 席 (に) 座っている。」

(237a), (237b), (237c)は, TORU と TERU は, 結果相を標示するが, 聞き手が P の対象となり得る環境であれば, 2 形式の間では, P の待遇解釈による対立が生じるということを示している。一方, YORU は, 結果相を標示しないため, 聞き手が R の対象となり得る環境であっても, 3 形式の間では, R の待遇解釈による対立は生じないということを示している。

表 221 に示すように, TORU を D としている島根県\_石見方言は, 本仮説の方言 II に該当す

る。

表221 島根県\_石見方言におけるアスペクト形式のランキングと待遇解釈の関係

待遇価	形式	島根県_石見
High	TERU	P
	TORU	D
Low	YORU	R

以上の検証結果は、本仮説の妥当性を支持している。なお、島根県\_石見方言のような YORU, TORU, TERU の機能重複が、通方言的に観察されるのかについては、今後の課題である。

### 5.3. YORU と TORU の待遇解釈

5.3 節では、YORU と TORU の機能重複とランキングに基づく待遇解釈を分析する。本仮説が妥当であれば、当該方言が、YORU を D としている場合、YORU よりも待遇価が High の TORU には P の待遇解釈があり得る。また、当該方言が、TORU を D としている場合、TORU よりも待遇価が Low の YORU には R の待遇解釈があり得る。

#### 5.3.1. 近畿以西方言のデータ

進行相におけるアスペクト形式の機能重複がある諸方言のうち、奈良県\_南部方言、岡山県\_岡山方言、広島県\_広島方言の3方言は、YORU を D としているため、TORU には P の待遇解釈があり得る。本節では、これらの3方言を「近畿以西方言」と呼ぶ。(238)は、進行相における奈良県\_南部方言の若年層話者による聞き手目当ての発話例である。

(238) a. (バーベキューでの調理中、疎遠者に話しかけられて。)

ima niku ?jak=jooru. / ?jai=toru.

今 肉 焼く=PROG.NPST / 焼く=PROG.POL.NPST

「(私は) 今、肉 (を) 焼いている。」

b. (バーベキューでの調理中、疎遠者以外に話しかけられて。)

ima niku jak=jooru. / ?jai=toru.

今 肉 焼く=PROG.NPST / 焼く=PROG.POL.NPST

「(私は) 今、肉 (を) 焼いている。」

(238a)と(238b)は、YORU と TORU は、進行相を標示するが、聞き手が P の対象となり得る環



境であれば、2形式の間では、Pの待遇解釈による対立が生じるということを示している<sup>48</sup>。

一方、YORUとTORUの機能重複がない結果相においては、Pの待遇解釈による対立は生じない。(239)は、結果相における奈良県\_南部方言の若年層話者による聞き手目当ての発話例である。

(239) a. (待ち合わせでの待機中、疎遠者から電話がかかってくる。)

moo seki \*suwar=jooru. / suwat=toru.  
 もう 席 座る=R-PROSP.NPST / 座る=RES.NPST  
 「(私は) もう、席 (に) 座っている。」

b. (待ち合わせでの待機中、疎遠者以外から電話がかかってくる。)

moo seki \*suwar=jooru. / suwat=toru.  
 もう 席 座る=R-PROSP.NPST / 座る=RES.NPST  
 「(私は) もう、席 (に) 座っている。」

(239a)と(239b)は、TORUは結果相を標示するが、YORUは結果相を標示しないため、聞き手がPの対象となり得る環境であっても、2形式の間では、Pの待遇解釈による対立は生じないということを示している。

奈良県\_南部方言に限らず、TORUによるPの待遇解釈は、YORUをDとしている近畿以西方言から、通方言的に観察される。表222に示すように、YORUをDとしている近畿以西方言は、本仮説の方言Ⅲに該当する。

表222 近畿以西方言におけるアスペクト形式のランキングと待遇解釈の関係

待遇価	形式	近畿以西
High	TERU	P
	TORU	
Low	YORU	D

以上の検証結果は、本仮説の妥当性を支持している。なお、近畿以西方言では、非基本形式のTERUは観察されなかったため、表222の枠組みからは除外する。

### 5.3.2. 鳥取県\_東部方言のデータ

進行相におけるアスペクト形式の機能重複がある諸方言のうち、鳥取県\_東部方言は、TORUをDとしているため、YORUにはRの待遇解釈があり得る。(240)は、進行相における鳥取県

<sup>48</sup> 岡山県\_岡山方言の場合、YORUとTORUの機能重複がある既然的将然相においても、同様の対立が生じる。

\_東部方言の若年層話者による聞き手目当ての発話例である。

(240) a. (バーベキューでの調理中, 親近者に話しかけられて。)

ima niku jak=jooru. / ?jai=toru.

今 肉 焼く=PROG.RUD.NPST / 焼く=PROG.NPST

「(私は) 今, 肉 (を) 焼いている。」

b. (バーベキューでの調理中, 親近者以外に話しかけられて。)

ima niku ?jak=jooru. / jai=toru.

今 肉 焼く=PROG.RUD.NPST / 焼く=PROG.NPST

「(私は) 今, 肉 (を) 焼いている。」

(240a)と(240b)は, YORU と TORU は, 進行相を標示するが, 聞き手が R の対象となり得る環境であれば, 2 形式の間では, R の待遇解釈による対立が生じるということを示している。

一方, YORU と TORU の機能重複がない結果相においては, R の待遇解釈による対立は生じない。(241)は, 結果相における鳥取県\_東部方言の若年層話者による聞き手目当ての発話例である。

(241) a. (待ち合わせでの待機中, 親近者から電話がかかってくる。)

moo seki \*suwar=jooru. / suwat=toru.

もう 席 座る=R-PROSP.NPST / 座る=RES.NPST

「(私は) もう, 席 (に) 座っている。」

b. (待ち合わせでの待機中, 親近者以外から電話がかかってくる。)

moo seki \*suwar=jooru. / suwat=toru.

もう 席 座る=R-PROSP.NPST / 座る=RES.NPST

「(私は) もう, 席 (に) 座っている。」

(241a)と(241b)は, TORU は結果相を標示するが, YORU は結果相を標示しないため, 聞き手が R の対象となり得る環境であっても, 2 形式の間では, R の待遇解釈による対立は生じないということを示している。

表 223 に示すように, TORU を D としている鳥取県\_東部方言は, 本仮説の方言 II に該当する。

表223 鳥取県\_東部方言におけるアスペクト形式のランキングと待遇解釈の関係

待遇価	形式	鳥取県_東部
High	TERU	D
	TORU	
Low	YORU	R

以上の検証結果は、本仮説の妥当性を支持している。なお、鳥取県\_東部方言では、非基本形式の TERU は観察されなかったため、表 223 の枠組みからは除外する。

## 5.4. TORU と TERU の待遇解釈

5.4 節では、TORU と TERU の機能重複とランキングに基づく待遇解釈を分析する。本仮説が妥当であれば、当該方言が、TORU を D としている場合、TORU よりも待遇価が High の TERU には P の待遇解釈があり得る。また、当該方言が、TERU を D としている場合、TERU よりも待遇価が Low の TORU には R の待遇解釈があり得る。

### 5.4.1. 近畿以東方言のデータ

進行相と結果相におけるアスペクト形式の機能重複がある諸方言のうち、三重県\_北部方言、三重県\_南部方言、島根県\_出雲隠岐方言、愛知県\_愛知方言、岐阜県\_美濃方言、長野県\_南部方言、福井県\_嶺南方言の7方言は、TORU を D としているため、TERU には P の待遇解釈があり得る<sup>49</sup>。本節では、これらの7方言を「近畿以東方言」と呼ぶ。(242)は、進行相における三重県\_北部方言の若年層話者による聞き手目当ての発話例である。

(242) a. (バーベキューでの調理中、疎遠者に話しかけられて。)

ima niku ?jai=toru. / jai=teru.

今 肉 焼く=PROG.NPST / 焼く=PROG.POL.NPST

「(私は) 今、肉 (を) 焼いている。」

b. (バーベキューでの調理中、疎遠者以外に話しかけられて。)

ima niku jai=toru. / ?jai=teru.

今 肉 焼く=PROG.NPST / 焼く=PROG.POL.NPST

「(私は) 今、肉 (を) 焼いている。」

(242a)と(242b)は、TORU と TERU は、進行相を標示するが、聞き手が P の対象となり得る環

<sup>49</sup> 三重県\_北部方言の場合、京都方言、滋賀方言、奈良方言に隣接している伊賀方言に限り、TERU を D としているため、TORU には R の待遇解釈があり得る。

境であれば、2形式の間では、Pの待遇解釈による対立が生じるということを示している。

また、(243)は、結果相における三重県\_北部方言の若年層話者による聞き手目当ての発話例である。

(243) a. (待ち合わせでの待機中、疎遠者から電話がかかってくる。)

moo seki suwat=toru. / suwat=teru.  
 もう 席 座る=RES.NPST / 座る=RES.POL.NPST  
 「(私は) もう、席 (に) 座っている。」

b. (待ち合わせでの待機中、疎遠者以外から電話がかかってくる。)

moo seki suwat=toru. / suwat=teru.  
 もう 席 座る=RES.NPST / 座る=RES.POL.NPST  
 「(私は) もう、席 (に) 座っている。」

(243a)と(243b)は、TORUとTERUは、結果相を標示するが、聞き手がPの対象となり得る環境であれば、2形式の間では、Pの待遇解釈による対立が生じるということを示している。

三重県\_北部方言に限らず、TERUによるPの待遇解釈は、TORUをDとしている近畿以東方言から、通方言的に観察される。表224に示すように、TORUをDとしている近畿以東方言は、本仮説の方言Ⅱに該当する。

表224 近畿以東方言におけるアスペクト形式のランキングと待遇解釈の関係

待遇価	形式	近畿以東
High	TERU	P
	TORU	D
Low	YORU	

以上の検証結果は、本仮説の妥当性を支持している。なお、近畿以東方言では、非基本形式のYORUは観察されなかったため、表224の枠組みからは除外する。

## 5.4.2. 近畿中央方言のデータ

進行相と結果相におけるアスペクト形式の機能重複がある諸方言のうち、大阪府\_大阪方言、京都府\_山城方言、滋賀県\_滋賀方言、奈良県\_北部方言、福井県\_嶺北西部方言の5方言は、TERUをDとしているため、TORUにはRの待遇解釈があり得る。本節では、これらの5方言を「近畿中央方言」と呼ぶ。(244)は、進行相における大阪府\_大阪方言の若年層話者による聞き手目当ての発話例である。

(244) a. (バーベキューでの調理中，目下に話しかけられて。)

ima niku jai=toru. / ?jai=teru.  
 今 肉 焼く=PROG.RUD.NPST / 焼く=PROG.NPST  
 「(私は) 今，肉 (を) 焼いている。」

b. (バーベキューでの調理中，目下以外に話しかけられて。)

ima niku ?jai=toru. / jai=teru.  
 今 肉 焼く=PROG.RUD.NPST / 焼く=PROG.NPST  
 「(私は) 今，肉 (を) 焼いている。」

(244a)と(244b)は，TORU と TERU は，進行相を標示するが，聞き手が R の対象となり得る環境であれば，2形式の間では，R の待遇解釈による対立が生じるということを示している。

また，(245)は，結果相における大阪府\_大阪方言の若年層話者による聞き手目当ての発話例である。

(245) a. (待ち合わせでの待機中，目下から電話がかかってきて。)

moo seki suwat=toru. / ?suwat=teru.  
 もう 席 座る=RES.RUD.NPST / 座る=RES.NPST  
 「(私は) もう，席 (に) 座っている。」

b. (待ち合わせでの待機中，目下以外から電話がかかってきて。)

moo seki ?suwat=toru. / suwat=teru.  
 もう 席 座る=RES.RUD.NPST / 座る=RES.NPST  
 「(私は) もう，席 (に) 座っている。」

(245a)と(245b)は，TORU と TERU は，結果相を標示するが，聞き手が R の対象となり得る環境であれば，2形式の間では，R の待遇解釈による対立が生じるということを示している。

大阪府\_大阪方言に限らず，TORU による R の待遇解釈は，TERU を D としている近畿中央方言から，通方言的に観察される。表 225 に示すように，TERU を D としている近畿中央方言は，本仮説の方言 I に該当する。

表225 近畿中央方言におけるアスペクト形式のランキングと待遇解釈の関係

待遇価	形式	近畿中央
High	TERU	D
	TORU	R
Low	YORU	

以上の検証結果は，本仮説の妥当性を支持している。なお，近畿中央方言では，非基本形式

の YORU は観察されなかったため、表 225 の枠組みからは除外するが、YORU が、卑罵性を標示するための待遇形式として存在しているということは、第 2 章と第 4 章の通りである。また、YORU は、将然相に限り、卑罵性を標示するという事実も、本仮説の妥当性を支持している。つまり、YORU は、元来アスペクト形式であったため、アスペクトの制限を受けているということである。

## 第 6 章 結論と考察

第 6 章では、前章の検証結果に基づいて結論を提示し、西日本諸方言におけるアスペクト形式の文法化について考察を行う。

### 6.1. 結論－アスペクト形式のランキングと待遇解釈の関係－

本仮説は、複数のアスペクト形式の間に機能重複がある場合、アスペクト形式のランキングに基づけば、D と対立する非基本形式に生じる待遇解釈の内容を把握できるというものである。前章の検証結果に基づけば、西日本諸方言における YORU, TORU, TERU のランキングと待遇解釈の関係は、表 226 のような階層を成す。

表226 西日本諸方言におけるアスペクト形式のランキングと待遇解釈の関係

待遇価	形式	方言 I	方言 II			方言 III
		近畿中央	鳥取県_東部	島根県_石見	近畿以東	近畿以西
High	TERU	D		P	P	
	TORU	R	D	D	D	P
Low	YORU		R	R		D

表 226 より、第一に、方言 I には、TERU を D としている近畿中央方言が該当する。近畿中央方言において、TERU よりも待遇価が Low の TORU には R の待遇解釈があり得る。第二に、方言 II には、TORU を D としている鳥取県\_東部方言、島根県\_石見方言、近畿以東方言が該当する。これらの方言において、TORU よりも待遇価が High の TERU には P の待遇解釈があり得る。また、TORU よりも待遇価が Low の YORU には R の待遇解釈があり得る。第三に、方言 III には、YORU を D としている近畿以西方言が該当する。近畿以西方言において、YORU よりも待遇価が High の TORU には P の待遇解釈があり得る。

基本形式と非基本形式の待遇解釈による対立は、アスペクト形式の機能重複を前提として、話し手と聞き手の間で生じる語用論的な対立である。本研究では、アスペクト形式の待遇化プロセスには、前述のようなアスペクト形式のランキングに基づく待遇解釈が存在しているということを提案する。ここで改めて、近畿中央方言における YORU の文法化は、なぜ、アスペクトと関係のある事実確認や証拠性ではなく、アスペクトと関係のない卑罵性に向かって待遇化したのだろうかという問題に解答することができる。つまり、YORU は、アスペクト形式の段階で、最も待遇価の低い Low にランキングされているため、卑罵性への待遇化が生じるということである。本仮説は、従来の研究において説明不十分であったアスペクト形式の文法化と待遇の関係を理論的に説明するものである。本研究は、従来の YORU の待遇化プロセスに対して再考を求めるという意味で、新たな視点を以て貢献する。

一方、アスペクト形式の機能重複を動機とする文法化は、待遇化に限らないということは、第1章の中国語と西日本諸方言の現象が示す通りである。本研究においても、兵庫県\_摂津播磨方言、兵庫県\_淡路方言、兵庫県\_但馬方言、兵庫県\_丹波方言、山口県\_山口方言、徳島県\_徳島方言、岐阜県\_飛騨方言では、YORU と TORU の機能重複はあるが、待遇解釈による対立は観察されていない<sup>50</sup>。ただし、YORU の異なる音形である=joo と=joru の間や TORU の異なる音形である=too と=toru の間では、待遇解釈による対立が観察されている。当該現象は、異なる音形の間にも、待遇価に基づく形式のランキングが存在することを示唆している。

## 6.2. 考察—文法化におけるムードと待遇—

アスペクト形式の文法化において、アスペクト形式の機能重複という動機には、普遍性があると考えられる。一方、アスペクト形式の文法化において、ムード化と待遇化という多様性には、2つの階層構造が関わっていると考えられる。つまり、アスペクトと関係のある事実確認や証拠性へのムード化は、TAMの階層構造に基づいて生じるが、アスペクトと関係のない卑罵性への待遇化は、TAPの階層構造に基づいて生じるということである。

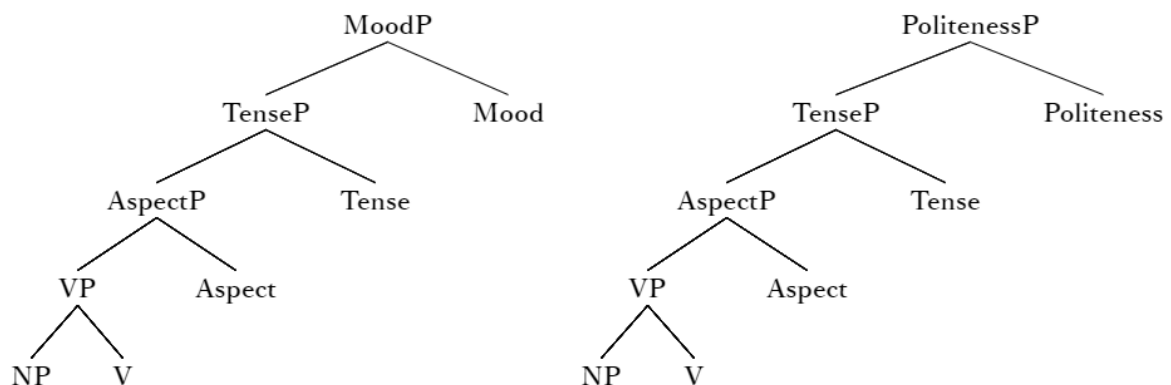


図25 TAMの階層構造とTAPの階層構造

図25より、アスペクト形式の文法化は一方向的であるが、階層構造の相違によってムード化と待遇化のような多様性が生じると考えられる。また、階層構造の相違は、ムードのような事態内容を重視するのか、待遇のような対人関係を重視するのかという言語背景の相違によって生じたと考える。日本語の場合、尊敬や卑罵などの待遇形式が豊富に存在することからも、対人関係を重視する言語であるということが窺える。待遇価に基づく形式のランキングは、このような対人関係を重視する言語的背景から、必然的に生じたものであると考える。なお、待遇価に基づく形式のランキングがない限りは、TAMの階層構造に基づくムード化が

<sup>50</sup> 兵庫県\_諸方言、山口県\_山口方言、徳島県\_徳島方言では、起動性や状態性によってアスペクト的に対立する傾向がある。岐阜県\_飛騨方言では、TORU への一本化によって YORU が衰退している傾向がある。



生じると推測できるが、言語変化の普遍性から見れば、日本語におけるアスペクト形式の文法化がムード化と待遇化に分岐するという現象は、依然として不可解である。これについては、日本語諸方言の全体像を把握し、本研究をさらに研究を発展させていく必要がある。

また、当該方言の YORU, TORU, TERU に関して、基本形式の通時的変化プロセスは、歴史的資料の乏しさから不明瞭である場合が多い。高年層 >> 中年層 >> 若年層という変化プロセスから伝統方言形式を確定する方法もあるが、方言の時間的バリエーションによる比較対照には限界がある。しかし、真田 (2007)によれば、標準語は High, 伝統方言は Low であるため、伝統方言形式を確定することもまた、本研究の発展において重要であると考えられる。

最後に、表 227 と表 228 に再掲するように、アスペクト形式の機能重複の類型に基づく諸方言と待遇解釈の対立の類型に基づく諸方言の間には、地理的な共通点がある。

表227 事態  $\alpha$  における機能重複の類型

A			B			C		
PROSP	PROG	RES	PROSP	PROG	RES	PROSP	PROG	RES
0	1	0	1	1	0	0	1	1
奈良県_南部方言			岡山県_岡山方言			大阪府_大阪方言		
兵庫県_摂津播磨方言						京都府_山城方言		
兵庫県_淡路方言						滋賀県_滋賀方言		
兵庫県_但馬方言						奈良県_北部方言		
兵庫県_丹波方言						三重県_北部方言		
鳥取県_東部方言						三重県_南部方言		
広島県_広島方言						島根県_出雲隠岐方言		
山口県_山口方言						島根県_石見方言		
徳島県_徳島方言						愛知県_愛知方言		
岐阜県_飛騨方言						岐阜県_美濃方言		
						長野県_南部方言		
						福井県_嶺南方言		
						福井県_嶺北西部方言		

表228 西日本諸方言におけるアスペクト形式のランキングと待遇解釈の関係

待遇価	形式	方言 I	方言 II			方言 III
		近畿中央	鳥取県_東部	島根県_石見	近畿以東	近畿以西
High	TERU	D		P	P	
	TORU	R	D	D	D	P
Low	YORU		R	R		D

表 227 より、A は、複数のアスペクト形式に、進行相を標示する機能がある場合に機能重複が生じるタイプを示しているが、これらの方言の多くは、近畿以西に位置している。これらの方言のうち、YORU と TORU の待遇解釈による対立がある方言は、表 228 では方言Ⅲ、つまり、近畿以西に位置している。B は、複数のアスペクト形式に、将然相と進行相を標示する機能がある場合に機能重複が生じるタイプを示しているが、岡山県\_岡山方言もまた、近畿以西に位置している。YORU と TORU の待遇解釈による対立がある岡山県\_岡山方言もまた、表 228 では方言Ⅲ、つまり、近畿以西に位置している。C は、複数のアスペクト形式に、進行相と結果相を標示する機能がある場合に機能重複が生じるタイプを示しているが、これらの方言の多くは、近畿中央と近畿以東に位置している。これらの方言のうち、TORU と TERU の待遇解釈による対立がある方言は、表 228 では方言Ⅰと方言Ⅱ、つまり、近畿中央と近畿以東に位置している。本研究は、YORU, TORU, TERU の機能重複とランキングという 2 つの動機に基づいて、アスペクト形式の待遇化プロセスを提案するものであるため、当該現象と方言分布の関係や年齢層による相違については詳細に言及していないが、これについては今後の課題であり、言語地理学の方法論を導入することで、本研究はさらに発展していくと考える。

## 略号

- 1: first person (1 人称)
- 2: second person (2 人称)
- 3: third person (3 人称)
- GEN: genitive (属格)
- I-PROSP: irrealis prospective (未然的将然相)
- NOM: nominative (主格)
- NPST: non-past (非過去)
- PJR: pejorative (卑罵)
- POL: polite (配慮)
- PRF: perfect (完了相)
- PROG: progressive (進行相)
- PROSP: prospective (将然相)
- PST: past (過去)
- R-PROSP: realis prospective (既然的将然相)
- RES: resultative (結果相)
- RUD: rude (ぞんざい)
- SFP: sentence final particle (文末助詞)
- SG: singular (単数)

## 参考文献

- Abbi, Anvita and Devi Gopalakrishnan (1991) “Semantics of explicator compound verbs in South Asian Languages,” *Language Sciences*. 13 (2), pp.161-180.
- 青木博史 (2010) 『語形成から見た日本語文法史』 ひつじ書房.
- Brown, Penelope and Stephen C. Levinson (1987) *Politeness*. Cambridge University Press.
- Bybee, Joan L. and Perkins, Revere and Pagliuca, William (1994) *The evolution of grammar: Tense, aspect and modality in the languages of the world*. University of Chicago Press.
- Comrie, Bernard (1976) *Aspect*. Cambridge University Press.
- 船木礼子 (2014) 「山口県東周防方言」『全国方言文法辞典資料集(2)－活用体系－』 pp.112-124.
- Halliday, M.A.K (1970) “Functional diversity in languages as seen from a consideration of modality and mood in English,” *Foundations of Language*. 6, pp.322-361.
- Harada, Shin-Ichi (1976) “Honorifics,” M. Shibatani (ed.), *Syntax and Semantics 5: Japanese Generative Grammar*. pp.499-561.
- Hopper, Paul J and Elizabeth Closs Traugott (1993) *Grammaticalization*. Cambridge University Press.
- 平子達也・友定賢治 (2018) 「島根県出雲市平田方言」『全国方言文法辞典資料集(4)－活用体系(3)－』 pp.77-86.
- 平塚雄亮 (2008) 「福岡市方言のアスペクトマーカではないヨルの用法について」『阪大社会言語学研究ノート』 8, pp.101-115.
- 平山輝男 (1997) 『徳島県のことば』 明治書院.
- 平山輝男 (2000) 『三重県のことば』 明治書院.
- 井上文子 (1998) 『日本語方言アスペクトの動態－存在型表現形式に焦点をあてて－』 秋山書店.
- 影山太郎 (2021) 『点と線の言語学－言語類型から見えた日本語の本質－』 くろしお出版.
- 鴨井修平 (2020) 「西日本諸方言におけるアスペクト体系のバリエーション－YORU・TORU・TERUの記述を中心に－」『言語記述論集』 12, pp.223-240.
- 鴨井修平 (2021) 「方言データから見た岡山方言のアスペクト形式－YORUとTORUの通時的変化について－」『文化情報学』 16 (1-2), pp.1-13.
- 鴨井修平 (2022) 「岐阜方言における持続体系の変遷」『文化情報学』 17 (1-2), pp.13-27.
- 木部暢子 (2019) 「奄美・沖縄の言語研究から－奄美方言のエビデンシャルティー」『東京外国語大学 国際日本学研究 報告』 5, pp.33-46.
- 金田一春彦 (1950) 「國語動詞の一分類」『言語研究』 15, pp.48-63.
- 金水敏 (1995) 「いわゆる「進行態」について」『築島裕博士古稀記念 国語学論集』 pp.169-197.
- 金水敏 (2006) 『日本語存在表現の歴史』 ひつじ書房.
- 小島裕将 (2017) 「岡山県岡山市方言」『全国方言文法辞典資料集(3)－活用体系(2)－』 pp. 105-114.
- 国立国語研究所 編 (1999) 『方言文法全国地図 第4集－表現法編1－』 財務省印刷局.

- 小西いずみ (2017)「広島県三次市方言」『全国方言文法辞典資料集(3)－活用体系(2)－』pp.115-126.
- 工藤真由美 (1995)『アスペクト・テンス体系とテキスト－現代日本語の時間の表現－』ひつじ書房.
- 工藤真由美 (1998)「西日本諸方言と一般アスペクト論」『言語』27, pp.34-40.
- 工藤真由美 (1999)「西日本諸方言におけるアスペクト対立の動態」『阪大日本語研究』11, pp.1-17.
- 工藤真由美 (2006)「話し手の感情・評価と過去の出来事の表現」『日本語の教育から研究へ』pp.177-186.
- 工藤真由美 (2014)『現代日本語ムード・テンス・アスペクト論』ひつじ書房.
- 工藤真由美 編 (2004)『日本語のアスペクト・テンス・ムード体系－標準語研究を超えて－』ひつじ書房.
- 黒木邦彦 (2018)「市来・串木野方言の静態化体系」『バリエーションの中の日本語史』pp.45-67.
- Lyons, John (1977) *Semantics: Volume 2*. Cambridge University Press.
- Martinet, André (1962) *A functional view of language*. Clarendon Press.
- 益岡隆志 (1991)『モダリティの文法』くろしお出版.
- 松倉昂平 (2018)「福井県大野市方言」『全国方言文法辞典資料集(4)－活用体系(3)－』pp.51-61.
- 松丸真大 (2014)「京都府京都市方言」『全国方言文法辞典資料集(2)－活用体系－』pp.90-101.
- 松丸真大 (2017)「高知県宿毛市方言」『全国方言文法辞典資料集(3)－活用体系(2)－』pp. 127-142.
- 中井精一 (2002)「上方およびその近隣地域におけるオル系「ヨル」・「トル」の待遇化について」『国語語彙史の研究』21, pp.236-252.
- 中井精一 (2012)『都市言語の形成と地域特性』和泉書院.
- 二階堂整 (2006)「談話資料からみた福岡方言のアスペクトの実態」『語文研究』100・101, pp.56-67.
- 西宮一民 (1982)「奈良県の方言」『講座方言学7－近畿地方の方言－』pp.113-140.
- 西尾純二 (2015)『マイナスの待遇表現行動－対象を低く悪く扱う表現への規制と配慮－』くろしお出版.
- 丹羽一彌 (1977)「トル・ヨル考」『東海学園国語国文』11, pp.87-93.
- 丹羽一彌 (2005)『日本語動詞述語の構造』笠間書院.
- 野間純平 (2014)「大阪府方言」『全国方言文法辞典資料集(2)－活用体系－』pp.102-111.
- 野間純平 (2018)「鳥取県倉吉市方言」『全国方言文法辞典資料集(4)－活用体系(3)－』pp. 63-75.
- 大橋敦夫 (2019)「信濃のことば・まとめ」『総合文化研究所所報学海』5, pp.47-61.
- Perkins, Michael R. (1983) *Modal Expressions in English*. Frances Pinter.
- 酒井雅史 (2014)「滋賀県長浜市方言」『全国方言文法辞典資料集(2)－活用体系－』pp.82-89.

- 酒井雅史 (2017)「兵庫県神戸市方言」『全国方言文法辞典資料集(3)－活用体系(2)－』 pp. 97-104.
- 真田信治 (2007)「発話スタイルと方言」『シリーズ方言学 3－方言の機能－』 pp.1-25.
- 澤田治美 (2006)『モダリティ』 開拓社.
- 沈力 (2008)「語気助詞 ZHE2 的来源－晋方言与北京方言的比較－」『晋方言研究－第三届晋方言国際学術研究会論文集－』 pp.223-232.
- 寺村秀夫 (1984)『日本語のシンタクスと意味Ⅱ』 くろしお出版.
- 津田智史 (2013)「日本語方言アスペクトの研究」東北大学博士論文.
- Vendler, Zeno (1967) *Linguistics in Philosophy*. Cornell University Press.
- 山田敏弘 (2014)「岐阜県岐阜市方言」『全国方言文法辞典資料集(2)－活用体系－』 pp.75-81.
- 山田敏弘 (2017)「愛知県新城市作手方言」『全国方言文法辞典資料集(3)－活用体系(2)－』pp.89-96.

## 謝辞

2015年度から2022年度までの8年間、筆者は研究者の卵でした。研究者の人生を歩もうと心に決めたとき、「この先は茨の道だよ」と念を押されたこと、今でも鮮明に覚えています。硬い殻に覆われた卵は、何とか割れず、ここまでの茨の道を転がってくることができました。そして、その道中、皆様の温かい手に温められてきました。

まず、本研究を遂行するにあたり、1200名を超える調査協力者の皆様には、多大なるご協力を賜りました。皆様とは、数え切れないほどの素敵な思い出があります。ご多忙にも関わらず、「お役に立てるなら」と好意的に接してくださった皆様に、心より感謝申し上げます。

次に、本論文を審査するにあたり、大西拓一郎教授、金明哲教授、沈力教授、鄭躍軍教授、山内信幸教授には、多大なるご指導ご鞭撻を賜りました。また、本学の課程を修めるにあたり、影山太郎名誉教授、益岡隆志教授、星英仁准教授、伊藤紀子准教授、田中雄助教にも、多大なるご指導ご鞭撻を賜りました。本論文は、先生方の貴重なご指摘を受け、完成に至りました。公私問わず、学者として愛情を注いでくださった先生方に、心より感謝申し上げます。

そして、七転八起の道中、ご意見をくださった研究者、苦楽を共にした学生、語り合った友人、健全な心身を育ててくれた家族の皆様には、心強い応援を賜りました。何度でも立ち上がる勇気を頂きました。それぞれ環境は変わっていくにも関わらず、それぞれの立場から、それぞれの方法で、変わらず応援してくださる皆様に、心より感謝申し上げます。

最後に、研究者の人生を歩むにあたり、指導教員である沈力教授には、唯一無二の茨の道を楽しむ方法を賜りました。沈先生からは、学術的な知識や技術は無論、人生や世界の豊かな捉え方まで学んだような気がします。本研究への厳しい助言から、コーヒーを飲みながらの雑談まで、筆者にとっては、全てが指導と成長の時間でした。そして、一生忘れられない時間になりました。最後まで不勉強な弟子でしたが、時には一人の学者として、時には一人の人間として、茨の道を案内してくださった沈先生に、心より感謝申し上げます。

2020年以降、世界は、人の繋がり脆さを感じざるを得ない状況に陥りましたが、筆者は、人の繋がり強さに支えられてきました。人生は旅のようです。「ありがとう」という言葉にもっと容量があれば、この気持ちを伝えられるのに...と何度も思いました。言語の研究者として、それは難しいことのように思えます。この先も茨の道は続きますが、どうか見守って頂ければ幸いです。改めて、ここまで卵を温めてくださった親愛なる皆様に、心より感謝申し上げます。

本研究は、下記の助成を受けています。

- 日本学術振興会 科学研究費助成事業（基盤研究 (B), JP19H01261, 研究代表者：沈力）
- 同志社大学 言語生態科学研究センター
- 同志社大学大学院 博士後期課程若手研究者育成奨学金
- 同志社大学大学院 文化情報学研究科研究推進補助金

2023年02月14日

鴨井 修平

## 付録

### 4.1.1. 大阪方言のアスペクト体系

付録1 事態  $\alpha$  の未然的将来相におけるデーター大阪方言・高年層ー

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、ユニフォームに着替え、走者レーンに向かっているAがいた。(Aはもうすぐ走る)	19			5	24
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、冷蔵庫から肉を取り出し、フライパンを温めているAがいた。(Aはもうすぐ肉を焼く)	15			9	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、空が曇り始めていて薄暗かった。(もうすぐ雨が降る)	16			8	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、机の上に資料を広げているAがいた。(Aはもうすぐ作戦を考える)	13			11	

付録2 事態  $\alpha$  の既然的将来相におけるデーター大阪方言・高年層ー

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、スタートラインに立ち、手首足首を回しているAがいた。(Aは走る直前)	19			5	24
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、フライパンに油をひき、トレーから肉を取り出しているAがいた。(Aは肉を焼く直前)	15			9	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、空がどんより曇っていて、ジメジメしていた。(雨が降る直前)	16		1	8	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、机の上の資料に目を通し始めているAがいた。(Aは作戦を考える直前)	13		3	11	

付録3 事態  $\alpha$  の進行相におけるデーター大阪方言・高年層ー

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Progressive	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、走っている最中のAがいた。(Aは走っている最中)	2	22	24		24
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、肉を焼いている最中のAがいた。(Aは肉を焼いている最中)	1	21	24		
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、雨が降っている最中だった。(雨が降っている最中)	1	22	24		
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、作戦を考えている最中のAがいた。(Aは作戦を考えている最中)	1	21	24		

付録4 事態  $\alpha$  の結果相におけるデーター大阪方言・高年層ー

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、100m走を終えて休憩しているAがいた。(Aは既に走った後)		15	15	8	24
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、焼き終えた肉を皿へ移しているAがいた。(Aは既に肉を焼いた後)		13	16	8	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、地面が濡れ、水たまりができていた。(雨は既に降った後)		13	14	10	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、作戦会議を終えて資料を片付けているAがいた。(Aは既に作戦を考えた後)	1	14	15	8	



付録5 事態βの未然的将来相におけるデーター大阪方言・高年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 席に向かっているAがいた。(Aはもうすぐ座る)	15			14	24
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, 軽く痙攣しているネズミがいた。(ネズミはもうすぐ死ぬ)	15			14	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの燃料が少なくなっていた。(もうすぐ火が消える)	13			11	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, 火を消すためストーブに近付いているAがいた。(Aはもうすぐ火を消す)	16			8	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていた。(もうすぐ晴れる)	14			10	

付録6 事態βの既然的将来相におけるデーター大阪方言・高年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 荷物を置いて, 椅子を引き出しているAがいた。(Aは座る直前)	15			14	24
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ひどく痙攣しているネズミがいた。(ネズミは死ぬ直前)	15			14	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの火がとても弱くなっていて, 消えていっている様子だった。(火が消える直前)	13			11	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープのスイッチに手を伸ばしているAがいた。(Aは火を消す直前)	16	1	1	8	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていて雨雲の隙間から太陽が見え始めていた。(晴れる直前)	14			10	

付録7 事態βの結果相におけるデーター大阪方言・高年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 既に席に着いているAがいた。(Aは既に座った後)	2	21	23	1	24
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ネズミが1匹死んでいた。(ネズミは既に死んだ後)	2	21	24		
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, 点いているはずのストーブの火が消えていた。(火は消えた後)	1	19	24		
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープの火を消し終えて換気をしているAがいた。(Aは既に火を消した後)	2	19	21	3	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雲ひとつない青空になっていた。(既に晴れた後)		21	24		

付録8 事態  $\alpha$  の未然的将来相におけるデーター大阪方言・中年層ー

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、ユニフォームに着替え、走者レーンに向かっているAがいた。(Aはもうすぐ走る)	12			7	19
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、冷蔵庫から肉を取り出し、フライパンを温めているAがいた。(Aはもうすぐ肉を焼く)	10			9	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、空が曇り始めていて薄暗かった。(もうすぐ雨が降る)	10			9	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、机の上に資料を広げているAがいた。(Aはもうすぐ作戦を考える)	10			9	

付録9 事態  $\alpha$  の既然的将来相におけるデーター大阪方言・中年層ー

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、スタートラインに立ち、手首足首を回しているAがいた。(Aは走る直前)	12			7	19
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、フライパンに油をひき、トレーから肉を取り出しているAがいた。(Aは肉を焼く直前)	10	1	2	9	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、空がどんより曇っていて、ジメジメしていた。(雨が降る直前)	10			9	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、机の上の資料に目を通し始めているAがいた。(Aは作戦を考える直前)	10	1	5	9	

付録10 事態  $\alpha$  の進行相におけるデーター大阪方言・中年層ー

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Progressive	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、走っている最中のAがいた。(Aは走っている最中)	3	16	19		19
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、肉を焼いている最中のAがいた。(Aは肉を焼いている最中)	1	15	19		
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、雨が降っている最中だった。(雨が降っている最中)		16	19		
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、作戦を考えている最中のAがいた。(Aは作戦を考えている最中)	3	16	19		

付録11 事態  $\alpha$  の結果相におけるデーター大阪方言・中年層ー

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、100m走を終えて休憩しているAがいた。(Aは既に走った後)		15	16	3	19
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、焼き終えた肉を皿へ移しているAがいた。(Aは既に肉を焼いた後)		14	15	4	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、地面が濡れ、水たまりができていた。(雨は既に降った後)		11	13	6	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、作戦会議を終えて資料を片付けているAがいた。(Aは既に作戦を考えした後)		12	13	6	

付録12 事態βの未然的将然相におけるデーター大阪方言・中年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 席に向かっているAがいた。(Aはもうすぐ座る)	12			7	19
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, 軽く痙攣しているネズミがいた。(ネズミはもうすぐ死ぬ)	12			7	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの燃料が少なくなっていた。(もうすぐ火が消える)	11			8	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, 火を消すためストーブに近付いているAがいた。(Aはもうすぐ火を消す)	11			8	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていた。(もうすぐ晴れる)	12			7	

付録13 事態βの既然的将然相におけるデーター大阪方言・中年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 荷物を置いて, 椅子を引き出しているAがいた。(Aは座る直前)	12		1	7	19
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ひどく痙攣しているネズミがいた。(ネズミは死ぬ直前)	12			7	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの火がとても弱くなっていて, 消えていっている様子だった。(火が消える直前)	11		1	8	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープのスイッチに手を伸ばしているAがいた。(Aは火を消す直前)	11		2	8	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていて雨雲の隙間から太陽が見え始めていた。(晴れる直前)	12	1	2	7	

付録14 事態βの結果相におけるデーター大阪方言・中年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 既に席に着いているAがいた。(Aは既に座った後)	2	16	18	1	19
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ネズミが1匹死んでいた。(ネズミは既に死んだ後)		16	18	1	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, 点いているはずのストーブの火が消えていた。(火は消えた後)	1	15	18	1	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープの火を消し終えて換気をしているAがいた。(Aは既に火を消した後)	2	14	17	2	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雲ひとつない青空になっていた。(既に晴れた後)	1	15	19		

付録15 事態  $\alpha$  の未然的将来相におけるデーター大阪方言・若年層ー

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、ユニフォームに着替え、走者レーンに向かっているAがいた。(Aはもうすぐ走る)	25			14	39
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、冷蔵庫から肉を取り出し、フライパンを温めているAがいた。(Aはもうすぐ肉を焼く)	21			18	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、空が曇り始めていて薄暗かった。(もうすぐ雨が降る)	22			17	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、机の上に資料を広げているAがいた。(Aはもうすぐ作戦を考える)	22			17	

付録16 事態  $\alpha$  の既然的将来相におけるデーター大阪方言・若年層ー

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、スタートラインに立ち、手首足首を回しているAがいた。(Aは走る直前)	25	3	4	14	39
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、フライパンに油をひき、トレーから肉を取り出しているAがいた。(Aは肉を焼く直前)	21	11	14	18	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、空がどんより曇っていて、ジメジメしていた。(雨が降る直前)	22			17	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、机の上の資料に目を通し始めているAがいた。(Aは作戦を考える直前)	22	7	11	17	

付録17 事態  $\alpha$  の進行相におけるデーター大阪方言・若年層ー

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Progressive	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、走っている最中のAがいた。(Aは走っている最中)	3	35	39		39
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、肉を焼いている最中のAがいた。(Aは肉を焼いている最中)	4	33	39		
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、雨が降っている最中だった。(雨が降っている最中)	4	30	38	1	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、作戦を考えている最中のAがいた。(Aは作戦を考えている最中)	7	34	36		

付録18 事態  $\alpha$  の結果相におけるデーター大阪方言・若年層ー

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、100m走を終えて休憩しているAがいた。(Aは既に走った後)	1	32	37	1	39
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、焼き終えた肉を皿へ移しているAがいた。(Aは既に肉を焼いた後)	1	28	33	6	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、地面が濡れ、水たまりができていた。(雨は既に降った後)	1	23	23	14	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、作戦会議を終えて資料を片付けているAがいた。(Aは既に作戦を考えただ後)	3	27	29	10	

付録19 事態βの未然的将然相におけるデーター大阪方言・若年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 席に向かっているAがいた。(Aはもうすぐ座る)	24			15	39
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, 軽く痙攣しているネズミがいた。(ネズミはもうすぐ死ぬ)	20			19	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの燃料が少なくなっていた。(もうすぐ火が消える)	22			17	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, 火を消すためストーブに近付いているAがいた。(Aはもうすぐ火を消す)	22			17	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていた。(もうすぐ晴れる)	19			20	

付録20 事態βの既然的将然相におけるデーター大阪方言・若年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 荷物を置いて, 椅子を引き出しているAがいた。(Aは座る直前)	24	4	7	15	39
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ひどく痙攣しているネズミがいた。(ネズミは死ぬ直前)	20	4	4	19	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの火がとても弱くなっていて, 消えていっている様子だった。(火が消える直前)	22			17	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープのスイッチに手を伸ばしているAがいた。(Aは火を消す直前)	22	9	10	17	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていて雨雲の隙間から太陽が見え始めていた。(晴れる直前)	19	4	6	20	

付録21 事態βの結果相におけるデーター大阪方言・若年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 既に席に着いているAがいた。(Aは既に座った後)	4	30	36	2	39
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ネズミが1匹死んでいた。(ネズミは既に死んだ後)		33	39		
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, 点いているはずのストーブの火が消えていた。(火は消えた後)		33	37	2	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープの火を消し終えて換気をしているAがいた。(Aは既に火を消した後)	3	32	33	4	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雲ひとつない青空になっていた。(既に晴れた後)	2	31	39		

## 4.1.2. 京都方言のアスペクト体系

付録22 事態  $\alpha$  の未然的将来相におけるデーター山城方言・高年層ー

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後, 運動場に行くと, ユニフォームに着替え, 走者レーンに向かっているAがいた。(Aはもうすぐ走る)	2			3	5
焼く	主体動作 客体変化	夕食前, 台所に行くと, 冷蔵庫から肉を取り出し, フライパンを温めているAがいた。(Aはもうすぐ肉を焼く)	2			3	
降る	自然現象	朝, 部屋のカーテンを開けると, 空が曇り始めていて薄暗かった。(もうすぐ雨が降る)				5	
考える	心理	昼食後, 会議室に入ると, 机の上に資料を広げているAがいた。(Aはもうすぐ作戦を考える)	2			3	

付録23 事態  $\alpha$  の既然的将来相におけるデーター山城方言・高年層ー

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後, 運動場に行くと, スタートラインに立ち, 手首足首を回しているAがいた。(Aは走る直前)	2			3	5
焼く	主体動作 客体変化	夕食前, 台所に行くと, フライパンに油をひき, トレーから肉を取り出しているAがいた。(Aは肉を焼く直前)	2			3	
降る	自然現象	朝, 部屋のカーテンを開けると, 空がどんより曇っていて, ジメジメしていた。(雨が降る直前)				5	
考える	心理	昼食後, 会議室に入ると, 机の上の資料に目を通し始めているAがいた。(Aは作戦を考える直前)	2			3	

付録24 事態  $\alpha$  の進行相におけるデーター山城方言・高年層ー

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Progressive	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後, 運動場に行くと, 走っている最中のAがいた。(Aは走っている最中)		2	5		5
焼く	主体動作 客体変化	夕食前, 台所に行くと, 肉を焼いている最中のAがいた。(Aは肉を焼いている最中)		2	5		
降る	自然現象	朝, 部屋のカーテンを開けると, 雨が降っている最中だった。(雨が降っている最中)		2	5		
考える	心理	昼食後, 会議室に入ると, 作戦を考えている最中のAがいた。(Aは作戦を考えている最中)		2	5		

付録25 事態  $\alpha$  の結果相におけるデーター山城方言・高年層ー

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後, 運動場に行くと, 100m走を終えて休憩しているAがいた。(Aは既に走った後)			2	3	5
焼く	主体動作 客体変化	夕食前, 台所に行くと, 焼き終えた肉を皿へ移しているAがいた。(Aは既に肉を焼いた後)				5	
降る	自然現象	朝, 部屋のカーテンを開けると, 地面が濡れ, 水たまりができていた。(雨は既に降った後)				5	
考える	心理	昼食後, 会議室に入ると, 作戦会議を終えて資料を片付けているAがいた。(Aは既に作戦考えた後)			2	3	

付録26 事態βの未然的将然相におけるデーター山城方言・高年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 席に向かっているAがいた。(Aはもうすぐ座る)	3			2	5
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, 軽く痙攣しているネズミがいた。(ネズミはもうすぐ死ぬ)	2			3	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの燃料が少なくなっていた。(もうすぐ火が消える)	2			3	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, 火を消すためストーブに近付いているAがいた。(Aはもうすぐ火を消す)	2			3	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていた。(もうすぐ晴れる)				5	

付録27 事態βの既然的将然相におけるデーター山城方言・高年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 荷物を置いて, 椅子を引き出ししているAがいた。(Aは座る直前)	3			2	5
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ひどく痙攣しているネズミがいた。(ネズミは死ぬ直前)	2			3	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの火がとても弱くなっていて, 消えていっている様子だった。(火が消える直前)	2			3	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープのスイッチに手を伸ばしているAがいた。(Aは火を消す直前)	2			3	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていて雨雲の隙間から太陽が見え始めていた。(晴れる直前)				5	

付録28 事態βの結果相におけるデーター山城方言・高年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 既に席に着いているAがいた。(Aは既に座った後)		2	5		5
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ネズミが1匹死んでいた。(ネズミは既に死んだ後)			5		
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, 点いているはずのストーブの火が消えていた。(火は消えた後)		2	5		
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープの火を消し終えて換気をしているAがいた。(Aは既に火を消した後)		2	5		
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雲ひとつない青空になっていた。(既に晴れた後)			5		



付録29 事態  $\alpha$  の未然的将来相におけるデーター山城方言・中年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、ユニフォームに着替え、走者レーンに向かっているAがいた。(Aはもうすぐ走る)	12			1	13
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、冷蔵庫から肉を取り出し、フライパンを温めているAがいた。(Aはもうすぐ肉を焼く)	12			1	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、空が曇り始めていて薄暗かった。(もうすぐ雨が降る)	12			1	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、机の上に資料を広げているAがいた。(Aはもうすぐ作戦を考える)	12			1	

付録30 事態  $\alpha$  の既然的将来相におけるデーター山城方言・中年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、スタートラインに立ち、手首足首を回しているAがいた。(Aは走る直前)	12			1	13
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、フライパンに油をひき、トレーから肉を取り出しているAがいた。(Aは肉を焼く直前)	12			1	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、空がどんより曇っていて、ジメジメしていた。(雨が降る直前)	12			1	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、机の上の資料に目を通し始めているAがいた。(Aは作戦を考える直前)	12			1	

付録31 事態  $\alpha$  の進行相におけるデーター山城方言・中年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Progressive	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、走っている最中のAがいた。(Aは走っている最中)		12	13		13
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、肉を焼いている最中のAがいた。(Aは肉を焼いている最中)		12	13		
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、雨が降っている最中だった。(雨が降っている最中)		12	13		
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、作戦を考えている最中のAがいた。(Aは作戦を考えている最中)		12	13		

付録32 事態  $\alpha$  の結果相におけるデーター山城方言・中年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、100m走を終えて休憩しているAがいた。(Aは既に走った後)		12	12	1	13
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、焼き終えた肉を皿へ移しているAがいた。(Aは既に肉を焼いた後)		7	7	6	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、地面が濡れ、水たまりができていた。(雨は既に降った後)		7	7	6	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、作戦会議を終えて資料を片付けているAがいた。(Aは既に作戦を考えただ後)		9	9	4	



付録33 事態βの未然的将然相におけるデーター山城方言・中年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 席に向かっているAがいた。(Aはもうすぐ座る)	12			1	13
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, 軽く痙攣しているネズミがいた。(ネズミはもうすぐ死ぬ)	12			1	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの燃料が少なくなっていた。(もうすぐ火が消える)	12			1	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, 火を消すためストーブに近付いているAがいた。(Aはもうすぐ火を消す)	12			1	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていた。(もうすぐ晴れる)	9			4	

付録34 事態βの既然的将然相におけるデーター山城方言・中年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 荷物を置いて, 椅子を引き出しているAがいた。(Aは座る直前)	12			1	13
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ひどく痙攣しているネズミがいた。(ネズミは死ぬ直前)	12			1	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの火がとても弱くなっていて, 消えていっている様子だった。(火が消える直前)	12			1	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープのスイッチに手を伸ばしているAがいた。(Aは火を消す直前)	12			1	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていて雨雲の隙間から太陽が見え始めていた。(晴れる直前)	9			4	

付録35 事態βの結果相におけるデーター山城方言・中年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 既に席に着いているAがいた。(Aは既に座った後)		12	13		13
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ネズミが1匹死んでいた。(ネズミは既に死んだ後)		12	13		
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, 点いているはずのストーブの火が消えていた。(火は消えた後)		12	13		
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープの火を消し終えて換気をしているAがいた。(Aは既に火を消した後)		12	13		
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雲ひとつない青空になっていた。(既に晴れた後)		12	13		

付録36 事態  $\alpha$  の未然的将然相におけるデーター山城方言・若年層ー

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、ユニフォームに着替え、走者レーンに向かっているAがいた。(Aはもうすぐ走る)	14			3	17
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、冷蔵庫から肉を取り出し、フライパンを温めているAがいた。(Aはもうすぐ肉を焼く)	14			3	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、空が曇り始めていて薄暗かった。(もうすぐ雨が降る)	15			2	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、机の上に資料を広げているAがいた。(Aはもうすぐ作戦を考える)	12			5	

付録37 事態  $\alpha$  の既然的将然相におけるデーター山城方言・若年層ー

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、スタートラインに立ち、手首足首を回しているAがいた。(Aは走る直前)	14			3	17
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、フライパンに油をひき、トレーから肉を取り出しているAがいた。(Aは肉を焼く直前)	14			3	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、空がどんより曇っていて、ジメジメしていた。(雨が降る直前)	15			2	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、机の上の資料に目を通し始めているAがいた。(Aは作戦を考える直前)	12			5	

付録38 事態  $\alpha$  の進行相におけるデーター山城方言・若年層ー

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Progressive	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、走っている最中のAがいた。(Aは走っている最中)		16	17		17
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、肉を焼いている最中のAがいた。(Aは肉を焼いている最中)		15	17		
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、雨が降っている最中だった。(雨が降っている最中)		17	17		
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、作戦を考えている最中のAがいた。(Aは作戦を考えている最中)		16	17		

付録39 事態  $\alpha$  の結果相におけるデーター山城方言・若年層ー

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、100m走を終えて休憩しているAがいた。(Aは既に走った後)		14	13	3	17
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、焼き終えた肉を皿へ移しているAがいた。(Aは既に肉を焼いた後)		13	12	4	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、地面が濡れ、水たまりができていた。(雨は既に降った後)		13	11	4	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、作戦会議を終えて資料を片付けているAがいた。(Aは既に作戦を考えした後)		12	13	4	

付録40 事態βの未然的将然相におけるデーター山城方言・若年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 席に向かっているAがいた。(Aはもうすぐ座る)	14			3	17
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, 軽く痙攣しているネズミがいた。(ネズミはもうすぐ死ぬ)	13			4	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの燃料が少なくなっていた。(もうすぐ火が消える)	14			3	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, 火を消すためストーブに近付いているAがいた。(Aはもうすぐ火を消す)	14			3	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていた。(もうすぐ晴れる)	14			3	

付録41 事態βの既然的将然相におけるデーター山城方言・若年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 荷物を置いて, 椅子を引き出しているAがいた。(Aは座る直前)	14			3	17
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ひどく痙攣しているネズミがいた。(ネズミは死ぬ直前)	13			4	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの火がとても弱くなっていて, 消えていっている様子だった。(火が消える直前)	14			3	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープのスイッチに手を伸ばしているAがいた。(Aは火を消す直前)	14			3	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていて雨雲の隙間から太陽が見え始めていた。(晴れる直前)	14			3	

付録42 事態βの結果相におけるデーター山城方言・若年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 既に席に着いているAがいた。(Aは既に座った後)		16	17		17
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ネズミが1匹死んでいた。(ネズミは既に死んだ後)		16	16	1	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, 点いているはずのストーブの火が消えていた。(火は消えた後)		16	16	1	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープの火を消し終えて換気をしているAがいた。(Aは既に火を消した後)		16	16	1	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雲ひとつない青空になっていた。(既に晴れた後)		16	17		

付録43 事態  $\alpha$  の未然的将然相におけるデーター丹波方言・高年層ー

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、ユニフォームに着替え、走者レーンに向かっているAがいた。(Aはもうすぐ走る)				5	5
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、冷蔵庫から肉を取り出し、フライパンを温めているAがいた。(Aはもうすぐ肉を焼く)				5	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、空が曇り始めていて薄暗かった。(もうすぐ雨が降る)				5	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、机の上に資料を広げているAがいた。(Aはもうすぐ作戦を考える)				5	

付録44 事態  $\alpha$  の既然的将然相におけるデーター丹波方言・高年層ー

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、スタートラインに立ち、手首足首を回しているAがいた。(Aは走る直前)	5				5
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、フライパンに油をひき、トレーから肉を取り出しているAがいた。(Aは肉を焼く直前)	5				
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、空がどんより曇っていて、ジメジメしていた。(雨が降る直前)	5				
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、机の上の資料に目を通し始めているAがいた。(Aは作戦を考える直前)	5				

付録45 事態  $\alpha$  の進行相におけるデーター丹波方言・高年層ー

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Progressive	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、走っている最中のAがいた。(Aは走っている最中)		5			5
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、肉を焼いている最中のAがいた。(Aは肉を焼いている最中)		5			
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、雨が降っている最中だった。(雨が降っている最中)		5			
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、作戦を考えている最中のAがいた。(Aは作戦を考えている最中)		5			

付録46 事態  $\alpha$  の結果相におけるデーター丹波方言・高年層ー

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、100m走を終えて休憩しているAがいた。(Aは既に走った後)				5	5
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、焼き終えた肉を皿へ移しているAがいた。(Aは既に肉を焼いた後)				5	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、地面が濡れ、水たまりができていた。(雨は既に降った後)				5	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、作戦会議を終えて資料を片付けているAがいた。(Aは既に作戦を考えただ後)		5			

付録47 事態βの未然的将然相におけるデーター丹波方言・高年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 席に向かっているAがいた。(Aはもうすぐ座る)				5	5
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, 軽く痙攣しているネズミがいた。(ネズミはもうすぐ死ぬ)				5	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの燃料が少なくなっていた。(もうすぐ火が消える)				5	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, 火を消すためストーブに近付いているAがいた。(Aはもうすぐ火を消す)				5	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていた。(もうすぐ晴れる)				5	

付録48 事態βの既然的将然相におけるデーター丹波方言・高年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 荷物を置いて, 椅子を引き出しているAがいた。(Aは座る直前)	5				5
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ひどく痙攣しているネズミがいた。(ネズミは死ぬ直前)	5				
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの火がとても弱くなっていて, 消えていっている様子だった。(火が消える直前)	5				
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープのスイッチに手を伸ばしているAがいた。(Aは火を消す直前)	5				
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていて雨雲の隙間から太陽が見え始めていた。(晴れる直前)	5				

付録49 事態βの結果相におけるデーター丹波方言・高年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 既に席に着いているAがいた。(Aは既に座った後)		5			5
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ネズミが1匹死んでいた。(ネズミは既に死んだ後)		5			
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, 点いているはずのストーブの火が消えていた。(火は消えた後)		5			
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープの火を消し終えて換気をしているAがいた。(Aは既に火を消した後)		5			
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雲ひとつない青空になっていた。(既に晴れた後)		5			

付録50 事態  $\alpha$  の未然的将来相におけるデーター丹波方言・中年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、ユニフォームに着替え、走者レーンに向かっているAがいた。(Aはもうすぐ走る)				5	5
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、冷蔵庫から肉を取り出し、フライパンを温めているAがいた。(Aはもうすぐ肉を焼く)				5	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、空が曇り始めていて薄暗かった。(もうすぐ雨が降る)				5	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、机の上に資料を広げているAがいた。(Aはもうすぐ作戦を考える)				5	

付録51 事態  $\alpha$  の既然的将来相におけるデーター丹波方言・中年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、スタートラインに立ち、手首足首を回しているAがいた。(Aは走る直前)	5				5
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、フライパンに油をひき、トレーから肉を取り出しているAがいた。(Aは肉を焼く直前)	5				
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、空がどんより曇っていて、ジメジメしていた。(雨が降る直前)	5				
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、机の上の資料に目を通し始めているAがいた。(Aは作戦を考える直前)	5				

付録52 事態  $\alpha$  の進行相におけるデーター丹波方言・中年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Progressive	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、走っている最中のAがいた。(Aは走っている最中)		5			5
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、肉を焼いている最中のAがいた。(Aは肉を焼いている最中)		5			
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、雨が降っている最中だった。(雨が降っている最中)		5			
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、作戦を考えている最中のAがいた。(Aは作戦を考えている最中)		5			

付録53 事態  $\alpha$  の結果相におけるデーター丹波方言・中年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、100m走を終えて休憩しているAがいた。(Aは既に走った後)				5	5
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、焼き終えた肉を皿へ移しているAがいた。(Aは既に肉を焼いた後)				5	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、地面が濡れ、水たまりができていた。(雨は既に降った後)				5	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、作戦会議を終えて資料を片付けているAがいた。(Aは既に作戦を考えた後)				5	

付録54 事態βの未然的将然相におけるデーター丹波方言・中年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 席に向かっているAがいた。(Aはもうすぐ座る)				5	5
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, 軽く痙攣しているネズミがいた。(ネズミはもうすぐ死ぬ)				5	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの燃料が少なくなっていた。(もうすぐ火が消える)				5	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, 火を消すためストーブに近付いているAがいた。(Aはもうすぐ火を消す)				5	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていた。(もうすぐ晴れる)				5	

付録55 事態βの既然的将然相におけるデーター丹波方言・中年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 荷物を置いて, 椅子を引き出しているAがいた。(Aは座る直前)	5				5
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ひどく痙攣しているネズミがいた。(ネズミは死ぬ直前)	5				
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの火がとても弱くなっていて, 消えていっている様子だった。(火が消える直前)	5				
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープのスイッチに手を伸ばしているAがいた。(Aは火を消す直前)	5				
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていて雨雲の隙間から太陽が見え始めていた。(晴れる直前)	5				

付録56 事態βの結果相におけるデーター丹波方言・中年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 既に席に着いているAがいた。(Aは既に座った後)		5			5
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ネズミが1匹死んでいた。(ネズミは既に死んだ後)		5			
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, 点いているはずのストーブの火が消えていた。(火は消えた後)		5			
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープの火を消し終えて換気をしているAがいた。(Aは既に火を消した後)		5			
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雲ひとつない青空になっていた。(既に晴れた後)		5			



付録57 事態  $\alpha$  の未然的将然相におけるデーター丹波方言・若年層ー

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、ユニフォームに着替え、走者レーンに向かっているAがいた。(Aはもうすぐ走る)				5	5
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、冷蔵庫から肉を取り出し、フライパンを温めているAがいた。(Aはもうすぐ肉を焼く)				5	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、空が曇り始めていて薄暗かった。(もうすぐ雨が降る)				5	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、机の上に資料を広げているAがいた。(Aはもうすぐ作戦を考える)				5	

付録58 事態  $\alpha$  の既然的将然相におけるデーター丹波方言・若年層ー

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、スタートラインに立ち、手首足首を回しているAがいた。(Aは走る直前)	5				5
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、フライパンに油をひき、トレーから肉を取り出しているAがいた。(Aは肉を焼く直前)	5				
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、空がどんより曇っていて、ジメジメしていた。(雨が降る直前)	5				
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、机の上の資料に目を通し始めているAがいた。(Aは作戦を考える直前)	5				

付録59 事態  $\alpha$  の進行相におけるデーター丹波方言・若年層ー

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Progressive	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、走っている最中のAがいた。(Aは走っている最中)		5			5
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、肉を焼いている最中のAがいた。(Aは肉を焼いている最中)		5			
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、雨が降っている最中だった。(雨が降っている最中)		5			
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、作戦を考えている最中のAがいた。(Aは作戦を考えている最中)		5			

付録60 事態  $\alpha$  の結果相におけるデーター丹波方言・若年層ー

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、100m走を終えて休憩しているAがいた。(Aは既に走った後)		5			5
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、焼き終えた肉を皿へ移しているAがいた。(Aは既に肉を焼いた後)		5			
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、地面が濡れ、水たまりができていた。(雨は既に降った後)		2		3	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、作戦会議を終えて資料を片付けているAがいた。(Aは既に作戦を考えただ後)		2		3	



付録61 事態βの未然的将然相におけるデーター丹波方言・若年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 席に向かっているAがいた。(Aはもうすぐ座る)				5	5
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, 軽く痙攣しているネズミがいた。(ネズミはもうすぐ死ぬ)				5	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの燃料が少なくなっていた。(もうすぐ火が消える)				5	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, 火を消すためストーブに近付いているAがいた。(Aはもうすぐ火を消す)				5	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていた。(もうすぐ晴れる)				5	

付録62 事態βの既然的将然相におけるデーター丹波方言・若年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 荷物を置いて, 椅子を引き出ししているAがいた。(Aは座る直前)	5				5
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ひどく痙攣しているネズミがいた。(ネズミは死ぬ直前)	5				
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの火がとても弱くなっていて, 消えていっている様子だった。(火が消える直前)	5				
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープのスイッチに手を伸ばしているAがいた。(Aは火を消す直前)	5				
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていて雨雲の隙間から太陽が見え始めていた。(晴れる直前)	5				

付録63 事態βの結果相におけるデーター丹波方言・若年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 既に席に着いているAがいた。(Aは既に座った後)		5			5
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ネズミが1匹死んでいた。(ネズミは既に死んだ後)		5			
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, 点いているはずのストーブの火が消えていた。(火は消えた後)		5			
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープの火を消し終えて換気をしているAがいた。(Aは既に火を消した後)		5			
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雲ひとつない青空になっていた。(既に晴れた後)		5			

付録64 事態  $\alpha$  の未然的将然相におけるデーター丹後方言・高年層ー

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、ユニフォームに着替え、走者レーンに向かっているAがいた。(Aはもうすぐ走る)				7	7
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、冷蔵庫から肉を取り出し、フライパンを温めているAがいた。(Aはもうすぐ肉を焼く)				7	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、空が曇り始めていて薄暗かった。(もうすぐ雨が降る)				7	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、机の上に資料を広げているAがいた。(Aはもうすぐ作戦を考える)				7	

付録65 事態  $\alpha$  の既然的将然相におけるデーター丹後方言・高年層ー

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、スタートラインに立ち、手首足首を回しているAがいた。(Aは走る直前)				7	7
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、フライパンに油をひき、トレーから肉を取り出しているAがいた。(Aは肉を焼く直前)				7	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、空がどんより曇っていて、ジメジメしていた。(雨が降る直前)				7	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、机の上の資料に目を通し始めているAがいた。(Aは作戦を考える直前)				7	

付録66 事態  $\alpha$  の進行相におけるデーター丹後方言・高年層ー

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Progressive	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、走っている最中のAがいた。(Aは走っている最中)		7			7
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、肉を焼いている最中のAがいた。(Aは肉を焼いている最中)		7			
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、雨が降っている最中だった。(雨が降っている最中)		7			
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、作戦を考えている最中のAがいた。(Aは作戦を考えている最中)		7			

付録67 事態  $\alpha$  の結果相におけるデーター丹後方言・高年層ー

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、100m走を終えて休憩しているAがいた。(Aは既に走った後)		7			7
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、焼き終えた肉を皿へ移しているAがいた。(Aは既に肉を焼いた後)		7			
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、地面が濡れ、水たまりができていた。(雨は既に降った後)		7			
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、作戦会議を終えて資料を片付けているAがいた。(Aは既に作戦を考えた後)		7			

付録68 事態βの未然的将然相におけるデーター丹後方言・高年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 席に向かっているAがいた。(Aはもうすぐ座る)				7	7
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, 軽く痙攣しているネズミがいた。(ネズミはもうすぐ死ぬ)				7	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの燃料が少なくなっていた。(もうすぐ火が消える)				7	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, 火を消すためストーブに近付いているAがいた。(Aはもうすぐ火を消す)				7	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていた。(もうすぐ晴れる)				7	

付録69 事態βの既然的将然相におけるデーター丹後方言・高年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 荷物を置いて, 椅子を引き出ししているAがいた。(Aは座る直前)				7	7
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ひどく痙攣しているネズミがいた。(ネズミは死ぬ直前)				7	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの火がとても弱くなっていて, 消えていっている様子だった。(火が消える直前)				7	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープのスイッチに手を伸ばしているAがいた。(Aは火を消す直前)				7	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていて雨雲の隙間から太陽が見え始めていた。(晴れる直前)				7	

付録70 事態βの結果相におけるデーター丹後方言・高年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 既に席に着いているAがいた。(Aは既に座った後)		7			7
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ネズミが1匹死んでいた。(ネズミは既に死んだ後)		7			
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, 点いているはずのストーブの火が消えていた。(火は消えた後)		7			
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープの火を消し終えて換気をしているAがいた。(Aは既に火を消した後)		7			
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雲ひとつない青空になっていた。(既に晴れた後)		7			

付録71 事態  $\alpha$  の未然的将来相におけるデーター丹後方言・中年層ー

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、ユニフォームに着替え、走者レーンに向かっているAがいた。(Aはもうすぐ走る)				5	5
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、冷蔵庫から肉を取り出し、フライパンを温めているAがいた。(Aはもうすぐ肉を焼く)				5	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、空が曇り始めていて薄暗かった。(もうすぐ雨が降る)				5	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、机の上に資料を広げているAがいた。(Aはもうすぐ作戦を考える)				5	

付録72 事態  $\alpha$  の既然的将来相におけるデーター丹後方言・中年層ー

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、スタートラインに立ち、手首足首を回しているAがいた。(Aは走る直前)				5	5
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、フライパンに油をひき、トレーから肉を取り出しているAがいた。(Aは肉を焼く直前)				5	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、空がどんより曇っていて、ジメジメしていた。(雨が降る直前)				5	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、机の上の資料に目を通し始めているAがいた。(Aは作戦を考える直前)				5	

付録73 事態  $\alpha$  の進行相におけるデーター丹後方言・中年層ー

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Progressive	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、走っている最中のAがいた。(Aは走っている最中)		5			5
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、肉を焼いている最中のAがいた。(Aは肉を焼いている最中)		5			
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、雨が降っている最中だった。(雨が降っている最中)		5			
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、作戦を考えている最中のAがいた。(Aは作戦を考えている最中)		5			

付録74 事態  $\alpha$  の結果相におけるデーター丹後方言・中年層ー

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、100m走を終えて休憩しているAがいた。(Aは既に走った後)		3		2	5
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、焼き終えた肉を皿へ移しているAがいた。(Aは既に肉を焼いた後)		4		1	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、地面が濡れ、水たまりができていた。(雨は既に降った後)		3		2	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、作戦会議を終えて資料を片付けているAがいた。(Aは既に作戦を考えた後)		3		2	

付録75 事態βの未然的将然相におけるデーター丹後方言・中年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 席に向かっているAがいた。(Aはもうすぐ座る)				5	5
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, 軽く痙攣しているネズミがいた。(ネズミはもうすぐ死ぬ)				5	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの燃料が少なくなっていた。(もうすぐ火が消える)				5	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, 火を消すためストーブに近付いているAがいた。(Aはもうすぐ火を消す)				5	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていた。(もうすぐ晴れる)				5	

付録76 事態βの既然的将然相におけるデーター丹後方言・中年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 荷物を置いて, 椅子を引き出ししているAがいた。(Aは座る直前)				5	5
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ひどく痙攣しているネズミがいた。(ネズミは死ぬ直前)				5	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの火がとても弱くなっていて, 消えていっている様子だった。(火が消える直前)				5	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープのスイッチに手を伸ばしているAがいた。(Aは火を消す直前)				5	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていて雨雲の隙間から太陽が見え始めていた。(晴れる直前)				5	

付録77 事態βの結果相におけるデーター丹後方言・中年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 既に席に着いているAがいた。(Aは既に座った後)		5			5
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ネズミが1匹死んでいた。(ネズミは既に死んだ後)		5			
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, 点いているはずのストーブの火が消えていた。(火は消えた後)		5			
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープの火を消し終えて換気をしているAがいた。(Aは既に火を消した後)		5			
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雲ひとつない青空になっていた。(既に晴れた後)		5			

付録78 事態  $\alpha$  の未然的将然相におけるデーター丹後方言・若年層ー

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、ユニフォームに着替え、走者レーンに向かっているAがいた。(Aはもうすぐ走る)				5	5
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、冷蔵庫から肉を取り出し、フライパンを温めているAがいた。(Aはもうすぐ肉を焼く)				5	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、空が曇り始めていて薄暗かった。(もうすぐ雨が降る)				5	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、机の上に資料を広げているAがいた。(Aはもうすぐ作戦を考える)				5	

付録79 事態  $\alpha$  の既然的将然相におけるデーター丹後方言・若年層ー

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、スタートラインに立ち、手首足首を回しているAがいた。(Aは走る直前)				5	5
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、フライパンに油をひき、トレーから肉を取り出しているAがいた。(Aは肉を焼く直前)				5	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、空がどんより曇っていて、ジメジメしていた。(雨が降る直前)				5	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、机の上の資料に目を通し始めているAがいた。(Aは作戦を考える直前)				5	

付録80 事態  $\alpha$  の進行相におけるデーター丹後方言・若年層ー

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Progressive	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、走っている最中のAがいた。(Aは走っている最中)		5			5
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、肉を焼いている最中のAがいた。(Aは肉を焼いている最中)		5			
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、雨が降っている最中だった。(雨が降っている最中)		5			
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、作戦を考えている最中のAがいた。(Aは作戦を考えている最中)		5			

付録81 事態  $\alpha$  の結果相におけるデーター丹後方言・若年層ー

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、100m走を終えて休憩しているAがいた。(Aは既に走った後)		5			5
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、焼き終えた肉を皿へ移しているAがいた。(Aは既に肉を焼いた後)		5			
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、地面が濡れ、水たまりができていた。(雨は既に降った後)		5			
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、作戦会議を終えて資料を片付けているAがいた。(Aは既に作戦を考えた後)		5			

付録82 事態βの未然的将然相におけるデーター丹後方言・若年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 席に向かっているAがいた。(Aはもうすぐ座る)				5	5
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, 軽く痙攣しているネズミがいた。(ネズミはもうすぐ死ぬ)				5	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの燃料が少なくなっていた。(もうすぐ火が消える)				5	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, 火を消すためストーブに近付いているAがいた。(Aはもうすぐ火を消す)				5	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていた。(もうすぐ晴れる)				5	

付録83 事態βの既然的将然相におけるデーター丹後方言・若年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 荷物を置いて, 椅子を引き出ししているAがいた。(Aは座る直前)				5	5
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ひどく痙攣しているネズミがいた。(ネズミは死ぬ直前)				5	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの火がとても弱くなっていて, 消えていっている様子だった。(火が消える直前)				5	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープのスイッチに手を伸ばしているAがいた。(Aは火を消す直前)				5	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていて雨雲の隙間から太陽が見え始めていた。(晴れる直前)				5	

付録84 事態βの結果相におけるデーター丹後方言・若年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 既に席に着いているAがいた。(Aは既に座った後)		5			5
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ネズミが1匹死んでいた。(ネズミは既に死んだ後)		5			
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, 点いているはずのストーブの火が消えていた。(火は消えた後)		5			
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープの火を消し終えて換気をしているAがいた。(Aは既に火を消した後)		5			
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雲ひとつない青空になっていた。(既に晴れた後)		5			



### 4.1.3. 滋賀方言のアスペクト体系

付録85 事態  $\alpha$  の未然的将来相におけるデーター滋賀方言・高年層ー

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、ユニフォームに着替え、走者レーンに向かっているAがいた。(Aはもうすぐ走る)	11			6	17
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、冷蔵庫から肉を取り出し、フライパンを温めているAがいた。(Aはもうすぐ肉を焼く)	11			6	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、空が曇り始めていて薄暗かった。(もうすぐ雨が降る)	11			6	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、机の上に資料を広げているAがいた。(Aはもうすぐ作戦を考える)	11			6	

付録86 事態  $\alpha$  の既然的将来相におけるデーター滋賀方言・高年層ー

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、スタートラインに立ち、手首足首を回しているAがいた。(Aは走る直前)	11			6	17
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、フライパンに油をひき、トレーから肉を取り出しているAがいた。(Aは肉を焼く直前)	11			6	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、空がどんより曇っていて、ジメジメしていた。(雨が降る直前)	11			6	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、机の上の資料に目を通し始めているAがいた。(Aは作戦を考える直前)	11			6	

付録87 事態  $\alpha$  の進行相におけるデーター滋賀方言・高年層ー

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Progressive	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、走っている最中のAがいた。(Aは走っている最中)		15	17		17
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、肉を焼いている最中のAがいた。(Aは肉を焼いている最中)		15	17		
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、雨が降っている最中だった。(雨が降っている最中)		15	17		
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、作戦を考えている最中のAがいた。(Aは作戦を考えている最中)		15	17		

付録88 事態  $\alpha$  の結果相におけるデーター滋賀方言・高年層ー

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、100m走を終えて休憩しているAがいた。(Aは既に走った後)		13	15	2	17
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、焼き終えた肉を皿へ移しているAがいた。(Aは既に肉を焼いた後)		6	6	11	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、地面が濡れ、水たまりができていた。(雨は既に降った後)		6	6	11	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、作戦会議を終えて資料を片付けているAがいた。(Aは既に作戦考えた後)		14	15	2	



付録89 事態βの未然的将然相におけるデーター滋賀方言・高年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 席に向かっているAがいた。(Aはもうすぐ座る)	11			6	17
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, 軽く痙攣しているネズミがいた。(ネズミはもうすぐ死ぬ)	11			6	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの燃料が少なくなっていた。(もうすぐ火が消える)	11			6	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, 火を消すためストーブに近付いているAがいた。(Aはもうすぐ火を消す)	11			6	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていた。(もうすぐ晴れる)	11			6	

付録90 事態βの既然的将然相におけるデーター滋賀方言・高年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 荷物を置いて, 椅子を引き出ししているAがいた。(Aは座る直前)	11			6	17
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ひどく痙攣しているネズミがいた。(ネズミは死ぬ直前)	11			6	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの火がとても弱くなっていて, 消えていっている様子だった。(火が消える直前)	11			6	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープのスイッチに手を伸ばしているAがいた。(Aは火を消す直前)	11			6	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていて雨雲の隙間から太陽が見え始めていた。(晴れる直前)	11			6	

付録91 事態βの結果相におけるデーター滋賀方言・高年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 既に席に着いているAがいた。(Aは既に座った後)		15	17		17
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ネズミが1匹死んでいた。(ネズミは既に死んだ後)		17	17		
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, 点いているはずのストーブの火が消えていた。(火は消えた後)		15	17		
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープの火を消し終えて換気をしているAがいた。(Aは既に火を消した後)		11	13	4	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雲ひとつない青空になっていた。(既に晴れた後)		15	17		

付録92 事態  $\alpha$  の未然的将来相におけるデーター滋賀方言・中年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、ユニフォームに着替え、走者レーンに向かっているAがいた。(Aはもうすぐ走る)	6			9	15
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、冷蔵庫から肉を取り出し、フライパンを温めているAがいた。(Aはもうすぐ肉を焼く)	6			9	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、空が曇り始めていて薄暗かった。(もうすぐ雨が降る)	6			9	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、机の上に資料を広げているAがいた。(Aはもうすぐ作戦を考える)	6			9	

付録93 事態  $\alpha$  の既然的将来相におけるデーター滋賀方言・中年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、スタートラインに立ち、手首足首を回しているAがいた。(Aは走る直前)	6			9	12
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、フライパンに油をひき、トレーから肉を取り出しているAがいた。(Aは肉を焼く直前)	6			9	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、空がどんより曇っていて、ジメジメしていた。(雨が降る直前)	6			9	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、机の上の資料に目を通し始めているAがいた。(Aは作戦を考える直前)	6			9	

付録94 事態  $\alpha$  の進行相におけるデーター滋賀方言・中年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Progressive	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、走っている最中のAがいた。(Aは走っている最中)		15	15		15
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、肉を焼いている最中のAがいた。(Aは肉を焼いている最中)		15	15		
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、雨が降っている最中だった。(雨が降っている最中)		15	15		
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、作戦を考えている最中のAがいた。(Aは作戦を考えている最中)		15	15		

付録95 事態  $\alpha$  の結果相におけるデーター滋賀方言・中年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、100m走を終えて休憩しているAがいた。(Aは既に走った後)		15	15		15
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、焼き終えた肉を皿へ移しているAがいた。(Aは既に肉を焼いた後)		14	14	1	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、地面が濡れ、水たまりができていた。(雨は既に降った後)		11	11	4	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、作戦会議を終えて資料を片付けているAがいた。(Aは既に作戦を考えただ後)		13	13	2	

付録96 事態βの未然的将然相におけるデーター滋賀方言・中年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 席に向かっているAがいた。(Aはもうすぐ座る)	6			9	15
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, 軽く痙攣しているネズミがいた。(ネズミはもうすぐ死ぬ)	5			10	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの燃料が少なくなっていた。(もうすぐ火が消える)	5			10	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, 火を消すためストーブに近付いているAがいた。(Aはもうすぐ火を消す)	6			9	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていた。(もうすぐ晴れる)	5			10	

付録97 事態βの既然的将然相におけるデーター滋賀方言・中年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 荷物を置いて, 椅子を引き出しているAがいた。(Aは座る直前)	6			9	12
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ひどく痙攣しているネズミがいた。(ネズミは死ぬ直前)	5			10	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの火がとても弱くなっていて, 消えていっている様子だった。(火が消える直前)	5			10	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープのスイッチに手を伸ばしているAがいた。(Aは火を消す直前)	6			9	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていて雨雲の隙間から太陽が見え始めていた。(晴れる直前)	5			10	

付録98 事態βの結果相におけるデーター滋賀方言・中年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 既に席に着いているAがいた。(Aは既に座った後)		15	15		15
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ネズミが1匹死んでいた。(ネズミは既に死んだ後)		14	15		
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, 点いているはずのストーブの火が消えていた。(火は消えた後)		15	15		
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープの火を消し終えて換気をしているAがいた。(Aは既に火を消した後)		13	13	2	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雲ひとつない青空になっていた。(既に晴れた後)		15	15		

付録99 事態  $\alpha$  の未然的将然相におけるデーター滋賀方言・若年層ー

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、ユニフォームに着替え、走者レーンに向かっているAがいた。(Aはもうすぐ走る)	29			17	46
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、冷蔵庫から肉を取り出し、フライパンを温めているAがいた。(Aはもうすぐ肉を焼く)	29			17	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、空が曇り始めていて薄暗かった。(もうすぐ雨が降る)	26			20	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、机の上に資料を広げているAがいた。(Aはもうすぐ作戦を考える)	28			18	

付録100 事態  $\alpha$  の既然的将然相におけるデーター滋賀方言・若年層ー

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、スタートラインに立ち、手首足首を回しているAがいた。(Aは走る直前)	29			17	46
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、フライパンに油をひき、トレーから肉を取り出しているAがいた。(Aは肉を焼く直前)	29			17	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、空がどんより曇っていて、ジメジメしていた。(雨が降る直前)	26			20	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、机の上の資料に目を通し始めているAがいた。(Aは作戦を考える直前)	28			18	

付録101 事態  $\alpha$  の進行相におけるデーター滋賀方言・若年層ー

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Progressive	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、走っている最中のAがいた。(Aは走っている最中)		41	46		46
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、肉を焼いている最中のAがいた。(Aは肉を焼いている最中)		41	46		
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、雨が降っている最中だった。(雨が降っている最中)		38	46		
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、作戦を考えている最中のAがいた。(Aは作戦を考えている最中)		41	46		

付録102 事態  $\alpha$  の結果相におけるデーター滋賀方言・若年層ー

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、100m走を終えて休憩しているAがいた。(Aは既に走った後)		39	44	2	46
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、焼き終えた肉を皿へ移しているAがいた。(Aは既に肉を焼いた後)		39	44	2	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、地面が濡れ、水たまりができていた。(雨は既に降った後)		24	31	15	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、作戦会議を終えて資料を片付けているAがいた。(Aは既に作戦を考えした後)		33	38	8	

付録103 事態βの未然的将来相におけるデーター滋賀方言・若年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 席に向かっているAがいた。(Aはもうすぐ座る)	27			19	46
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, 軽く痙攣しているネズミがいた。(ネズミはもうすぐ死ぬ)	25			21	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの燃料が少なくなっていた。(もうすぐ火が消える)	25			21	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, 火を消すためストーブに近付いているAがいた。(Aはもうすぐ火を消す)	25			21	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていた。(もうすぐ晴れる)	25			21	

付録104 事態βの既然的将来相におけるデーター滋賀方言・若年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 荷物を置いて, 椅子を引き出しているAがいた。(Aは座る直前)	27			19	46
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ひどく痙攣しているネズミがいた。(ネズミは死ぬ直前)	25			21	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの火がとても弱くなっていて, 消えていっている様子だった。(火が消える直前)	25			21	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープのスイッチに手を伸ばしているAがいた。(Aは火を消す直前)	25			21	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていて雨雲の隙間から太陽が見え始めていた。(晴れる直前)	25			21	

付録105 事態βの結果相におけるデーター滋賀方言・若年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 既に席に着いているAがいた。(Aは既に座った後)		41	46		46
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ネズミが1匹死んでいた。(ネズミは既に死んだ後)		38	45		
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, 点いているはずのストーブの火が消えていた。(火は消えた後)		41	46		
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープの火を消し終えて換気をしているAがいた。(Aは既に火を消した後)		35	39	7	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雲ひとつない青空になっていた。(既に晴れた後)		41	46		

#### 4.1.4. 奈良方言のアスペクト体系

付録106 事態  $\alpha$  の未然的将然相におけるデーター北部方言・高年層ー

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、ユニフォームに着替え、走者レーンに向かっているAがいた。(Aはもうすぐ走る)	13			2	15
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、冷蔵庫から肉を取り出し、フライパンを温めているAがいた。(Aはもうすぐ肉を焼く)	3			12	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、空が曇り始めていて薄暗かった。(もうすぐ雨が降る)	7			8	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、机の上に資料を広げているAがいた。(Aはもうすぐ作戦を考える)	5			10	

付録107 事態  $\alpha$  の既然的将然相におけるデーター北部方言・高年層ー

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、スタートラインに立ち、手首足首を回しているAがいた。(Aは走る直前)	13			2	15
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、フライパンに油をひき、トレーから肉を取り出しているAがいた。(Aは肉を焼く直前)	3			12	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、空がどんより曇っていて、ジメジメしていた。(雨が降る直前)	7			8	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、机の上の資料に目を通し始めているAがいた。(Aは作戦を考える直前)	5			10	

付録108 事態  $\alpha$  の進行相におけるデーター北部方言・高年層ー

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Progressive	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、走っている最中のAがいた。(Aは走っている最中)		13	15		15
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、肉を焼いている最中のAがいた。(Aは肉を焼いている最中)		13	15		
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、雨が降っている最中だった。(雨が降っている最中)		7	15		
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、作戦を考えている最中のAがいた。(Aは作戦を考えている最中)		8	15		

付録109 事態  $\alpha$  の結果相におけるデーター北部方言・高年層ー

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、100m走を終えて休憩しているAがいた。(Aは既に走った後)		2	2	13	15
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、焼き終えた肉を皿へ移しているAがいた。(Aは既に肉を焼いた後)		2	2	13	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、地面が濡れ、水たまりができていた。(雨は既に降った後)		2		13	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、作戦会議を終えて資料を片付けているAがいた。(Aは既に作戦考えた後)		2	4	11	

付録110 事態βの未然的将来相におけるデーター北部方言・高年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 席に向かっているAがいた。(Aはもうすぐ座る)	14			1	15
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, 軽く痙攣しているネズミがいた。(ネズミはもうすぐ死ぬ)	14			1	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの燃料が少なくなっていた。(もうすぐ火が消える)	8			7	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, 火を消すためストーブに近付いているAがいた。(Aはもうすぐ火を消す)	8			7	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていた。(もうすぐ晴れる)	8			7	

付録111 事態βの既然的将来相におけるデーター北部方言・高年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 荷物を置いて, 椅子を引き出しているAがいた。(Aは座る直前)	14			1	15
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ひどく痙攣しているネズミがいた。(ネズミは死ぬ直前)	14			1	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの火がとても弱くなっていて, 消えていっている様子だった。(火が消える直前)	8			7	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープのスイッチに手を伸ばしているAがいた。(Aは火を消す直前)	8			7	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていて雨雲の隙間から太陽が見え始めていた。(晴れる直前)	8			7	

付録112 事態βの結果相におけるデーター北部方言・高年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 既に席に着いているAがいた。(Aは既に座った後)		14	15		15
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ネズミが1匹死んでいた。(ネズミは既に死んだ後)		13	14	1	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, 点いているはずのストーブの火が消えていた。(火は消えた後)		8	15		
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープの火を消し終えて換気をしているAがいた。(Aは既に火を消した後)		9	9	6	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雲ひとつない青空になっていた。(既に晴れた後)		8	15		



付録113 事態  $\alpha$  の未然的将来相におけるデーター北部方言・中年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、ユニフォームに着替え、走者レーンに向かっているAがいた。(Aはもうすぐ走る)	10			2	12
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、冷蔵庫から肉を取り出し、フライパンを温めているAがいた。(Aはもうすぐ肉を焼く)	6			6	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、空が曇り始めていて薄暗かった。(もうすぐ雨が降る)	9			3	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、机の上に資料を広げているAがいた。(Aはもうすぐ作戦を考える)	7			5	

付録114 事態  $\alpha$  の既然的将来相におけるデーター北部方言・中年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、スタートラインに立ち、手首足首を回しているAがいた。(Aは走る直前)	10			2	12
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、フライパンに油をひき、トレーから肉を取り出しているAがいた。(Aは肉を焼く直前)	6			6	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、空がどんより曇っていて、ジメジメしていた。(雨が降る直前)	9			3	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、机の上の資料に目を通し始めているAがいた。(Aは作戦を考える直前)	7			5	

付録115 事態  $\alpha$  の進行相におけるデーター北部方言・中年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Progressive	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、走っている最中のAがいた。(Aは走っている最中)		12	12		12
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、肉を焼いている最中のAがいた。(Aは肉を焼いている最中)		12	12		
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、雨が降っている最中だった。(雨が降っている最中)		12	11		
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、作戦を考えている最中のAがいた。(Aは作戦を考えている最中)		12	12		

付録116 事態  $\alpha$  の結果相におけるデーター北部方言・中年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、100m走を終えて休憩しているAがいた。(Aは既に走った後)		11	10	1	12
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、焼き終えた肉を皿へ移しているAがいた。(Aは既に肉を焼いた後)		8	8	4	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、地面が濡れ、水たまりができていた。(雨は既に降った後)		9	9	3	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、作戦会議を終えて資料を片付けているAがいた。(Aは既に作戦を考えただ後)		12	12		



付録117 事態βの未然的将来相におけるデーター北部方言・中年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 席に向かっているAがいた。(Aはもうすぐ座る)	10			2	12
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, 軽く痙攣しているネズミがいた。(ネズミはもうすぐ死ぬ)	9			3	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの燃料が少なくなっていた。(もうすぐ火が消える)	10			2	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, 火を消すためストーブに近付いているAがいた。(Aはもうすぐ火を消す)	9			3	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていた。(もうすぐ晴れる)	10			2	

付録118 事態βの既然的将来相におけるデーター北部方言・中年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 荷物を置いて, 椅子を引き出しているAがいた。(Aは座る直前)	10			2	12
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ひどく痙攣しているネズミがいた。(ネズミは死ぬ直前)	9			3	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの火がとても弱くなっていて, 消えていっている様子だった。(火が消える直前)	10			2	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープのスイッチに手を伸ばしているAがいた。(Aは火を消す直前)	9			3	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていて雨雲の隙間から太陽が見え始めていた。(晴れる直前)	10			2	

付録119 事態βの結果相におけるデーター北部方言・中年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 既に席に着いているAがいた。(Aは既に座った後)		12	12		12
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ネズミが1匹死んでいた。(ネズミは既に死んだ後)		12	12		
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, 点いているはずのストーブの火が消えていた。(火は消えた後)		12	11		
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープの火を消し終えて換気をしているAがいた。(Aは既に火を消した後)		12	10		
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雲ひとつない青空になっていた。(既に晴れた後)		12	11		

付録120 事態  $\alpha$  の未然的将来相におけるデーター北部方言・若年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、ユニフォームに着替え、走者レーンに向かっているAがいた。(Aはもうすぐ走る)	18			6	24
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、冷蔵庫から肉を取り出し、フライパンを温めているAがいた。(Aはもうすぐ肉を焼く)	15			9	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、空が曇り始めていて薄暗かった。(もうすぐ雨が降る)	16			8	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、机の上に資料を広げているAがいた。(Aはもうすぐ作戦を考える)	14			10	

付録121 事態  $\alpha$  の既然的将来相におけるデーター北部方言・若年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、スタートラインに立ち、手首足首を回しているAがいた。(Aは走る直前)	18			6	24
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、フライパンに油をひき、トレーから肉を取り出しているAがいた。(Aは肉を焼く直前)	15			9	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、空がどんより曇っていて、ジメジメしていた。(雨が降る直前)	16			8	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、机の上の資料に目を通し始めているAがいた。(Aは作戦を考える直前)	14			10	

付録122 事態  $\alpha$  の進行相におけるデーター北部方言・若年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Progressive	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、走っている最中のAがいた。(Aは走っている最中)		23	24		24
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、肉を焼いている最中のAがいた。(Aは肉を焼いている最中)		23	24		
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、雨が降っている最中だった。(雨が降っている最中)		22	24		
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、作戦を考えている最中のAがいた。(Aは作戦を考えている最中)		23	24		

付録123 事態  $\alpha$  の結果相におけるデーター北部方言・若年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、100m走を終えて休憩しているAがいた。(Aは既に走った後)		21	19	3	24
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、焼き終えた肉を皿へ移しているAがいた。(Aは既に肉を焼いた後)		19	19	5	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、地面が濡れ、水たまりができていた。(雨は既に降った後)		20	14	4	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、作戦会議を終えて資料を片付けているAがいた。(Aは既に作戦を考えただ後)		20	19	4	

付録124 事態βの未然的将来相におけるデーター北部方言・若年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 席に向かっているAがいた。(Aはもうすぐ座る)	21			3	24
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, 軽く痙攣しているネズミがいた。(ネズミはもうすぐ死ぬ)	17			7	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの燃料が少なくなっていた。(もうすぐ火が消える)	12			12	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, 火を消すためストーブに近付いているAがいた。(Aはもうすぐ火を消す)	17			7	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていた。(もうすぐ晴れる)	12			12	

付録125 事態βの既然的将来相におけるデーター北部方言・若年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 荷物を置いて, 椅子を引き出しているAがいた。(Aは座る直前)	21			3	24
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ひどく痙攣しているネズミがいた。(ネズミは死ぬ直前)	17			7	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの火がとても弱くなっていて, 消えていっている様子だった。(火が消える直前)	12			12	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープのスイッチに手を伸ばしているAがいた。(Aは火を消す直前)	17			7	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていて雨雲の隙間から太陽が見え始めていた。(晴れる直前)	12			12	

付録126 事態βの結果相におけるデーター北部方言・若年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 既に席に着いているAがいた。(Aは既に座った後)		23	24		24
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ネズミが1匹死んでいた。(ネズミは既に死んだ後)		23	24		
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, 点いているはずのストーブの火が消えていた。(火は消えた後)		24	22		
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープの火を消し終えて換気をしているAがいた。(Aは既に火を消した後)		24	21		
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雲ひとつない青空になっていた。(既に晴れた後)		24	22		

付録127 事態  $\alpha$  の未然的将来相におけるデーター南部方言・高年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、ユニフォームに着替え、走者レーンに向かっているAがいた。(Aはもうすぐ走る)				6	6
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、冷蔵庫から肉を取り出し、フライパンを温めているAがいた。(Aはもうすぐ肉を焼く)				6	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、空が曇り始めていて薄暗かった。(もうすぐ雨が降る)				6	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、机の上に資料を広げているAがいた。(Aはもうすぐ作戦を考える)				6	

付録128 事態  $\alpha$  の既然的将来相におけるデーター南部方言・高年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、スタートラインに立ち、手首足首を回しているAがいた。(Aは走る直前)				6	6
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、フライパンに油をひき、トレーから肉を取り出しているAがいた。(Aは肉を焼く直前)				6	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、空がどんより曇っていて、ジメジメしていた。(雨が降る直前)				6	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、机の上の資料に目を通し始めているAがいた。(Aは作戦を考える直前)				6	

付録129 事態  $\alpha$  の進行相におけるデーター南部方言・高年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Progressive	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、走っている最中のAがいた。(Aは走っている最中)	6	4			6
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、肉を焼いている最中のAがいた。(Aは肉を焼いている最中)	6	4			
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、雨が降っている最中だった。(雨が降っている最中)	6	4			
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、作戦を考えている最中のAがいた。(Aは作戦を考えている最中)	6	4			

付録130 事態  $\alpha$  の結果相におけるデーター南部方言・高年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、100m走を終えて休憩しているAがいた。(Aは既に走った後)		1		5	6
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、焼き終えた肉を皿へ移しているAがいた。(Aは既に肉を焼いた後)				6	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、地面が濡れ、水たまりができていた。(雨は既に降った後)		2		4	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、作戦会議を終えて資料を片付けているAがいた。(Aは既に作戦を考えた後)		3		3	

付録131 事態βの未然的将来相におけるデーター南部方言・高年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 席に向かっているAがいた。(Aはもうすぐ座る)				6	6
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, 軽く痙攣しているネズミがいた。(ネズミはもうすぐ死ぬ)				6	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの燃料が少なくなっていた。(もうすぐ火が消える)				6	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, 火を消すためストーブに近付いているAがいた。(Aはもうすぐ火を消す)				6	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていた。(もうすぐ晴れる)				6	

付録132 事態βの既然的将来相におけるデーター南部方言・高年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 荷物を置いて, 椅子を引き出しているAがいた。(Aは座る直前)	6				6
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ひどく痙攣しているネズミがいた。(ネズミは死ぬ直前)	4			2	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの火がとても弱くなっていて, 消えていっている様子だった。(火が消える直前)	6				
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープのスイッチに手を伸ばしているAがいた。(Aは火を消す直前)	6				
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていて雨雲の隙間から太陽が見え始めていた。(晴れる直前)	6				

付録133 事態βの結果相におけるデーター南部方言・高年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 既に席に着いているAがいた。(Aは既に座った後)	3	6			6
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ネズミが1匹死んでいた。(ネズミは既に死んだ後)		6			
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, 点いているはずのストーブの火が消えていた。(火は消えた後)		6			
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープの火を消し終えて換気をしているAがいた。(Aは既に火を消した後)		4		2	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雲ひとつない青空になっていた。(既に晴れた後)		6			

付録134 事態  $\alpha$  の未然的将来相におけるデーター南部方言・中年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、ユニフォームに着替え、走者レーンに向かっているAがいた。(Aはもうすぐ走る)				7	7
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、冷蔵庫から肉を取り出し、フライパンを温めているAがいた。(Aはもうすぐ肉を焼く)				7	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、空が曇り始めていて薄暗かった。(もうすぐ雨が降る)				7	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、机の上に資料を広げているAがいた。(Aはもうすぐ作戦を考える)				7	

付録135 事態  $\alpha$  の既然的将来相におけるデーター南部方言・中年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、スタートラインに立ち、手首足首を回しているAがいた。(Aは走る直前)				7	7
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、フライパンに油をひき、トレーから肉を取り出しているAがいた。(Aは肉を焼く直前)				7	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、空がどんより曇っていて、ジメジメしていた。(雨が降る直前)				7	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、机の上の資料に目を通し始めているAがいた。(Aは作戦を考える直前)				7	

付録136 事態  $\alpha$  の進行相におけるデーター南部方言・中年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Progressive	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、走っている最中のAがいた。(Aは走っている最中)	7	7			7
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、肉を焼いている最中のAがいた。(Aは肉を焼いている最中)	7	7			
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、雨が降っている最中だった。(雨が降っている最中)	7	7			
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、作戦を考えている最中のAがいた。(Aは作戦を考えている最中)	7	7			

付録137 事態  $\alpha$  の結果相におけるデーター南部方言・中年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、100m走を終えて休憩しているAがいた。(Aは既に走った後)		5		2	7
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、焼き終えた肉を皿へ移しているAがいた。(Aは既に肉を焼いた後)		5		2	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、地面が濡れ、水たまりができていた。(雨は既に降った後)		4		3	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、作戦会議を終えて資料を片付けているAがいた。(Aは既に作戦を考えた後)		5		2	

付録138 事態βの未然的将来相におけるデーター南部方言・中年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 席に向かっているAがいた。(Aはもうすぐ座る)				7	7
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, 軽く痙攣しているネズミがいた。(ネズミはもうすぐ死ぬ)				7	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの燃料が少なくなっていた。(もうすぐ火が消える)				7	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, 火を消すためストーブに近付いているAがいた。(Aはもうすぐ火を消す)				7	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていた。(もうすぐ晴れる)				7	

付録139 事態βの既然的将来相におけるデーター南部方言・中年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 荷物を置いて, 椅子を引き出しているAがいた。(Aは座る直前)	7				7
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ひどく痙攣しているネズミがいた。(ネズミは死ぬ直前)	5			2	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの火がとても弱くなっていて, 消えていっている様子だった。(火が消える直前)	5			2	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープのスイッチに手を伸ばしているAがいた。(Aは火を消す直前)	7				
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていて雨雲の隙間から太陽が見え始めていた。(晴れる直前)	5			2	

付録140 事態βの結果相におけるデーター南部方言・中年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 既に席に着いているAがいた。(Aは既に座った後)	1	7			7
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ネズミが1匹死んでいた。(ネズミは既に死んだ後)		7			
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, 点いているはずのストーブの火が消えていた。(火は消えた後)		7			
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープの火を消し終えて換気をしているAがいた。(Aは既に火を消した後)		7			
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雲ひとつない青空になっていた。(既に晴れた後)		7			



付録141 事態  $\alpha$  の未然的将来相におけるデーター南部方言・若年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、ユニフォームに着替え、走者レーンに向かっているAがいた。(Aはもうすぐ走る)				6	6
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、冷蔵庫から肉を取り出し、フライパンを温めているAがいた。(Aはもうすぐ肉を焼く)				6	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、空が曇り始めていて薄暗かった。(もうすぐ雨が降る)				6	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、机の上に資料を広げているAがいた。(Aはもうすぐ作戦を考える)				6	

付録142 事態  $\alpha$  の既然的将来相におけるデーター南部方言・若年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、スタートラインに立ち、手首足首を回しているAがいた。(Aは走る直前)				6	6
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、フライパンに油をひき、トレーから肉を取り出しているAがいた。(Aは肉を焼く直前)				6	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、空がどんより曇っていて、ジメジメしていた。(雨が降る直前)				6	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、机の上の資料に目を通し始めているAがいた。(Aは作戦を考える直前)				6	

付録143 事態  $\alpha$  の進行相におけるデーター南部方言・若年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Progressive	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、走っている最中のAがいた。(Aは走っている最中)	6	6			6
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、肉を焼いている最中のAがいた。(Aは肉を焼いている最中)	6	6			
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、雨が降っている最中だった。(雨が降っている最中)	6	4			
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、作戦を考えている最中のAがいた。(Aは作戦を考えている最中)	6	6			

付録144 事態  $\alpha$  の結果相におけるデーター南部方言・若年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、100m走を終えて休憩しているAがいた。(Aは既に走った後)		5		1	6
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、焼き終えた肉を皿へ移しているAがいた。(Aは既に肉を焼いた後)		5		1	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、地面が濡れ、水たまりができていた。(雨は既に降った後)		5		1	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、作戦会議を終えて資料を片付けているAがいた。(Aは既に作戦を考えた後)		5		1	



付録145 事態βの未然的将来相におけるデーター南部方言・若年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 席に向かっているAがいた。(Aはもうすぐ座る)				6	6
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, 軽く痙攣しているネズミがいた。(ネズミはもうすぐ死ぬ)				6	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの燃料が少なくなっていた。(もうすぐ火が消える)				6	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, 火を消すためストーブに近付いているAがいた。(Aはもうすぐ火を消す)				6	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていた。(もうすぐ晴れる)				6	

付録146 事態βの既然的将来相におけるデーター南部方言・若年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 荷物を置いて, 椅子を引き出しているAがいた。(Aは座る直前)	6				6
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ひどく痙攣しているネズミがいた。(ネズミは死ぬ直前)	4			2	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの火がとても弱くなっていて, 消えていっている様子だった。(火が消える直前)	5			1	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープのスイッチに手を伸ばしているAがいた。(Aは火を消す直前)	6				
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていて雨雲の隙間から太陽が見え始めていた。(晴れる直前)	5			1	

付録147 事態βの結果相におけるデーター南部方言・若年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 既に席に着いているAがいた。(Aは既に座った後)		6			6
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ネズミが1匹死んでいた。(ネズミは既に死んだ後)		6			
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, 点いているはずのストーブの火が消えていた。(火は消えた後)		6			
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープの火を消し終えて換気をしているAがいた。(Aは既に火を消した後)		6			
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雲ひとつない青空になっていた。(既に晴れた後)		6			

## 4.1.5. 兵庫方言のアスペクト体系

付録148 事態  $\alpha$  の未然的将然相におけるデーター摂津播磨方言・高年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後, 運動場に行くと, ユニフォームに着替え, 走者レーンに向かっているAがいた。(Aはもうすぐ走る)	6			5	11
焼く	主体動作 客体変化	夕食前, 台所に行くと, 冷蔵庫から肉を取り出し, フライパンを温めているAがいた。(Aはもうすぐ肉を焼く)	6			5	
降る	自然現象	朝, 部屋のカーテンを開けると, 空が曇り始めていて薄暗かった。(もうすぐ雨が降る)	6			5	
考える	心理	昼食後, 会議室に入ると, 机の上に資料を広げているAがいた。(Aはもうすぐ作戦を考える)	6			5	

付録149 事態  $\alpha$  の既然的将然相におけるデーター摂津播磨方言・高年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後, 運動場に行くと, スタートラインに立ち, 手首足首を回しているAがいた。(Aは走る直前)	11				11
焼く	主体動作 客体変化	夕食前, 台所に行くと, フライパンに油をひき, トレーから肉を取り出しているAがいた。(Aは肉を焼く直前)	11				
降る	自然現象	朝, 部屋のカーテンを開けると, 空がどんより曇っていて, ジメジメしていた。(雨が降る直前)	1			10	
考える	心理	昼食後, 会議室に入ると, 机の上の資料に目を通し始めているAがいた。(Aは作戦を考える直前)	11				

付録150 事態  $\alpha$  の進行相におけるデーター摂津播磨方言・高年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Progressive	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後, 運動場に行くと, 走っている最中のAがいた。(Aは走っている最中)	11	11			11
焼く	主体動作 客体変化	夕食前, 台所に行くと, 肉を焼いている最中のAがいた。(Aは肉を焼いている最中)	11	11			
降る	自然現象	朝, 部屋のカーテンを開けると, 雨が降っている最中だった。(雨が降っている最中)	10	11			
考える	心理	昼食後, 会議室に入ると, 作戦を考えている最中のAがいた。(Aは作戦を考えている最中)	11	11			

付録151 事態  $\alpha$  の結果相におけるデーター摂津播磨方言・高年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後, 運動場に行くと, 100m走を終えて休憩しているAがいた。(Aは既に走った後)		11			11
焼く	主体動作 客体変化	夕食前, 台所に行くと, 焼き終えた肉を皿へ移しているAがいた。(Aは既に肉を焼いた後)		11			
降る	自然現象	朝, 部屋のカーテンを開けると, 地面が濡れ, 水たまりができていた。(雨は既に降った後)		6		5	
考える	心理	昼食後, 会議室に入ると, 作戦会議を終えて資料を片付けているAがいた。(Aは既に作戦考えた後)		11			

付録152 事態βの未然的将来相におけるデーター摂津播磨方言・高年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 席に向かっているAがいた。(Aはもうすぐ座る)	6			5	11
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, 軽く痙攣しているネズミがいた。(ネズミはもうすぐ死ぬ)	6			5	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの燃料が少なくなっていた。(もうすぐ火が消える)	6			5	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, 火を消すためストーブに近付いているAがいた。(Aはもうすぐ火を消す)	6			5	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていた。(もうすぐ晴れる)	6			5	

付録153 事態βの既然的将来相におけるデーター摂津播磨方言・高年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 荷物を置いて, 椅子を引き出しているAがいた。(Aは座る直前)	11				11
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ひどく痙攣しているネズミがいた。(ネズミは死ぬ直前)	11				
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの火がとても弱くなっていて, 消えていっている様子だった。(火が消える直前)	11				
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープのスイッチに手を伸ばしているAがいた。(Aは火を消す直前)	11				
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていて雨雲の隙間から太陽が見え始めていた。(晴れる直前)	11				

付録154 事態βの結果相におけるデーター摂津播磨方言・高年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 既に席に着いているAがいた。(Aは既に座った後)		11			11
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ネズミが1匹死んでいた。(ネズミは既に死んだ後)		11			
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, 点いているはずのストーブの火が消えていた。(火は消えた後)		11			
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープの火を消し終えて換気をしているAがいた。(Aは既に火を消した後)		11			
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雲ひとつない青空になっていた。(既に晴れた後)		11			

付録155 事態  $\alpha$  の未然的将来相におけるデーター摂津播磨方言・中年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、ユニフォームに着替え、走者レーンに向かっているAがいた。(Aはもうすぐ走る)	10			2	12
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、冷蔵庫から肉を取り出し、フライパンを温めているAがいた。(Aはもうすぐ肉を焼く)	10			2	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、空が曇り始めていて薄暗かった。(もうすぐ雨が降る)	10			2	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、机の上に資料を広げているAがいた。(Aはもうすぐ作戦を考える)	10			2	

付録156 事態  $\alpha$  の既然的将来相におけるデーター摂津播磨方言・中年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、スタートラインに立ち、手首足首を回しているAがいた。(Aは走る直前)	12				12
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、フライパンに油をひき、トレーから肉を取り出しているAがいた。(Aは肉を焼く直前)	12				
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、空がどんより曇っていて、ジメジメしていた。(雨が降る直前)	1			11	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、机の上の資料に目を通し始めているAがいた。(Aは作戦を考える直前)	12				

付録157 事態  $\alpha$  の進行相におけるデーター摂津播磨方言・中年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Progressive	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、走っている最中のAがいた。(Aは走っている最中)	11	12			12
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、肉を焼いている最中のAがいた。(Aは肉を焼いている最中)	11	12			
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、雨が降っている最中だった。(雨が降っている最中)	11	12			
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、作戦を考えている最中のAがいた。(Aは作戦を考えている最中)	11	12			

付録158 事態  $\alpha$  の結果相におけるデーター摂津播磨方言・中年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、100m走を終えて休憩しているAがいた。(Aは既に走った後)		12			12
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、焼き終えた肉を皿へ移しているAがいた。(Aは既に肉を焼いた後)		12			
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、地面が濡れ、水たまりができていた。(雨は既に降った後)		6		6	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、作戦会議を終えて資料を片付けているAがいた。(Aは既に作戦を考えた後)		12			

付録159 事態βの未然的将来相におけるデーター摂津播磨方言・中年層一

Verb	Property	[β] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 席に向かっているAがいた。(Aはもうすぐ座る)	10			2	12
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, 軽く痙攣しているネズミがいた。(ネズミはもうすぐ死ぬ)	10			2	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの燃料が少なくなっていた。(もうすぐ火が消える)	10			2	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, 火を消すためストーブに近付いているAがいた。(Aはもうすぐ火を消す)	10			2	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていた。(もうすぐ晴れる)	10			2	

付録160 事態βの既然的将来相におけるデーター摂津播磨方言・中年層一

Verb	Property	[β] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 荷物を置いて, 椅子を引き出しているAがいた。(Aは座る直前)	12				12
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ひどく痙攣しているネズミがいた。(ネズミは死ぬ直前)	12				
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの火がとても弱くなっていて, 消えていっている様子だった。(火が消える直前)	12				
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープのスイッチに手を伸ばしているAがいた。(Aは火を消す直前)	12				
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていて雨雲の隙間から太陽が見え始めていた。(晴れる直前)	12				

付録161 事態βの結果相におけるデーター摂津播磨方言・中年層一

Verb	Property	[β] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 既に席に着いているAがいた。(Aは既に座った後)		12			12
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ネズミが1匹死んでいた。(ネズミは既に死んだ後)		12			
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, 点いているはずのストーブの火が消えていた。(火は消えた後)		12			
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープの火を消し終えて換気をしているAがいた。(Aは既に火を消した後)		12			
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雲ひとつない青空になっていた。(既に晴れた後)		12			

付録162 事態  $\alpha$  の未然的将来相におけるデーター摂津播磨方言・若年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、ユニフォームに着替え、走者レーンに向かっているAがいた。(Aはもうすぐ走る)	12			4	16
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、冷蔵庫から肉を取り出し、フライパンを温めているAがいた。(Aはもうすぐ肉を焼く)	12			4	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、空が曇り始めていて薄暗かった。(もうすぐ雨が降る)	12			4	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、机の上に資料を広げているAがいた。(Aはもうすぐ作戦を考える)	12			4	

付録163 事態  $\alpha$  の既然的将来相におけるデーター摂津播磨方言・若年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、スタートラインに立ち、手首足首を回しているAがいた。(Aは走る直前)	16				16
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、フライパンに油をひき、トレーから肉を取り出しているAがいた。(Aは肉を焼く直前)	16				
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、空がどんより曇っていて、ジメジメしていた。(雨が降る直前)	2			14	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、机の上の資料に目を通し始めているAがいた。(Aは作戦を考える直前)	16				

付録164 事態  $\alpha$  の進行相におけるデーター摂津播磨方言・若年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Progressive	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、走っている最中のAがいた。(Aは走っている最中)	16	16			16
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、肉を焼いている最中のAがいた。(Aは肉を焼いている最中)	16	16			
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、雨が降っている最中だった。(雨が降っている最中)	15	16			
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、作戦を考えている最中のAがいた。(Aは作戦を考えている最中)	16	16			

付録165 事態  $\alpha$  の結果相におけるデーター摂津播磨方言・若年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、100m走を終えて休憩しているAがいた。(Aは既に走った後)		16			16
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、焼き終えた肉を皿へ移しているAがいた。(Aは既に肉を焼いた後)		16			
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、地面が濡れ、水たまりができていた。(雨は既に降った後)		12		4	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、作戦会議を終えて資料を片付けているAがいた。(Aは既に作戦を考えた後)		16			

付録166 事態βの未然的将来相におけるデーター摂津播磨方言・若年層一

Verb	Property	[β] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 席に向かっているAがいた。(Aはもうすぐ座る)	12			4	16
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, 軽く痙攣しているネズミがいた。(ネズミはもうすぐ死ぬ)	12			4	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの燃料が少なくなっていた。(もうすぐ火が消える)	12			4	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, 火を消すためストーブに近付いているAがいた。(Aはもうすぐ火を消す)	12			4	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていた。(もうすぐ晴れる)	12			4	

付録167 事態βの既然的将来相におけるデーター摂津播磨方言・若年層一

Verb	Property	[β] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 荷物を置いて, 椅子を引き出しているAがいた。(Aは座る直前)	16				16
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ひどく痙攣しているネズミがいた。(ネズミは死ぬ直前)	16				
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの火がとても弱くなっていて, 消えていっている様子だった。(火が消える直前)	16				
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープのスイッチに手を伸ばしているAがいた。(Aは火を消す直前)	16				
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていて雨雲の隙間から太陽が見え始めていた。(晴れる直前)	16				

付録168 事態βの結果相におけるデーター摂津播磨方言・若年層一

Verb	Property	[β] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 既に席に着いているAがいた。(Aは既に座った後)		16			16
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ネズミが1匹死んでいた。(ネズミは既に死んだ後)		16			
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, 点いているはずのストーブの火が消えていた。(火は消えた後)		16			
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープの火を消し終えて換気をしているAがいた。(Aは既に火を消した後)		16			
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雲ひとつない青空になっていた。(既に晴れた後)		16			



付録169 事態  $\alpha$  の未然的将然相におけるデーター淡路方言・高年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、ユニフォームに着替え、走者レーンに向かっているAがいた。(Aはもうすぐ走る)				6	6
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、冷蔵庫から肉を取り出し、フライパンを温めているAがいた。(Aはもうすぐ肉を焼く)				6	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、空が曇り始めていて薄暗かった。(もうすぐ雨が降る)				6	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、机の上に資料を広げているAがいた。(Aはもうすぐ作戦を考える)				6	

付録170 事態  $\alpha$  の既然的将然相におけるデーター淡路方言・高年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、スタートラインに立ち、手首足首を回しているAがいた。(Aは走る直前)	3			3	6
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、フライパンに油をひき、トレーから肉を取り出しているAがいた。(Aは肉を焼く直前)	3			3	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、空がどんより曇っていて、ジメジメしていた。(雨が降る直前)	3			3	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、机の上の資料に目を通し始めているAがいた。(Aは作戦を考える直前)	3			3	

付録171 事態  $\alpha$  の進行相におけるデーター淡路方言・高年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Progressive	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、走っている最中のAがいた。(Aは走っている最中)	3	6			6
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、肉を焼いている最中のAがいた。(Aは肉を焼いている最中)	3	6			
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、雨が降っている最中だった。(雨が降っている最中)	3	6			
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、作戦を考えている最中のAがいた。(Aは作戦を考えている最中)	3	6			

付録172 事態  $\alpha$  の結果相におけるデーター淡路方言・高年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、100m走を終えて休憩しているAがいた。(Aは既に走った後)		6			6
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、焼き終えた肉を皿へ移しているAがいた。(Aは既に肉を焼いた後)		5		1	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、地面が濡れ、水たまりができていた。(雨は既に降った後)		4		2	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、作戦会議を終えて資料を片付けているAがいた。(Aは既に作戦を考えた後)		6			



付録173 事態βの未然的将来相におけるデーター淡路方言・高年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 席に向かっているAがいた。(Aはもうすぐ座る)				6	6
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, 軽く痙攣しているネズミがいた。(ネズミはもうすぐ死ぬ)				6	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの燃料が少なくなっていた。(もうすぐ火が消える)				6	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, 火を消すためストーブに近付いているAがいた。(Aはもうすぐ火を消す)				6	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていた。(もうすぐ晴れる)				6	

付録174 事態βの既然的将来相におけるデーター淡路方言・高年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 荷物を置いて, 椅子を引き出しているAがいた。(Aは座る直前)	5			1	6
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ひどく痙攣しているネズミがいた。(ネズミは死ぬ直前)	4			2	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの火がとても弱くなっていて, 消えていっている様子だった。(火が消える直前)	4			2	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープのスイッチに手を伸ばしているAがいた。(Aは火を消す直前)	4			2	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていて雨雲の隙間から太陽が見え始めていた。(晴れる直前)	5			1	

付録175 事態βの結果相におけるデーター淡路方言・高年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 既に席に着いているAがいた。(Aは既に座った後)		6			6
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ネズミが1匹死んでいた。(ネズミは既に死んだ後)		6			
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, 点いているはずのストーブの火が消えていた。(火は消えた後)		6			
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープの火を消し終えて換気をしているAがいた。(Aは既に火を消した後)		6			
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雲ひとつない青空になっていた。(既に晴れた後)		6			

付録176 事態  $\alpha$  の未然的将来相におけるデーター淡路方言・中年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、ユニフォームに着替え、走者レーンに向かっているAがいた。(Aはもうすぐ走る)				5	5
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、冷蔵庫から肉を取り出し、フライパンを温めているAがいた。(Aはもうすぐ肉を焼く)				5	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、空が曇り始めていて薄暗かった。(もうすぐ雨が降る)				5	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、机の上に資料を広げているAがいた。(Aはもうすぐ作戦を考える)				5	

付録177 事態  $\alpha$  の既然的将来相におけるデーター淡路方言・中年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、スタートラインに立ち、手首足首を回しているAがいた。(Aは走る直前)	2			3	5
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、フライパンに油をひき、トレーから肉を取り出しているAがいた。(Aは肉を焼く直前)	2			3	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、空がどんより曇っていて、ジメジメしていた。(雨が降る直前)				5	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、机の上の資料に目を通し始めているAがいた。(Aは作戦を考える直前)	2			3	

付録178 事態  $\alpha$  の進行相におけるデーター淡路方言・中年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Progressive	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、走っている最中のAがいた。(Aは走っている最中)	2	5			5
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、肉を焼いている最中のAがいた。(Aは肉を焼いている最中)	2	5			
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、雨が降っている最中だった。(雨が降っている最中)	2	5			
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、作戦を考えている最中のAがいた。(Aは作戦を考えている最中)	2	5			

付録179 事態  $\alpha$  の結果相におけるデーター淡路方言・中年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、100m走を終えて休憩しているAがいた。(Aは既に走った後)		5			5
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、焼き終えた肉を皿へ移しているAがいた。(Aは既に肉を焼いた後)		5			
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、地面が濡れ、水たまりができていた。(雨は既に降った後)		2		3	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、作戦会議を終えて資料を片付けているAがいた。(Aは既に作戦を考えた後)		5			

付録180 事態βの未然的将来相におけるデーター淡路方言・中年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 席に向かっているAがいた。(Aはもうすぐ座る)				5	5
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, 軽く痙攣しているネズミがいた。(ネズミはもうすぐ死ぬ)				5	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの燃料が少なくなっていた。(もうすぐ火が消える)				5	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, 火を消すためストーブに近付いているAがいた。(Aはもうすぐ火を消す)				5	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていた。(もうすぐ晴れる)				5	

付録181 事態βの既然的将来相におけるデーター淡路方言・中年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 荷物を置いて, 椅子を引き出しているAがいた。(Aは座る直前)	2			3	5
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ひどく痙攣しているネズミがいた。(ネズミは死ぬ直前)	2			3	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの火がとても弱くなっていて, 消えていっている様子だった。(火が消える直前)	2			3	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープのスイッチに手を伸ばしているAがいた。(Aは火を消す直前)	2			3	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていて雨雲の隙間から太陽が見え始めていた。(晴れる直前)	2			3	

付録182 事態βの結果相におけるデーター淡路方言・中年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 既に席に着いているAがいた。(Aは既に座った後)		5			5
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ネズミが1匹死んでいた。(ネズミは既に死んだ後)		5			
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, 点いているはずのストーブの火が消えていた。(火は消えた後)		5			
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープの火を消し終えて換気をしているAがいた。(Aは既に火を消した後)		5			
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雲ひとつない青空になっていた。(既に晴れた後)		5			

付録183 事態  $\alpha$  の未然的将来相におけるデーター淡路方言・若年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、ユニフォームに着替え、走者レーンに向かっているAがいた。(Aはもうすぐ走る)				5	5
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、冷蔵庫から肉を取り出し、フライパンを温めているAがいた。(Aはもうすぐ肉を焼く)				5	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、空が曇り始めていて薄暗かった。(もうすぐ雨が降る)				5	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、机の上に資料を広げているAがいた。(Aはもうすぐ作戦を考える)				5	

付録184 事態  $\alpha$  の既然的将来相におけるデーター淡路方言・若年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、スタートラインに立ち、手首足首を回しているAがいた。(Aは走る直前)	2			3	5
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、フライパンに油をひき、トレーから肉を取り出しているAがいた。(Aは肉を焼く直前)	2			3	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、空がどんより曇っていて、ジメジメしていた。(雨が降る直前)				5	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、机の上の資料に目を通し始めているAがいた。(Aは作戦を考える直前)	2			3	

付録185 事態  $\alpha$  の進行相におけるデーター淡路方言・若年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Progressive	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、走っている最中のAがいた。(Aは走っている最中)	2	5			5
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、肉を焼いている最中のAがいた。(Aは肉を焼いている最中)	2	5			
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、雨が降っている最中だった。(雨が降っている最中)	2	5			
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、作戦を考えている最中のAがいた。(Aは作戦を考えている最中)	2	5			

付録186 事態  $\alpha$  の結果相におけるデーター淡路方言・若年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、100m走を終えて休憩しているAがいた。(Aは既に走った後)		5			5
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、焼き終えた肉を皿へ移しているAがいた。(Aは既に肉を焼いた後)		5			
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、地面が濡れ、水たまりができていた。(雨は既に降った後)		2		3	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、作戦会議を終えて資料を片付けているAがいた。(Aは既に作戦を考えた後)		5			

付録187 事態βの未然的将来相におけるデーター淡路方言・若年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 席に向かっているAがいた。(Aはもうすぐ座る)				5	5
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, 軽く痙攣しているネズミがいた。(ネズミはもうすぐ死ぬ)				5	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの燃料が少なくなっていた。(もうすぐ火が消える)				5	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, 火を消すためストーブに近付いているAがいた。(Aはもうすぐ火を消す)				5	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていた。(もうすぐ晴れる)				5	

付録188 事態βの既然的将来相におけるデーター淡路方言・若年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 荷物を置いて, 椅子を引き出しているAがいた。(Aは座る直前)	2			3	5
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ひどく痙攣しているネズミがいた。(ネズミは死ぬ直前)	2			3	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの火がとても弱くなっていて, 消えていっている様子だった。(火が消える直前)	2			3	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープのスイッチに手を伸ばしているAがいた。(Aは火を消す直前)	2			3	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていて雨雲の隙間から太陽が見え始めていた。(晴れる直前)	2			3	

付録189 事態βの結果相におけるデーター淡路方言・若年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 既に席に着いているAがいた。(Aは既に座った後)		5			5
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ネズミが1匹死んでいた。(ネズミは既に死んだ後)		5			
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, 点いているはずのストーブの火が消えていた。(火は消えた後)		5			
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープの火を消し終えて換気をしているAがいた。(Aは既に火を消した後)		5			
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雲ひとつない青空になっていた。(既に晴れた後)		5			

付録190 事態  $\alpha$  の未然的将来相におけるデーター但馬方言・高年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、ユニフォームに着替え、走者レーンに向かっているAがいた。(Aはもうすぐ走る)				6	6
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、冷蔵庫から肉を取り出し、フライパンを温めているAがいた。(Aはもうすぐ肉を焼く)				6	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、空が曇り始めていて薄暗かった。(もうすぐ雨が降る)				6	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、机の上に資料を広げているAがいた。(Aはもうすぐ作戦を考える)				6	

付録191 事態  $\alpha$  の既然的将来相におけるデーター但馬方言・高年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、スタートラインに立ち、手首足首を回しているAがいた。(Aは走る直前)	2			4	6
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、フライパンに油をひき、トレーから肉を取り出しているAがいた。(Aは肉を焼く直前)	2			4	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、空がどんより曇っていて、ジメジメしていた。(雨が降る直前)	2			4	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、机の上の資料に目を通し始めているAがいた。(Aは作戦を考える直前)	2			4	

付録192 事態  $\alpha$  の進行相におけるデーター但馬方言・高年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Progressive	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、走っている最中のAがいた。(Aは走っている最中)	6	6			6
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、肉を焼いている最中のAがいた。(Aは肉を焼いている最中)	6	3			
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、雨が降っている最中だった。(雨が降っている最中)	6	6			
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、作戦を考えている最中のAがいた。(Aは作戦を考えている最中)	6	6			

付録193 事態  $\alpha$  の結果相におけるデーター但馬方言・高年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、100m走を終えて休憩しているAがいた。(Aは既に走った後)		6			6
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、焼き終えた肉を皿へ移しているAがいた。(Aは既に肉を焼いた後)		6			
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、地面が濡れ、水たまりができていた。(雨は既に降った後)		3		3	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、作戦会議を終えて資料を片付けているAがいた。(Aは既に作戦を考えた後)		6			

付録194 事態βの未然的将来相におけるデーター但馬方言・高年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 席に向かっているAがいた。(Aはもうすぐ座る)				6	6
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, 軽く痙攣しているネズミがいた。(ネズミはもうすぐ死ぬ)				6	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの燃料が少なくなっていた。(もうすぐ火が消える)				6	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, 火を消すためストーブに近付いているAがいた。(Aはもうすぐ火を消す)				6	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていた。(もうすぐ晴れる)				6	

付録195 事態βの既然的将来相におけるデーター但馬方言・高年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 荷物を置いて, 椅子を引き出しているAがいた。(Aは座る直前)	6				6
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ひどく痙攣しているネズミがいた。(ネズミは死ぬ直前)	6				
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの火がとても弱くなっていて, 消えていっている様子だった。(火が消える直前)	6				
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープのスイッチに手を伸ばしているAがいた。(Aは火を消す直前)	6				
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていて雨雲の隙間から太陽が見え始めていた。(晴れる直前)	6				

付録196 事態βの結果相におけるデーター但馬方言・高年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 既に席に着いているAがいた。(Aは既に座った後)		6			6
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ネズミが1匹死んでいた。(ネズミは既に死んだ後)		6			
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, 点いているはずのストーブの火が消えていた。(火は消えた後)		6			
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープの火を消し終えて換気をしているAがいた。(Aは既に火を消した後)		6			
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雲ひとつない青空になっていた。(既に晴れた後)		6			



付録197 事態  $\alpha$  の未然的将来相におけるデーター但馬方言・中年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、ユニフォームに着替え、走者レーンに向かっているAがいた。(Aはもうすぐ走る)				4	4
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、冷蔵庫から肉を取り出し、フライパンを温めているAがいた。(Aはもうすぐ肉を焼く)				4	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、空が曇り始めていて薄暗かった。(もうすぐ雨が降る)				4	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、机の上に資料を広げているAがいた。(Aはもうすぐ作戦を考える)				4	

付録198 事態  $\alpha$  の既然的将来相におけるデーター但馬方言・中年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、スタートラインに立ち、手首足首を回しているAがいた。(Aは走る直前)	1			3	4
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、フライパンに油をひき、トレーから肉を取り出しているAがいた。(Aは肉を焼く直前)	1			3	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、空がどんより曇っていて、ジメジメしていた。(雨が降る直前)				4	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、机の上の資料に目を通し始めているAがいた。(Aは作戦を考える直前)	1			3	

付録199 事態  $\alpha$  の進行相におけるデーター但馬方言・中年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Progressive	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、走っている最中のAがいた。(Aは走っている最中)	4	4			4
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、肉を焼いている最中のAがいた。(Aは肉を焼いている最中)	4	1			
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、雨が降っている最中だった。(雨が降っている最中)	4	4			
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、作戦を考えている最中のAがいた。(Aは作戦を考えている最中)	4	4			

付録200 事態  $\alpha$  の結果相におけるデーター但馬方言・中年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、100m走を終えて休憩しているAがいた。(Aは既に走った後)		4			4
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、焼き終えた肉を皿へ移しているAがいた。(Aは既に肉を焼いた後)		4			
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、地面が濡れ、水たまりができていた。(雨は既に降った後)		2		2	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、作戦会議を終えて資料を片付けているAがいた。(Aは既に作戦を考えた後)		4			



付録201 事態βの未然的将来相におけるデーター但馬方言・中年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 席に向かっているAがいた。(Aはもうすぐ座る)				4	4
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, 軽く痙攣しているネズミがいた。(ネズミはもうすぐ死ぬ)				4	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの燃料が少なくなっていた。(もうすぐ火が消える)				4	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, 火を消すためストーブに近付いているAがいた。(Aはもうすぐ火を消す)				4	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていた。(もうすぐ晴れる)				4	

付録202 事態βの既然的将来相におけるデーター但馬方言・中年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 荷物を置いて, 椅子を引き出しているAがいた。(Aは座る直前)	4				4
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ひどく痙攣しているネズミがいた。(ネズミは死ぬ直前)	4				
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの火がとても弱くなっていて, 消えていっている様子だった。(火が消える直前)	4				
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープのスイッチに手を伸ばしているAがいた。(Aは火を消す直前)	4				
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていて雨雲の隙間から太陽が見え始めていた。(晴れる直前)	4				

付録203 事態βの結果相におけるデーター但馬方言・中年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 既に席に着いているAがいた。(Aは既に座った後)		4			4
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ネズミが1匹死んでいた。(ネズミは既に死んだ後)		4			
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, 点いているはずのストーブの火が消えていた。(火は消えた後)		4			
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープの火を消し終えて換気をしているAがいた。(Aは既に火を消した後)		4			
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雲ひとつない青空になっていた。(既に晴れた後)		4			

付録204 事態  $\alpha$  の未然的将来相におけるデーター但馬方言・若年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、ユニフォームに着替え、走者レーンに向かっているAがいた。(Aはもうすぐ走る)				7	7
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、冷蔵庫から肉を取り出し、フライパンを温めているAがいた。(Aはもうすぐ肉を焼く)				7	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、空が曇り始めていて薄暗かった。(もうすぐ雨が降る)				7	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、机の上に資料を広げているAがいた。(Aはもうすぐ作戦を考える)				7	

付録205 事態  $\alpha$  の既然的将来相におけるデーター但馬方言・若年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、スタートラインに立ち、手首足首を回しているAがいた。(Aは走る直前)	2			5	7
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、フライパンに油をひき、トレーから肉を取り出しているAがいた。(Aは肉を焼く直前)	2			5	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、空がどんより曇っていて、ジメジメしていた。(雨が降る直前)				7	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、机の上の資料に目を通し始めているAがいた。(Aは作戦を考える直前)	2			5	

付録206 事態  $\alpha$  の進行相におけるデーター但馬方言・若年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Progressive	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、走っている最中のAがいた。(Aは走っている最中)	7	7			7
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、肉を焼いている最中のAがいた。(Aは肉を焼いている最中)	7	3			
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、雨が降っている最中だった。(雨が降っている最中)	7	7			
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、作戦を考えている最中のAがいた。(Aは作戦を考えている最中)	7	7			

付録207 事態  $\alpha$  の結果相におけるデーター但馬方言・若年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、100m走を終えて休憩しているAがいた。(Aは既に走った後)		7			7
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、焼き終えた肉を皿へ移しているAがいた。(Aは既に肉を焼いた後)		7			
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、地面が濡れ、水たまりができていた。(雨は既に降った後)		4		3	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、作戦会議を終えて資料を片付けているAがいた。(Aは既に作戦を考えた後)		7			

付録208 事態βの未然的将来相におけるデーター但馬方言・若年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 席に向かっているAがいた。(Aはもうすぐ座る)				7	7
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, 軽く痙攣しているネズミがいた。(ネズミはもうすぐ死ぬ)				7	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの燃料が少なくなっていた。(もうすぐ火が消える)				7	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, 火を消すためストーブに近付いているAがいた。(Aはもうすぐ火を消す)				7	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていた。(もうすぐ晴れる)				7	

付録209 事態βの既然的将来相におけるデーター但馬方言・若年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 荷物を置いて, 椅子を引き出しているAがいた。(Aは座る直前)	7				7
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ひどく痙攣しているネズミがいた。(ネズミは死ぬ直前)	7				
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの火がとても弱くなっていて, 消えていっている様子だった。(火が消える直前)	7				
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープのスイッチに手を伸ばしているAがいた。(Aは火を消す直前)	7				
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていて雨雲の隙間から太陽が見え始めていた。(晴れる直前)	7				

付録210 事態βの結果相におけるデーター但馬方言・若年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 既に席に着いているAがいた。(Aは既に座った後)		7			7
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ネズミが1匹死んでいた。(ネズミは既に死んだ後)		7			
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, 点いているはずのストーブの火が消えていた。(火は消えた後)		7			
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープの火を消し終えて換気をしているAがいた。(Aは既に火を消した後)		7			
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雲ひとつない青空になっていた。(既に晴れた後)		7			

付録211 事態  $\alpha$  の未然的将来相におけるデーター丹波方言・高年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、ユニフォームに着替え、走者レーンに向かっているAがいた。(Aはもうすぐ走る)				4	4
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、冷蔵庫から肉を取り出し、フライパンを温めているAがいた。(Aはもうすぐ肉を焼く)				4	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、空が曇り始めていて薄暗かった。(もうすぐ雨が降る)				4	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、机の上に資料を広げているAがいた。(Aはもうすぐ作戦を考える)				4	

付録212 事態  $\alpha$  の既然的将来相におけるデーター丹波方言・高年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、スタートラインに立ち、手首足首を回しているAがいた。(Aは走る直前)	4				4
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、フライパンに油をひき、トレーから肉を取り出しているAがいた。(Aは肉を焼く直前)	4				
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、空がどんより曇っていて、ジメジメしていた。(雨が降る直前)	1			3	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、机の上の資料に目を通し始めているAがいた。(Aは作戦を考える直前)	4				

付録213 事態  $\alpha$  の進行相におけるデーター丹波方言・高年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Progressive	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、走っている最中のAがいた。(Aは走っている最中)	4	4			4
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、肉を焼いている最中のAがいた。(Aは肉を焼いている最中)	4	4			
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、雨が降っている最中だった。(雨が降っている最中)	3	4			
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、作戦を考えている最中のAがいた。(Aは作戦を考えている最中)	4	4			

付録214 事態  $\alpha$  の結果相におけるデーター丹波方言・高年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、100m走を終えて休憩しているAがいた。(Aは既に走った後)				4	4
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、焼き終えた肉を皿へ移しているAがいた。(Aは既に肉を焼いた後)				4	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、地面が濡れ、水たまりができていた。(雨は既に降った後)				4	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、作戦会議を終えて資料を片付けているAがいた。(Aは既に作戦を考えた後)				4	

付録215 事態βの未然的将来相におけるデーター丹波方言・高年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 席に向かっているAがいた。(Aはもうすぐ座る)				4	4
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, 軽く痙攣しているネズミがいた。(ネズミはもうすぐ死ぬ)				4	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの燃料が少なくなっていた。(もうすぐ火が消える)				4	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, 火を消すためストーブに近付いているAがいた。(Aはもうすぐ火を消す)				4	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていた。(もうすぐ晴れる)				4	

付録216 事態βの既然的将来相におけるデーター丹波方言・高年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 荷物を置いて, 椅子を引き出しているAがいた。(Aは座る直前)	4				4
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ひどく痙攣しているネズミがいた。(ネズミは死ぬ直前)	4				
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの火がとても弱くなっていて, 消えていっている様子だった。(火が消える直前)	4				
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープのスイッチに手を伸ばしているAがいた。(Aは火を消す直前)	4				
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていて雨雲の隙間から太陽が見え始めていた。(晴れる直前)	4				

付録217 事態βの結果相におけるデーター丹波方言・高年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 既に席に着いているAがいた。(Aは既に座った後)		4			4
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ネズミが1匹死んでいた。(ネズミは既に死んだ後)		4			
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, 点いているはずのストーブの火が消えていた。(火は消えた後)		4			
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープの火を消し終えて換気をしているAがいた。(Aは既に火を消した後)		4			
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雲ひとつない青空になっていた。(既に晴れた後)		4			

付録218 事態  $\alpha$  の未然的将来相におけるデーター丹波方言・中年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、ユニフォームに着替え、走者レーンに向かっているAがいた。(Aはもうすぐ走る)				3	3
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、冷蔵庫から肉を取り出し、フライパンを温めているAがいた。(Aはもうすぐ肉を焼く)				3	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、空が曇り始めていて薄暗かった。(もうすぐ雨が降る)				3	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、机の上に資料を広げているAがいた。(Aはもうすぐ作戦を考える)				3	

付録219 事態  $\alpha$  の既然的将来相におけるデーター丹波方言・中年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、スタートラインに立ち、手首足首を回しているAがいた。(Aは走る直前)	3				3
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、フライパンに油をひき、トレーから肉を取り出しているAがいた。(Aは肉を焼く直前)	3				
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、空がどんより曇っていて、ジメジメしていた。(雨が降る直前)	1			2	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、机の上の資料に目を通し始めているAがいた。(Aは作戦を考える直前)	3				

付録220 事態  $\alpha$  の進行相におけるデーター丹波方言・中年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Progressive	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、走っている最中のAがいた。(Aは走っている最中)	3	3			3
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、肉を焼いている最中のAがいた。(Aは肉を焼いている最中)	3	3			
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、雨が降っている最中だった。(雨が降っている最中)	3	3			
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、作戦を考えている最中のAがいた。(Aは作戦を考えている最中)	1	3			

付録221 事態  $\alpha$  の結果相におけるデーター丹波方言・中年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、100m走を終えて休憩しているAがいた。(Aは既に走った後)				3	3
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、焼き終えた肉を皿へ移しているAがいた。(Aは既に肉を焼いた後)				3	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、地面が濡れ、水たまりができていた。(雨は既に降った後)				3	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、作戦会議を終えて資料を片付けているAがいた。(Aは既に作戦を考えた後)				3	

付録222 事態βの未然的将来相におけるデーター丹波方言・中年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 席に向かっているAがいた。(Aはもうすぐ座る)				3	3
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, 軽く痙攣しているネズミがいた。(ネズミはもうすぐ死ぬ)				3	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの燃料が少なくなっていた。(もうすぐ火が消える)				3	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, 火を消すためストーブに近付いているAがいた。(Aはもうすぐ火を消す)				3	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていた。(もうすぐ晴れる)				3	

付録223 事態βの既然的将来相におけるデーター丹波方言・中年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 荷物を置いて, 椅子を引き出しているAがいた。(Aは座る直前)	3				3
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ひどく痙攣しているネズミがいた。(ネズミは死ぬ直前)	3				
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの火がとても弱くなっていて, 消えていっている様子だった。(火が消える直前)	3				
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープのスイッチに手を伸ばしているAがいた。(Aは火を消す直前)	3				
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていて雨雲の隙間から太陽が見え始めていた。(晴れる直前)	3				

付録224 事態βの結果相におけるデーター丹波方言・中年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 既に席に着いているAがいた。(Aは既に座った後)		3			3
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ネズミが1匹死んでいた。(ネズミは既に死んだ後)		3			
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, 点いているはずのストーブの火が消えていた。(火は消えた後)		3			
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープの火を消し終えて換気をしているAがいた。(Aは既に火を消した後)		3			
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雲ひとつない青空になっていた。(既に晴れた後)		3			



付録225 事態  $\alpha$  の未然的将来相におけるデーター丹波方言・若年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、ユニフォームに着替え、走者レーンに向かっているAがいた。(Aはもうすぐ走る)				5	5
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、冷蔵庫から肉を取り出し、フライパンを温めているAがいた。(Aはもうすぐ肉を焼く)				5	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、空が曇り始めていて薄暗かった。(もうすぐ雨が降る)				5	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、机の上に資料を広げているAがいた。(Aはもうすぐ作戦を考える)				5	

付録226 事態  $\alpha$  の既然的将来相におけるデーター丹波方言・若年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、スタートラインに立ち、手首足首を回しているAがいた。(Aは走る直前)	5				5
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、フライパンに油をひき、トレーから肉を取り出しているAがいた。(Aは肉を焼く直前)	5				
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、空がどんより曇っていて、ジメジメしていた。(雨が降る直前)	1			4	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、机の上の資料に目を通し始めているAがいた。(Aは作戦を考える直前)	5				

付録227 事態  $\alpha$  の進行相におけるデーター丹波方言・若年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Progressive	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、走っている最中のAがいた。(Aは走っている最中)	5	5			5
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、肉を焼いている最中のAがいた。(Aは肉を焼いている最中)	5	5			
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、雨が降っている最中だった。(雨が降っている最中)	5	5			
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、作戦を考えている最中のAがいた。(Aは作戦を考えている最中)	2	5			

付録228 事態  $\alpha$  の結果相におけるデーター丹波方言・若年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、100m走を終えて休憩しているAがいた。(Aは既に走った後)		1		4	5
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、焼き終えた肉を皿へ移しているAがいた。(Aは既に肉を焼いた後)		1		4	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、地面が濡れ、水たまりができていた。(雨は既に降った後)		1		4	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、作戦会議を終えて資料を片付けているAがいた。(Aは既に作戦を考えた後)		1		4	



付録229 事態 β の未然的将来相におけるデーター丹波方言・若年層一

Verb	Property	[β] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 席に向かっているAがいた。(Aはもうすぐ座る)				5	5
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, 軽く痙攣しているネズミがいた。(ネズミはもうすぐ死ぬ)				5	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの燃料が少なくなっていた。(もうすぐ火が消える)				5	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, 火を消すためストーブに近付いているAがいた。(Aはもうすぐ火を消す)				5	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていた。(もうすぐ晴れる)				5	

付録230 事態 β の既然的将来相におけるデーター丹波方言・若年層一

Verb	Property	[β] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 荷物を置いて, 椅子を引き出しているAがいた。(Aは座る直前)	5				5
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ひどく痙攣しているネズミがいた。(ネズミは死ぬ直前)	5				
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの火がとても弱くなっていて, 消えていっている様子だった。(火が消える直前)	5				
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープのスイッチに手を伸ばしているAがいた。(Aは火を消す直前)	5				
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていて雨雲の隙間から太陽が見え始めていた。(晴れる直前)	5				

付録231 事態 β の結果相におけるデーター丹波方言・若年層一

Verb	Property	[β] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 既に席に着いているAがいた。(Aは既に座った後)		5			5
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ネズミが1匹死んでいた。(ネズミは既に死んだ後)		5			
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, 点いているはずのストーブの火が消えていた。(火は消えた後)		5			
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープの火を消し終えて換気をしているAがいた。(Aは既に火を消した後)		5			
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雲ひとつない青空になっていた。(既に晴れた後)		5			

## 4.1.6. 三重方言のアスペクト体系

付録232 事態  $\alpha$  の未然的将然相におけるデーター北部方言・高年層ー

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後, 運動場に行くと, ユニフォームに着替え, 走者レーンに向かっているAがいた。(Aはもうすぐ走る)				17	17
焼く	主体動作 客体変化	夕食前, 台所に行くと, 冷蔵庫から肉を取り出し, フライパンを温めているAがいた。(Aはもうすぐ肉を焼く)				17	
降る	自然現象	朝, 部屋のカーテンを開けると, 空が曇り始めていて薄暗かった。(もうすぐ雨が降る)				17	
考える	心理	昼食後, 会議室に入ると, 机の上に資料を広げているAがいた。(Aはもうすぐ作戦を考える)				17	

付録233 事態  $\alpha$  の既然的将然相におけるデーター北部方言・高年層ー

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後, 運動場に行くと, スタートラインに立ち, 手首足首を回しているAがいた。(Aは走る直前)				17	17
焼く	主体動作 客体変化	夕食前, 台所に行くと, フライパンに油をひき, トレーから肉を取り出しているAがいた。(Aは肉を焼く直前)				17	
降る	自然現象	朝, 部屋のカーテンを開けると, 空がどんより曇っていて, ジメジメしていた。(雨が降る直前)				17	
考える	心理	昼食後, 会議室に入ると, 机の上の資料に目を通し始めているAがいた。(Aは作戦を考える直前)				17	

付録234 事態  $\alpha$  の進行相におけるデーター北部方言・高年層ー

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Progressive	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後, 運動場に行くと, 走っている最中のAがいた。(Aは走っている最中)		12	7		17
焼く	主体動作 客体変化	夕食前, 台所に行くと, 肉を焼いている最中のAがいた。(Aは肉を焼いている最中)		12	7		
降る	自然現象	朝, 部屋のカーテンを開けると, 雨が降っている最中だった。(雨が降っている最中)		12	7		
考える	心理	昼食後, 会議室に入ると, 作戦を考えている最中のAがいた。(Aは作戦を考えている最中)		12	7		

付録235 事態  $\alpha$  の結果相におけるデーター北部方言・高年層ー

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後, 運動場に行くと, 100m走を終えて休憩しているAがいた。(Aは既に走った後)		10	7	2	17
焼く	主体動作 客体変化	夕食前, 台所に行くと, 焼き終えた肉を皿へ移しているAがいた。(Aは既に肉を焼いた後)		10	7	2	
降る	自然現象	朝, 部屋のカーテンを開けると, 地面が濡れ, 水たまりができていた。(雨は既に降った後)		10	7	2	
考える	心理	昼食後, 会議室に入ると, 作戦会議を終えて資料を片付けているAがいた。(Aは既に作戦を考えた後)		10	7	2	

付録236 事態βの未然的将来相におけるデーター北部方言・高年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 席に向かっているAがいた。(Aはもうすぐ座る)				17	17
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, 軽く痙攣しているネズミがいた。(ネズミはもうすぐ死ぬ)				17	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの燃料が少なくなっていた。(もうすぐ火が消える)				17	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, 火を消すためストーブに近付いているAがいた。(Aはもうすぐ火を消す)				17	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていた。(もうすぐ晴れる)				17	

付録237 事態βの既然的将来相におけるデーター北部方言・高年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 荷物を置いて, 椅子を引き出しているAがいた。(Aは座る直前)				17	17
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ひどく痙攣しているネズミがいた。(ネズミは死ぬ直前)				17	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの火がとても弱くなっていて, 消えていっている様子だった。(火が消える直前)				17	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープのスイッチに手を伸ばしているAがいた。(Aは火を消す直前)				17	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていて雨雲の隙間から太陽が見え始めていた。(晴れる直前)				17	

付録238 事態βの結果相におけるデーター北部方言・高年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 既に席に着いているAがいた。(Aは既に座った後)		12	7		17
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ネズミが1匹死んでいた。(ネズミは既に死んだ後)		13	7		
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, 点いているはずのストーブの火が消えていた。(火は消えた後)		12	7		
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープの火を消し終えて換気をしているAがいた。(Aは既に火を消した後)		12	7		
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雲ひとつない青空になっていた。(既に晴れた後)		12	7		

付録239 事態  $\alpha$  の未然的将来相におけるデーター北部方言・中年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、ユニフォームに着替え、走者レーンに向かっているAがいた。(Aはもうすぐ走る)				13	13
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、冷蔵庫から肉を取り出し、フライパンを温めているAがいた。(Aはもうすぐ肉を焼く)				13	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、空が曇り始めていて薄暗かった。(もうすぐ雨が降る)				13	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、机の上に資料を広げているAがいた。(Aはもうすぐ作戦を考える)				13	

付録240 事態  $\alpha$  の既然的将来相におけるデーター北部方言・中年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、スタートラインに立ち、手首足首を回しているAがいた。(Aは走る直前)				13	13
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、フライパンに油をひき、トレーから肉を取り出しているAがいた。(Aは肉を焼く直前)				13	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、空がどんより曇っていて、ジメジメしていた。(雨が降る直前)				13	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、机の上の資料に目を通し始めているAがいた。(Aは作戦を考える直前)				13	

付録241 事態  $\alpha$  の進行相におけるデーター北部方言・中年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Progressive	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、走っている最中のAがいた。(Aは走っている最中)		10	8		13
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、肉を焼いている最中のAがいた。(Aは肉を焼いている最中)		10	8		
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、雨が降っている最中だった。(雨が降っている最中)		10	6		
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、作戦を考えている最中のAがいた。(Aは作戦を考えている最中)		10	8		

付録242 事態  $\alpha$  の結果相におけるデーター北部方言・中年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、100m走を終えて休憩しているAがいた。(Aは既に走った後)		9	6	1	13
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、焼き終えた肉を皿へ移しているAがいた。(Aは既に肉を焼いた後)		7	6	3	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、地面が濡れ、水たまりができていた。(雨は既に降った後)		9	8	1	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、作戦会議を終えて資料を片付けているAがいた。(Aは既に作戦を考えただ後)		10	8		

付録243 事態βの未然的将来相におけるデーター北部方言・中年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 席に向かっているAがいた。(Aはもうすぐ座る)				13	13
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, 軽く痙攣しているネズミがいた。(ネズミはもうすぐ死ぬ)				13	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの燃料が少なくなっていた。(もうすぐ火が消える)				13	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, 火を消すためストーブに近付いているAがいた。(Aはもうすぐ火を消す)				13	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていた。(もうすぐ晴れる)				13	

付録244 事態βの既然的将来相におけるデーター北部方言・中年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 荷物を置いて, 椅子を引き出しているAがいた。(Aは座る直前)				13	13
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ひどく痙攣しているネズミがいた。(ネズミは死ぬ直前)				13	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの火がとても弱くなっていて, 消えていっている様子だった。(火が消える直前)				13	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープのスイッチに手を伸ばしているAがいた。(Aは火を消す直前)				13	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていて雨雲の隙間から太陽が見え始めていた。(晴れる直前)				13	

付録245 事態βの結果相におけるデーター北部方言・中年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 既に席に着いているAがいた。(Aは既に座った後)		10	6		13
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ネズミが1匹死んでいた。(ネズミは既に死んだ後)		10	6		
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, 点いているはずのストーブの火が消えていた。(火は消えた後)		10	6		
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープの火を消し終えて換気をしているAがいた。(Aは既に火を消した後)		10	6		
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雲ひとつない青空になっていた。(既に晴れた後)		10	6		

付録246 事態  $\alpha$  の未然的将来相におけるデーター北部方言・若年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、ユニフォームに着替え、走者レーンに向かっているAがいた。(Aはもうすぐ走る)				18	18
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、冷蔵庫から肉を取り出し、フライパンを温めているAがいた。(Aはもうすぐ肉を焼く)				18	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、空が曇り始めていて薄暗かった。(もうすぐ雨が降る)				18	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、机の上に資料を広げているAがいた。(Aはもうすぐ作戦を考える)				18	

付録247 事態  $\alpha$  の既然的将来相におけるデーター北部方言・若年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、スタートラインに立ち、手首足首を回しているAがいた。(Aは走る直前)				18	18
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、フライパンに油をひき、トレーから肉を取り出しているAがいた。(Aは肉を焼く直前)				18	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、空がどんより曇っていて、ジメジメしていた。(雨が降る直前)				18	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、机の上の資料に目を通し始めているAがいた。(Aは作戦を考える直前)				18	

付録248 事態  $\alpha$  の進行相におけるデーター北部方言・若年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Progressive	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、走っている最中のAがいた。(Aは走っている最中)		15	12		18
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、肉を焼いている最中のAがいた。(Aは肉を焼いている最中)		15	12		
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、雨が降っている最中だった。(雨が降っている最中)		15	11		
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、作戦を考えている最中のAがいた。(Aは作戦を考えている最中)		15	12		

付録249 事態  $\alpha$  の結果相におけるデーター北部方言・若年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、100m走を終えて休憩しているAがいた。(Aは既に走った後)		14	13	1	18
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、焼き終えた肉を皿へ移しているAがいた。(Aは既に肉を焼いた後)		10	10	4	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、地面が濡れ、水たまりができていた。(雨は既に降った後)		13	12	2	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、作戦会議を終えて資料を片付けているAがいた。(Aは既に作戦を考えした後)		13	12	1	

付録250 事態βの未然的将来相におけるデーター北部方言・若年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 席に向かっているAがいた。(Aはもうすぐ座る)				18	18
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, 軽く痙攣しているネズミがいた。(ネズミはもうすぐ死ぬ)				18	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの燃料が少なくなっていた。(もうすぐ火が消える)				18	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, 火を消すためストーブに近付いているAがいた。(Aはもうすぐ火を消す)				18	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていた。(もうすぐ晴れる)				18	

付録251 事態βの既然的将来相におけるデーター北部方言・若年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 荷物を置いて, 椅子を引き出ししているAがいた。(Aは座る直前)				18	18
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ひどく痙攣しているネズミがいた。(ネズミは死ぬ直前)				18	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの火がとても弱くなっていて, 消えていっている様子だった。(火が消える直前)				18	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープのスイッチに手を伸ばしているAがいた。(Aは火を消す直前)				18	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていて雨雲の隙間から太陽が見え始めていた。(晴れる直前)				18	

付録252 事態βの結果相におけるデーター北部方言・若年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 既に席に着いているAがいた。(Aは既に座った後)		15	12		18
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ネズミが1匹死んでいた。(ネズミは既に死んだ後)		15	12		
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, 点いているはずのストーブの火が消えていた。(火は消えた後)		15	12		
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープの火を消し終えて換気をしているAがいた。(Aは既に火を消した後)		13	10	2	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雲ひとつない青空になっていた。(既に晴れた後)		15	12		



付録253 事態  $\alpha$  の未然的将来相におけるデーター南部方言・高年層ー

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、ユニフォームに着替え、走者レーンに向かっているAがいた。(Aはもうすぐ走る)				10	10
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、冷蔵庫から肉を取り出し、フライパンを温めているAがいた。(Aはもうすぐ肉を焼く)				10	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、空が曇り始めていて薄暗かった。(もうすぐ雨が降る)				10	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、机の上に資料を広げているAがいた。(Aはもうすぐ作戦を考える)				10	

付録254 事態  $\alpha$  の既然的将来相におけるデーター南部方言・高年層ー

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、スタートラインに立ち、手首足首を回しているAがいた。(Aは走る直前)	9			1	10
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、フライパンに油をひき、トレーから肉を取り出しているAがいた。(Aは肉を焼く直前)	9			1	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、空がどんより曇っていて、ジメジメしていた。(雨が降る直前)	1			9	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、机の上の資料に目を通し始めているAがいた。(Aは作戦を考える直前)	9			1	

付録255 事態  $\alpha$  の進行相におけるデーター南部方言・高年層ー

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Progressive	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、走っている最中のAがいた。(Aは走っている最中)		10			10
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、肉を焼いている最中のAがいた。(Aは肉を焼いている最中)		10			
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、雨が降っている最中だった。(雨が降っている最中)		10			
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、作戦を考えている最中のAがいた。(Aは作戦を考えている最中)		10			

付録256 事態  $\alpha$  の結果相におけるデーター南部方言・高年層ー

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、100m走を終えて休憩しているAがいた。(Aは既に走った後)		7		3	10
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、焼き終えた肉を皿へ移しているAがいた。(Aは既に肉を焼いた後)		7		3	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、地面が濡れ、水たまりができていた。(雨は既に降った後)		7		3	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、作戦会議を終えて資料を片付けているAがいた。(Aは既に作戦を考えた後)		7		3	



付録257 事態βの未然的将来相におけるデーター南部方言・高年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 席に向かっているAがいた。(Aはもうすぐ座る)				10	10
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, 軽く痙攣しているネズミがいた。(ネズミはもうすぐ死ぬ)				10	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの燃料が少なくなっていた。(もうすぐ火が消える)				10	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, 火を消すためストーブに近付いているAがいた。(Aはもうすぐ火を消す)				10	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていた。(もうすぐ晴れる)				10	

付録258 事態βの既然的将来相におけるデーター南部方言・高年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 荷物を置いて, 椅子を引き出ししているAがいた。(Aは座る直前)	9			1	10
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ひどく痙攣しているネズミがいた。(ネズミは死ぬ直前)	9			1	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの火がとても弱くなっていて, 消えていっている様子だった。(火が消える直前)	9			1	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープのスイッチに手を伸ばしているAがいた。(Aは火を消す直前)	9			1	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていて雨雲の隙間から太陽が見え始めていた。(晴れる直前)	9			1	

付録259 事態βの結果相におけるデーター南部方言・高年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 既に席に着いているAがいた。(Aは既に座った後)		10			10
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ネズミが1匹死んでいた。(ネズミは既に死んだ後)		10			
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, 点いているはずのストーブの火が消えていた。(火は消えた後)		10			
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープの火を消し終えて換気をしているAがいた。(Aは既に火を消した後)		10			
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雲ひとつない青空になっていた。(既に晴れた後)		10			

付録260 事態  $\alpha$  の未然的将来相におけるデーター南部方言・中年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、ユニフォームに着替え、走者レーンに向かっているAがいた。(Aはもうすぐ走る)				10	10
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、冷蔵庫から肉を取り出し、フライパンを温めているAがいた。(Aはもうすぐ肉を焼く)				10	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、空が曇り始めていて薄暗かった。(もうすぐ雨が降る)				10	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、机の上に資料を広げているAがいた。(Aはもうすぐ作戦を考える)				10	

付録261 事態  $\alpha$  の既然的将来相におけるデーター南部方言・中年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、スタートラインに立ち、手首足首を回しているAがいた。(Aは走る直前)	3			7	10
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、フライパンに油をひき、トレーから肉を取り出しているAがいた。(Aは肉を焼く直前)	3			7	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、空がどんより曇っていて、ジメジメしていた。(雨が降る直前)				10	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、机の上の資料に目を通し始めているAがいた。(Aは作戦を考える直前)	3			7	

付録262 事態  $\alpha$  の進行相におけるデーター南部方言・中年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Progressive	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、走っている最中のAがいた。(Aは走っている最中)		10	4		10
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、肉を焼いている最中のAがいた。(Aは肉を焼いている最中)		10	4		
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、雨が降っている最中だった。(雨が降っている最中)		10	4		
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、作戦を考えている最中のAがいた。(Aは作戦を考えている最中)		10	4		

付録263 事態  $\alpha$  の結果相におけるデーター南部方言・中年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、100m走を終えて休憩しているAがいた。(Aは既に走った後)		10	4		10
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、焼き終えた肉を皿へ移しているAがいた。(Aは既に肉を焼いた後)		10	4		
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、地面が濡れ、水たまりができていた。(雨は既に降った後)		10	4		
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、作戦会議を終えて資料を片付けているAがいた。(Aは既に作戦を考えた後)		10	4		

付録264 事態 β の未然的将来相におけるデーター南部方言・中年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 席に向かっているAがいた。(Aはもうすぐ座る)				10	10
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, 軽く痙攣しているネズミがいた。(ネズミはもうすぐ死ぬ)				10	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの燃料が少なくなっていた。(もうすぐ火が消える)				10	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, 火を消すためストーブに近付いているAがいた。(Aはもうすぐ火を消す)				10	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていた。(もうすぐ晴れる)				10	

付録265 事態 β の既然的将来相におけるデーター南部方言・中年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 荷物を置いて, 椅子を引き出しているAがいた。(Aは座る直前)	3			7	10
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ひどく痙攣しているネズミがいた。(ネズミは死ぬ直前)	3			7	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの火がとても弱くなっていて, 消えていっている様子だった。(火が消える直前)	3			7	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープのスイッチに手を伸ばしているAがいた。(Aは火を消す直前)	3			7	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていて雨雲の隙間から太陽が見え始めていた。(晴れる直前)	3			7	

付録266 事態 β の結果相におけるデーター南部方言・中年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 既に席に着いているAがいた。(Aは既に座った後)		10	4		10
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ネズミが1匹死んでいた。(ネズミは既に死んだ後)		10	4		
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, 点いているはずのストーブの火が消えていた。(火は消えた後)		10	4		
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープの火を消し終えて換気をしているAがいた。(Aは既に火を消した後)		10	4		
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雲ひとつない青空になっていた。(既に晴れた後)		10	4		

付録267 事態  $\alpha$  の未然的将来相におけるデーター南部方言・若年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、ユニフォームに着替え、走者レーンに向かっているAがいた。(Aはもうすぐ走る)				9	9
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、冷蔵庫から肉を取り出し、フライパンを温めているAがいた。(Aはもうすぐ肉を焼く)				9	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、空が曇り始めていて薄暗かった。(もうすぐ雨が降る)				9	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、机の上に資料を広げているAがいた。(Aはもうすぐ作戦を考える)				9	

付録268 事態  $\alpha$  の既然的将来相におけるデーター南部方言・若年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、スタートラインに立ち、手首足首を回しているAがいた。(Aは走る直前)	4			5	9
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、フライパンに油をひき、トレーから肉を取り出しているAがいた。(Aは肉を焼く直前)	4			5	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、空がどんより曇っていて、ジメジメしていた。(雨が降る直前)				9	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、机の上の資料に目を通し始めているAがいた。(Aは作戦を考える直前)	4			5	

付録269 事態  $\alpha$  の進行相におけるデーター南部方言・若年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Progressive	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、走っている最中のAがいた。(Aは走っている最中)		9	4		9
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、肉を焼いている最中のAがいた。(Aは肉を焼いている最中)		9	4		
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、雨が降っている最中だった。(雨が降っている最中)		9	4		
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、作戦を考えている最中のAがいた。(Aは作戦を考えている最中)		9	4		

付録270 事態  $\alpha$  の結果相におけるデーター南部方言・若年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、100m走を終えて休憩しているAがいた。(Aは既に走った後)		9	4		9
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、焼き終えた肉を皿へ移しているAがいた。(Aは既に肉を焼いた後)		8	4	1	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、地面が濡れ、水たまりができていた。(雨は既に降った後)		8	4	1	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、作戦会議を終えて資料を片付けているAがいた。(Aは既に作戦を考えただ後)		8	4	1	

付録271 事態βの未然的将来相におけるデーター南部方言・若年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 席に向かっているAがいた。(Aはもうすぐ座る)				9	9
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, 軽く痙攣しているネズミがいた。(ネズミはもうすぐ死ぬ)				9	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの燃料が少なくなっていた。(もうすぐ火が消える)				9	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, 火を消すためストーブに近付いているAがいた。(Aはもうすぐ火を消す)				9	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていた。(もうすぐ晴れる)				9	

付録272 事態βの既然的将来相におけるデーター南部方言・若年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 荷物を置いて, 椅子を引き出ししているAがいた。(Aは座る直前)	4			5	9
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ひどく痙攣しているネズミがいた。(ネズミは死ぬ直前)	4			5	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの火がとても弱くなっていて, 消えていっている様子だった。(火が消える直前)	4			5	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープのスイッチに手を伸ばしているAがいた。(Aは火を消す直前)	4			5	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていて雨雲の隙間から太陽が見え始めていた。(晴れる直前)	4			5	

付録273 事態βの結果相におけるデーター南部方言・若年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 既に席に着いているAがいた。(Aは既に座った後)		9	4		9
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ネズミが1匹死んでいた。(ネズミは既に死んだ後)		9	4		
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, 点いているはずのストーブの火が消えていた。(火は消えた後)		9	4		
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープの火を消し終えて換気をしているAがいた。(Aは既に火を消した後)		9	4		
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雲ひとつない青空になっていた。(既に晴れた後)		9	4		

## 4.2.1. 岡山方言のアスペクト体系

付録274 事態  $\alpha$  の未然的将然相におけるデーター岡山方言・高年層ー

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後, 運動場に行くと, ユニフォームに着替え, 走者レーンに向かっているAがいた。(Aはもうすぐ走る)				20	20
焼く	主体動作 客体変化	夕食前, 台所に行くと, 冷蔵庫から肉を取り出し, フライパンを温めているAがいた。(Aはもうすぐ肉を焼く)				20	
降る	自然現象	朝, 部屋のカーテンを開けると, 空が曇り始めていて薄暗かった。(もうすぐ雨が降る)				20	
考える	心理	昼食後, 会議室に入ると, 机の上に資料を広げているAがいた。(Aはもうすぐ作戦を考える)				20	

付録275 事態  $\alpha$  の既然的将然相におけるデーター岡山方言・高年層ー

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後, 運動場に行くと, スタートラインに立ち, 手首足首を回しているAがいた。(Aは走る直前)	16			4	20
焼く	主体動作 客体変化	夕食前, 台所に行くと, フライパンに油をひき, トレーから肉を取り出しているAがいた。(Aは肉を焼く直前)	20				
降る	自然現象	朝, 部屋のカーテンを開けると, 空がどんより曇っていて, ジメジメしていた。(雨が降る直前)				20	
考える	心理	昼食後, 会議室に入ると, 机の上の資料に目を通し始めているAがいた。(Aは作戦を考える直前)	16			4	

付録276 事態  $\alpha$  の進行相におけるデーター岡山方言・高年層ー

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Progressive	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後, 運動場に行くと, 走っている最中のAがいた。(Aは走っている最中)	20	4			20
焼く	主体動作 客体変化	夕食前, 台所に行くと, 肉を焼いている最中のAがいた。(Aは肉を焼いている最中)	20	2			
降る	自然現象	朝, 部屋のカーテンを開けると, 雨が降っている最中だった。(雨が降っている最中)	20	4			
考える	心理	昼食後, 会議室に入ると, 作戦を考えている最中のAがいた。(Aは作戦を考えている最中)	20	2			

付録277 事態  $\alpha$  の結果相におけるデーター岡山方言・高年層ー

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後, 運動場に行くと, 100m走を終えて休憩しているAがいた。(Aは既に走った後)		20			20
焼く	主体動作 客体変化	夕食前, 台所に行くと, 焼き終えた肉を皿へ移しているAがいた。(Aは既に肉を焼いた後)		20			
降る	自然現象	朝, 部屋のカーテンを開けると, 地面が濡れ, 水たまりができていた。(雨は既に降った後)		20			
考える	心理	昼食後, 会議室に入ると, 作戦会議を終えて資料を片付けているAがいた。(Aは既に作戦を考えた後)		20			

付録278 事態βの未然的将来相におけるデーター岡山方言・高年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 席に向かっているAがいた。(Aはもうすぐ座る)				20	20
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, 軽く痙攣しているネズミがいた。(ネズミはもうすぐ死ぬ)				20	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの燃料が少なくなっていた。(もうすぐ火が消える)				20	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, 火を消すためストーブに近付いているAがいた。(Aはもうすぐ火を消す)				20	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていた。(もうすぐ晴れる)				20	

付録279 事態βの既然的将来相におけるデーター岡山方言・高年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 荷物を置いて, 椅子を引き出ししているAがいた。(Aは座る直前)	20				20
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ひどく痙攣しているネズミがいた。(ネズミは死ぬ直前)	20				
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの火がとても弱くなっていて, 消えていっている様子だった。(火が消える直前)	20				
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープのスイッチに手を伸ばしているAがいた。(Aは火を消す直前)	20				
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていて雨雲の隙間から太陽が見え始めていた。(晴れる直前)	20				

付録280 事態βの結果相におけるデーター岡山方言・高年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 既に席に着いているAがいた。(Aは既に座った後)		20			20
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ネズミが1匹死んでいた。(ネズミは既に死んだ後)		20			
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, 点いているはずのストーブの火が消えていた。(火は消えた後)		20			
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープの火を消し終えて換気をしているAがいた。(Aは既に火を消した後)		20			
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雲ひとつない青空になっていた。(既に晴れた後)		20			



付録281 事態  $\alpha$  の未然的将来相におけるデーター岡山方言・中年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、ユニフォームに着替え、走者レーンに向かっているAがいた。(Aはもうすぐ走る)				20	20
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、冷蔵庫から肉を取り出し、フライパンを温めているAがいた。(Aはもうすぐ肉を焼く)				20	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、空が曇り始めていて薄暗かった。(もうすぐ雨が降る)				20	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、机の上に資料を広げているAがいた。(Aはもうすぐ作戦を考える)				20	

付録282 事態  $\alpha$  の既然的将来相におけるデーター岡山方言・中年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、スタートラインに立ち、手首足首を回しているAがいた。(Aは走る直前)	20	10			20
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、フライパンに油をひき、トレーから肉を取り出しているAがいた。(Aは肉を焼く直前)	20	12			
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、空がどんより曇っていて、ジメジメしていた。(雨が降る直前)				20	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、机の上の資料に目を通し始めているAがいた。(Aは作戦を考える直前)	20	10			

付録283 事態  $\alpha$  の進行相におけるデーター岡山方言・中年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Progressive	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、走っている最中のAがいた。(Aは走っている最中)	20	20			20
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、肉を焼いている最中のAがいた。(Aは肉を焼いている最中)	20	20			
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、雨が降っている最中だった。(雨が降っている最中)	20	20			
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、作戦を考えている最中のAがいた。(Aは作戦を考えている最中)	20	20			

付録284 事態  $\alpha$  の結果相におけるデーター岡山方言・中年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、100m走を終えて休憩しているAがいた。(Aは既に走った後)		20			20
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、焼き終えた肉を皿へ移しているAがいた。(Aは既に肉を焼いた後)		20			
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、地面が濡れ、水たまりができていた。(雨は既に降った後)		20			
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、作戦会議を終えて資料を片付けているAがいた。(Aは既に作戦を考えた後)		20			



付録285 事態βの未然的将来相におけるデーター岡山方言・中年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 席に向かっているAがいた。(Aはもうすぐ座る)				20	20
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, 軽く痙攣しているネズミがいた。(ネズミはもうすぐ死ぬ)				20	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの燃料が少なくなっていた。(もうすぐ火が消える)				20	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, 火を消すためストーブに近付いているAがいた。(Aはもうすぐ火を消す)				20	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていた。(もうすぐ晴れる)				20	

付録286 事態βの既然的将来相におけるデーター岡山方言・中年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 荷物を置いて, 椅子を引き出しているAがいた。(Aは座る直前)	20				20
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ひどく痙攣しているネズミがいた。(ネズミは死ぬ直前)	20				
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの火がとても弱くなっていて, 消えていっている様子だった。(火が消える直前)	20				
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープのスイッチに手を伸ばしているAがいた。(Aは火を消す直前)	20				
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていて雨雲の隙間から太陽が見え始めていた。(晴れる直前)	20				

付録287 事態βの結果相におけるデーター岡山方言・中年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 既に席に着いているAがいた。(Aは既に座った後)		20			20
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ネズミが1匹死んでいた。(ネズミは既に死んだ後)		20			
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, 点いているはずのストーブの火が消えていた。(火は消えた後)		20			
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープの火を消し終えて換気をしているAがいた。(Aは既に火を消した後)		20			
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雲ひとつない青空になっていた。(既に晴れた後)		20			

付録288 事態  $\alpha$  の未然的将来相におけるデーター岡山方言・若年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、ユニフォームに着替え、走者レーンに向かっているAがいた。(Aはもうすぐ走る)				20	20
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、冷蔵庫から肉を取り出し、フライパンを温めているAがいた。(Aはもうすぐ肉を焼く)				20	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、空が曇り始めていて薄暗かった。(もうすぐ雨が降る)				20	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、机の上に資料を広げているAがいた。(Aはもうすぐ作戦を考える)				20	

付録289 事態  $\alpha$  の既然的将来相におけるデーター岡山方言・若年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、スタートラインに立ち、手首足首を回しているAがいた。(Aは走る直前)	20	12			20
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、フライパンに油をひき、トレーから肉を取り出しているAがいた。(Aは肉を焼く直前)	20	14			
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、空がどんより曇っていて、ジメジメしていた。(雨が降る直前)				20	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、机の上の資料に目を通し始めているAがいた。(Aは作戦を考える直前)	20	12			

付録290 事態  $\alpha$  の進行相におけるデーター岡山方言・若年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Progressive	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、走っている最中のAがいた。(Aは走っている最中)	20	20			20
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、肉を焼いている最中のAがいた。(Aは肉を焼いている最中)	20	20			
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、雨が降っている最中だった。(雨が降っている最中)	20	20			
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、作戦を考えている最中のAがいた。(Aは作戦を考えている最中)	20	20			

付録291 事態  $\alpha$  の結果相におけるデーター岡山方言・若年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、100m走を終えて休憩しているAがいた。(Aは既に走った後)		20			20
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、焼き終えた肉を皿へ移しているAがいた。(Aは既に肉を焼いた後)		20			
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、地面が濡れ、水たまりができていた。(雨は既に降った後)		20			
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、作戦会議を終えて資料を片付けているAがいた。(Aは既に作戦を考えた後)		20			

付録292 事態βの未然的将来相におけるデーター岡山方言・若年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 席に向かっているAがいた。(Aはもうすぐ座る)				20	20
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, 軽く痙攣しているネズミがいた。(ネズミはもうすぐ死ぬ)				20	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの燃料が少なくなっていた。(もうすぐ火が消える)				20	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, 火を消すためストーブに近付いているAがいた。(Aはもうすぐ火を消す)				20	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていた。(もうすぐ晴れる)				20	

付録293 事態βの既然的将来相におけるデーター岡山方言・若年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 荷物を置いて, 椅子を引き出ししているAがいた。(Aは座る直前)	20				20
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ひどく痙攣しているネズミがいた。(ネズミは死ぬ直前)	20				
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの火がとても弱くなっていて, 消えていっている様子だった。(火が消える直前)	20				
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープのスイッチに手を伸ばしているAがいた。(Aは火を消す直前)	20				
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていて雨雲の隙間から太陽が見え始めていた。(晴れる直前)	20				

付録294 事態βの結果相におけるデーター岡山方言・若年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 既に席に着いてるAがいた。(Aは既に座った後)		20			20
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ネズミが1匹死んでいた。(ネズミは既に死んだ後)		20			
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, 点いているはずのストーブの火が消えていた。(火は消えた後)		20			
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープの火を消し終えて換気をしているAがいた。(Aは既に火を消した後)		20			
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雲ひとつない青空になっていた。(既に晴れた後)		20			

## 4.2.2. 島根方言のアスペクト体系

付録295 事態  $\alpha$  の未然的将然相におけるデーター出雲隠岐方言・高年層ー

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後, 運動場に行くと, ユニフォームに着替え, 走者レーンに向かっているAがいた。(Aはもうすぐ走る)				15	15
焼く	主体動作 客体変化	夕食前, 台所に行くと, 冷蔵庫から肉を取り出し, フライパンを温めているAがいた。(Aはもうすぐ肉を焼く)				15	
降る	自然現象	朝, 部屋のカーテンを開けると, 空が曇り始めていて薄暗かった。(もうすぐ雨が降る)				15	
考える	心理	昼食後, 会議室に入ると, 机の上に資料を広げているAがいた。(Aはもうすぐ作戦を考える)				15	

付録296 事態  $\alpha$  の既然的将然相におけるデーター出雲隠岐方言・高年層ー

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後, 運動場に行くと, スタートラインに立ち, 手首足首を回しているAがいた。(Aは走る直前)				15	15
焼く	主体動作 客体変化	夕食前, 台所に行くと, フライパンに油をひき, トレーから肉を取り出しているAがいた。(Aは肉を焼く直前)		3	1	12	
降る	自然現象	朝, 部屋のカーテンを開けると, 空がどんより曇っていて, ジメジメしていた。(雨が降る直前)				15	
考える	心理	昼食後, 会議室に入ると, 机の上の資料に目を通し始めているAがいた。(Aは作戦を考える直前)				15	

付録297 事態  $\alpha$  の進行相におけるデーター出雲隠岐方言・高年層ー

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Progressive	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後, 運動場に行くと, 走っている最中のAがいた。(Aは走っている最中)		15	7		15
焼く	主体動作 客体変化	夕食前, 台所に行くと, 肉を焼いている最中のAがいた。(Aは肉を焼いている最中)		15	7		
降る	自然現象	朝, 部屋のカーテンを開けると, 雨が降っている最中だった。(雨が降っている最中)		15	5		
考える	心理	昼食後, 会議室に入ると, 作戦を考えている最中のAがいた。(Aは作戦を考えている最中)		15	2		

付録298 事態  $\alpha$  の結果相におけるデーター出雲隠岐方言・高年層ー

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後, 運動場に行くと, 100m走を終えて休憩しているAがいた。(Aは既に走った後)		3	1	12	15
焼く	主体動作 客体変化	夕食前, 台所に行くと, 焼き終えた肉を皿へ移しているAがいた。(Aは既に肉を焼いた後)		2		13	
降る	自然現象	朝, 部屋のカーテンを開けると, 地面が濡れ, 水たまりができていた。(雨は既に降った後)		2		13	
考える	心理	昼食後, 会議室に入ると, 作戦会議を終えて資料を片付けているAがいた。(Aは既に作戦を考えた後)		6		9	

付録299 事態βの未然的将来相におけるデーター出雲隠岐方言・高年層一

Verb	Property	[β] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 席に向かっているAがいた。(Aはもうすぐ座る)				15	15
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, 軽く痙攣しているネズミがいた。(ネズミはもうすぐ死ぬ)				15	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの燃料が少なくなっていた。(もうすぐ火が消える)				15	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, 火を消すためストーブに近付いているAがいた。(Aはもうすぐ火を消す)				15	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていた。(もうすぐ晴れる)				15	

付録300 事態βの既然的将来相におけるデーター出雲隠岐方言・高年層一

Verb	Property	[β] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 荷物を置いて, 椅子を引き出ししているAがいた。(Aは座る直前)				15	15
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ひどく痙攣しているネズミがいた。(ネズミは死ぬ直前)				15	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの火がとても弱くなっていて, 消えていっている様子だった。(火が消える直前)				15	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープのスイッチに手を伸ばしているAがいた。(Aは火を消す直前)		2	2	13	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていて雨雲の隙間から太陽が見え始めていた。(晴れる直前)				15	

付録301 事態βの結果相におけるデーター出雲隠岐方言・高年層一

Verb	Property	[β] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 既に席に着いているAがいた。(Aは既に座った後)		15	7		15
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ネズミが1匹死んでいた。(ネズミは既に死んだ後)		15	6		
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, 点いているはずのストーブの火が消えていた。(火は消えた後)		15	7		
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープの火を消し終えて換気をしているAがいた。(Aは既に火を消した後)		15	2		
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雲ひとつない青空になっていた。(既に晴れた後)		15	6		

付録302 事態  $\alpha$  の未然的将来相におけるデーター出雲隠岐方言・中年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、ユニフォームに着替え、走者レーンに向かっているAがいた。(Aはもうすぐ走る)				12	12
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、冷蔵庫から肉を取り出し、フライパンを温めているAがいた。(Aはもうすぐ肉を焼く)				12	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、空が曇り始めていて薄暗かった。(もうすぐ雨が降る)				12	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、机の上に資料を広げているAがいた。(Aはもうすぐ作戦を考える)				12	

付録303 事態  $\alpha$  の既然的将来相におけるデーター出雲隠岐方言・中年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、スタートラインに立ち、手首足首を回しているAがいた。(Aは走る直前)				12	12
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、フライパンに油をひき、トレーから肉を取り出しているAがいた。(Aは肉を焼く直前)		4	1	8	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、空がどんより曇っていて、ジメジメしていた。(雨が降る直前)				12	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、机の上の資料に目を通し始めているAがいた。(Aは作戦を考える直前)		1		11	

付録304 事態  $\alpha$  の進行相におけるデーター出雲隠岐方言・中年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Progressive	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、走っている最中のAがいた。(Aは走っている最中)		12	7		12
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、肉を焼いている最中のAがいた。(Aは肉を焼いている最中)		12	5		
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、雨が降っている最中だった。(雨が降っている最中)		12	5		
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、作戦を考えている最中のAがいた。(Aは作戦を考えている最中)		12	7		

付録305 事態  $\alpha$  の結果相におけるデーター出雲隠岐方言・中年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、100m走を終えて休憩しているAがいた。(Aは既に走った後)		7	1	5	12
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、焼き終えた肉を皿へ移しているAがいた。(Aは既に肉を焼いた後)		7	2	5	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、地面が濡れ、水たまりができていた。(雨は既に降った後)		6	2	6	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、作戦会議を終えて資料を片付けているAがいた。(Aは既に作戦を考えただ後)		7	2	5	

付録306 事態βの未然的将来相におけるデーター出雲隠岐方言・中年層一

Verb	Property	[β] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 席に向かっているAがいた。(Aはもうすぐ座る)				12	12
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, 軽く痙攣しているネズミがいた。(ネズミはもうすぐ死ぬ)				12	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの燃料が少なくなっていた。(もうすぐ火が消える)				12	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, 火を消すためストーブに近付いているAがいた。(Aはもうすぐ火を消す)				12	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていた。(もうすぐ晴れる)				12	

付録307 事態βの既然的将来相におけるデーター出雲隠岐方言・中年層一

Verb	Property	[β] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 荷物を置いて, 椅子を引き出ししているAがいた。(Aは座る直前)				12	12
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ひどく痙攣しているネズミがいた。(ネズミは死ぬ直前)				12	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの火がとても弱くなっていて, 消えていっている様子だった。(火が消える直前)				12	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープのスイッチに手を伸ばしているAがいた。(Aは火を消す直前)		10	6	2	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていて雨雲の隙間から太陽が見え始めていた。(晴れる直前)				12	

付録308 事態βの結果相におけるデーター出雲隠岐方言・中年層一

Verb	Property	[β] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 既に席に着いているAがいた。(Aは既に座った後)		12	4		12
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ネズミが1匹死んでいた。(ネズミは既に死んだ後)		12	7		
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, 点いているはずのストーブの火が消えていた。(火は消えた後)		12	5		
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープの火を消し終えて換気をしているAがいた。(Aは既に火を消した後)		11	2	1	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雲ひとつない青空になっていた。(既に晴れた後)		12	7		



付録309 事態  $\alpha$  の未然的将来相におけるデーター出雲隠岐方言・若年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後, 運動場に行くと, ユニフォームに着替え, 走者レーンに向かっているAがいた。(Aはもうすぐ走る)				15	15
焼く	主体動作 客体変化	夕食前, 台所に行くと, 冷蔵庫から肉を取り出し, フライパンを温めているAがいた。(Aはもうすぐ肉を焼く)				15	
降る	自然現象	朝, 部屋のカーテンを開けると, 空が曇り始めていて薄暗かった。(もうすぐ雨が降る)				15	
考える	心理	昼食後, 会議室に入ると, 机の上に資料を広げているAがいた。(Aはもうすぐ作戦を考える)				15	

付録310 事態  $\alpha$  の既然的将来相におけるデーター出雲隠岐方言・若年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後, 運動場に行くと, スタートラインに立ち, 手首足首を回しているAがいた。(Aは走る直前)				15	15
焼く	主体動作 客体変化	夕食前, 台所に行くと, フライパンに油をひき, トレーから肉を取り出しているAがいた。(Aは肉を焼く直前)		8	7	7	
降る	自然現象	朝, 部屋のカーテンを開けると, 空がどんより曇っていて, ジメジメしていた。(雨が降る直前)				15	
考える	心理	昼食後, 会議室に入ると, 机の上の資料に目を通し始めているAがいた。(Aは作戦を考える直前)		8	7	7	

付録311 事態  $\alpha$  の進行相におけるデーター出雲隠岐方言・若年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Progressive	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後, 運動場に行くと, 走っている最中のAがいた。(Aは走っている最中)		15	12		15
焼く	主体動作 客体変化	夕食前, 台所に行くと, 肉を焼いている最中のAがいた。(Aは肉を焼いている最中)		15	10		
降る	自然現象	朝, 部屋のカーテンを開けると, 雨が降っている最中だった。(雨が降っている最中)		15	12		
考える	心理	昼食後, 会議室に入ると, 作戦を考えている最中のAがいた。(Aは作戦を考えている最中)		15	9		

付録312 事態  $\alpha$  の結果相におけるデーター出雲隠岐方言・若年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後, 運動場に行くと, 100m走を終えて休憩しているAがいた。(Aは既に走った後)		14	9	1	15
焼く	主体動作 客体変化	夕食前, 台所に行くと, 焼き終えた肉を皿へ移しているAがいた。(Aは既に肉を焼いた後)		14	9	1	
降る	自然現象	朝, 部屋のカーテンを開けると, 地面が濡れ, 水たまりができていた。(雨は既に降った後)		11	7	4	
考える	心理	昼食後, 会議室に入ると, 作戦会議を終えて資料を片付けているAがいた。(Aは既に作戦を考えただ後)		12	6	3	



付録313 事態βの未然的将来相におけるデーター出雲隠岐方言・若年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 席に向かっているAがいた。(Aはもうすぐ座る)				15	15
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, 軽く痙攣しているネズミがいた。(ネズミはもうすぐ死ぬ)				15	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの燃料が少なくなっていた。(もうすぐ火が消える)				15	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, 火を消すためストーブに近付いているAがいた。(Aはもうすぐ火を消す)				15	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていた。(もうすぐ晴れる)				15	

付録314 事態βの既然的将来相におけるデーター出雲隠岐方言・若年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 荷物を置いて, 椅子を引き出ししているAがいた。(Aは座る直前)				15	15
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ひどく痙攣しているネズミがいた。(ネズミは死ぬ直前)				15	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの火がとても弱くなっていて, 消えていっている様子だった。(火が消える直前)		2	2	13	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープのスイッチに手を伸ばしているAがいた。(Aは火を消す直前)		11	4	4	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていて雨雲の隙間から太陽が見え始めていた。(晴れる直前)				15	

付録315 事態βの結果相におけるデーター出雲隠岐方言・若年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 既に席に着いているAがいた。(Aは既に座った後)		15	9		15
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ネズミが1匹死んでいた。(ネズミは既に死んだ後)		15	10		
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, 点いているはずのストーブの火が消えていた。(火は消えた後)		15	6		
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープの火を消し終えて換気をしているAがいた。(Aは既に火を消した後)		13	9	2	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雲ひとつない青空になっていた。(既に晴れた後)		15	11		

付録316 事態  $\alpha$  の未然的将来相におけるデーター石見方言・高年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、ユニフォームに着替え、走者レーンに向かっているAがいた。(Aはもうすぐ走る)				6	6
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、冷蔵庫から肉を取り出し、フライパンを温めているAがいた。(Aはもうすぐ肉を焼く)				6	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、空が曇り始めていて薄暗かった。(もうすぐ雨が降る)				6	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、机の上に資料を広げているAがいた。(Aはもうすぐ作戦を考える)				6	

付録317 事態  $\alpha$  の既然的将来相におけるデーター石見方言・高年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、スタートラインに立ち、手首足首を回しているAがいた。(Aは走る直前)				6	6
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、フライパンに油をひき、トレーから肉を取り出しているAがいた。(Aは肉を焼く直前)	1			5	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、空がどんより曇っていて、ジメジメしていた。(雨が降る直前)				6	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、机の上の資料に目を通し始めているAがいた。(Aは作戦を考える直前)				6	

付録318 事態  $\alpha$  の進行相におけるデーター石見方言・高年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Progressive	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、走っている最中のAがいた。(Aは走っている最中)	2	6	2		6
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、肉を焼いている最中のAがいた。(Aは肉を焼いている最中)	2	6	2		
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、雨が降っている最中だった。(雨が降っている最中)	2	6	2		
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、作戦を考えている最中のAがいた。(Aは作戦を考えている最中)	2	6	2		

付録319 事態  $\alpha$  の結果相におけるデーター石見方言・高年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、100m走を終えて休憩しているAがいた。(Aは既に走った後)		1		5	6
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、焼き終えた肉を皿へ移しているAがいた。(Aは既に肉を焼いた後)		1		5	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、地面が濡れ、水たまりができていた。(雨は既に降った後)		1		5	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、作戦会議を終えて資料を片付けているAがいた。(Aは既に作戦を考えた後)		1		5	

付録320 事態βの未然的将来相におけるデーター石見方言・高年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 席に向かっているAがいた。(Aはもうすぐ座る)				6	6
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, 軽く痙攣しているネズミがいた。(ネズミはもうすぐ死ぬ)				6	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの燃料が少なくなっていた。(もうすぐ火が消える)				6	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, 火を消すためストーブに近付いているAがいた。(Aはもうすぐ火を消す)				6	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていた。(もうすぐ晴れる)				6	

付録321 事態βの既然的将来相におけるデーター石見方言・高年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 荷物を置いて, 椅子を引き出しているAがいた。(Aは座る直前)	4			2	6
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ひどく痙攣しているネズミがいた。(ネズミは死ぬ直前)	4			2	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの火がとても弱くなっていて, 消えていっている様子だった。(火が消える直前)	4			2	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープのスイッチに手を伸ばしているAがいた。(Aは火を消す直前)	4			2	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていて雨雲の隙間から太陽が見え始めていた。(晴れる直前)	4			2	

付録322 事態βの結果相におけるデーター石見方言・高年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 既に席に着いているAがいた。(Aは既に座った後)	1	6	3		6
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ネズミが1匹死んでいた。(ネズミは既に死んだ後)	1	6	2		
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, 点いているはずのストーブの火が消えていた。(火は消えた後)	1	6	2		
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープの火を消し終えて換気をしているAがいた。(Aは既に火を消した後)		6			
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雲ひとつない青空になっていた。(既に晴れた後)		6			

付録323 事態  $\alpha$  の未然的将来相におけるデーター石見方言・中年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、ユニフォームに着替え、走者レーンに向かっているAがいた。(Aはもうすぐ走る)				6	6
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、冷蔵庫から肉を取り出し、フライパンを温めているAがいた。(Aはもうすぐ肉を焼く)				6	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、空が曇り始めていて薄暗かった。(もうすぐ雨が降る)				6	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、机の上に資料を広げているAがいた。(Aはもうすぐ作戦を考える)				6	

付録324 事態  $\alpha$  の既然的将来相におけるデーター石見方言・中年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、スタートラインに立ち、手首足首を回しているAがいた。(Aは走る直前)				6	6
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、フライパンに油をひき、トレーから肉を取り出しているAがいた。(Aは肉を焼く直前)	1			5	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、空がどんより曇っていて、ジメジメしていた。(雨が降る直前)				6	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、机の上の資料に目を通し始めているAがいた。(Aは作戦を考える直前)	1			5	

付録325 事態  $\alpha$  の進行相におけるデーター石見方言・中年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Progressive	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、走っている最中のAがいた。(Aは走っている最中)	2	6	2		6
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、肉を焼いている最中のAがいた。(Aは肉を焼いている最中)	2	6	4		
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、雨が降っている最中だった。(雨が降っている最中)	2	6	6		
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、作戦を考えている最中のAがいた。(Aは作戦を考えている最中)	2	6	4		

付録326 事態  $\alpha$  の結果相におけるデーター石見方言・中年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、100m走を終えて休憩しているAがいた。(Aは既に走った後)		1	1	5	6
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、焼き終えた肉を皿へ移しているAがいた。(Aは既に肉を焼いた後)		1	1	5	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、地面が濡れ、水たまりができていた。(雨は既に降った後)		1	1	5	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、作戦会議を終えて資料を片付けているAがいた。(Aは既に作戦を考えただ後)		1	1	5	

付録327 事態βの未然的将来相におけるデーター石見方言・中年層一

Verb	Property	[β] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 席に向かっているAがいた。(Aはもうすぐ座る)				6	6
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, 軽く痙攣しているネズミがいた。(ネズミはもうすぐ死ぬ)				6	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの燃料が少なくなっていた。(もうすぐ火が消える)				6	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, 火を消すためストーブに近付いているAがいた。(Aはもうすぐ火を消す)				6	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていた。(もうすぐ晴れる)				6	

付録328 事態βの既然的将来相におけるデーター石見方言・中年層一

Verb	Property	[β] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 荷物を置いて, 椅子を引き出しているAがいた。(Aは座る直前)	6				6
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ひどく痙攣しているネズミがいた。(ネズミは死ぬ直前)	6				
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの火がとても弱くなっていて, 消えていっている様子だった。(火が消える直前)	6				
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープのスイッチに手を伸ばしているAがいた。(Aは火を消す直前)	6				
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていて雨雲の隙間から太陽が見え始めていた。(晴れる直前)	6				

付録329 事態βの結果相におけるデーター石見方言・中年層一

Verb	Property	[β] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 既に席に着いているAがいた。(Aは既に座った後)		6	6		6
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ネズミが1匹死んでいた。(ネズミは既に死んだ後)		6	4		
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, 点いているはずのストーブの火が消えていた。(火は消えた後)		6	4		
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープの火を消し終えて換気をしているAがいた。(Aは既に火を消した後)		6	1		
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雲ひとつない青空になっていた。(既に晴れた後)		6	1		

付録330 事態  $\alpha$  の未然的将来相におけるデーター石見方言・若年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、ユニフォームに着替え、走者レーンに向かっているAがいた。(Aはもうすぐ走る)				8	8
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、冷蔵庫から肉を取り出し、フライパンを温めているAがいた。(Aはもうすぐ肉を焼く)				8	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、空が曇り始めていて薄暗かった。(もうすぐ雨が降る)				8	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、机の上に資料を広げているAがいた。(Aはもうすぐ作戦を考える)				8	

付録331 事態  $\alpha$  の既然的将来相におけるデーター石見方言・若年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、スタートラインに立ち、手首足首を回しているAがいた。(Aは走る直前)	2		2	5	8
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、フライパンに油をひき、トレーから肉を取り出しているAがいた。(Aは肉を焼く直前)	2	3	1	4	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、空がどんより曇っていて、ジメジメしていた。(雨が降る直前)	2	1	1	6	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、机の上の資料に目を通し始めているAがいた。(Aは作戦を考える直前)	5	4	3	2	

付録332 事態  $\alpha$  の進行相におけるデーター石見方言・若年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Progressive	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、走っている最中のAがいた。(Aは走っている最中)	5	8	7		8
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、肉を焼いている最中のAがいた。(Aは肉を焼いている最中)	5	7	6		
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、雨が降っている最中だった。(雨が降っている最中)	6	8	7		
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、作戦を考えている最中のAがいた。(Aは作戦を考えている最中)	5	8	6		

付録333 事態  $\alpha$  の結果相におけるデーター石見方言・若年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、100m走を終えて休憩しているAがいた。(Aは既に走った後)		5	7		8
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、焼き終えた肉を皿へ移しているAがいた。(Aは既に肉を焼いた後)	1	6	3	1	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、地面が濡れ、水たまりができていた。(雨は既に降った後)	2	8	7		
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、作戦会議を終えて資料を片付けているAがいた。(Aは既に作戦を考えただ後)	1	7	7		

付録334 事態βの未然的将来相におけるデーター石見方言・若年層一

Verb	Property	[β] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 席に向かっているAがいた。(Aはもうすぐ座る)				8	8
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, 軽く痙攣しているネズミがいた。(ネズミはもうすぐ死ぬ)				8	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの燃料が少なくなっていた。(もうすぐ火が消える)				8	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, 火を消すためストーブに近付いているAがいた。(Aはもうすぐ火を消す)				8	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていた。(もうすぐ晴れる)				8	

付録335 事態βの既然的将来相におけるデーター石見方言・若年層一

Verb	Property	[β] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 荷物を置いて, 椅子を引き出しているAがいた。(Aは座る直前)	4	1		3	8
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ひどく痙攣しているネズミがいた。(ネズミは死ぬ直前)	4			4	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの火がとても弱くなっていて, 消えていっている様子だった。(火が消える直前)	6	2	2	2	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープのスイッチに手を伸ばしているAがいた。(Aは火を消す直前)	5	3	1	2	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていて雨雲の隙間から太陽が見え始めていた。(晴れる直前)	5		1	3	

付録336 事態βの結果相におけるデーター石見方言・若年層一

Verb	Property	[β] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 既に席に着いているAがいた。(Aは既に座った後)	3	8	5		8
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ネズミが1匹死んでいた。(ネズミは既に死んだ後)	2	8	8		
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, 点いているはずのストーブの火が消えていた。(火は消えた後)	2	8	6		
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープの火を消し終えて換気をしているAがいた。(Aは既に火を消した後)	3	7	6	1	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雲ひとつない青空になっていた。(既に晴れた後)		8	5		



### 4.2.3. 鳥取方言のアスペクト体系

付録337 事態  $\alpha$  の未然的将然相におけるデーター東部方言・高年層ー

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後, 運動場に行くと, ユニフォームに着替え, 走者レーンに向かっているAがいた。(Aはもうすぐ走る)				12	12
焼く	主体動作 客体変化	夕食前, 台所に行くと, 冷蔵庫から肉を取り出し, フライパンを温めているAがいた。(Aはもうすぐ肉を焼く)				12	
降る	自然現象	朝, 部屋のカーテンを開けると, 空が曇り始めていて薄暗かった。(もうすぐ雨が降る)				12	
考える	心理	昼食後, 会議室に入ると, 机の上に資料を広げているAがいた。(Aはもうすぐ作戦を考える)				12	

付録338 事態  $\alpha$  の既然的将然相におけるデーター東部方言・高年層ー

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後, 運動場に行くと, スタートラインに立ち, 手首足首を回しているAがいた。(Aは走る直前)				12	12
焼く	主体動作 客体変化	夕食前, 台所に行くと, フライパンに油をひき, トレーから肉を取り出しているAがいた。(Aは肉を焼く直前)				12	
降る	自然現象	朝, 部屋のカーテンを開けると, 空がどんより曇っていて, ジメジメしていた。(雨が降る直前)				12	
考える	心理	昼食後, 会議室に入ると, 机の上の資料に目を通し始めているAがいた。(Aは作戦を考える直前)				12	

付録339 事態  $\alpha$  の進行相におけるデーター東部方言・高年層ー

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Progressive	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後, 運動場に行くと, 走っている最中のAがいた。(Aは走っている最中)	12	9			12
焼く	主体動作 客体変化	夕食前, 台所に行くと, 肉を焼いている最中のAがいた。(Aは肉を焼いている最中)	12	9			
降る	自然現象	朝, 部屋のカーテンを開けると, 雨が降っている最中だった。(雨が降っている最中)	12	9			
考える	心理	昼食後, 会議室に入ると, 作戦を考えている最中のAがいた。(Aは作戦を考えている最中)	9	9			

付録340 事態  $\alpha$  の結果相におけるデーター東部方言・高年層ー

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後, 運動場に行くと, 100m走を終えて休憩しているAがいた。(Aは既に走った後)		7		5	12
焼く	主体動作 客体変化	夕食前, 台所に行くと, 焼き終えた肉を皿へ移しているAがいた。(Aは既に肉を焼いた後)		7		5	
降る	自然現象	朝, 部屋のカーテンを開けると, 地面が濡れ, 水たまりができていた。(雨は既に降った後)		5		7	
考える	心理	昼食後, 会議室に入ると, 作戦会議を終えて資料を片付けているAがいた。(Aは既に作戦考えた後)		7		5	



付録341 事態βの未然的将来相におけるデーター東部方言・高年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 席に向かっているAがいた。(Aはもうすぐ座る)				12	12
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, 軽く痙攣しているネズミがいた。(ネズミはもうすぐ死ぬ)				12	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの燃料が少なくなっていた。(もうすぐ火が消える)				12	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, 火を消すためストーブに近付いているAがいた。(Aはもうすぐ火を消す)				12	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていた。(もうすぐ晴れる)				12	

付録342 事態βの既然的将来相におけるデーター東部方言・高年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 荷物を置いて, 椅子を引き出しているAがいた。(Aは座る直前)	10			2	12
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ひどく痙攣しているネズミがいた。(ネズミは死ぬ直前)	7			5	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの火がとても弱くなっていて, 消えていっている様子だった。(火が消える直前)	10			2	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープのスイッチに手を伸ばしているAがいた。(Aは火を消す直前)	10			2	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていて雨雲の隙間から太陽が見え始めていた。(晴れる直前)	10			2	

付録343 事態βの結果相におけるデーター東部方言・高年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 既に席に着いているAがいた。(Aは既に座った後)		12			12
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ネズミが1匹死んでいた。(ネズミは既に死んだ後)		12			
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, 点いているはずのストーブの火が消えていた。(火は消えた後)		12			
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープの火を消し終えて換気をしているAがいた。(Aは既に火を消した後)		12			
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雲ひとつない青空になっていた。(既に晴れた後)		12			

付録344 事態  $\alpha$  の未然的将来相におけるデーター東部方言・中年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、ユニフォームに着替え、走者レーンに向かっているAがいた。(Aはもうすぐ走る)				10	10
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、冷蔵庫から肉を取り出し、フライパンを温めているAがいた。(Aはもうすぐ肉を焼く)				10	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、空が曇り始めていて薄暗かった。(もうすぐ雨が降る)				10	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、机の上に資料を広げているAがいた。(Aはもうすぐ作戦を考える)				10	

付録345 事態  $\alpha$  の既然的将来相におけるデーター東部方言・中年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、スタートラインに立ち、手首足首を回しているAがいた。(Aは走る直前)				10	10
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、フライパンに油をひき、トレーから肉を取り出しているAがいた。(Aは肉を焼く直前)	2			8	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、空がどんより曇っていて、ジメジメしていた。(雨が降る直前)				10	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、机の上の資料に目を通し始めているAがいた。(Aは作戦を考える直前)	1	2		7	

付録346 事態  $\alpha$  の進行相におけるデーター東部方言・中年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Progressive	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、走っている最中のAがいた。(Aは走っている最中)	9	9			10
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、肉を焼いている最中のAがいた。(Aは肉を焼いている最中)	9	9			
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、雨が降っている最中だった。(雨が降っている最中)	9	9			
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、作戦を考えている最中のAがいた。(Aは作戦を考えている最中)	9	9			

付録347 事態  $\alpha$  の結果相におけるデーター東部方言・中年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、100m走を終えて休憩しているAがいた。(Aは既に走った後)		5		5	10
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、焼き終えた肉を皿へ移しているAがいた。(Aは既に肉を焼いた後)		6		4	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、地面が濡れ、水たまりができていた。(雨は既に降った後)		7		3	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、作戦会議を終えて資料を片付けているAがいた。(Aは既に作戦を考えた後)		7		3	

付録348 事態βの未然的将来相におけるデーター東部方言・中年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 席に向かっているAがいた。(Aはもうすぐ座る)				10	10
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, 軽く痙攣しているネズミがいた。(ネズミはもうすぐ死ぬ)				10	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの燃料が少なくなっていた。(もうすぐ火が消える)				10	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, 火を消すためストーブに近付いているAがいた。(Aはもうすぐ火を消す)				10	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていた。(もうすぐ晴れる)				10	

付録349 事態βの既然的将来相におけるデーター東部方言・中年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 荷物を置いて, 椅子を引き出しているAがいた。(Aは座る直前)	10				10
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ひどく痙攣しているネズミがいた。(ネズミは死ぬ直前)	6			4	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの火がとても弱くなっていて, 消えていっている様子だった。(火が消える直前)	8			2	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープのスイッチに手を伸ばしているAがいた。(Aは火を消す直前)	9			1	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていて雨雲の隙間から太陽が見え始めていた。(晴れる直前)	9			1	

付録350 事態βの結果相におけるデーター東部方言・中年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 既に席に着いているAがいた。(Aは既に座った後)		10			10
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ネズミが1匹死んでいた。(ネズミは既に死んだ後)		10			
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, 点いているはずのストーブの火が消えていた。(火は消えた後)		10			
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープの火を消し終えて換気をしているAがいた。(Aは既に火を消した後)		10			
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雲ひとつない青空になっていた。(既に晴れた後)		10			

付録351 事態  $\alpha$  の未然的将来相におけるデーター東部方言・若年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、ユニフォームに着替え、走者レーンに向かっているAがいた。(Aはもうすぐ走る)				15	15
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、冷蔵庫から肉を取り出し、フライパンを温めているAがいた。(Aはもうすぐ肉を焼く)				15	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、空が曇り始めていて薄暗かった。(もうすぐ雨が降る)				15	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、机の上に資料を広げているAがいた。(Aはもうすぐ作戦を考える)				15	

付録352 事態  $\alpha$  の既然的将来相におけるデーター東部方言・若年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、スタートラインに立ち、手首足首を回しているAがいた。(Aは走る直前)				15	15
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、フライパンに油をひき、トレーから肉を取り出しているAがいた。(Aは肉を焼く直前)	3			12	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、空がどんより曇っていて、ジメジメしていた。(雨が降る直前)				15	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、机の上の資料に目を通し始めているAがいた。(Aは作戦を考える直前)	5	2		10	

付録353 事態  $\alpha$  の進行相におけるデーター東部方言・若年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Progressive	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、走っている最中のAがいた。(Aは走っている最中)	13	13			15
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、肉を焼いている最中のAがいた。(Aは肉を焼いている最中)	12	13			
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、雨が降っている最中だった。(雨が降っている最中)	13	13			
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、作戦を考えている最中のAがいた。(Aは作戦を考えている最中)	13	13			

付録354 事態  $\alpha$  の結果相におけるデーター東部方言・若年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、100m走を終えて休憩しているAがいた。(Aは既に走った後)		9		6	15
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、焼き終えた肉を皿へ移しているAがいた。(Aは既に肉を焼いた後)		9		6	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、地面が濡れ、水たまりができていた。(雨は既に降った後)		7		8	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、作戦会議を終えて資料を片付けているAがいた。(Aは既に作戦を考えた後)		10		5	

付録355 事態βの未然的将来相におけるデーター東部方言・若年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 席に向かっているAがいた。(Aはもうすぐ座る)				15	15
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, 軽く痙攣しているネズミがいた。(ネズミはもうすぐ死ぬ)				15	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの燃料が少なくなっていた。(もうすぐ火が消える)				15	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, 火を消すためストーブに近付いているAがいた。(Aはもうすぐ火を消す)				15	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていた。(もうすぐ晴れる)				15	

付録356 事態βの既然的将来相におけるデーター東部方言・若年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 荷物を置いて, 椅子を引き出しているAがいた。(Aは座る直前)	15				15
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ひどく痙攣しているネズミがいた。(ネズミは死ぬ直前)	12			3	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの火がとても弱くなっていて, 消えていっている様子だった。(火が消える直前)	14			1	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープのスイッチに手を伸ばしているAがいた。(Aは火を消す直前)	15				
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていて雨雲の隙間から太陽が見え始めていた。(晴れる直前)	12			3	

付録357 事態βの結果相におけるデーター東部方言・若年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 既に席に着いているAがいた。(Aは既に座った後)		15			15
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ネズミが1匹死んでいた。(ネズミは既に死んだ後)		15			
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, 点いているはずのストーブの火が消えていた。(火は消えた後)		15			
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープの火を消し終えて換気をしているAがいた。(Aは既に火を消した後)		15			
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雲ひとつない青空になっていた。(既に晴れた後)		15			

付録358 事態  $\alpha$  の未然的将来相におけるデーター西伯耆方言・高年層ー

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、ユニフォームに着替え、走者レーンに向かっているAがいた。(Aはもうすぐ走る)				5	5
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、冷蔵庫から肉を取り出し、フライパンを温めているAがいた。(Aはもうすぐ肉を焼く)				5	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、空が曇り始めていて薄暗かった。(もうすぐ雨が降る)				5	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、机の上に資料を広げているAがいた。(Aはもうすぐ作戦を考える)				5	

付録359 事態  $\alpha$  の既然的将来相におけるデーター西伯耆方言・高年層ー

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、スタートラインに立ち、手首足首を回しているAがいた。(Aは走る直前)				5	5
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、フライパンに油をひき、トレーから肉を取り出しているAがいた。(Aは肉を焼く直前)				5	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、空がどんより曇っていて、ジメジメしていた。(雨が降る直前)				5	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、机の上の資料に目を通し始めているAがいた。(Aは作戦を考える直前)				5	

付録360 事態  $\alpha$  の進行相におけるデーター西伯耆方言・高年層ー

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Progressive	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、走っている最中のAがいた。(Aは走っている最中)		5			5
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、肉を焼いている最中のAがいた。(Aは肉を焼いている最中)		5			
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、雨が降っている最中だった。(雨が降っている最中)		5			
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、作戦を考えている最中のAがいた。(Aは作戦を考えている最中)		5			

付録361 事態  $\alpha$  の結果相におけるデーター西伯耆方言・高年層ー

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、100m走を終えて休憩しているAがいた。(Aは既に走った後)		1		4	5
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、焼き終えた肉を皿へ移しているAがいた。(Aは既に肉を焼いた後)				5	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、地面が濡れ、水たまりができていた。(雨は既に降った後)		3		2	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、作戦会議を終えて資料を片付けているAがいた。(Aは既に作戦を考えた後)		2		3	

付録362 事態βの未然的将来相におけるデーター西伯耆方言・高年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 席に向かっているAがいた。(Aはもうすぐ座る)				5	5
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, 軽く痙攣しているネズミがいた。(ネズミはもうすぐ死ぬ)				5	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの燃料が少なくなっていた。(もうすぐ火が消える)				5	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, 火を消すためストーブに近付いているAがいた。(Aはもうすぐ火を消す)				5	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていた。(もうすぐ晴れる)				5	

付録363 事態βの既然的将来相におけるデーター西伯耆方言・高年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 荷物を置いて, 椅子を引き出ししているAがいた。(Aは座る直前)				5	5
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ひどく痙攣しているネズミがいた。(ネズミは死ぬ直前)				5	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの火がとても弱くなっていて, 消えていっている様子だった。(火が消える直前)				5	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープのスイッチに手を伸ばしているAがいた。(Aは火を消す直前)		5			
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていて雨雲の隙間から太陽が見え始めていた。(晴れる直前)				5	

付録364 事態βの結果相におけるデーター西伯耆方言・高年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 既に席に着いているAがいた。(Aは既に座った後)		5			5
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ネズミが1匹死んでいた。(ネズミは既に死んだ後)		5			
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, 点いているはずのストーブの火が消えていた。(火は消えた後)		5			
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープの火を消し終えて換気をしているAがいた。(Aは既に火を消した後)		5			
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雲ひとつない青空になっていた。(既に晴れた後)		5			



付録365 事態  $\alpha$  の未然的将来相におけるデーター西伯耆方言・中年層ー

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、ユニフォームに着替え、走者レーンに向かっているAがいた。(Aはもうすぐ走る)				5	5
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、冷蔵庫から肉を取り出し、フライパンを温めているAがいた。(Aはもうすぐ肉を焼く)				5	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、空が曇り始めていて薄暗かった。(もうすぐ雨が降る)				5	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、机の上に資料を広げているAがいた。(Aはもうすぐ作戦を考える)				5	

付録366 事態  $\alpha$  の既然的将来相におけるデーター西伯耆方言・中年層ー

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、スタートラインに立ち、手首足首を回しているAがいた。(Aは走る直前)				5	5
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、フライパンに油をひき、トレーから肉を取り出しているAがいた。(Aは肉を焼く直前)				5	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、空がどんより曇っていて、ジメジメしていた。(雨が降る直前)				5	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、机の上の資料に目を通し始めているAがいた。(Aは作戦を考える直前)				5	

付録367 事態  $\alpha$  の進行相におけるデーター西伯耆方言・中年層ー

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Progressive	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、走っている最中のAがいた。(Aは走っている最中)		5			5
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、肉を焼いている最中のAがいた。(Aは肉を焼いている最中)		5			
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、雨が降っている最中だった。(雨が降っている最中)		5			
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、作戦を考えている最中のAがいた。(Aは作戦を考えている最中)		5			

付録368 事態  $\alpha$  の結果相におけるデーター西伯耆方言・中年層ー

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、100m走を終えて休憩しているAがいた。(Aは既に走った後)		5			5
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、焼き終えた肉を皿へ移しているAがいた。(Aは既に肉を焼いた後)		5			
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、地面が濡れ、水たまりができていた。(雨は既に降った後)		3		2	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、作戦会議を終えて資料を片付けているAがいた。(Aは既に作戦を考えた後)		3		2	



付録369 事態βの未然的将来相におけるデーター西伯耆方言・中年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 席に向かっているAがいた。(Aはもうすぐ座る)				5	5
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, 軽く痙攣しているネズミがいた。(ネズミはもうすぐ死ぬ)				5	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの燃料が少なくなっていた。(もうすぐ火が消える)				5	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, 火を消すためストーブに近付いているAがいた。(Aはもうすぐ火を消す)				5	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていた。(もうすぐ晴れる)				5	

付録370 事態βの既然的将来相におけるデーター西伯耆方言・中年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 荷物を置いて, 椅子を引き出ししているAがいた。(Aは座る直前)				5	5
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ひどく痙攣しているネズミがいた。(ネズミは死ぬ直前)				5	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの火がとても弱くなっていて, 消えていっている様子だった。(火が消える直前)				5	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープのスイッチに手を伸ばしているAがいた。(Aは火を消す直前)				5	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていて雨雲の隙間から太陽が見え始めていた。(晴れる直前)				5	

付録371 事態βの結果相におけるデーター西伯耆方言・中年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 既に席に着いているAがいた。(Aは既に座った後)		5			5
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ネズミが1匹死んでいた。(ネズミは既に死んだ後)		5			
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, 点いているはずのストーブの火が消えていた。(火は消えた後)		5			
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープの火を消し終えて換気をしているAがいた。(Aは既に火を消した後)		5			
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雲ひとつない青空になっていた。(既に晴れた後)		5			

付録372 事態  $\alpha$  の未然的将来相におけるデーター西伯耆方言・若年層ー

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、ユニフォームに着替え、走者レーンに向かっているAがいた。(Aはもうすぐ走る)				5	5
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、冷蔵庫から肉を取り出し、フライパンを温めているAがいた。(Aはもうすぐ肉を焼く)				5	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、空が曇り始めていて薄暗かった。(もうすぐ雨が降る)				5	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、机の上に資料を広げているAがいた。(Aはもうすぐ作戦を考える)				5	

付録373 事態  $\alpha$  の既然的将来相におけるデーター西伯耆方言・若年層ー

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、スタートラインに立ち、手首足首を回しているAがいた。(Aは走る直前)				5	5
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、フライパンに油をひき、トレーから肉を取り出しているAがいた。(Aは肉を焼く直前)				5	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、空がどんより曇っていて、ジメジメしていた。(雨が降る直前)				5	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、机の上の資料に目を通し始めているAがいた。(Aは作戦を考える直前)				5	

付録374 事態  $\alpha$  の進行相におけるデーター西伯耆方言・若年層ー

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Progressive	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、走っている最中のAがいた。(Aは走っている最中)		5			5
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、肉を焼いている最中のAがいた。(Aは肉を焼いている最中)		5			
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、雨が降っている最中だった。(雨が降っている最中)		5			
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、作戦を考えている最中のAがいた。(Aは作戦を考えている最中)		5			

付録375 事態  $\alpha$  の結果相におけるデーター西伯耆方言・若年層ー

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、100m走を終えて休憩しているAがいた。(Aは既に走った後)		5			5
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、焼き終えた肉を皿へ移しているAがいた。(Aは既に肉を焼いた後)		4		1	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、地面が濡れ、水たまりができていた。(雨は既に降った後)		2		3	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、作戦会議を終えて資料を片付けているAがいた。(Aは既に作戦を考えた後)		4		1	

付録376 事態βの未然的将来相におけるデーター西伯耆方言・若年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 席に向かっているAがいた。(Aはもうすぐ座る)				5	5
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, 軽く痙攣しているネズミがいた。(ネズミはもうすぐ死ぬ)				5	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの燃料が少なくなっていた。(もうすぐ火が消える)				5	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, 火を消すためストーブに近付いているAがいた。(Aはもうすぐ火を消す)				5	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていた。(もうすぐ晴れる)				5	

付録377 事態βの既然的将来相におけるデーター西伯耆方言・若年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 荷物を置いて, 椅子を引き出ししているAがいた。(Aは座る直前)				5	5
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ひどく痙攣しているネズミがいた。(ネズミは死ぬ直前)				5	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの火がとても弱くなっていて, 消えていっている様子だった。(火が消える直前)				5	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープのスイッチに手を伸ばしているAがいた。(Aは火を消す直前)		1		4	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていて雨雲の隙間から太陽が見え始めていた。(晴れる直前)				5	

付録378 事態βの結果相におけるデーター西伯耆方言・若年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 既に席に着いているAがいた。(Aは既に座った後)		5			5
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ネズミが1匹死んでいた。(ネズミは既に死んだ後)		5			
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, 点いているはずのストーブの火が消えていた。(火は消えた後)		5			
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープの火を消し終えて換気をしているAがいた。(Aは既に火を消した後)		5			
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雲ひとつない青空になっていた。(既に晴れた後)		5			

## 4.2.4. 広島方言のアスペクト体系

付録379 事態  $\alpha$  の未然的将然相におけるデーター広島方言・高年層ー

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後, 運動場に行くと, ユニフォームに着替え, 走者レーンに向かっているAがいた。(Aはもうすぐ走る)				17	17
焼く	主体動作 客体変化	夕食前, 台所に行くと, 冷蔵庫から肉を取り出し, フライパンを温めているAがいた。(Aはもうすぐ肉を焼く)				17	
降る	自然現象	朝, 部屋のカーテンを開けると, 空が曇り始めていて薄暗かった。(もうすぐ雨が降る)				17	
考える	心理	昼食後, 会議室に入ると, 机の上に資料を広げているAがいた。(Aはもうすぐ作戦を考える)				17	

付録380 事態  $\alpha$  の既然的将然相におけるデーター広島方言・高年層ー

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後, 運動場に行くと, スタートラインに立ち, 手首足首を回しているAがいた。(Aは走る直前)				17	17
焼く	主体動作 客体変化	夕食前, 台所に行くと, フライパンに油をひき, トレーから肉を取り出しているAがいた。(Aは肉を焼く直前)				17	
降る	自然現象	朝, 部屋のカーテンを開けると, 空がどんより曇っていて, ジメジメしていた。(雨が降る直前)				17	
考える	心理	昼食後, 会議室に入ると, 机の上の資料に目を通し始めているAがいた。(Aは作戦を考える直前)	1			16	

付録381 事態  $\alpha$  の進行相におけるデーター広島方言・高年層ー

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Progressive	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後, 運動場に行くと, 走っている最中のAがいた。(Aは走っている最中)	17	17			17
焼く	主体動作 客体変化	夕食前, 台所に行くと, 肉を焼いている最中のAがいた。(Aは肉を焼いている最中)	17	17			
降る	自然現象	朝, 部屋のカーテンを開けると, 雨が降っている最中だった。(雨が降っている最中)	17	17	1		
考える	心理	昼食後, 会議室に入ると, 作戦を考えている最中のAがいた。(Aは作戦を考えている最中)	17	17			

付録382 事態  $\alpha$  の結果相におけるデーター広島方言・高年層ー

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後, 運動場に行くと, 100m走を終えて休憩しているAがいた。(Aは既に走った後)		17			17
焼く	主体動作 客体変化	夕食前, 台所に行くと, 焼き終えた肉を皿へ移しているAがいた。(Aは既に肉を焼いた後)		11		6	
降る	自然現象	朝, 部屋のカーテンを開けると, 地面が濡れ, 水たまりができていた。(雨は既に降った後)		16		1	
考える	心理	昼食後, 会議室に入ると, 作戦会議を終えて資料を片付けているAがいた。(Aは既に作戦を考えた後)		11		6	

付録383 事態βの未然的将来相におけるデーター広島方言・高年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 席に向かっているAがいた。(Aはもうすぐ座る)				17	17
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, 軽く痙攣しているネズミがいた。(ネズミはもうすぐ死ぬ)				17	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの燃料が少なくなっていた。(もうすぐ火が消える)				17	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, 火を消すためストーブに近付いているAがいた。(Aはもうすぐ火を消す)				17	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていた。(もうすぐ晴れる)				17	

付録384 事態βの既然的将来相におけるデーター広島方言・高年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 荷物を置いて, 椅子を引き出ししているAがいた。(Aは座る直前)	17				17
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ひどく痙攣しているネズミがいた。(ネズミは死ぬ直前)	17				
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの火がとても弱くなっていて, 消えていっている様子だった。(火が消える直前)	17				
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープのスイッチに手を伸ばしているAがいた。(Aは火を消す直前)	17				
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていて雨雲の隙間から太陽が見え始めていた。(晴れる直前)	17				

付録385 事態βの進行相におけるデーター広島方言・高年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 既に席に着いているAがいた。(Aは既に座った後)		17			17
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ネズミが1匹死んでいた。(ネズミは既に死んだ後)		17			
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, 点いているはずのストーブの火が消えていた。(火は消えた後)		17			
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープの火を消し終えて換気をしているAがいた。(Aは既に火を消した後)		17			
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雲ひとつない青空になっていた。(既に晴れた後)		17			

付録386 事態  $\alpha$  の未然的将来相におけるデーター広島方言・中年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、ユニフォームに着替え、走者レーンに向かっているAがいた。(Aはもうすぐ走る)				24	24
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、冷蔵庫から肉を取り出し、フライパンを温めているAがいた。(Aはもうすぐ肉を焼く)				24	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、空が曇り始めていて薄暗かった。(もうすぐ雨が降る)				24	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、机の上に資料を広げているAがいた。(Aはもうすぐ作戦を考える)				24	

付録387 事態  $\alpha$  の既然的将来相におけるデーター広島方言・中年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、スタートラインに立ち、手首足首を回しているAがいた。(Aは走る直前)	1			23	24
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、フライパンに油をひき、トレーから肉を取り出しているAがいた。(Aは肉を焼く直前)	2	1		22	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、空がどんより曇っていて、ジメジメしていた。(雨が降る直前)				24	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、机の上の資料に目を通し始めているAがいた。(Aは作戦を考える直前)	1	1		23	

付録388 事態  $\alpha$  の進行相におけるデーター広島方言・中年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Progressive	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、走っている最中のAがいた。(Aは走っている最中)	24	24	1		24
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、肉を焼いている最中のAがいた。(Aは肉を焼いている最中)	24	24			
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、雨が降っている最中だった。(雨が降っている最中)	24	24	1		
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、作戦を考えている最中のAがいた。(Aは作戦を考えている最中)	24	24	1		

付録389 事態  $\alpha$  の結果相におけるデーター広島方言・中年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、100m走を終えて休憩しているAがいた。(Aは既に走った後)		24			24
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、焼き終えた肉を皿へ移しているAがいた。(Aは既に肉を焼いた後)		17	2	7	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、地面が濡れ、水たまりができていた。(雨は既に降った後)		20		4	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、作戦会議を終えて資料を片付けているAがいた。(Aは既に作戦を考えた後)		18		6	

付録390 事態βの未然的将来相におけるデーター広島方言・中年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 席に向かっているAがいた。(Aはもうすぐ座る)				24	24
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, 軽く痙攣しているネズミがいた。(ネズミはもうすぐ死ぬ)				24	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの燃料が少なくなっていた。(もうすぐ火が消える)				24	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, 火を消すためストーブに近付いているAがいた。(Aはもうすぐ火を消す)				24	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていた。(もうすぐ晴れる)				24	

付録391 事態βの既然的将来相におけるデーター広島方言・中年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 荷物を置いて, 椅子を引き出しているAがいた。(Aは座る直前)	24				24
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ひどく痙攣しているネズミがいた。(ネズミは死ぬ直前)	22			2	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの火がとても弱くなっていて, 消えていっている様子だった。(火が消える直前)	24				
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープのスイッチに手を伸ばしているAがいた。(Aは火を消す直前)	24				
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていて雨雲の隙間から太陽が見え始めていた。(晴れる直前)	22			2	

付録392 事態βの進行相におけるデーター広島方言・中年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 既に席に着いているAがいた。(Aは既に座った後)		24	2		24
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ネズミが1匹死んでいた。(ネズミは既に死んだ後)		24	1		
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, 点いているはずのストーブの火が消えていた。(火は消えた後)		24	1		
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープの火を消し終えて換気をしているAがいた。(Aは既に火を消した後)		24			
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雲ひとつない青空になっていた。(既に晴れた後)		24	1		



付録393 事態  $\alpha$  の未然的将来相におけるデーター広島方言・若年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後, 運動場に行くと, ユニフォームに着替え, 走者レーンに向かっているAがいた。(Aはもうすぐ走る)				14	14
焼く	主体動作 客体変化	夕食前, 台所に行くと, 冷蔵庫から肉を取り出し, フライパンを温めているAがいた。(Aはもうすぐ肉を焼く)				14	
降る	自然現象	朝, 部屋のカーテンを開けると, 空が曇り始めていて薄暗かった。(もうすぐ雨が降る)				14	
考える	心理	昼食後, 会議室に入ると, 机の上に資料を広げているAがいた。(Aはもうすぐ作戦を考える)				14	

付録394 事態  $\alpha$  の既然的将来相におけるデーター広島方言・若年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後, 運動場に行くと, スタートラインに立ち, 手首足首を回しているAがいた。(Aは走る直前)	3	2		10	14
焼く	主体動作 客体変化	夕食前, 台所に行くと, フライパンに油をひき, トレーから肉を取り出しているAがいた。(Aは肉を焼く直前)	7	2		7	
降る	自然現象	朝, 部屋のカーテンを開けると, 空がどんより曇っていて, ジメジメしていた。(雨が降る直前)	2			12	
考える	心理	昼食後, 会議室に入ると, 机の上の資料に目を通し始めているAがいた。(Aは作戦を考える直前)	7	5		7	

付録395 事態  $\alpha$  の進行相におけるデーター広島方言・若年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Progressive	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後, 運動場に行くと, 走っている最中のAがいた。(Aは走っている最中)	14	14	1		14
焼く	主体動作 客体変化	夕食前, 台所に行くと, 肉を焼いている最中のAがいた。(Aは肉を焼いている最中)	14	14	2		
降る	自然現象	朝, 部屋のカーテンを開けると, 雨が降っている最中だった。(雨が降っている最中)	14	14	1		
考える	心理	昼食後, 会議室に入ると, 作戦を考えている最中のAがいた。(Aは作戦を考えている最中)	14	14	1		

付録396 事態  $\alpha$  の結果相におけるデーター広島方言・若年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後, 運動場に行くと, 100m走を終えて休憩しているAがいた。(Aは既に走った後)	1	14			14
焼く	主体動作 客体変化	夕食前, 台所に行くと, 焼き終えた肉を皿へ移しているAがいた。(Aは既に肉を焼いた後)	1	12	1	2	
降る	自然現象	朝, 部屋のカーテンを開けると, 地面が濡れ, 水たまりができていた。(雨は既に降った後)		13		1	
考える	心理	昼食後, 会議室に入ると, 作戦会議を終えて資料を片付けているAがいた。(Aは既に作戦を考えた後)	1	11		3	



付録397 事態βの未然的将来相におけるデーター広島方言・若年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 席に向かっているAがいた。(Aはもうすぐ座る)				14	14
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, 軽く痙攣しているネズミがいた。(ネズミはもうすぐ死ぬ)				14	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの燃料が少なくなっていた。(もうすぐ火が消える)				14	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, 火を消すためストーブに近付いているAがいた。(Aはもうすぐ火を消す)				14	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていた。(もうすぐ晴れる)				14	

付録398 事態βの既然的将来相におけるデーター広島方言・若年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 荷物を置いて, 椅子を引き出しているAがいた。(Aは座る直前)	14	2	1		14
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ひどく痙攣しているネズミがいた。(ネズミは死ぬ直前)	11			3	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの火がとても弱くなっていて, 消えていっている様子だった。(火が消える直前)	14				
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープのスイッチに手を伸ばしているAがいた。(Aは火を消す直前)	14	2			
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていて雨雲の隙間から太陽が見え始めていた。(晴れる直前)	14	2			

付録399 事態βの進行相におけるデーター広島方言・若年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 既に席に着いているAがいた。(Aは既に座った後)	2	14	1		14
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ネズミが1匹死んでいた。(ネズミは既に死んだ後)	1	14	3		
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, 点いているはずのストーブの火が消えていた。(火は消えた後)		13		1	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープの火を消し終えて換気をしているAがいた。(Aは既に火を消した後)	2	14			
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雲ひとつない青空になっていた。(既に晴れた後)	3	14	1		

## 4.2.5. 山口方言のアスペクト体系

付録400 事態  $\alpha$  の未然的将然相におけるデーター山口方言・高年層ー

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後, 運動場に行くと, ユニフォームに着替え, 走者レーンに向かっているAがいた。(Aはもうすぐ走る)				21	21
焼く	主体動作 客体変化	夕食前, 台所に行くと, 冷蔵庫から肉を取り出し, フライパンを温めているAがいた。(Aはもうすぐ肉を焼く)				21	
降る	自然現象	朝, 部屋のカーテンを開けると, 空が曇り始めていて薄暗かった。(もうすぐ雨が降る)				21	
考える	心理	昼食後, 会議室に入ると, 机の上に資料を広げているAがいた。(Aはもうすぐ作戦を考える)				21	

付録401 事態  $\alpha$  の既然的将然相におけるデーター山口方言・高年層ー

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後, 運動場に行くと, スタートラインに立ち, 手首足首を回しているAがいた。(Aは走る直前)	5			16	21
焼く	主体動作 客体変化	夕食前, 台所に行くと, フライパンに油をひき, トレーから肉を取り出しているAがいた。(Aは肉を焼く直前)	11	2		10	
降る	自然現象	朝, 部屋のカーテンを開けると, 空がどんより曇っていて, ジメジメしていた。(雨が降る直前)				21	
考える	心理	昼食後, 会議室に入ると, 机の上の資料に目を通し始めているAがいた。(Aは作戦を考える直前)	16	4		5	

付録402 事態  $\alpha$  の進行相におけるデーター山口方言・高年層ー

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Progressive	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後, 運動場に行くと, 走っている最中のAがいた。(Aは走っている最中)	19	20			21
焼く	主体動作 客体変化	夕食前, 台所に行くと, 肉を焼いている最中のAがいた。(Aは肉を焼いている最中)	20	13			
降る	自然現象	朝, 部屋のカーテンを開けると, 雨が降っている最中だった。(雨が降っている最中)	20	20			
考える	心理	昼食後, 会議室に入ると, 作戦を考えている最中のAがいた。(Aは作戦を考えている最中)	19	16			

付録403 事態  $\alpha$  の結果相におけるデーター山口方言・高年層ー

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後, 運動場に行くと, 100m走を終えて休憩しているAがいた。(Aは既に走った後)		15		6	21
焼く	主体動作 客体変化	夕食前, 台所に行くと, 焼き終えた肉を皿へ移しているAがいた。(Aは既に肉を焼いた後)		19		2	
降る	自然現象	朝, 部屋のカーテンを開けると, 地面が濡れ, 水たまりができていた。(雨は既に降った後)		12		9	
考える	心理	昼食後, 会議室に入ると, 作戦会議を終えて資料を片付けているAがいた。(Aは既に作戦考えた後)		16		5	

付録404 事態βの未然的将来相におけるデーター山口方言・高年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 席に向かっているAがいた。(Aはもうすぐ座る)				21	21
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, 軽く痙攣しているネズミがいた。(ネズミはもうすぐ死ぬ)				21	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの燃料が少なくなっていた。(もうすぐ火が消える)				21	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, 火を消すためストーブに近付いているAがいた。(Aはもうすぐ火を消す)				21	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていた。(もうすぐ晴れる)				21	

付録405 事態βの既然的将来相におけるデーター山口方言・高年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 荷物を置いて, 椅子を引き出しているAがいた。(Aは座る直前)	21				21
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ひどく痙攣しているネズミがいた。(ネズミは死ぬ直前)	19			2	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの火がとても弱くなっていて, 消えていっている様子だった。(火が消える直前)	21				
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープのスイッチに手を伸ばしているAがいた。(Aは火を消す直前)	21				
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていて雨雲の隙間から太陽が見え始めていた。(晴れる直前)	21				

付録406 事態βの結果相におけるデーター山口方言・高年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 既に席に着いているAがいた。(Aは既に座った後)		21			21
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ネズミが1匹死んでいた。(ネズミは既に死んだ後)		21			
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, 点いているはずのストーブの火が消えていた。(火は消えた後)		21			
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープの火を消し終えて換気をしているAがいた。(Aは既に火を消した後)		21			
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雲ひとつない青空になっていた。(既に晴れた後)		20		1	

付録407 事態  $\alpha$  の未然的将来相におけるデーター山口方言・中年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、ユニフォームに着替え、走者レーンに向かっているAがいた。(Aはもうすぐ走る)				20	20
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、冷蔵庫から肉を取り出し、フライパンを温めているAがいた。(Aはもうすぐ肉を焼く)				20	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、空が曇り始めていて薄暗かった。(もうすぐ雨が降る)				20	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、机の上に資料を広げているAがいた。(Aはもうすぐ作戦を考える)				20	

付録408 事態  $\alpha$  の既然的将来相におけるデーター山口方言・中年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、スタートラインに立ち、手首足首を回しているAがいた。(Aは走る直前)				20	20
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、フライパンに油をひき、トレーから肉を取り出しているAがいた。(Aは肉を焼く直前)	6	1		14	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、空がどんより曇っていて、ジメジメしていた。(雨が降る直前)				20	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、机の上の資料に目を通し始めているAがいた。(Aは作戦を考える直前)	12			8	

付録409 事態  $\alpha$  の進行相におけるデーター山口方言・中年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Progressive	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、走っている最中のAがいた。(Aは走っている最中)	19	18			20
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、肉を焼いている最中のAがいた。(Aは肉を焼いている最中)	20	15			
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、雨が降っている最中だった。(雨が降っている最中)	20	17			
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、作戦を考えている最中のAがいた。(Aは作戦を考えている最中)	20	17			

付録410 事態  $\alpha$  の結果相におけるデーター山口方言・中年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、100m走を終えて休憩しているAがいた。(Aは既に走った後)		16		4	20
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、焼き終えた肉を皿へ移しているAがいた。(Aは既に肉を焼いた後)		19		1	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、地面が濡れ、水たまりができていた。(雨は既に降った後)		9		11	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、作戦会議を終えて資料を片付けているAがいた。(Aは既に作戦を考えた後)		17		3	

付録411 事態βの未然的将来相におけるデーター山口方言・中年層一

Verb	Property	[β] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 席に向かっているAがいた。(Aはもうすぐ座る)				20	20
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, 軽く痙攣しているネズミがいた。(ネズミはもうすぐ死ぬ)				20	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの燃料が少なくなっていた。(もうすぐ火が消える)				20	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, 火を消すためストーブに近付いているAがいた。(Aはもうすぐ火を消す)				20	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていた。(もうすぐ晴れる)				20	

付録412 事態βの既然的将来相におけるデーター山口方言・中年層一

Verb	Property	[β] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 荷物を置いて, 椅子を引き出しているAがいた。(Aは座る直前)	20				20
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ひどく痙攣しているネズミがいた。(ネズミは死ぬ直前)	19			1	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの火がとても弱くなっていて, 消えていっている様子だった。(火が消える直前)	19			1	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープのスイッチに手を伸ばしているAがいた。(Aは火を消す直前)	20				
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていて雨雲の隙間から太陽が見え始めていた。(晴れる直前)	19			1	

付録413 事態βの結果相におけるデーター山口方言・中年層一

Verb	Property	[β] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 既に席に着いているAがいた。(Aは既に座った後)		20			20
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ネズミが1匹死んでいた。(ネズミは既に死んだ後)		20			
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, 点いているはずのストーブの火が消えていた。(火は消えた後)		20			
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープの火を消し終えて換気をしているAがいた。(Aは既に火を消した後)		20			
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雲ひとつない青空になっていた。(既に晴れた後)		20			

付録414 事態  $\alpha$  の未然的将来相におけるデーター山口方言・若年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、ユニフォームに着替え、走者レーンに向かっているAがいた。(Aはもうすぐ走る)				24	24
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、冷蔵庫から肉を取り出し、フライパンを温めているAがいた。(Aはもうすぐ肉を焼く)				24	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、空が曇り始めていて薄暗かった。(もうすぐ雨が降る)				24	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、机の上に資料を広げているAがいた。(Aはもうすぐ作戦を考える)				24	

付録415 事態  $\alpha$  の既然的将来相におけるデーター山口方言・若年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、スタートラインに立ち、手首足首を回しているAがいた。(Aは走る直前)	3			21	24
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、フライパンに油をひき、トレーから肉を取り出しているAがいた。(Aは肉を焼く直前)	13	4		11	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、空がどんより曇っていて、ジメジメしていた。(雨が降る直前)				24	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、机の上の資料に目を通し始めているAがいた。(Aは作戦を考える直前)	14	4		10	

付録416 事態  $\alpha$  の進行相におけるデーター山口方言・若年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Progressive	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、走っている最中のAがいた。(Aは走っている最中)	24	23			24
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、肉を焼いている最中のAがいた。(Aは肉を焼いている最中)	24	21			
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、雨が降っている最中だった。(雨が降っている最中)	23	24			
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、作戦を考えている最中のAがいた。(Aは作戦を考えている最中)	24	24			

付録417 事態  $\alpha$  の結果相におけるデーター山口方言・若年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、100m走を終えて休憩しているAがいた。(Aは既に走った後)		20		4	24
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、焼き終えた肉を皿へ移しているAがいた。(Aは既に肉を焼いた後)		20		4	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、地面が濡れ、水たまりができていた。(雨は既に降った後)		17		7	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、作戦会議を終えて資料を片付けているAがいた。(Aは既に作戦を考えた後)		22		2	

付録418 事態βの未然的将来相におけるデーター山口方言・若年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 席に向かっているAがいた。(Aはもうすぐ座る)				24	24
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, 軽く痙攣しているネズミがいた。(ネズミはもうすぐ死ぬ)				24	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの燃料が少なくなっていた。(もうすぐ火が消える)				24	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, 火を消すためストーブに近付いているAがいた。(Aはもうすぐ火を消す)				24	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていた。(もうすぐ晴れる)				24	

付録419 事態βの既然的将来相におけるデーター山口方言・若年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 荷物を置いて, 椅子を引き出しているAがいた。(Aは座る直前)	22	4		2	24
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ひどく痙攣しているネズミがいた。(ネズミは死ぬ直前)	18			6	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの火がとても弱くなっていて, 消えていっている様子だった。(火が消える直前)	22	2		2	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープのスイッチに手を伸ばしているAがいた。(Aは火を消す直前)	23	7		1	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていて雨雲の隙間から太陽が見え始めていた。(晴れる直前)	19	4		5	

付録420 事態βの結果相におけるデーター山口方言・若年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 既に席に着いているAがいた。(Aは既に座った後)		24			19
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ネズミが1匹死んでいた。(ネズミは既に死んだ後)		24			
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, 点いているはずのストーブの火が消えていた。(火は消えた後)		24			
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープの火を消し終えて換気をしているAがいた。(Aは既に火を消した後)		24			
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雲ひとつない青空になっていた。(既に晴れた後)		24			



### 4.3.1. 高知方言のアスペクト体系

付録421 事態  $\alpha$  の未然的将然相におけるデーター高知方言・高年層ー

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後, 運動場に行くと, ユニフォームに着替え, 走者レーンに向かっているAがいた。(Aはもうすぐ走る)				16	16
焼く	主体動作 客体変化	夕食前, 台所に行くと, 冷蔵庫から肉を取り出し, フライパンを温めているAがいた。(Aはもうすぐ肉を焼く)				16	
降る	自然現象	朝, 部屋のカーテンを開けると, 空が曇り始めていて薄暗かった。(もうすぐ雨が降る)				16	
考える	心理	昼食後, 会議室に入ると, 机の上に資料を広げているAがいた。(Aはもうすぐ作戦を考える)				16	

付録422 事態  $\alpha$  の既然的将然相におけるデーター高知方言・高年層ー

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後, 運動場に行くと, スタートラインに立ち, 手首足首を回しているAがいた。(Aは走る直前)	4			12	16
焼く	主体動作 客体変化	夕食前, 台所に行くと, フライパンに油をひき, トレーから肉を取り出しているAがいた。(Aは肉を焼く直前)	6			10	
降る	自然現象	朝, 部屋のカーテンを開けると, 空がどんより曇っていて, ジメジメしていた。(雨が降る直前)				16	
考える	心理	昼食後, 会議室に入ると, 机の上の資料に目を通し始めているAがいた。(Aは作戦を考える直前)	6			10	

付録423 事態  $\alpha$  の進行相におけるデーター高知方言・高年層ー

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Progressive	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後, 運動場に行くと, 走っている最中のAがいた。(Aは走っている最中)	16				16
焼く	主体動作 客体変化	夕食前, 台所に行くと, 肉を焼いている最中のAがいた。(Aは肉を焼いている最中)	16				
降る	自然現象	朝, 部屋のカーテンを開けると, 雨が降っている最中だった。(雨が降っている最中)	16				
考える	心理	昼食後, 会議室に入ると, 作戦を考えている最中のAがいた。(Aは作戦を考えている最中)	16				

付録424 事態  $\alpha$  の結果相におけるデーター高知方言・高年層ー

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後, 運動場に行くと, 100m走を終えて休憩しているAがいた。(Aは既に走った後)		16			16
焼く	主体動作 客体変化	夕食前, 台所に行くと, 焼き終えた肉を皿へ移しているAがいた。(Aは既に肉を焼いた後)		16			
降る	自然現象	朝, 部屋のカーテンを開けると, 地面が濡れ, 水たまりができていた。(雨は既に降った後)		16			
考える	心理	昼食後, 会議室に入ると, 作戦会議を終えて資料を片付けているAがいた。(Aは既に作戦を考えた後)		16			



付録425 事態βの未然的将来相におけるデーター高知方言・高年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 席に向かっているAがいた。(Aはもうすぐ座る)				16	16
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, 軽く痙攣しているネズミがいた。(ネズミはもうすぐ死ぬ)				16	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの燃料が少なくなっていた。(もうすぐ火が消える)				16	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, 火を消すためストーブに近付いているAがいた。(Aはもうすぐ火を消す)				16	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていた。(もうすぐ晴れる)				16	

付録426 事態βの既然的将来相におけるデーター高知方言・高年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 荷物を置いて, 椅子を引き出しているAがいた。(Aは座る直前)	16				16
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ひどく痙攣しているネズミがいた。(ネズミは死ぬ直前)	16				
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの火がとても弱くなっていて, 消えていっている様子だった。(火が消える直前)	16				
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープのスイッチに手を伸ばしているAがいた。(Aは火を消す直前)	16				
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていて雨雲の隙間から太陽が見え始めていた。(晴れる直前)	16				

付録427 事態βの結果相におけるデーター高知方言・高年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 既に席に着いているAがいた。(Aは既に座った後)		16			16
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ネズミが1匹死んでいた。(ネズミは既に死んだ後)		16			
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, 点いているはずのストーブの火が消えていた。(火は消えた後)		16			
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープの火を消し終えて換気をしているAがいた。(Aは既に火を消した後)		16			
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雲ひとつない青空になっていた。(既に晴れた後)		16			

付録428 事態  $\alpha$  の未然的将来相におけるデータ－高知方言・中年層－

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、ユニフォームに着替え、走者レーンに向かっているAがいた。(Aはもうすぐ走る)				14	14
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、冷蔵庫から肉を取り出し、フライパンを温めているAがいた。(Aはもうすぐ肉を焼く)				14	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、空が曇り始めていて薄暗かった。(もうすぐ雨が降る)				14	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、机の上に資料を広げているAがいた。(Aはもうすぐ作戦を考える)				14	

付録429 事態  $\alpha$  の既然的将来相におけるデータ－高知方言・中年層－

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、スタートラインに立ち、手首足首を回しているAがいた。(Aは走る直前)	8			6	14
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、フライパンに油をひき、トレーから肉を取り出しているAがいた。(Aは肉を焼く直前)	8			6	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、空がどんより曇っていて、ジメジメしていた。(雨が降る直前)				14	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、机の上の資料に目を通し始めているAがいた。(Aは作戦を考える直前)	8			6	

付録430 事態  $\alpha$  の進行相におけるデータ－高知方言・中年層－

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Progressive	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、走っている最中のAがいた。(Aは走っている最中)	14				14
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、肉を焼いている最中のAがいた。(Aは肉を焼いている最中)	14				
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、雨が降っている最中だった。(雨が降っている最中)	14				
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、作戦を考えている最中のAがいた。(Aは作戦を考えている最中)	14				

付録431 事態  $\alpha$  の結果相におけるデータ－高知方言・中年層－

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、100m走を終えて休憩しているAがいた。(Aは既に走った後)		14			14
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、焼き終えた肉を皿へ移しているAがいた。(Aは既に肉を焼いた後)		14			
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、地面が濡れ、水たまりができていた。(雨は既に降った後)		14			
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、作戦会議を終えて資料を片付けているAがいた。(Aは既に作戦を考えた後)		14			

付録432 事態βの未然的将来相におけるデーター高知方言・中年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 席に向かっているAがいた。(Aはもうすぐ座る)				14	14
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, 軽く痙攣しているネズミがいた。(ネズミはもうすぐ死ぬ)				14	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの燃料が少なくなっていた。(もうすぐ火が消える)				14	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, 火を消すためストーブに近付いているAがいた。(Aはもうすぐ火を消す)				14	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていた。(もうすぐ晴れる)				14	

付録433 事態βの既然的将来相におけるデーター高知方言・中年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 荷物を置いて, 椅子を引き出ししているAがいた。(Aは座る直前)	14				14
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ひどく痙攣しているネズミがいた。(ネズミは死ぬ直前)	14				
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの火がとても弱くなっていて, 消えていっている様子だった。(火が消える直前)	14				
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープのスイッチに手を伸ばしているAがいた。(Aは火を消す直前)	14				
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていて雨雲の隙間から太陽が見え始めていた。(晴れる直前)	14				

付録434 事態βの結果相におけるデーター高知方言・中年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 既に席に着いているAがいた。(Aは既に座った後)		14			14
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ネズミが1匹死んでいた。(ネズミは既に死んだ後)		14			
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, 点いているはずのストーブの火が消えていた。(火は消えた後)		14			
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープの火を消し終えて換気をしているAがいた。(Aは既に火を消した後)		14			
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雲ひとつない青空になっていた。(既に晴れた後)		14			

付録435 事態  $\alpha$  の未然的将来相におけるデータ－高知方言・若年層－

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、ユニフォームに着替え、走者レーンに向かっているAがいた。(Aはもうすぐ走る)				20	20
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、冷蔵庫から肉を取り出し、フライパンを温めているAがいた。(Aはもうすぐ肉を焼く)				20	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、空が曇り始めていて薄暗かった。(もうすぐ雨が降る)				20	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、机の上に資料を広げているAがいた。(Aはもうすぐ作戦を考える)				20	

付録436 事態  $\alpha$  の既然的将来相におけるデータ－高知方言・若年層－

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、スタートラインに立ち、手首足首を回しているAがいた。(Aは走る直前)	11			9	20
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、フライパンに油をひき、トレーから肉を取り出しているAがいた。(Aは肉を焼く直前)	11			9	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、空がどんより曇っていて、ジメジメしていた。(雨が降る直前)				20	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、机の上の資料に目を通し始めているAがいた。(Aは作戦を考える直前)	11			9	

付録437 事態  $\alpha$  の進行相におけるデータ－高知方言・若年層－

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Progressive	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、走っている最中のAがいた。(Aは走っている最中)	20				20
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、肉を焼いている最中のAがいた。(Aは肉を焼いている最中)	20				
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、雨が降っている最中だった。(雨が降っている最中)	20				
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、作戦を考えている最中のAがいた。(Aは作戦を考えている最中)	20				

付録438 事態  $\alpha$  の結果相におけるデータ－高知方言・若年層－

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、100m走を終えて休憩しているAがいた。(Aは既に走った後)		20			20
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、焼き終えた肉を皿へ移しているAがいた。(Aは既に肉を焼いた後)		20			
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、地面が濡れ、水たまりができていた。(雨は既に降った後)		20			
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、作戦会議を終えて資料を片付けているAがいた。(Aは既に作戦を考えた後)		20			

付録439 事態βの未然的将来相におけるデーター高知方言・若年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 席に向かっているAがいた。(Aはもうすぐ座る)				20	20
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, 軽く痙攣しているネズミがいた。(ネズミはもうすぐ死ぬ)				20	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの燃料が少なくなっていた。(もうすぐ火が消える)				20	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, 火を消すためストーブに近付いているAがいた。(Aはもうすぐ火を消す)				20	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていた。(もうすぐ晴れる)				20	

付録440 事態βの既然的将来相におけるデーター高知方言・若年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 荷物を置いて, 椅子を引き出しているAがいた。(Aは座る直前)	20				20
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ひどく痙攣しているネズミがいた。(ネズミは死ぬ直前)	20				
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの火がとても弱くなっていて, 消えていっている様子だった。(火が消える直前)	20				
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープのスイッチに手を伸ばしているAがいた。(Aは火を消す直前)	20				
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていて雨雲の隙間から太陽が見え始めていた。(晴れる直前)	20				

付録441 事態βの結果相におけるデーター高知方言・若年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 既に席に着いているAがいた。(Aは既に座った後)		20			20
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ネズミが1匹死んでいた。(ネズミは既に死んだ後)		20			
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, 点いているはずのストーブの火が消えていた。(火は消えた後)		20			
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープの火を消し終えて換気をしているAがいた。(Aは既に火を消した後)		20			
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雲ひとつない青空になっていた。(既に晴れた後)		20			

## 4.3.2. 徳島方言のアスペクト体系

付録442 事態  $\alpha$  の未然的将然相におけるデーター徳島方言・高年層ー

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後, 運動場に行くと, ユニフォームに着替え, 走者レーンに向かっているAがいた。(Aはもうすぐ走る)				31	31
焼く	主体動作 客体変化	夕食前, 台所に行くと, 冷蔵庫から肉を取り出し, フライパンを温めているAがいた。(Aはもうすぐ肉を焼く)				31	
降る	自然現象	朝, 部屋のカーテンを開けると, 空が曇り始めていて薄暗かった。(もうすぐ雨が降る)				31	
考える	心理	昼食後, 会議室に入ると, 机の上に資料を広げているAがいた。(Aはもうすぐ作戦を考える)				31	

付録443 事態  $\alpha$  の既然的将然相におけるデーター徳島方言・高年層ー

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後, 運動場に行くと, スタートラインに立ち, 手首足首を回しているAがいた。(Aは走る直前)				31	31
焼く	主体動作 客体変化	夕食前, 台所に行くと, フライパンに油をひき, トレーから肉を取り出しているAがいた。(Aは肉を焼く直前)	5			26	
降る	自然現象	朝, 部屋のカーテンを開けると, 空がどんより曇っていて, ジメジメしていた。(雨が降る直前)				31	
考える	心理	昼食後, 会議室に入ると, 机の上の資料に目を通し始めているAがいた。(Aは作戦を考える直前)	2			29	

付録444 事態  $\alpha$  の進行相におけるデーター徳島方言・高年層ー

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Progressive	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後, 運動場に行くと, 走っている最中のAがいた。(Aは走っている最中)	31	20			31
焼く	主体動作 客体変化	夕食前, 台所に行くと, 肉を焼いている最中のAがいた。(Aは肉を焼いている最中)	31	19			
降る	自然現象	朝, 部屋のカーテンを開けると, 雨が降っている最中だった。(雨が降っている最中)	31	24			
考える	心理	昼食後, 会議室に入ると, 作戦を考えている最中のAがいた。(Aは作戦を考えている最中)	31	20			

付録445 事態  $\alpha$  の結果相におけるデーター徳島方言・高年層ー

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後, 運動場に行くと, 100m走を終えて休憩しているAがいた。(Aは既に走った後)		19		12	31
焼く	主体動作 客体変化	夕食前, 台所に行くと, 焼き終えた肉を皿へ移しているAがいた。(Aは既に肉を焼いた後)		27		4	
降る	自然現象	朝, 部屋のカーテンを開けると, 地面が濡れ, 水たまりができていた。(雨は既に降った後)		22		9	
考える	心理	昼食後, 会議室に入ると, 作戦会議を終えて資料を片付けているAがいた。(Aは既に作戦を考えた後)		23		8	

付録446 事態βの未然的将来相におけるデーター徳島方言・高年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 席に向かっているAがいた。(Aはもうすぐ座る)				31	31
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, 軽く痙攣しているネズミがいた。(ネズミはもうすぐ死ぬ)				31	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの燃料が少なくなっていた。(もうすぐ火が消える)				31	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, 火を消すためストーブに近付いているAがいた。(Aはもうすぐ火を消す)				31	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていた。(もうすぐ晴れる)				31	

付録447 事態βの既然的将来相におけるデーター徳島方言・高年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 荷物を置いて, 椅子を引き出しているAがいた。(Aは座る直前)	29			2	31
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ひどく痙攣しているネズミがいた。(ネズミは死ぬ直前)	29			2	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの火がとても弱くなっていて, 消えていっている様子だった。(火が消える直前)	31				
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープのスイッチに手を伸ばしているAがいた。(Aは火を消す直前)	31	1			
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていて雨雲の隙間から太陽が見え始めていた。(晴れる直前)	22			9	

付録448 事態βの結果相におけるデーター徳島方言・高年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 既に席に着いているAがいた。(Aは既に座った後)	12	31			31
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ネズミが1匹死んでいた。(ネズミは既に死んだ後)		31			
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, 点いているはずのストーブの火が消えていた。(火は消えた後)		31			
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープの火を消し終えて換気をしているAがいた。(Aは既に火を消した後)		31			
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雲ひとつない青空になっていた。(既に晴れた後)		28		3	



付録449 事態  $\alpha$  の未然的将来相におけるデーター徳島方言・中年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、ユニフォームに着替え、走者レーンに向かっているAがいた。(Aはもうすぐ走る)				36	36
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、冷蔵庫から肉を取り出し、フライパンを温めているAがいた。(Aはもうすぐ肉を焼く)				36	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、空が曇り始めていて薄暗かった。(もうすぐ雨が降る)				36	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、机の上に資料を広げているAがいた。(Aはもうすぐ作戦を考える)				36	

付録450 事態  $\alpha$  の既然的将来相におけるデーター徳島方言・中年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、スタートラインに立ち、手首足首を回しているAがいた。(Aは走る直前)	1			35	36
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、フライパンに油をひき、トレーから肉を取り出しているAがいた。(Aは肉を焼く直前)	7	2		29	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、空がどんより曇っていて、ジメジメしていた。(雨が降る直前)				36	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、机の上の資料に目を通し始めているAがいた。(Aは作戦を考える直前)	15	2		21	

付録451 事態  $\alpha$  の進行相におけるデーター徳島方言・中年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Progressive	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、走っている最中のAがいた。(Aは走っている最中)	36	31			36
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、肉を焼いている最中のAがいた。(Aは肉を焼いている最中)	36	18			
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、雨が降っている最中だった。(雨が降っている最中)	36	28			
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、作戦を考えている最中のAがいた。(Aは作戦を考えている最中)	36	19			

付録452 事態  $\alpha$  の結果相におけるデーター徳島方言・中年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、100m走を終えて休憩しているAがいた。(Aは既に走った後)		24		12	36
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、焼き終えた肉を皿へ移しているAがいた。(Aは既に肉を焼いた後)		30		6	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、地面が濡れ、水たまりができていた。(雨は既に降った後)		25		11	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、作戦会議を終えて資料を片付けているAがいた。(Aは既に作戦を考えた後)		28		8	



付録453 事態βの未然的将来相におけるデーター徳島方言・中年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 席に向かっているAがいた。(Aはもうすぐ座る)				36	36
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, 軽く痙攣しているネズミがいた。(ネズミはもうすぐ死ぬ)				36	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの燃料が少なくなっていた。(もうすぐ火が消える)				36	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, 火を消すためストーブに近付いているAがいた。(Aはもうすぐ火を消す)				36	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていた。(もうすぐ晴れる)				36	

付録454 事態βの既然的将来相におけるデーター徳島方言・中年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 荷物を置いて, 椅子を引き出ししているAがいた。(Aは座る直前)	36	3			36
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ひどく痙攣しているネズミがいた。(ネズミは死ぬ直前)	29	1		7	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの火がとても弱くなっていて, 消えていっている様子だった。(火が消える直前)	36				
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープのスイッチに手を伸ばしているAがいた。(Aは火を消す直前)	36				
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていて雨雲の隙間から太陽が見え始めていた。(晴れる直前)	31			5	

付録455 事態βの結果相におけるデーター徳島方言・中年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 既に席に着いているAがいた。(Aは既に座った後)	7	36			36
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ネズミが1匹死んでいた。(ネズミは既に死んだ後)		36			
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, 点いているはずのストーブの火が消えていた。(火は消えた後)		36			
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープの火を消し終えて換気をしているAがいた。(Aは既に火を消した後)		36			
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雲ひとつない青空になっていた。(既に晴れた後)		35		1	

付録456 事態  $\alpha$  の未然的将来相におけるデーター徳島方言・若年層ー

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、ユニフォームに着替え、走者レーンに向かっているAがいた。(Aはもうすぐ走る)				37	37
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、冷蔵庫から肉を取り出し、フライパンを温めているAがいた。(Aはもうすぐ肉を焼く)				37	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、空が曇り始めていて薄暗かった。(もうすぐ雨が降る)				37	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、机の上に資料を広げているAがいた。(Aはもうすぐ作戦を考える)				37	

付録457 事態  $\alpha$  の既然的将来相におけるデーター徳島方言・若年層ー

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、スタートラインに立ち、手首足首を回しているAがいた。(Aは走る直前)				37	37
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、フライパンに油をひき、トレーから肉を取り出しているAがいた。(Aは肉を焼く直前)	13	4		24	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、空がどんより曇っていて、ジメジメしていた。(雨が降る直前)				37	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、机の上の資料に目を通し始めているAがいた。(Aは作戦を考える直前)	17	5		20	

付録458 事態  $\alpha$  の進行相におけるデーター徳島方言・若年層ー

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Progressive	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、走っている最中のAがいた。(Aは走っている最中)	37	35			37
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、肉を焼いている最中のAがいた。(Aは肉を焼いている最中)	37	29			
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、雨が降っている最中だった。(雨が降っている最中)	37	36			
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、作戦を考えている最中のAがいた。(Aは作戦を考えている最中)	37	25			

付録459 事態  $\alpha$  の結果相におけるデーター徳島方言・若年層ー

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、100m走を終えて休憩しているAがいた。(Aは既に走った後)		27		10	37
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、焼き終えた肉を皿へ移しているAがいた。(Aは既に肉を焼いた後)		30		7	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、地面が濡れ、水たまりができていた。(雨は既に降った後)		30		7	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、作戦会議を終えて資料を片付けているAがいた。(Aは既に作戦を考えた後)		33		4	

付録460 事態βの未然的将来相におけるデーター徳島方言・若年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 席に向かっているAがいた。(Aはもうすぐ座る)				37	37
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, 軽く痙攣しているネズミがいた。(ネズミはもうすぐ死ぬ)				37	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの燃料が少なくなっていた。(もうすぐ火が消える)				37	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, 火を消すためストーブに近付いているAがいた。(Aはもうすぐ火を消す)				37	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていた。(もうすぐ晴れる)				37	

付録461 事態βの既然的将来相におけるデーター徳島方言・若年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 荷物を置いて, 椅子を引き出ししているAがいた。(Aは座る直前)	36	1		1	37
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ひどく痙攣しているネズミがいた。(ネズミは死ぬ直前)	28			9	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの火がとても弱くなっていて, 消えていっている様子だった。(火が消える直前)	36			1	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープのスイッチに手を伸ばしているAがいた。(Aは火を消す直前)	35			2	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていて雨雲の隙間から太陽が見え始めていた。(晴れる直前)	29			8	

付録462 事態βの結果相におけるデーター徳島方言・若年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 既に席に着いているAがいた。(Aは既に座った後)	2	37			37
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ネズミが1匹死んでいた。(ネズミは既に死んだ後)		37			
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, 点いているはずのストーブの火が消えていた。(火は消えた後)		37			
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープの火を消し終えて換気をしているAがいた。(Aは既に火を消した後)		37			
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雲ひとつない青空になっていた。(既に晴れた後)		35		2	

## 4.4.1. 愛知方言のアスペクト体系

付録463 事態  $\alpha$  の未然的将然相におけるデーター愛知方言・高年層ー

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、ユニフォームに着替え、走者レーンに向かっているAがいた。(Aはもうすぐ走る)				16	16
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、冷蔵庫から肉を取り出し、フライパンを温めているAがいた。(Aはもうすぐ肉を焼く)				16	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、空が曇り始めていて薄暗かった。(もうすぐ雨が降る)				16	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、机の上に資料を広げているAがいた。(Aはもうすぐ作戦を考える)				16	

付録464 事態  $\alpha$  の既然的将然相におけるデーター愛知方言・高年層ー

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、スタートラインに立ち、手首足首を回しているAがいた。(Aは走る直前)		1		15	16
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、フライパンに油をひき、トレーから肉を取り出しているAがいた。(Aは肉を焼く直前)		2	2	14	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、空がどんより曇っていて、ジメジメしていた。(雨が降る直前)				16	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、机の上の資料に目を通し始めているAがいた。(Aは作戦を考える直前)		1	1	15	

付録465 事態  $\alpha$  の進行相におけるデーター愛知方言・高年層ー

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Progressive	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、走っている最中のAがいた。(Aは走っている最中)		16	7		16
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、肉を焼いている最中のAがいた。(Aは肉を焼いている最中)		16	6		
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、雨が降っている最中だった。(雨が降っている最中)		16	7		
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、作戦を考えている最中のAがいた。(Aは作戦を考えている最中)		16	7		

付録466 事態  $\alpha$  の結果相におけるデーター愛知方言・高年層ー

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、100m走を終えて休憩しているAがいた。(Aは既に走った後)		2	1	14	16
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、焼き終えた肉を皿へ移しているAがいた。(Aは既に肉を焼いた後)		1		15	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、地面が濡れ、水たまりができていた。(雨は既に降った後)		2	1	14	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、作戦会議を終えて資料を片付けているAがいた。(Aは既に作戦を考えた後)		1		15	

付録467 事態βの未然的将来相におけるデータ-愛知方言・高年層-

Verb	Property	[β] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 席に向かっているAがいた。(Aはもうすぐ座る)				16	16
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, 軽く痙攣しているネズミがいた。(ネズミはもうすぐ死ぬ)				16	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの燃料が少なくなっていた。(もうすぐ火が消える)				16	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, 火を消すためストーブに近付いているAがいた。(Aはもうすぐ火を消す)				16	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていた。(もうすぐ晴れる)				16	

付録468 事態βの既然的将来相におけるデータ-愛知方言・高年層-

Verb	Property	[β] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 荷物を置いて, 椅子を引き出しているAがいた。(Aは座る直前)				16	16
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ひどく痙攣しているネズミがいた。(ネズミは死ぬ直前)				16	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの火がとても弱くなっていて, 消えていっている様子だった。(火が消える直前)				16	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープのスイッチに手を伸ばしているAがいた。(Aは火を消す直前)		1	1	15	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていて雨雲の隙間から太陽が見え始めていた。(晴れる直前)				16	

付録469 事態βの結果相におけるデータ-愛知方言・高年層-

Verb	Property	[β] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 既に席に着いているAがいた。(Aは既に座った後)		16	7		6
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ネズミが1匹死んでいた。(ネズミは既に死んだ後)		16	6		
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, 点いているはずのストーブの火が消えていた。(火は消えた後)		16	6		
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープの火を消し終えて換気をしているAがいた。(Aは既に火を消した後)		16	6		
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雲ひとつない青空になっていた。(既に晴れた後)		16	6		

付録470 事態  $\alpha$  の未然的将来相におけるデータ-愛知方言・中年層-

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、ユニフォームに着替え、走者レーンに向かっているAがいた。(Aはもうすぐ走る)				27	27
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、冷蔵庫から肉を取り出し、フライパンを温めているAがいた。(Aはもうすぐ肉を焼く)				27	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、空が曇り始めていて薄暗かった。(もうすぐ雨が降る)				27	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、机の上に資料を広げているAがいた。(Aはもうすぐ作戦を考える)				27	

付録471 事態  $\alpha$  の既然的将来相におけるデータ-愛知方言・中年層-

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、スタートラインに立ち、手首足首を回しているAがいた。(Aは走る直前)				27	27
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、フライパンに油をひき、トレーから肉を取り出しているAがいた。(Aは肉を焼く直前)		10	11	16	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、空がどんより曇っていて、ジメジメしていた。(雨が降る直前)				27	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、机の上の資料に目を通し始めているAがいた。(Aは作戦を考える直前)		20	21	6	

付録472 事態  $\alpha$  の進行相におけるデータ-愛知方言・中年層-

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Progressive	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、走っている最中のAがいた。(Aは走っている最中)		25	27		27
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、肉を焼いている最中のAがいた。(Aは肉を焼いている最中)		26	24		
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、雨が降っている最中だった。(雨が降っている最中)		27	24		
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、作戦を考えている最中のAがいた。(Aは作戦を考えている最中)		26	27		

付録473 事態  $\alpha$  の結果相におけるデータ-愛知方言・中年層-

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、100m走を終えて休憩しているAがいた。(Aは既に走った後)		9	9	17	27
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、焼き終えた肉を皿へ移しているAがいた。(Aは既に肉を焼いた後)		9	10	17	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、地面が濡れ、水たまりができていた。(雨は既に降った後)		4	3	23	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、作戦会議を終えて資料を片付けているAがいた。(Aは既に作戦を考えただ後)		8	8	19	

付録474 事態βの未然的将来相におけるデータ-愛知方言・中年層-

Verb	Property	[β] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 席に向かっているAがいた。(Aはもうすぐ座る)				27	27
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, 軽く痙攣しているネズミがいた。(ネズミはもうすぐ死ぬ)				27	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの燃料が少なくなっていた。(もうすぐ火が消える)				27	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, 火を消すためストーブに近付いているAがいた。(Aはもうすぐ火を消す)				27	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていた。(もうすぐ晴れる)				27	

付録475 事態βの既然的将来相におけるデータ-愛知方言・中年層-

Verb	Property	[β] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 荷物を置いて, 椅子を引き出しているAがいた。(Aは座る直前)			1	26	27
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ひどく痙攣しているネズミがいた。(ネズミは死ぬ直前)				27	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの火がとても弱くなっていて, 消えていっている様子だった。(火が消える直前)		8	8	19	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープのスイッチに手を伸ばしているAがいた。(Aは火を消す直前)		12	14	13	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていて雨雲の隙間から太陽が見え始めていた。(晴れる直前)		4	4	23	

付録476 事態βの結果相におけるデータ-愛知方言・中年層-

Verb	Property	[β] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 既に席に着いているAがいた。(Aは既に座った後)		24	27		27
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ネズミが1匹死んでいた。(ネズミは既に死んだ後)		22	27		
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, 点いているはずのストーブの火が消えていた。(火は消えた後)		24	26	1	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープの火を消し終えて換気をしているAがいた。(Aは既に火を消した後)		21	25	2	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雲ひとつない青空になっていた。(既に晴れた後)		24	26	1	



付録477 事態  $\alpha$  の未然的将来相におけるデータ-愛知方言・若年層-

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、ユニフォームに着替え、走者レーンに向かっているAがいた。(Aはもうすぐ走る)				47	47
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、冷蔵庫から肉を取り出し、フライパンを温めているAがいた。(Aはもうすぐ肉を焼く)				47	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、空が曇り始めていて薄暗かった。(もうすぐ雨が降る)				47	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、机の上に資料を広げているAがいた。(Aはもうすぐ作戦を考える)				47	

付録478 事態  $\alpha$  の既然的将来相におけるデータ-愛知方言・若年層-

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、スタートラインに立ち、手首足首を回しているAがいた。(Aは走る直前)				47	47
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、フライパンに油をひき、トレーから肉を取り出しているAがいた。(Aは肉を焼く直前)		15	14	32	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、空がどんより曇っていて、ジメジメしていた。(雨が降る直前)				47	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、机の上の資料に目を通し始めているAがいた。(Aは作戦を考える直前)		20	24	23	

付録479 事態  $\alpha$  の進行相におけるデータ-愛知方言・若年層-

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Progressive	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、走っている最中のAがいた。(Aは走っている最中)		47	47		47
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、肉を焼いている最中のAがいた。(Aは肉を焼いている最中)		47	47		
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、雨が降っている最中だった。(雨が降っている最中)		47	45		
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、作戦を考えている最中のAがいた。(Aは作戦を考えている最中)		47	47		

付録480 事態  $\alpha$  の結果相におけるデータ-愛知方言・若年層-

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、100m走を終えて休憩しているAがいた。(Aは既に走った後)		27	19	20	47
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、焼き終えた肉を皿へ移しているAがいた。(Aは既に肉を焼いた後)		17	16	29	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、地面が濡れ、水たまりができていた。(雨は既に降った後)		11	8	36	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、作戦会議を終えて資料を片付けているAがいた。(Aは既に作戦を考えただ後)		18	20	25	



付録481 事態βの未然的将来相におけるデータ-愛知方言・若年層-

Verb	Property	[β] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 席に向かっているAがいた。(Aはもうすぐ座る)				47	47
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, 軽く痙攣しているネズミがいた。(ネズミはもうすぐ死ぬ)				47	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの燃料が少なくなっていた。(もうすぐ火が消える)				47	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, 火を消すためストーブに近付いているAがいた。(Aはもうすぐ火を消す)				47	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていた。(もうすぐ晴れる)				47	

付録482 事態βの既然的将来相におけるデータ-愛知方言・若年層-

Verb	Property	[β] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 荷物を置いて, 椅子を引き出しているAがいた。(Aは座る直前)				47	47
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ひどく痙攣しているネズミがいた。(ネズミは死ぬ直前)				47	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの火がとても弱くなっていて, 消えていっている様子だった。(火が消える直前)		14	13	33	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープのスイッチに手を伸ばしているAがいた。(Aは火を消す直前)		21	23	24	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていて雨雲の隙間から太陽が見え始めていた。(晴れる直前)				47	

付録483 事態βの結果相におけるデータ-愛知方言・若年層-

Verb	Property	[β] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 既に席に着いているAがいた。(Aは既に座った後)		47	42		47
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ネズミが1匹死んでいた。(ネズミは既に死んだ後)		47	42		
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, 点いているはずのストーブの火が消えていた。(火は消えた後)		46	38	1	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープの火を消し終えて換気をしているAがいた。(Aは既に火を消した後)		40	39	7	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雲ひとつない青空になっていた。(既に晴れた後)		47	41		

## 4.4.2. 岐阜方言のアスペクト体系

付録484 事態  $\alpha$  の未然的将然相におけるデーター飛騨方言・高年層ー

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後, 運動場に行くと, ユニフォームに着替え, 走者レーンに向かっているAがいた。(Aはもうすぐ走る)				6	6
焼く	主体動作 客体変化	夕食前, 台所に行くと, 冷蔵庫から肉を取り出し, フライパンを温めているAがいた。(Aはもうすぐ肉を焼く)				6	
降る	自然現象	朝, 部屋のカーテンを開けると, 空が曇り始めていて薄暗かった。(もうすぐ雨が降る)				6	
考える	心理	昼食後, 会議室に入ると, 机の上に資料を広げているAがいた。(Aはもうすぐ作戦を考える)				6	

付録485 事態  $\alpha$  の既然的将然相におけるデーター飛騨方言・高年層ー

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後, 運動場に行くと, スタートラインに立ち, 手首足首を回しているAがいた。(Aは走る直前)	3			3	6
焼く	主体動作 客体変化	夕食前, 台所に行くと, フライパンに油をひき, トレーから肉を取り出しているAがいた。(Aは肉を焼く直前)	3			3	
降る	自然現象	朝, 部屋のカーテンを開けると, 空がどんより曇っていて, ジメジメしていた。(雨が降る直前)				6	
考える	心理	昼食後, 会議室に入ると, 机の上の資料に目を通し始めているAがいた。(Aは作戦を考える直前)	3			3	

付録486 事態  $\alpha$  の進行相におけるデーター飛騨方言・高年層ー

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Progressive	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後, 運動場に行くと, 走っている最中のAがいた。(Aは走っている最中)	6	6			6
焼く	主体動作 客体変化	夕食前, 台所に行くと, 肉を焼いている最中のAがいた。(Aは肉を焼いている最中)	6	6			
降る	自然現象	朝, 部屋のカーテンを開けると, 雨が降っている最中だった。(雨が降っている最中)	6	6			
考える	心理	昼食後, 会議室に入ると, 作戦を考えている最中のAがいた。(Aは作戦を考えている最中)	6	6			

付録487 事態  $\alpha$  の結果相におけるデーター飛騨方言・高年層ー

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後, 運動場に行くと, 100m走を終えて休憩しているAがいた。(Aは既に走った後)		5		1	6
焼く	主体動作 客体変化	夕食前, 台所に行くと, 焼き終えた肉を皿へ移しているAがいた。(Aは既に肉を焼いた後)		6			
降る	自然現象	朝, 部屋のカーテンを開けると, 地面が濡れ, 水たまりができていた。(雨は既に降った後)		5		1	
考える	心理	昼食後, 会議室に入ると, 作戦会議を終えて資料を片付けているAがいた。(Aは既に作戦考えた後)		6			

付録488 事態 β の未然的将来相におけるデーター飛騨方言・高年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 席に向かっているAがいた。(Aはもうすぐ座る)				6	6
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, 軽く痙攣しているネズミがいた。(ネズミはもうすぐ死ぬ)				6	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの燃料が少なくなっていた。(もうすぐ火が消える)				6	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, 火を消すためストーブに近付いているAがいた。(Aはもうすぐ火を消す)				6	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていた。(もうすぐ晴れる)				6	

付録489 事態 β の既然的将来相におけるデーター飛騨方言・高年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 荷物を置いて, 椅子を引き出しているAがいた。(Aは座る直前)	6				6
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ひどく痙攣しているネズミがいた。(ネズミは死ぬ直前)	6				
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの火がとても弱くなっていて, 消えていっている様子だった。(火が消える直前)	6				
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープのスイッチに手を伸ばしているAがいた。(Aは火を消す直前)	6				
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていて雨雲の隙間から太陽が見え始めていた。(晴れる直前)	6				

付録490 事態 β の結果相におけるデーター飛騨方言・高年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 既に席に着いているAがいた。(Aは既に座った後)		6			6
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ネズミが1匹死んでいた。(ネズミは既に死んだ後)		6			
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, 点いているはずのストーブの火が消えていた。(火は消えた後)		6			
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープの火を消し終えて換気をしているAがいた。(Aは既に火を消した後)		6			
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雲ひとつない青空になっていた。(既に晴れた後)		6			

付録491 事態  $\alpha$  の未然的将来相におけるデーター飛騨方言・中年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、ユニフォームに着替え、走者レーンに向かっているAがいた。(Aはもうすぐ走る)				6	6
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、冷蔵庫から肉を取り出し、フライパンを温めているAがいた。(Aはもうすぐ肉を焼く)				6	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、空が曇り始めていて薄暗かった。(もうすぐ雨が降る)				6	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、机の上に資料を広げているAがいた。(Aはもうすぐ作戦を考える)				6	

付録492 事態  $\alpha$  の既然的将来相におけるデーター飛騨方言・中年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、スタートラインに立ち、手首足首を回しているAがいた。(Aは走る直前)	1			5	6
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、フライパンに油をひき、トレーから肉を取り出しているAがいた。(Aは肉を焼く直前)	1			5	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、空がどんより曇っていて、ジメジメしていた。(雨が降る直前)				6	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、机の上の資料に目を通し始めているAがいた。(Aは作戦を考える直前)				6	

付録493 事態  $\alpha$  の進行相におけるデーター飛騨方言・中年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Progressive	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、走っている最中のAがいた。(Aは走っている最中)	5	6			6
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、肉を焼いている最中のAがいた。(Aは肉を焼いている最中)	5	6			
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、雨が降っている最中だった。(雨が降っている最中)	5	6			
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、作戦を考えている最中のAがいた。(Aは作戦を考えている最中)	5	6			

付録494 事態  $\alpha$  の結果相におけるデーター飛騨方言・中年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、100m走を終えて休憩しているAがいた。(Aは既に走った後)		4		2	6
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、焼き終えた肉を皿へ移しているAがいた。(Aは既に肉を焼いた後)		6			
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、地面が濡れ、水たまりができていた。(雨は既に降った後)		5		1	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、作戦会議を終えて資料を片付けているAがいた。(Aは既に作戦を考えた後)		6			

付録495 事態 β の未然的将来相におけるデーター飛騨方言・中年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 席に向かっているAがいた。(Aはもうすぐ座る)				6	6
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, 軽く痙攣しているネズミがいた。(ネズミはもうすぐ死ぬ)				6	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの燃料が少なくなっていた。(もうすぐ火が消える)				6	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, 火を消すためストーブに近付いているAがいた。(Aはもうすぐ火を消す)				6	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていた。(もうすぐ晴れる)				6	

付録496 事態 β の既然的将来相におけるデーター飛騨方言・中年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 荷物を置いて, 椅子を引き出しているAがいた。(Aは座る直前)	5			1	6
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ひどく痙攣しているネズミがいた。(ネズミは死ぬ直前)	5			1	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの火がとても弱くなっていて, 消えていっている様子だった。(火が消える直前)	5			1	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープのスイッチに手を伸ばしているAがいた。(Aは火を消す直前)	5			1	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていて雨雲の隙間から太陽が見え始めていた。(晴れる直前)	5			1	

付録497 事態 β の結果相におけるデーター飛騨方言・中年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 既に席に着いているAがいた。(Aは既に座った後)		6			6
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ネズミが1匹死んでいた。(ネズミは既に死んだ後)		6			
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, 点いているはずのストーブの火が消えていた。(火は消えた後)		6			
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープの火を消し終えて換気をしているAがいた。(Aは既に火を消した後)		6			
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雲ひとつない青空になっていた。(既に晴れた後)		6			

付録498 事態  $\alpha$  の未然的将来相におけるデーター飛騨方言・若年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、ユニフォームに着替え、走者レーンに向かっているAがいた。(Aはもうすぐ走る)				6	6
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、冷蔵庫から肉を取り出し、フライパンを温めているAがいた。(Aはもうすぐ肉を焼く)				6	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、空が曇り始めていて薄暗かった。(もうすぐ雨が降る)				6	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、机の上に資料を広げているAがいた。(Aはもうすぐ作戦を考える)				6	

付録499 事態  $\alpha$  の既然的将来相におけるデーター飛騨方言・若年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、スタートラインに立ち、手首足首を回しているAがいた。(Aは走る直前)	1			5	6
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、フライパンに油をひき、トレーから肉を取り出しているAがいた。(Aは肉を焼く直前)	4			2	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、空がどんより曇っていて、ジメジメしていた。(雨が降る直前)	2			4	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、机の上の資料に目を通し始めているAがいた。(Aは作戦を考える直前)	2			4	

付録500 事態  $\alpha$  の進行相におけるデーター飛騨方言・若年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Progressive	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、走っている最中のAがいた。(Aは走っている最中)	5	6			6
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、肉を焼いている最中のAがいた。(Aは肉を焼いている最中)	5	6			
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、雨が降っている最中だった。(雨が降っている最中)	5	6			
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、作戦を考えている最中のAがいた。(Aは作戦を考えている最中)	5	6			

付録501 事態  $\alpha$  の結果相におけるデーター飛騨方言・若年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、100m走を終えて休憩しているAがいた。(Aは既に走った後)		5		1	6
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、焼き終えた肉を皿へ移しているAがいた。(Aは既に肉を焼いた後)		6			
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、地面が濡れ、水たまりができていた。(雨は既に降った後)		6			
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、作戦会議を終えて資料を片付けているAがいた。(Aは既に作戦を考えた後)		6			

付録502 事態βの未然的将来相におけるデーター飛騨方言・若年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 席に向かっているAがいた。(Aはもうすぐ座る)				6	6
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, 軽く痙攣しているネズミがいた。(ネズミはもうすぐ死ぬ)				6	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの燃料が少なくなっていた。(もうすぐ火が消える)				6	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, 火を消すためストーブに近付いているAがいた。(Aはもうすぐ火を消す)				6	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていた。(もうすぐ晴れる)				6	

付録503 事態βの既然的将来相におけるデーター飛騨方言・若年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 荷物を置いて, 椅子を引き出しているAがいた。(Aは座る直前)	4			2	6
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ひどく痙攣しているネズミがいた。(ネズミは死ぬ直前)	3			3	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの火がとても弱くなっていて, 消えていっている様子だった。(火が消える直前)	3			3	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープのスイッチに手を伸ばしているAがいた。(Aは火を消す直前)	5			1	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていて雨雲の隙間から太陽が見え始めていた。(晴れる直前)	3			3	

付録504 事態βの結果相におけるデーター飛騨方言・若年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 既に席に着いているAがいた。(Aは既に座った後)		6			6
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ネズミが1匹死んでいた。(ネズミは既に死んだ後)		6			
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, 点いているはずのストーブの火が消えていた。(火は消えた後)		6			
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープの火を消し終えて換気をしているAがいた。(Aは既に火を消した後)		6			
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雲ひとつない青空になっていた。(既に晴れた後)		6			



付録505 事態  $\alpha$  の未然的将来相におけるデーター美濃方言・高年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、ユニフォームに着替え、走者レーンに向かっているAがいた。(Aはもうすぐ走る)				8	8
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、冷蔵庫から肉を取り出し、フライパンを温めているAがいた。(Aはもうすぐ肉を焼く)				8	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、空が曇り始めていて薄暗かった。(もうすぐ雨が降る)				8	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、机の上に資料を広げているAがいた。(Aはもうすぐ作戦を考える)				8	

付録506 事態  $\alpha$  の既然的将来相におけるデーター美濃方言・高年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、スタートラインに立ち、手首足首を回しているAがいた。(Aは走る直前)				8	8
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、フライパンに油をひき、トレーから肉を取り出しているAがいた。(Aは肉を焼く直前)				8	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、空がどんより曇っていて、ジメジメしていた。(雨が降る直前)				8	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、机の上の資料に目を通し始めているAがいた。(Aは作戦を考える直前)				8	

付録507 事態  $\alpha$  の進行相におけるデーター美濃方言・高年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Progressive	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、走っている最中のAがいた。(Aは走っている最中)		8			8
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、肉を焼いている最中のAがいた。(Aは肉を焼いている最中)		8			
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、雨が降っている最中だった。(雨が降っている最中)		8			
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、作戦を考えている最中のAがいた。(Aは作戦を考えている最中)		8			

付録508 事態  $\alpha$  の結果相におけるデーター美濃方言・高年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、100m走を終えて休憩しているAがいた。(Aは既に走った後)		2		6	8
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、焼き終えた肉を皿へ移しているAがいた。(Aは既に肉を焼いた後)		2		6	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、地面が濡れ、水たまりができていた。(雨は既に降った後)		4		4	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、作戦会議を終えて資料を片付けているAがいた。(Aは既に作戦を考えた後)		8			



付録509 事態βの未然的将来相におけるデーター美濃方言・高年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 席に向かっているAがいた。(Aはもうすぐ座る)				8	8
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, 軽く痙攣しているネズミがいた。(ネズミはもうすぐ死ぬ)				8	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの燃料が少なくなっていた。(もうすぐ火が消える)				8	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, 火を消すためストーブに近付いているAがいた。(Aはもうすぐ火を消す)				8	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていた。(もうすぐ晴れる)				8	

付録510 事態βの既然的将来相におけるデーター美濃方言・高年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 荷物を置いて, 椅子を引き出しているAがいた。(Aは座る直前)				8	8
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ひどく痙攣しているネズミがいた。(ネズミは死ぬ直前)				8	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの火がとても弱くなっていて, 消えていっている様子だった。(火が消える直前)				8	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープのスイッチに手を伸ばしているAがいた。(Aは火を消す直前)				8	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていて雨雲の隙間から太陽が見え始めていた。(晴れる直前)				8	

付録511 事態βの結果相におけるデーター美濃方言・高年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 既に席に着いているAがいた。(Aは既に座った後)		8			8
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ネズミが1匹死んでいた。(ネズミは既に死んだ後)		8			
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, 点いているはずのストーブの火が消えていた。(火は消えた後)		8			
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープの火を消し終えて換気をしているAがいた。(Aは既に火を消した後)		4		4	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雲ひとつない青空になっていた。(既に晴れた後)		8			

付録512 事態  $\alpha$  の未然的将来相におけるデーター美濃方言・中年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、ユニフォームに着替え、走者レーンに向かっているAがいた。(Aはもうすぐ走る)				10	10
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、冷蔵庫から肉を取り出し、フライパンを温めているAがいた。(Aはもうすぐ肉を焼く)				10	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、空が曇り始めていて薄暗かった。(もうすぐ雨が降る)				10	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、机の上に資料を広げているAがいた。(Aはもうすぐ作戦を考える)				10	

付録513 事態  $\alpha$  の既然的将来相におけるデーター美濃方言・中年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、スタートラインに立ち、手首足首を回しているAがいた。(Aは走る直前)				10	10
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、フライパンに油をひき、トレーから肉を取り出しているAがいた。(Aは肉を焼く直前)				10	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、空がどんより曇っていて、ジメジメしていた。(雨が降る直前)				10	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、机の上の資料に目を通し始めているAがいた。(Aは作戦を考える直前)				10	

付録514 事態  $\alpha$  の進行相におけるデーター美濃方言・中年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Progressive	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、走っている最中のAがいた。(Aは走っている最中)		10	2		10
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、肉を焼いている最中のAがいた。(Aは肉を焼いている最中)		10	3		
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、雨が降っている最中だった。(雨が降っている最中)		10	2		
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、作戦を考えている最中のAがいた。(Aは作戦を考えている最中)		10	1		

付録515 事態  $\alpha$  の結果相におけるデーター美濃方言・中年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、100m走を終えて休憩しているAがいた。(Aは既に走った後)		3	1	7	10
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、焼き終えた肉を皿へ移しているAがいた。(Aは既に肉を焼いた後)		2		8	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、地面が濡れ、水たまりができていた。(雨は既に降った後)		5	3	5	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、作戦会議を終えて資料を片付けているAがいた。(Aは既に作戦を考えただ後)		8	1	2	

付録516 事態βの未然的将来相におけるデーター美濃方言・中年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 席に向かっているAがいた。(Aはもうすぐ座る)				10	10
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, 軽く痙攣しているネズミがいた。(ネズミはもうすぐ死ぬ)				10	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの燃料が少なくなっていた。(もうすぐ火が消える)				10	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, 火を消すためストーブに近付いているAがいた。(Aはもうすぐ火を消す)				10	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていた。(もうすぐ晴れる)				10	

付録517 事態βの既然的将来相におけるデーター美濃方言・中年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 荷物を置いて, 椅子を引き出ししているAがいた。(Aは座る直前)				10	10
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ひどく痙攣しているネズミがいた。(ネズミは死ぬ直前)				10	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの火がとても弱くなっていて, 消えていっている様子だった。(火が消える直前)				10	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープのスイッチに手を伸ばしているAがいた。(Aは火を消す直前)				10	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていて雨雲の隙間から太陽が見え始めていた。(晴れる直前)				10	

付録518 事態βの結果相におけるデーター美濃方言・中年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 既に席に着いているAがいた。(Aは既に座った後)		10	5		10
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ネズミが1匹死んでいた。(ネズミは既に死んだ後)		10	5		
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, 点いているはずのストーブの火が消えていた。(火は消えた後)		10	5		
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープの火を消し終えて換気をしているAがいた。(Aは既に火を消した後)		3	1	7	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雲ひとつない青空になっていた。(既に晴れた後)		10	5		

付録519 事態  $\alpha$  の未然的将来相におけるデーター美濃方言・若年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、ユニフォームに着替え、走者レーンに向かっているAがいた。(Aはもうすぐ走る)				11	11
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、冷蔵庫から肉を取り出し、フライパンを温めているAがいた。(Aはもうすぐ肉を焼く)				11	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、空が曇り始めていて薄暗かった。(もうすぐ雨が降る)				11	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、机の上に資料を広げているAがいた。(Aはもうすぐ作戦を考える)				11	

付録520 事態  $\alpha$  の既然的将来相におけるデーター美濃方言・若年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、スタートラインに立ち、手首足首を回しているAがいた。(Aは走る直前)				11	11
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、フライパンに油をひき、トレーから肉を取り出しているAがいた。(Aは肉を焼く直前)				11	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、空がどんより曇っていて、ジメジメしていた。(雨が降る直前)				11	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、机の上の資料に目を通し始めているAがいた。(Aは作戦を考える直前)				11	

付録521 事態  $\alpha$  の進行相におけるデーター美濃方言・若年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Progressive	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、走っている最中のAがいた。(Aは走っている最中)		11	5		11
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、肉を焼いている最中のAがいた。(Aは肉を焼いている最中)		11	6		
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、雨が降っている最中だった。(雨が降っている最中)		11	6		
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、作戦を考えている最中のAがいた。(Aは作戦を考えている最中)		11	3		

付録522 事態  $\alpha$  の結果相におけるデーター美濃方言・若年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、100m走を終えて休憩しているAがいた。(Aは既に走った後)		6	2	5	11
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、焼き終えた肉を皿へ移しているAがいた。(Aは既に肉を焼いた後)		5		6	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、地面が濡れ、水たまりができていた。(雨は既に降った後)		10		1	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、作戦会議を終えて資料を片付けているAがいた。(Aは既に作戦を考えした後)		10	4	1	

付録523 事態βの未然的将来相におけるデーター美濃方言・若年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 席に向かっているAがいた。(Aはもうすぐ座る)				11	11
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, 軽く痙攣しているネズミがいた。(ネズミはもうすぐ死ぬ)				11	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの燃料が少なくなっていた。(もうすぐ火が消える)				11	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, 火を消すためストーブに近付いているAがいた。(Aはもうすぐ火を消す)				11	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていた。(もうすぐ晴れる)				11	

付録524 事態βの既然的将来相におけるデーター美濃方言・若年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 荷物を置いて, 椅子を引き出ししているAがいた。(Aは座る直前)				11	11
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ひどく痙攣しているネズミがいた。(ネズミは死ぬ直前)				11	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの火がとても弱くなっていて, 消えていっている様子だった。(火が消える直前)				11	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープのスイッチに手を伸ばしているAがいた。(Aは火を消す直前)				11	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていて雨雲の隙間から太陽が見え始めていた。(晴れる直前)				11	

付録525 事態βの結果相におけるデーター美濃方言・若年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 既に席に着いているAがいた。(Aは既に座った後)		11	6		11
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ネズミが1匹死んでいた。(ネズミは既に死んだ後)		11	6		
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, 点いているはずのストーブの火が消えていた。(火は消えた後)		11	4		
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープの火を消し終えて換気をしているAがいた。(Aは既に火を消した後)		7	2	4	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雲ひとつない青空になっていた。(既に晴れた後)		11	4		

### 4.4.3. 長野方言のアスペクト体系

付録526 事態  $\alpha$  の未然的将然相におけるデーター北部方言・高年層ー

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、ユニフォームに着替え、走者レーンに向かっているAがいた。(Aはもうすぐ走る)				20	20
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、冷蔵庫から肉を取り出し、フライパンを温めているAがいた。(Aはもうすぐ肉を焼く)				20	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、空が曇り始めていて薄暗かった。(もうすぐ雨が降る)				20	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、机の上に資料を広げているAがいた。(Aはもうすぐ作戦を考える)				20	

付録527 事態  $\alpha$  の既然的将然相におけるデーター北部方言・高年層ー

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、スタートラインに立ち、手首足首を回しているAがいた。(Aは走る直前)			2	18	20
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、フライパンに油をひき、トレーから肉を取り出しているAがいた。(Aは肉を焼く直前)			4	16	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、空がどんより曇っていて、ジメジメしていた。(雨が降る直前)				20	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、机の上の資料に目を通し始めているAがいた。(Aは作戦を考える直前)			11	9	

付録528 事態  $\alpha$  の進行相におけるデーター北部方言・高年層ー

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Progressive	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、走っている最中のAがいた。(Aは走っている最中)			20		20
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、肉を焼いている最中のAがいた。(Aは肉を焼いている最中)			20		
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、雨が降っている最中だった。(雨が降っている最中)			20		
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、作戦を考えている最中のAがいた。(Aは作戦を考えている最中)			20		

付録529 事態  $\alpha$  の結果相におけるデーター北部方言・高年層ー

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、100m走を終えて休憩しているAがいた。(Aは既に走った後)			1	19	20
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、焼き終えた肉を皿へ移しているAがいた。(Aは既に肉を焼いた後)				20	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、地面が濡れ、水たまりができていた。(雨は既に降った後)				20	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、作戦会議を終えて資料を片付けているAがいた。(Aは既に作戦を考えた後)			15	5	

付録530 事態βの未然的将来相におけるデーター北部方言・高年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 席に向かっているAがいた。(Aはもうすぐ座る)				20	20
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, 軽く痙攣しているネズミがいた。(ネズミはもうすぐ死ぬ)				20	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの燃料が少なくなっていた。(もうすぐ火が消える)				20	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, 火を消すためストーブに近付いているAがいた。(Aはもうすぐ火を消す)				20	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていた。(もうすぐ晴れる)				20	

付録531 事態βの既然的将来相におけるデーター北部方言・高年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 荷物を置いて, 椅子を引き出ししているAがいた。(Aは座る直前)				20	20
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ひどく痙攣しているネズミがいた。(ネズミは死ぬ直前)				20	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの火がとても弱くなっていて, 消えていっている様子だった。(火が消える直前)				20	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープのスイッチに手を伸ばしているAがいた。(Aは火を消す直前)			20		
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていて雨雲の隙間から太陽が見え始めていた。(晴れる直前)			1	19	

付録532 事態βの結果相におけるデーター北部方言・高年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 既に席に着いているAがいた。(Aは既に座った後)			20		20
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ネズミが1匹死んでいた。(ネズミは既に死んだ後)			20		
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, 点いているはずのストーブの火が消えていた。(火は消えた後)			10	10	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープの火を消し終えて換気をしているAがいた。(Aは既に火を消した後)			10	10	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雲ひとつない青空になっていた。(既に晴れた後)			20		



付録533 事態  $\alpha$  の未然的将来相におけるデーター北部方言・中年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、ユニフォームに着替え、走者レーンに向かっているAがいた。(Aはもうすぐ走る)				17	17
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、冷蔵庫から肉を取り出し、フライパンを温めているAがいた。(Aはもうすぐ肉を焼く)				17	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、空が曇り始めていて薄暗かった。(もうすぐ雨が降る)				17	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、机の上に資料を広げているAがいた。(Aはもうすぐ作戦を考える)				17	

付録534 事態  $\alpha$  の既然的将来相におけるデーター北部方言・中年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、スタートラインに立ち、手首足首を回しているAがいた。(Aは走る直前)			1	16	17
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、フライパンに油をひき、トレーから肉を取り出しているAがいた。(Aは肉を焼く直前)			3	14	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、空がどんより曇っていて、ジメジメしていた。(雨が降る直前)				17	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、机の上の資料に目を通し始めているAがいた。(Aは作戦を考える直前)			5	12	

付録535 事態  $\alpha$  の進行相におけるデーター北部方言・中年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Progressive	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、走っている最中のAがいた。(Aは走っている最中)			17		17
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、肉を焼いている最中のAがいた。(Aは肉を焼いている最中)			17		
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、雨が降っている最中だった。(雨が降っている最中)			17		
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、作戦を考えている最中のAがいた。(Aは作戦を考えている最中)			17		

付録536 事態  $\alpha$  の結果相におけるデーター北部方言・中年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、100m走を終えて休憩しているAがいた。(Aは既に走った後)				17	17
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、焼き終えた肉を皿へ移しているAがいた。(Aは既に肉を焼いた後)			1	16	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、地面が濡れ、水たまりができていた。(雨は既に降った後)			2	15	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、作戦会議を終えて資料を片付けているAがいた。(Aは既に作戦を考えただ後)			4	13	



付録537 事態βの未然的将来相におけるデーター北部方言・中年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 席に向かっているAがいた。(Aはもうすぐ座る)				17	17
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, 軽く痙攣しているネズミがいた。(ネズミはもうすぐ死ぬ)				17	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの燃料が少なくなっていた。(もうすぐ火が消える)				17	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, 火を消すためストーブに近付いているAがいた。(Aはもうすぐ火を消す)				17	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていた。(もうすぐ晴れる)				17	

付録538 事態βの既然的将来相におけるデーター北部方言・中年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 荷物を置いて, 椅子を引き出しているAがいた。(Aは座る直前)				17	17
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ひどく痙攣しているネズミがいた。(ネズミは死ぬ直前)				17	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの火がとても弱くなっていて, 消えていっている様子だった。(火が消える直前)				17	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープのスイッチに手を伸ばしているAがいた。(Aは火を消す直前)			15	2	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていて雨雲の隙間から太陽が見え始めていた。(晴れる直前)				17	

付録539 事態βの結果相におけるデーター北部方言・中年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 既に席に着いているAがいた。(Aは既に座った後)			17		17
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ネズミが1匹死んでいた。(ネズミは既に死んだ後)			17		
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, 点いているはずのストーブの火が消えていた。(火は消えた後)			7	10	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープの火を消し終えて換気をしているAがいた。(Aは既に火を消した後)			4	13	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雲ひとつない青空になっていた。(既に晴れた後)			17		

付録540 事態  $\alpha$  の未然的将来相におけるデーター北部方言・若年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、ユニフォームに着替え、走者レーンに向かっているAがいた。(Aはもうすぐ走る)				24	24
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、冷蔵庫から肉を取り出し、フライパンを温めているAがいた。(Aはもうすぐ肉を焼く)				24	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、空が曇り始めていて薄暗かった。(もうすぐ雨が降る)				24	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、机の上に資料を広げているAがいた。(Aはもうすぐ作戦を考える)				24	

付録541 事態  $\alpha$  の既然的将来相におけるデーター北部方言・若年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、スタートラインに立ち、手首足首を回しているAがいた。(Aは走る直前)	1	1	9	14	24
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、フライパンに油をひき、トレーから肉を取り出しているAがいた。(Aは肉を焼く直前)	1	1	14	10	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、空がどんより曇っていて、ジメジメしていた。(雨が降る直前)	1			23	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、机の上の資料に目を通し始めているAがいた。(Aは作戦を考える直前)	1	2	17	7	

付録542 事態  $\alpha$  の進行相におけるデーター北部方言・若年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Progressive	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、走っている最中のAがいた。(Aは走っている最中)		4	24		24
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、肉を焼いている最中のAがいた。(Aは肉を焼いている最中)		3	24		
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、雨が降っている最中だった。(雨が降っている最中)		4	24		
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、作戦を考えている最中のAがいた。(Aは作戦を考えている最中)		3	24		

付録543 事態  $\alpha$  の結果相におけるデーター北部方言・若年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、100m走を終えて休憩しているAがいた。(Aは既に走った後)		3	16	8	24
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、焼き終えた肉を皿へ移しているAがいた。(Aは既に肉を焼いた後)		3	17	7	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、地面が濡れ、水たまりができていた。(雨は既に降った後)		2	12	12	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、作戦会議を終えて資料を片付けているAがいた。(Aは既に作戦を考えした後)		2	16	8	

付録544 事態 β の未然的将来相におけるデーター北部方言・若年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 席に向かっているAがいた。(Aはもうすぐ座る)				24	24
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, 軽く痙攣しているネズミがいた。(ネズミはもうすぐ死ぬ)				24	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの燃料が少なくなっていた。(もうすぐ火が消える)				24	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, 火を消すためストーブに近付いているAがいた。(Aはもうすぐ火を消す)				24	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていた。(もうすぐ晴れる)				24	

付録545 事態 β の既然的将来相におけるデーター北部方言・若年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 荷物を置いて, 椅子を引き出しているAがいた。(Aは座る直前)			2	22	24
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ひどく痙攣しているネズミがいた。(ネズミは死ぬ直前)	1			23	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの火がとても弱くなっていて, 消えていっている様子だった。(火が消える直前)	1	1	1	22	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープのスイッチに手を伸ばしているAがいた。(Aは火を消す直前)	1	2	19	5	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていて雨雲の隙間から太陽が見え始めていた。(晴れる直前)	1	2	9	15	

付録546 事態 β の結果相におけるデーター北部方言・若年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 既に席に着いているAがいた。(Aは既に座った後)	1	4	24		24
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ネズミが1匹死んでいた。(ネズミは既に死んだ後)		3	24		
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, 点いているはずのストーブの火が消えていた。(火は消えた後)		3	21	3	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープの火を消し終えて換気をしているAがいた。(Aは既に火を消した後)		2	18	6	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雲ひとつない青空になっていた。(既に晴れた後)		3	24		

付録547 事態  $\alpha$  の未然的将来相におけるデーター南部方言・高年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、ユニフォームに着替え、走者レーンに向かっているAがいた。(Aはもうすぐ走る)				5	5
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、冷蔵庫から肉を取り出し、フライパンを温めているAがいた。(Aはもうすぐ肉を焼く)				5	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、空が曇り始めていて薄暗かった。(もうすぐ雨が降る)				5	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、机の上に資料を広げているAがいた。(Aはもうすぐ作戦を考える)				5	

付録548 事態  $\alpha$  の既然的将来相におけるデーター南部方言・高年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、スタートラインに立ち、手首足首を回しているAがいた。(Aは走る直前)				5	5
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、フライパンに油をひき、トレーから肉を取り出しているAがいた。(Aは肉を焼く直前)				5	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、空がどんより曇っていて、ジメジメしていた。(雨が降る直前)				5	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、机の上の資料に目を通し始めているAがいた。(Aは作戦を考える直前)				5	

付録549 事態  $\alpha$  の進行相におけるデーター南部方言・高年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Progressive	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、走っている最中のAがいた。(Aは走っている最中)		5	2		5
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、肉を焼いている最中のAがいた。(Aは肉を焼いている最中)		5	1		
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、雨が降っている最中だった。(雨が降っている最中)		5	1		
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、作戦を考えている最中のAがいた。(Aは作戦を考えている最中)		5	1		

付録550 事態  $\alpha$  の結果相におけるデーター南部方言・高年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、100m走を終えて休憩しているAがいた。(Aは既に走った後)				5	5
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、焼き終えた肉を皿へ移しているAがいた。(Aは既に肉を焼いた後)				5	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、地面が濡れ、水たまりができていた。(雨は既に降った後)				5	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、作戦会議を終えて資料を片付けているAがいた。(Aは既に作戦を考えた後)				5	

付録551 事態βの未然的将来相におけるデーター南部方言・高年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 席に向かっているAがいた。(Aはもうすぐ座る)				5	5
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, 軽く痙攣しているネズミがいた。(ネズミはもうすぐ死ぬ)				5	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの燃料が少なくなっていた。(もうすぐ火が消える)				5	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, 火を消すためストーブに近付いているAがいた。(Aはもうすぐ火を消す)				5	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていた。(もうすぐ晴れる)				5	

付録552 事態βの既然的将来相におけるデーター南部方言・高年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 荷物を置いて, 椅子を引き出ししているAがいた。(Aは座る直前)				5	5
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ひどく痙攣しているネズミがいた。(ネズミは死ぬ直前)				5	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの火がとても弱くなっていて, 消えていっている様子だった。(火が消える直前)				5	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープのスイッチに手を伸ばしているAがいた。(Aは火を消す直前)		4		1	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていて雨雲の隙間から太陽が見え始めていた。(晴れる直前)				5	

付録553 事態βの結果相におけるデーター南部方言・高年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 既に席に着いているAがいた。(Aは既に座った後)		4	1		5
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ネズミが1匹死んでいた。(ネズミは既に死んだ後)		4	1		
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, 点いているはずのストーブの火が消えていた。(火は消えた後)		4	1		
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープの火を消し終えて換気をしているAがいた。(Aは既に火を消した後)		1		4	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雲ひとつない青空になっていた。(既に晴れた後)		4		1	

付録554 事態  $\alpha$  の未然的将来相におけるデーター南部方言・中年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、ユニフォームに着替え、走者レーンに向かっているAがいた。(Aはもうすぐ走る)				5	5
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、冷蔵庫から肉を取り出し、フライパンを温めているAがいた。(Aはもうすぐ肉を焼く)				5	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、空が曇り始めていて薄暗かった。(もうすぐ雨が降る)				5	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、机の上に資料を広げているAがいた。(Aはもうすぐ作戦を考える)				5	

付録555 事態  $\alpha$  の既然的将来相におけるデーター南部方言・中年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、スタートラインに立ち、手首足首を回しているAがいた。(Aは走る直前)				5	5
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、フライパンに油をひき、トレーから肉を取り出しているAがいた。(Aは肉を焼く直前)				5	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、空がどんより曇っていて、ジメジメしていた。(雨が降る直前)				5	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、机の上の資料に目を通し始めているAがいた。(Aは作戦を考える直前)		1	3	2	

付録556 事態  $\alpha$  の進行相におけるデーター南部方言・中年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Progressive	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、走っている最中のAがいた。(Aは走っている最中)		3	4		5
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、肉を焼いている最中のAがいた。(Aは肉を焼いている最中)		1	5		
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、雨が降っている最中だった。(雨が降っている最中)		3	5		
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、作戦を考えている最中のAがいた。(Aは作戦を考えている最中)		1	5		

付録557 事態  $\alpha$  の結果相におけるデーター南部方言・中年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、100m走を終えて休憩しているAがいた。(Aは既に走った後)				5	5
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、焼き終えた肉を皿へ移しているAがいた。(Aは既に肉を焼いた後)				5	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、地面が濡れ、水たまりができていた。(雨は既に降った後)		2	2	3	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、作戦会議を終えて資料を片付けているAがいた。(Aは既に作戦を考えただ後)		1	1	4	

付録558 事態βの未然的将来相におけるデーター南部方言・中年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 席に向かっているAがいた。(Aはもうすぐ座る)				5	5
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, 軽く痙攣しているネズミがいた。(ネズミはもうすぐ死ぬ)				5	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの燃料が少なくなっていた。(もうすぐ火が消える)				5	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, 火を消すためストーブに近付いているAがいた。(Aはもうすぐ火を消す)				5	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていた。(もうすぐ晴れる)				5	

付録559 事態βの既然的将来相におけるデーター南部方言・中年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 荷物を置いて, 椅子を引き出ししているAがいた。(Aは座る直前)				5	5
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ひどく痙攣しているネズミがいた。(ネズミは死ぬ直前)				5	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの火がとても弱くなっていて, 消えていっている様子だった。(火が消える直前)				5	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープのスイッチに手を伸ばしているAがいた。(Aは火を消す直前)			1	4	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていて雨雲の隙間から太陽が見え始めていた。(晴れる直前)				5	

付録560 事態βの結果相におけるデーター南部方言・中年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 既に席に着いているAがいた。(Aは既に座った後)		2	5		5
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ネズミが1匹死んでいた。(ネズミは既に死んだ後)		2	5		
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, 点いているはずのストーブの火が消えていた。(火は消えた後)		3	2		
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープの火を消し終えて換気をしているAがいた。(Aは既に火を消した後)			2	3	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雲ひとつない青空になっていた。(既に晴れた後)		3	5		



付録561 事態  $\alpha$  の未然的将来相におけるデーター南部方言・若年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、ユニフォームに着替え、走者レーンに向かっているAがいた。(Aはもうすぐ走る)				5	5
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、冷蔵庫から肉を取り出し、フライパンを温めているAがいた。(Aはもうすぐ肉を焼く)				5	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、空が曇り始めていて薄暗かった。(もうすぐ雨が降る)				5	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、机の上に資料を広げているAがいた。(Aはもうすぐ作戦を考える)				5	

付録562 事態  $\alpha$  の既然的将来相におけるデーター南部方言・若年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、スタートラインに立ち、手首足首を回しているAがいた。(Aは走る直前)				5	5
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、フライパンに油をひき、トレーから肉を取り出しているAがいた。(Aは肉を焼く直前)				5	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、空がどんより曇っていて、ジメジメしていた。(雨が降る直前)				5	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、机の上の資料に目を通し始めているAがいた。(Aは作戦を考える直前)		2	3	2	

付録563 事態  $\alpha$  の進行相におけるデーター南部方言・若年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Progressive	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、走っている最中のAがいた。(Aは走っている最中)		4	3		5
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、肉を焼いている最中のAがいた。(Aは肉を焼いている最中)		4	3		
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、雨が降っている最中だった。(雨が降っている最中)		4	3		
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、作戦を考えている最中のAがいた。(Aは作戦を考えている最中)		4	3		

付録564 事態  $\alpha$  の結果相におけるデーター南部方言・若年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、100m走を終えて休憩しているAがいた。(Aは既に走った後)		4	3		5
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、焼き終えた肉を皿へ移しているAがいた。(Aは既に肉を焼いた後)		1	1	4	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、地面が濡れ、水たまりができていた。(雨は既に降った後)		2		3	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、作戦会議を終えて資料を片付けているAがいた。(Aは既に作戦を考えただ後)		3	1	2	



付録565 事態βの未然的将来相におけるデーター南部方言・若年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 席に向かっているAがいた。(Aはもうすぐ座る)				5	5
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, 軽く痙攣しているネズミがいた。(ネズミはもうすぐ死ぬ)				5	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの燃料が少なくなっていた。(もうすぐ火が消える)				5	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, 火を消すためストーブに近付いているAがいた。(Aはもうすぐ火を消す)				5	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていた。(もうすぐ晴れる)				5	

付録566 事態βの既然的将来相におけるデーター南部方言・若年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 荷物を置いて, 椅子を引き出しているAがいた。(Aは座る直前)			1	4	5
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ひどく痙攣しているネズミがいた。(ネズミは死ぬ直前)				5	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの火がとても弱くなっていて, 消えていっている様子だった。(火が消える直前)				5	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープのスイッチに手を伸ばしているAがいた。(Aは火を消す直前)		3	1	2	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていて雨雲の隙間から太陽が見え始めていた。(晴れる直前)		2		3	

付録567 事態βの結果相におけるデーター南部方言・若年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 既に席に着いているAがいた。(Aは既に座った後)		4	3		5
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ネズミが1匹死んでいた。(ネズミは既に死んだ後)		4	3		
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, 点いているはずのストーブの火が消えていた。(火は消えた後)		4	3		
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープの火を消し終えて換気をしているAがいた。(Aは既に火を消した後)		4	3		
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雲ひとつない青空になっていた。(既に晴れた後)		4	3		

#### 4.4.4. 福井方言のアスペクト体系

付録568 事態  $\alpha$  の未然的将然相におけるデーター嶺南方言・高年層ー

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後, 運動場に行くと, ユニフォームに着替え, 走者レーンに向かっているAがいた。(Aはもうすぐ走る)				8	8
焼く	主体動作 客体変化	夕食前, 台所に行くと, 冷蔵庫から肉を取り出し, フライパンを温めているAがいた。(Aはもうすぐ肉を焼く)				8	
降る	自然現象	朝, 部屋のカーテンを開けると, 空が曇り始めていて薄暗かった。(もうすぐ雨が降る)				8	
考える	心理	昼食後, 会議室に入ると, 机の上に資料を広げているAがいた。(Aはもうすぐ作戦を考える)				8	

付録569 事態  $\alpha$  の既然的将然相におけるデーター嶺南方言・高年層ー

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後, 運動場に行くと, スタートラインに立ち, 手首足首を回しているAがいた。(Aは走る直前)				8	8
焼く	主体動作 客体変化	夕食前, 台所に行くと, フライパンに油をひき, トレーから肉を取り出しているAがいた。(Aは肉を焼く直前)				8	
降る	自然現象	朝, 部屋のカーテンを開けると, 空がどんより曇っていて, ジメジメしていた。(雨が降る直前)				8	
考える	心理	昼食後, 会議室に入ると, 机の上の資料に目を通し始めているAがいた。(Aは作戦を考える直前)				8	

付録570 事態  $\alpha$  の進行相におけるデーター嶺南方言・高年層ー

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Progressive	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後, 運動場に行くと, 走っている最中のAがいた。(Aは走っている最中)		8			8
焼く	主体動作 客体変化	夕食前, 台所に行くと, 肉を焼いている最中のAがいた。(Aは肉を焼いている最中)		8			
降る	自然現象	朝, 部屋のカーテンを開けると, 雨が降っている最中だった。(雨が降っている最中)		8			
考える	心理	昼食後, 会議室に入ると, 作戦を考えている最中のAがいた。(Aは作戦を考えている最中)		8			

付録571 事態  $\alpha$  の結果相におけるデーター嶺南方言・高年層ー

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後, 運動場に行くと, 100m走を終えて休憩しているAがいた。(Aは既に走った後)		4		4	8
焼く	主体動作 客体変化	夕食前, 台所に行くと, 焼き終えた肉を皿へ移しているAがいた。(Aは既に肉を焼いた後)		2		6	
降る	自然現象	朝, 部屋のカーテンを開けると, 地面が濡れ, 水たまりができていた。(雨は既に降った後)		4		4	
考える	心理	昼食後, 会議室に入ると, 作戦会議を終えて資料を片付けているAがいた。(Aは既に作戦考えた後)		1		7	

付録572 事態βの未然的将然相におけるデーター嶺南方言・高年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 席に向かっているAがいた。(Aはもうすぐ座る)				8	8
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, 軽く痙攣しているネズミがいた。(ネズミはもうすぐ死ぬ)				8	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの燃料が少なくなっていた。(もうすぐ火が消える)				8	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, 火を消すためストーブに近付いているAがいた。(Aはもうすぐ火を消す)				8	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていた。(もうすぐ晴れる)				8	

付録573 事態βの既然的将然相におけるデーター嶺南方言・高年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 荷物を置いて, 椅子を引き出しているAがいた。(Aは座る直前)				8	8
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ひどく痙攣しているネズミがいた。(ネズミは死ぬ直前)				8	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの火がとても弱くなっていて, 消えていっている様子だった。(火が消える直前)				8	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープのスイッチに手を伸ばしているAがいた。(Aは火を消す直前)				8	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていて雨雲の隙間から太陽が見え始めていた。(晴れる直前)				8	

付録574 事態βの結果相におけるデーター嶺南方言・高年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 既に席に着いているAがいた。(Aは既に座った後)		7		1	8
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ネズミが1匹死んでいた。(ネズミは既に死んだ後)		8			
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, 点いているはずのストーブの火が消えていた。(火は消えた後)		8			
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープの火を消し終えて換気をしているAがいた。(Aは既に火を消した後)				8	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雲ひとつない青空になっていた。(既に晴れた後)		7		1	

付録575 事態  $\alpha$  の未然的将来相におけるデータ－嶺南方言・中年層－

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、ユニフォームに着替え、走者レーンに向かっているAがいた。(Aはもうすぐ走る)				8	8
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、冷蔵庫から肉を取り出し、フライパンを温めているAがいた。(Aはもうすぐ肉を焼く)				8	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、空が曇り始めていて薄暗かった。(もうすぐ雨が降る)				8	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、机の上に資料を広げているAがいた。(Aはもうすぐ作戦を考える)				8	

付録576 事態  $\alpha$  の既然的将来相におけるデータ－嶺南方言・中年層－

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、スタートラインに立ち、手首足首を回しているAがいた。(Aは走る直前)				8	8
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、フライパンに油をひき、トレーから肉を取り出しているAがいた。(Aは肉を焼く直前)				8	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、空がどんより曇っていて、ジメジメしていた。(雨が降る直前)				8	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、机の上の資料に目を通し始めているAがいた。(Aは作戦を考える直前)		1		7	

付録577 事態  $\alpha$  の進行相におけるデータ－嶺南方言・中年層－

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Progressive	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、走っている最中のAがいた。(Aは走っている最中)		8			8
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、肉を焼いている最中のAがいた。(Aは肉を焼いている最中)		8			
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、雨が降っている最中だった。(雨が降っている最中)		8			
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、作戦を考えている最中のAがいた。(Aは作戦を考えている最中)		8			

付録578 事態  $\alpha$  の結果相におけるデータ－嶺南方言・中年層－

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、100m走を終えて休憩しているAがいた。(Aは既に走った後)		7		1	8
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、焼き終えた肉を皿へ移しているAがいた。(Aは既に肉を焼いた後)		1		7	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、地面が濡れ、水たまりができていた。(雨は既に降った後)		7		1	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、作戦会議を終えて資料を片付けているAがいた。(Aは既に作戦を考えた後)		1		7	

付録579 事態βの未然的将来相におけるデーター嶺南方言・中年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 席に向かっているAがいた。(Aはもうすぐ座る)				8	8
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, 軽く痙攣しているネズミがいた。(ネズミはもうすぐ死ぬ)				8	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの燃料が少なくなっていた。(もうすぐ火が消える)				8	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, 火を消すためストーブに近付いているAがいた。(Aはもうすぐ火を消す)				8	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていた。(もうすぐ晴れる)				8	

付録580 事態βの既然的将来相におけるデーター嶺南方言・中年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 荷物を置いて, 椅子を引き出しているAがいた。(Aは座る直前)				8	8
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ひどく痙攣しているネズミがいた。(ネズミは死ぬ直前)				8	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの火がとても弱くなっていて, 消えていっている様子だった。(火が消える直前)				8	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープのスイッチに手を伸ばしているAがいた。(Aは火を消す直前)		1		7	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていて雨雲の隙間から太陽が見え始めていた。(晴れる直前)				8	

付録581 事態βの結果相におけるデーター嶺南方言・中年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 既に席に着いているAがいた。(Aは既に座った後)		8			8
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ネズミが1匹死んでいた。(ネズミは既に死んだ後)		8			
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, 点いているはずのストーブの火が消えていた。(火は消えた後)		8			
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープの火を消し終えて換気をしているAがいた。(Aは既に火を消した後)		1		7	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雲ひとつない青空になっていた。(既に晴れた後)		8			

付録582 事態  $\alpha$  の未然的将然相におけるデータ－嶺南方言・若年層－

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、ユニフォームに着替え、走者レーンに向かっているAがいた。(Aはもうすぐ走る)				11	11
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、冷蔵庫から肉を取り出し、フライパンを温めているAがいた。(Aはもうすぐ肉を焼く)				11	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、空が曇り始めていて薄暗かった。(もうすぐ雨が降る)				11	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、机の上に資料を広げているAがいた。(Aはもうすぐ作戦を考える)				11	

付録583 事態  $\alpha$  の既然的将然相におけるデータ－嶺南方言・若年層－

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、スタートラインに立ち、手首足首を回しているAがいた。(Aは走る直前)				11	
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、フライパンに油をひき、トレーから肉を取り出しているAがいた。(Aは肉を焼く直前)		4	2	7	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、空がどんより曇っていて、ジメジメしていた。(雨が降る直前)				11	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、机の上の資料に目を通し始めているAがいた。(Aは作戦を考える直前)		2		9	

付録584 事態  $\alpha$  の進行相におけるデータ－嶺南方言・若年層－

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Progressive	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、走っている最中のAがいた。(Aは走っている最中)		11	4		11
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、肉を焼いている最中のAがいた。(Aは肉を焼いている最中)		11	4		
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、雨が降っている最中だった。(雨が降っている最中)		11	4		
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、作戦を考えている最中のAがいた。(Aは作戦を考えている最中)		11	4		

付録585 事態  $\alpha$  の結果相におけるデータ－嶺南方言・若年層－

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、100m走を終えて休憩しているAがいた。(Aは既に走った後)		10	4	1	11
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、焼き終えた肉を皿へ移しているAがいた。(Aは既に肉を焼いた後)		10	4	1	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、地面が濡れ、水たまりができていた。(雨は既に降った後)		11	4		
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、作戦会議を終えて資料を片付けているAがいた。(Aは既に作戦を考えただ後)		10	4	1	

付録586 事態βの未然的将来相におけるデーター嶺南方言・若年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 席に向かっているAがいた。(Aはもうすぐ座る)				11	11
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, 軽く痙攣しているネズミがいた。(ネズミはもうすぐ死ぬ)				11	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの燃料が少なくなっていた。(もうすぐ火が消える)				11	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, 火を消すためストーブに近付いているAがいた。(Aはもうすぐ火を消す)				11	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていた。(もうすぐ晴れる)				11	

付録587 事態βの既然的将来相におけるデーター嶺南方言・若年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 荷物を置いて, 椅子を引き出しているAがいた。(Aは座る直前)				11	11
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ひどく痙攣しているネズミがいた。(ネズミは死ぬ直前)				11	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの火がとても弱くなっていて, 消えていっている様子だった。(火が消える直前)		1		10	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープのスイッチに手を伸ばしているAがいた。(Aは火を消す直前)		3		8	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていて雨雲の隙間から太陽が見え始めていた。(晴れる直前)		1		10	

付録588 事態βの結果相におけるデーター嶺南方言・若年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 既に席に着いているAがいた。(Aは既に座った後)		11	4		11
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ネズミが1匹死んでいた。(ネズミは既に死んだ後)		11	4		
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, 点いているはずのストーブの火が消えていた。(火は消えた後)		11	4		
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープの火を消し終えて換気をしているAがいた。(Aは既に火を消した後)		11	4		
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雲ひとつない青空になっていた。(既に晴れた後)		11	4		



付録589 事態  $\alpha$  の未然的将来相におけるデーター嶺北西部方言・高年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、ユニフォームに着替え、走者レーンに向かっているAがいた。(Aはもうすぐ走る)				7	7
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、冷蔵庫から肉を取り出し、フライパンを温めているAがいた。(Aはもうすぐ肉を焼く)				7	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、空が曇り始めていて薄暗かった。(もうすぐ雨が降る)				7	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、机の上に資料を広げているAがいた。(Aはもうすぐ作戦を考える)				7	

付録590 事態  $\alpha$  の既然的将来相におけるデーター嶺北西部方言・高年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、スタートラインに立ち、手首足首を回しているAがいた。(Aは走る直前)				7	7
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、フライパンに油をひき、トレーから肉を取り出しているAがいた。(Aは肉を焼く直前)				7	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、空がどんより曇っていて、ジメジメしていた。(雨が降る直前)				7	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、机の上の資料に目を通し始めているAがいた。(Aは作戦を考える直前)				7	

付録591 事態  $\alpha$  の進行相におけるデーター嶺北西部方言・高年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Progressive	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、走っている最中のAがいた。(Aは走っている最中)			7		7
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、肉を焼いている最中のAがいた。(Aは肉を焼いている最中)			7		
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、雨が降っている最中だった。(雨が降っている最中)			7		
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、作戦を考えている最中のAがいた。(Aは作戦を考えている最中)			7		

付録592 事態  $\alpha$  の結果相におけるデーター嶺北西部方言・高年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、100m走を終えて休憩しているAがいた。(Aは既に走った後)			3	4	7
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、焼き終えた肉を皿へ移しているAがいた。(Aは既に肉を焼いた後)			1	6	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、地面が濡れ、水たまりができていた。(雨は既に降った後)			2	5	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、作戦会議を終えて資料を片付けているAがいた。(Aは既に作戦を考えただ後)				7	



付録593 事態 β の未然的将然相におけるデーター嶺北西部方言・高年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 席に向かっているAがいた。(Aはもうすぐ座る)				7	7
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, 軽く痙攣しているネズミがいた。(ネズミはもうすぐ死ぬ)				7	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの燃料が少なくなっていた。(もうすぐ火が消える)				7	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, 火を消すためストーブに近付いているAがいた。(Aはもうすぐ火を消す)				7	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていた。(もうすぐ晴れる)				7	

付録594 事態 β の既然的将然相におけるデーター嶺北西部方言・高年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 荷物を置いて, 椅子を引き出しているAがいた。(Aは座る直前)				7	7
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ひどく痙攣しているネズミがいた。(ネズミは死ぬ直前)				7	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの火がとても弱くなっていて, 消えていっている様子だった。(火が消える直前)				7	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープのスイッチに手を伸ばしているAがいた。(Aは火を消す直前)			1	6	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていて雨雲の隙間から太陽が見え始めていた。(晴れる直前)				7	

付録595 事態 β の結果相におけるデーター嶺北西部方言・高年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 既に席に着いているAがいた。(Aは既に座った後)			7		7
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ネズミが1匹死んでいた。(ネズミは既に死んだ後)			7		
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, 点いているはずのストーブの火が消えていた。(火は消えた後)			7		
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープの火を消し終えて換気をしているAがいた。(Aは既に火を消した後)			3	4	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雲ひとつない青空になっていた。(既に晴れた後)			7		

付録596 事態  $\alpha$  の未然的将来相におけるデーター嶺北西部方言・中年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、ユニフォームに着替え、走者レーンに向かっているAがいた。(Aはもうすぐ走る)				9	9
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、冷蔵庫から肉を取り出し、フライパンを温めているAがいた。(Aはもうすぐ肉を焼く)				9	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、空が曇り始めていて薄暗かった。(もうすぐ雨が降る)				9	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、机の上に資料を広げているAがいた。(Aはもうすぐ作戦を考える)				9	

付録597 事態  $\alpha$  の既然的将来相におけるデーター嶺北西部方言・中年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、スタートラインに立ち、手首足首を回しているAがいた。(Aは走る直前)				9	9
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、フライパンに油をひき、トレーから肉を取り出しているAがいた。(Aは肉を焼く直前)				9	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、空がどんより曇っていて、ジメジメしていた。(雨が降る直前)				9	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、机の上の資料に目を通し始めているAがいた。(Aは作戦を考える直前)				9	

付録598 事態  $\alpha$  の進行相におけるデーター嶺北西部方言・中年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Progressive	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、走っている最中のAがいた。(Aは走っている最中)			9		9
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、肉を焼いている最中のAがいた。(Aは肉を焼いている最中)			9		
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、雨が降っている最中だった。(雨が降っている最中)			9		
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、作戦を考えている最中のAがいた。(Aは作戦を考えている最中)			9		

付録599 事態  $\alpha$  の結果相におけるデーター嶺北西部方言・中年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、100m走を終えて休憩しているAがいた。(Aは既に走った後)			5	4	9
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、焼き終えた肉を皿へ移しているAがいた。(Aは既に肉を焼いた後)			2	7	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、地面が濡れ、水たまりができていた。(雨は既に降った後)			4	5	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、作戦会議を終えて資料を片付けているAがいた。(Aは既に作戦を考えただ後)			2	7	

付録600 事態βの未然的将然相におけるデーター嶺北西部方言・中年層一

Verb	Property	[β] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 席に向かっているAがいた。(Aはもうすぐ座る)				9	9
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, 軽く痙攣しているネズミがいた。(ネズミはもうすぐ死ぬ)				9	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの燃料が少なくなっていた。(もうすぐ火が消える)				9	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, 火を消すためストーブに近付いているAがいた。(Aはもうすぐ火を消す)				9	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていた。(もうすぐ晴れる)				9	

付録601 事態βの既然的将然相におけるデーター嶺北西部方言・中年層一

Verb	Property	[β] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 荷物を置いて, 椅子を引き出しているAがいた。(Aは座る直前)				9	9
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ひどく痙攣しているネズミがいた。(ネズミは死ぬ直前)				9	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの火がとても弱くなっていて, 消えていっている様子だった。(火が消える直前)				9	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープのスイッチに手を伸ばしているAがいた。(Aは火を消す直前)			2	7	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていて雨雲の隙間から太陽が見え始めていた。(晴れる直前)				9	

付録602 事態βの結果相におけるデーター嶺北西部方言・中年層一

Verb	Property	[β] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 既に席に着いているAがいた。(Aは既に座った後)			9		9
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ネズミが1匹死んでいた。(ネズミは既に死んだ後)			9		
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, 点いているはずのストーブの火が消えていた。(火は消えた後)			9		
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープの火を消し終えて換気をしているAがいた。(Aは既に火を消した後)			6	3	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雲ひとつない青空になっていた。(既に晴れた後)			9		

付録603 事態  $\alpha$  の未然的将然相におけるデーター嶺北西部方言・若年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、ユニフォームに着替え、走者レーンに向かっているAがいた。(Aはもうすぐ走る)				17	17
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、冷蔵庫から肉を取り出し、フライパンを温めているAがいた。(Aはもうすぐ肉を焼く)				17	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、空が曇り始めていて薄暗かった。(もうすぐ雨が降る)				17	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、机の上に資料を広げているAがいた。(Aはもうすぐ作戦を考える)				17	

付録604 事態  $\alpha$  の既然的将然相におけるデーター嶺北西部方言・若年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、スタートラインに立ち、手首足首を回しているAがいた。(Aは走る直前)				17	17
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、フライパンに油をひき、トレーから肉を取り出しているAがいた。(Aは肉を焼く直前)		2	4	13	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、空がどんより曇っていて、ジメジメしていた。(雨が降る直前)		1	1	16	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、机の上の資料に目を通し始めているAがいた。(Aは作戦を考える直前)		2	4	13	

付録605 事態  $\alpha$  の進行相におけるデーター嶺北西部方言・若年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Progressive	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、走っている最中のAがいた。(Aは走っている最中)		8	17		17
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、肉を焼いている最中のAがいた。(Aは肉を焼いている最中)		8	17		
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、雨が降っている最中だった。(雨が降っている最中)		8	17		
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、作戦を考えている最中のAがいた。(Aは作戦を考えている最中)		8	17		

付録606 事態  $\alpha$  の結果相におけるデーター嶺北西部方言・若年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、100m走を終えて休憩しているAがいた。(Aは既に走った後)		8	16	1	17
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、焼き終えた肉を皿へ移しているAがいた。(Aは既に肉を焼いた後)		8	15	2	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、地面が濡れ、水たまりができていた。(雨は既に降った後)		7	13	4	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、作戦会議を終えて資料を片付けているAがいた。(Aは既に作戦を考えただ後)		6	14	3	

付録607 事態βの未然的将来相におけるデーター嶺北西部方言・若年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 席に向かっているAがいた。(Aはもうすぐ座る)				17	17
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, 軽く痙攣しているネズミがいた。(ネズミはもうすぐ死ぬ)				17	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの燃料が少なくなっていた。(もうすぐ火が消える)				17	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, 火を消すためストーブに近付いているAがいた。(Aはもうすぐ火を消す)				17	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていた。(もうすぐ晴れる)				17	

付録608 事態βの既然的将来相におけるデーター嶺北西部方言・若年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 荷物を置いて, 椅子を引き出しているAがいた。(Aは座る直前)		5	5	12	17
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ひどく痙攣しているネズミがいた。(ネズミは死ぬ直前)				17	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの火がとても弱くなっていて, 消えていっている様子だった。(火が消える直前)			1	16	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープのスイッチに手を伸ばしているAがいた。(Aは火を消す直前)		4	10	7	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていて雨雲の隙間から太陽が見え始めていた。(晴れる直前)		1	1	16	

付録609 事態βの結果相におけるデーター嶺北西部方言・若年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 既に席に着いているAがいた。(Aは既に座った後)		8	17		17
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ネズミが1匹死んでいた。(ネズミは既に死んだ後)		7	17		
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, 点いているはずのストーブの火が消えていた。(火は消えた後)		7	16	1	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープの火を消し終えて換気をしているAがいた。(Aは既に火を消した後)		7	15	2	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雲ひとつない青空になっていた。(既に晴れた後)		7	17		

付録610 事態  $\alpha$  の未然的将来相におけるデーター嶺北東部方言・高年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、ユニフォームに着替え、走者レーンに向かっているAがいた。(Aはもうすぐ走る)				7	7
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、冷蔵庫から肉を取り出し、フライパンを温めているAがいた。(Aはもうすぐ肉を焼く)				7	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、空が曇り始めていて薄暗かった。(もうすぐ雨が降る)				7	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、机の上に資料を広げているAがいた。(Aはもうすぐ作戦を考える)				7	

付録611 事態  $\alpha$  の既然的将来相におけるデーター嶺北東部方言・高年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、スタートラインに立ち、手首足首を回しているAがいた。(Aは走る直前)				7	7
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、フライパンに油をひき、トレーから肉を取り出しているAがいた。(Aは肉を焼く直前)				7	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、空がどんより曇っていて、ジメジメしていた。(雨が降る直前)				7	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、机の上の資料に目を通し始めているAがいた。(Aは作戦を考える直前)				7	

付録612 事態  $\alpha$  の進行相におけるデーター嶺北東部方言・高年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Progressive	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、走っている最中のAがいた。(Aは走っている最中)			7		7
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、肉を焼いている最中のAがいた。(Aは肉を焼いている最中)			7		
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、雨が降っている最中だった。(雨が降っている最中)			7		
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、作戦を考えている最中のAがいた。(Aは作戦を考えている最中)			7		

付録613 事態  $\alpha$  の結果相におけるデーター嶺北東部方言・高年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、100m走を終えて休憩しているAがいた。(Aは既に走った後)			5	2	7
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、焼き終えた肉を皿へ移しているAがいた。(Aは既に肉を焼いた後)				7	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、地面が濡れ、水たまりができていた。(雨は既に降った後)			7		
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、作戦会議を終えて資料を片付けているAがいた。(Aは既に作戦を考えただ後)			2	5	

付録614 事態βの未然的将来相におけるデーター嶺北東部方言・高年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 席に向かっているAがいた。(Aはもうすぐ座る)				7	7
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, 軽く痙攣しているネズミがいた。(ネズミはもうすぐ死ぬ)				7	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの燃料が少なくなっていた。(もうすぐ火が消える)				7	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, 火を消すためストーブに近付いているAがいた。(Aはもうすぐ火を消す)				7	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていた。(もうすぐ晴れる)				7	

付録615 事態βの既然的将来相におけるデーター嶺北東部方言・高年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 荷物を置いて, 椅子を引き出ししているAがいた。(Aは座る直前)				7	7
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ひどく痙攣しているネズミがいた。(ネズミは死ぬ直前)				7	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの火がとても弱くなっていて, 消えていっている様子だった。(火が消える直前)				7	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープのスイッチに手を伸ばしているAがいた。(Aは火を消す直前)				7	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていて雨雲の隙間から太陽が見え始めていた。(晴れる直前)				7	

付録616 事態βの結果相におけるデーター嶺北東部方言・高年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 既に席に着いているAがいた。(Aは既に座った後)			7		7
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ネズミが1匹死んでいた。(ネズミは既に死んだ後)			7		
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, 点いているはずのストーブの火が消えていた。(火は消えた後)			7		
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープの火を消し終えて換気をしているAがいた。(Aは既に火を消した後)				7	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雲ひとつない青空になっていた。(既に晴れた後)			7		



付録617 事態  $\alpha$  の未然的将然相におけるデーター嶺北東部方言・中年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、ユニフォームに着替え、走者レーンに向かっているAがいた。(Aはもうすぐ走る)				8	8
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、冷蔵庫から肉を取り出し、フライパンを温めているAがいた。(Aはもうすぐ肉を焼く)				8	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、空が曇り始めていて薄暗かった。(もうすぐ雨が降る)				8	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、机の上に資料を広げているAがいた。(Aはもうすぐ作戦を考える)				8	

付録618 事態  $\alpha$  の既然的将然相におけるデーター嶺北東部方言・中年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、スタートラインに立ち、手首足首を回しているAがいた。(Aは走る直前)				8	8
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、フライパンに油をひき、トレーから肉を取り出しているAがいた。(Aは肉を焼く直前)			1	7	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、空がどんより曇っていて、ジメジメしていた。(雨が降る直前)				8	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、机の上の資料に目を通し始めているAがいた。(Aは作戦を考える直前)				8	

付録619 事態  $\alpha$  の進行相におけるデーター嶺北東部方言・中年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Progressive	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、走っている最中のAがいた。(Aは走っている最中)			8		8
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、肉を焼いている最中のAがいた。(Aは肉を焼いている最中)			8		
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、雨が降っている最中だった。(雨が降っている最中)			8		
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、作戦を考えている最中のAがいた。(Aは作戦を考えている最中)			8		

付録620 事態  $\alpha$  の結果相におけるデーター嶺北東部方言・中年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、100m走を終えて休憩しているAがいた。(Aは既に走った後)			8		8
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、焼き終えた肉を皿へ移しているAがいた。(Aは既に肉を焼いた後)			5	3	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、地面が濡れ、水たまりができていた。(雨は既に降った後)			7	1	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、作戦会議を終えて資料を片付けているAがいた。(Aは既に作戦を考えした後)			3	5	



付録621 事態 β の未然的將然相におけるデーター嶺北東部方言・中年層一

Verb	Property	[β] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 席に向かっているAがいた。(Aはもうすぐ座る)				8	8
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, 軽く痙攣しているネズミがいた。(ネズミはもうすぐ死ぬ)				8	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの燃料が少なくなっていた。(もうすぐ火が消える)				8	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, 火を消すためストーブに近付いているAがいた。(Aはもうすぐ火を消す)				8	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていた。(もうすぐ晴れる)				8	

付録622 事態 β の既然的將然相におけるデーター嶺北東部方言・中年層一

Verb	Property	[β] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 荷物を置いて, 椅子を引き出ししているAがいた。(Aは座る直前)				8	8
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ひどく痙攣しているネズミがいた。(ネズミは死ぬ直前)				8	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの火がとても弱くなっていて, 消えていっている様子だった。(火が消える直前)				8	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープのスイッチに手を伸ばしているAがいた。(Aは火を消す直前)			2	6	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていて雨雲の隙間から太陽が見え始めていた。(晴れる直前)				8	

付録623 事態 β の結果相におけるデーター嶺北東部方言・中年層一

Verb	Property	[β] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 既に席に着いているAがいた。(Aは既に座った後)		2	8		8
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ネズミが1匹死んでいた。(ネズミは既に死んだ後)			8		
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, 点いているはずのストーブの火が消えていた。(火は消えた後)			8		
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープの火を消し終えて換気をしているAがいた。(Aは既に火を消した後)			6	2	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雲ひとつない青空になっていた。(既に晴れた後)			8		

付録624 事態  $\alpha$  の未然的将来相におけるデーター嶺北東部方言・若年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、ユニフォームに着替え、走者レーンに向かっているAがいた。(Aはもうすぐ走る)				8	8
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、冷蔵庫から肉を取り出し、フライパンを温めているAがいた。(Aはもうすぐ肉を焼く)				8	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、空が曇り始めていて薄暗かった。(もうすぐ雨が降る)				8	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、机の上に資料を広げているAがいた。(Aはもうすぐ作戦を考える)				8	

付録625 事態  $\alpha$  の既然的将来相におけるデーター嶺北東部方言・若年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、スタートラインに立ち、手首足首を回しているAがいた。(Aは走る直前)				8	8
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、フライパンに油をひき、トレーから肉を取り出しているAがいた。(Aは肉を焼く直前)			2	6	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、空がどんより曇っていて、ジメジメしていた。(雨が降る直前)				8	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、机の上の資料に目を通し始めているAがいた。(Aは作戦を考える直前)				8	

付録626 事態  $\alpha$  の進行相におけるデーター嶺北東部方言・若年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Progressive	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、走っている最中のAがいた。(Aは走っている最中)			8		8
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、肉を焼いている最中のAがいた。(Aは肉を焼いている最中)			8		
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、雨が降っている最中だった。(雨が降っている最中)			8		
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、作戦を考えている最中のAがいた。(Aは作戦を考えている最中)			8		

付録627 事態  $\alpha$  の結果相におけるデーター嶺北東部方言・若年層一

Verb	Property	[ $\alpha$ ] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後、運動場に行くと、100m走を終えて休憩しているAがいた。(Aは既に走った後)			4	4	8
焼く	主体動作 客体変化	夕食前、台所に行くと、焼き終えた肉を皿へ移しているAがいた。(Aは既に肉を焼いた後)			3	5	
降る	自然現象	朝、部屋のカーテンを開けると、地面が濡れ、水たまりができていた。(雨は既に降った後)			2	6	
考える	心理	昼食後、会議室に入ると、作戦会議を終えて資料を片付けているAがいた。(Aは既に作戦を考えただ後)			2	6	

付録628 事態 β の未然的将然相におけるデーター嶺北東部方言・若年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Irrealis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 席に向かっているAがいた。(Aはもうすぐ座る)				8	8
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, 軽く痙攣しているネズミがいた。(ネズミはもうすぐ死ぬ)				8	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの燃料が少なくなっていた。(もうすぐ火が消える)				8	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, 火を消すためストーブに近付いているAがいた。(Aはもうすぐ火を消す)				8	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていた。(もうすぐ晴れる)				8	

付録629 事態 β の既然的将然相におけるデーター嶺北東部方言・若年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 荷物を置いて, 椅子を引き出ししているAがいた。(Aは座る直前)				8	8
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ひどく痙攣しているネズミがいた。(ネズミは死ぬ直前)				8	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの火がとても弱くなっていて, 消えていっている様子だった。(火が消える直前)			1	7	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープのスイッチに手を伸ばしているAがいた。(Aは火を消す直前)			2	6	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていて雨雲の隙間から太陽が見え始めていた。(晴れる直前)				8	

付録630 事態 β の結果相におけるデーター嶺北東部方言・若年層ー

Verb	Property	[β] Situation : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 既に席に着いているAがいた。(Aは既に座った後)		1	8		8
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ネズミが1匹死んでいた。(ネズミは既に死んだ後)			8		
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, 点いているはずのストーブの火が消えていた。(火は消えた後)			8		
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープの火を消し終えて換気をしているAがいた。(Aは既に火を消した後)			4	4	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雲ひとつない青空になっていた。(既に晴れた後)			8		